アクサ生命

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report

Voice Report 600号記念号発刊によせて

600th The Interview

経済が成熟期を迎え、「人生100年時代」が身近なものになりつつある今日、こうした時代に相応しい働き方・経営の在り方を模索することは、世界に先駆けて超高齢社会に突入した日本が取り組むべき重要な課題です。そのためには、まず人生の前半である「生産年齢」の段階から、経営者や従業員が健康管理に取り組みやすい環境を整える「健康経営」を推進することが重要です。

健康経営とは、「企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」であり、人材(人財)投資の一つといえます。実際に健康経営に取り組むことで、従業員の健康状態が改善するだけでなく、労働生産性や企業イメージの向上によって企業業績に良い影響をもたらし、ひいては優秀な人材の確保に繋がるといった好循環を生み出します。かつて対立概念であった「健康」と「経営」は、戦略的に融合することで新たな企業文化を形成しつつあるのです。

健康経営を推し進めるうえでカギとなるのは、何と言っても「経営トップの認識」です。経営者が、「従業員の健康は経営に直結する重要な課題である」と認識し、具体的な取り組みに繋げていくことが重要です。しかしながら、健康経営は企業経営にとって様々なプラスの効果をもたらしますが、その投資リターンは中長期的なものであり、経営者自身がその投資対効果を実感することは容易ではありません。

このため政府においては、2015年に東京証券取引所と連携して「健康経営銘柄」の認定を開始し、2017年から日本健康会議との連携により「健康経営優良法人認定制度」をスタートさせました。私が名付けた「ホワイト500」は今や優良企業のシンボルとなり、今年からは、中小規模法人を対象とした「ブライト500」も始まりました。コロナ禍にも拘らずその取り組みは拡大の一途を辿っており喜ばしい限りです。

これまでアクサ生命さんが発行してこられた、健康経営優良法人へのインタビューである「Voice Report」は、健康経営に取組む優良企業の取り組みや思いが的確にまとめられており、認定企業のイメージアップに繋がるばかりでなく、今後健康経営に取組む企業や、更なる高みを目指す企業にとっての貴重なガイドブックになっています。

この度600号記念号が発刊されますことは、健康経営推進のための大きな力になっており、長年健康経営に携わってきた者として心から感謝申し上げます。今後、健康経営は、そこで働く人々のWell-Being(ウェルビーイング)をも視野に入れつつ更なる進化を遂げて参ります。こうした取り組みにより、皆様自身が素晴らしい生き方・働き方を実現されますとともに、世界が羨む健康長寿社会の実現に繋がりますことを心より祈念しております。

社会政策課題研究所 所長

江崎 禎英

1989年通商産業省入省、ヘルスケア産業課長として「健康経営」を推進し、2017年には健康経営優良法人認定制度の創設に携わる。
2020年11月に内閣府大臣官房審議官を退官し、翌年1月の岐阜県知事選挙に立候補。トップに７万票差に迫るも惜敗。研究所を設立し政策課題に取り組む。著書「社会は変えられる」国書刊行会
現在、岐阜県在住。
岐阜大学客員教授
前　内閣府大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)
元　経済産業省商務サービスグループ政策統括調整官　兼　厚生労働省医政局統括調整官　兼　内閣官房健康・医療戦略室次長

今回Voice Report600号記念号を発刊するにあたり、多くの企業の皆さまに、「コロナ禍にあっても様々な創意工夫をされて健康経営を実践されている事例」をご紹介いただきましたこと、心より敬意を表しますとともに、感謝申しあげます。

健康経営という考え方が普及する以前、「『職場』とは仕事をする場所」、「『健康』とは、余暇やレクリエーションを通じて就業時間外に取り戻すもの」という考え方が一般的でした。

そのため、仕事とは健康を害することが止むを得ないという前提のもと、「生活の糧を稼ぐ手段」という意味付けを超えることが難しかったのかもしれません。

一方で、もし、この考え方が続く中で、生産年齢人口が減少していく「人生100年時代」においてより長く働くのならば、それは、この苦役の時間が長く続くことであり、人生の不幸な時間を延ばすだけで、未来に明るい展望を抱くことが難しくなります。

東京商工会議所の就職活動中の学生へのアンケートによると、学生が企業に求めている視点として、「従業員の健康や働き方に配慮していること」や「福利厚生が充実していること」に加えて、「企業理念・使命に共感できること」が、企業選びの大切な理由の一つとして取り上げられています。つまり、学生の皆さんは、仕事を単なる生活の糧としてだけでなく、社会課題の解決に向けた高い公益を目指す目的の下で働きたいという意思表示をしています。

また、世界的な潮流である企業の存在意義「パーパス」を目指す経営の取り組みは、社是や理念のさらに上位概念として、「なぜ私たちの会社が社会に存在する必要があるのか？」という問いを投げかけています。

健康経営の考え方は、「企業理念を前提として、従業員への健康投資を通じて、業績拡大に繋げていく」ことであり、そのために、「社員一人ひとりが、他者や地域、社会への貢献をもって、健康で生き生きと働く」というものです。つまり、本来の仕事への意味付けを目標にしており、学生や社会が求めている本質を充足する取り組みと言っても過言ではありません。

この健康経営に、より高い実効性を持たせるために、私たちアクサ生命では、人間が本来持っている公益に資する考え方を単なる職業人としての心構えだけでなく、個人としての生き方にも反映させていきたいと考えています。そして、従来の「人生の計画をつくる『ライフプランニング』」ではなく、「人生理念、人生の目的、人生ビジョンに基づいて人生の計画を建てることを『ライフマネジメントコンサルティング』と名付け、「人生を経営する」サポートをしていきたいと考えております。

「社員の皆さま一人ひとりが『人生を経営する』。それによって、社員の皆さま一人ひとりが、未来を明るく展望し、健康に気を付け、仕事や家庭生活を充実させていく。」

貴社の益々のご発展を心よりご祈念申しあげますとともに、そこに貢献できますよう、今後とも働く皆さまとそのご家族のWell-being（ウェル ビーイング）（幸せ）を目指して、微力ではございますが努力を積み重ねてまいります。

アクサ生命保険株式会社
代表取締役副社長兼チーフディストリビューションオフィサー
幸本 智彦

CONTENTS

大規模法人

				P.
407	社会福祉法人みんなの輪	宮城県	仙台営業所	10
408	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会	宮城県	仙台営業所	11
409	オリオン機械株式会社	長野県	北信営業所	12
410	松本日産自動車株式会社	長野県	松本営業所	13

ブライト500

				P.
411	株式会社北海道朝日航洋	北海道	札幌FA支社	16
412	株式会社トッキュウ	北海道	札幌FA支社	17
413	松浦建設株式会社	北海道	札幌FA支社	18
414	合同会社西尾経営管理事務所	青森県	八戸営業所	19
415	会津土建株式会社	福島県	会津若松営業所	20
416	ワタレイ株式会社	栃木県	佐野営業所	21
417	国際建設株式会社	山梨県	甲府営業所	22
418	ルピナ中部工業株式会社	長野県	松本営業所	23
419	エバー株式会社	愛知県	知多営業所	24
420	株式会社サンフレッシュ	京都府	京都営業所	25
421	シー・システム株式会社	大阪府	大阪営業所	26
422	高槻化成株式会社	大阪府	大阪営業所	27
423	株式会社ソリューション	大阪府	大阪営業所	28
424	エコックス株式会社	兵庫県	神戸営業所	29
425	兵神装備株式会社	兵庫県	神戸営業所	30
426	日本薬品開発株式会社	兵庫県	阪神営業所	31
427	コンケングループ 株式会社コンケン・藤クリーン株式会社	岡山県	倉敷営業所	32
428	マルケー食品株式会社	広島県	福山営業所	33
429	株式会社巽設計コンサルタント	山口県	徳山営業所	34

中小規模法人

東北・北海道

				P.
430	株式会社細川商店	北海道	旭川営業所	35
431	株式会社サン園芸	北海道	北見営業所	36
432	エネルギーサービス北海道株式会社	北海道	北見営業所	37
433	株式会社リンザイ	岩手県	盛岡営業所	38
434	株式会社中央コーポレーション	岩手県	花巻営業所	39
435	NPO法人自閉症ピアリングセンターここねっと	宮城県	仙台営業所	40
436	株式会社ディーバイス（味のおりがみ）	宮城県	仙台営業所	41
437	仙台スイミングスクール	宮城県	仙台営業所	42
438	株式会社松倉	宮城県	古川営業所	43
439	株式会社阿部長商店	宮城県	気仙沼営業所	44
440	株式会社高瀬電設	秋田県	横手営業所	45
441	有限会社稲庭古来堂	秋田県	横手営業所	46
442	株式会社佐藤組	山形県	鶴岡営業所	47
443	株式会社アスム	福島県	いわき浜営業所	48
444	株式会社三崎組	福島県	いわき浜営業所	49
445	株式会社藤建技術設計センター	福島県	白河営業所	50
446	協業組合白河地方リサイクルセンター	福島県	白河営業所	51
447	三金興業株式会社	福島県	白河営業所	52
448	株式会社共和建商	福島県	白河営業所	53

関東

				P.
449	水戸急送株式会社	茨城県	水戸営業所	54
450	社会福祉法人陽山会	茨城県	石岡営業所	55
451	株式会社諸岡	茨城県	首都圏第一PB	56
452	株式会社がくどう舎	埼玉県	所沢営業所	58
453	株式会社ボイスコーポレーション	千葉県	千葉営業所	59
454	株式会社ゲンキの平和堂	千葉県	松戸営業所	60
455	八日市場瓦斯株式会社	千葉県	銚子営業所	61
456	株式会社銚子大洋自動車教習所	千葉県	銚子営業所	62
457	株式会社トラヤ	千葉県	銚子営業所	63
458	森幸漁網株式会社	千葉県	銚子営業所	64
459	東京宅配事業株式会社	千葉県	船橋営業所	65
460	広栄化学工業株式会社	千葉県	船橋営業所	66
461	株式会社パール技研	千葉県	船橋営業所	67
462	株式会社貝電	千葉県	船橋営業所	68
463	株式会社ナチュラルスタンス	東京都	東京第三FA支社	69
464	株式会社アスペア	東京都	町田営業所	70
465	株式会社弘久社	東京都	むさし府中営業所	71
466	株式会社山城製作所	神奈川県	相模原営業所	72
467	株式会社清和サービス	神奈川県	相模原営業所	73

北信越

				P.
468	新潟空調株式会社	新潟県	新潟営業所	74
469	新井電機株式会社	新潟県	上越営業所	75
470	株式会社越後薬草	新潟県	上越営業所	76
471	株式会社大原鉄工所	新潟県	長岡営業所	77
472	株式会社竹中製作所・株式会社竹中銅器	富山県	高岡営業所	78
473	株式会社北日本通信工業	富山県	高岡営業所	79
474	株式会社ホンダカーズ高岡	富山県	高岡営業所	80
475	合同会社ぽぷら	石川県	金沢営業所	81
476	株式会社佐々木塗装工業	石川県	小松営業所	82
477	株式会社ミヤゲン	福井県	武生営業所	83
478	カワイ株式会社	福井県	武生営業所	84
479	小浜製綱株式会社	福井県	武生営業所	85
480	齋藤建設株式会社	山梨県	甲府営業所	86
481	山梨ヤクルト販売株式会社	山梨県	甲府営業所	87
482	有限会社飯窪建材	山梨県	甲府営業所	88
483	株式会社高根運送	山梨県	甲府営業所	89
484	株式会社内藤製作所	山梨県	甲府営業所	90
485	株式会社マルエスフリージングジャンクション	山梨県	甲府営業所	91
486	株式会社タクミトーヨー住器	山梨県	甲府営業所	92
487	吉田ガス株式会社	山梨県	富士吉田営業所	93
488	株式会社槙田商店	山梨県	富士吉田営業所	94
489	株式会社米山住研	山梨県	山梨北営業所	95
490	富士島建設株式会社	山梨県	山梨北営業所	96
491	有限会社管清社	山梨県	山梨北営業所	97
492	株式会社桑郷	山梨県	山梨北営業所	98
493	有限会社原林業	山梨県	山梨北営業所	99
494	株式会社一瀬工務店	山梨県	山梨北営業所	100
495	株式会社岩野商会	長野県	長野営業所	101
496	株式会社小林多男商店	長野県	長野営業所	102
497	長野テクトロン株式会社	長野県	長野営業所	103
498	松代建設工業株式会社	長野県	長野営業所	104
499	株式会社塩川組	長野県	北信営業所	105
500	伸商機工株式会社	長野県	北信営業所	106
501	株式会社サンジュニア	長野県	北信営業所	107
502	株式会社倭技術研究所	長野県	北信営業所	108
503	株式会社ニットー	長野県	北信営業所	109
504	株式会社関木工所	長野県	北信営業所	110
505	シャッターセンター株式会社	長野県	佐久営業所	111
506	株式会社エーアイテック	長野県	松本営業所	112
507	株式会社竜東スチール	長野県	伊那営業所	113
508	有限会社朝倉石油	長野県	諏訪営業所	114

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report

関西・東海

				P.
509	岐阜産研工業株式会社	岐阜県	西濃営業所	115
510	株式会社小川ミート	岐阜県	西濃営業所	116
511	深澤工業株式会社	静岡県	首都圏第一PB	117
512	有限会社むつみ製パン	静岡県	浜松営業所	118
513	株式会社サン太陽	愛知県	名古屋FA支社	119
514	有限会社一誠	愛知県	名古屋営業所	120
515	株式会社吉見製作所	愛知県	知多営業所	121
516	愛知金属工業株式会社	愛知県	知多営業所	122
517	株式会社前田工作所	愛知県	知多営業所	123
518	協栄産業株式会社	愛知県	小牧営業所	124
519	株式会社大京化学	愛知県	小牧営業所	125
520	エネロップ株式会社	愛知県	岡崎営業所	126
521	株式会社東海機械製作所	愛知県	岡崎営業所	127
522	株式会社ヤマカワ	愛知県	岡崎営業所	128
523	さんあい薬局株式会社	三重県	桑名営業所	129
524	ウィンクル株式会社	滋賀県	彦根営業所	130
525	大洋産業株式会社	滋賀県	彦根営業所	131
526	株式会社アラカワ	滋賀県	彦根営業所	132
527	鈴木ヘルスケアサービス株式会社	滋賀県	彦根営業所	133
528	長和産業株式会社	滋賀県	彦根営業所	134
529	長浜葬祭有限会社	滋賀県	彦根営業所	135
530	株式会社一休庵	滋賀県	彦根営業所	136
531	株式会社こじま花店	滋賀県	彦根営業所	137
532	びわ貨物運送株式会社	滋賀県	彦根営業所	138
533	株式会社片岡精起製作所	滋賀県	彦根営業所	139
534	エフエム宇治放送株式会社	京都府	京都営業所	140
535	宇治第一交通株式会社	京都府	京都営業所	141
536	京都宝製菓株式会社	京都府	京都営業所	142
537	TSA Partners株式会社	大阪府	大阪営業所	143
538	株式会社フロアテック	大阪府	大阪営業所	144
539	関西デジタルソフト株式会社	大阪府	大阪営業所	145
540	コインタックス株式会社	大阪府	大阪営業所	146
541	株式会社Ｂｅ＆Ｄｏ	大阪府	大阪営業所	147
542	株式会社ORBLET LIFE	大阪府	大阪営業所	148
543	株式会社上原	大阪府	大阪営業所	149
544	太陽染工株式会社	大阪府	大阪営業所	150
545	ACTUNI（アクチューニ）株式会社	大阪府	大阪営業所	151
546	I-QUON株式会社	大阪府	大阪営業所	152
547	株式会社エムクリエイト	大阪府	大阪営業所	153
548	株式会社アイムスタイル	大阪府	大阪営業所	154
549	株式会社くだら	大阪府	大阪営業所	155
550	株式会社マスパック	大阪府	大阪営業所	156
551	株式会社尾鍋組	大阪府	大阪営業所	157
552	大阪紙器工業株式会社	大阪府	大阪営業所	158
553	日生金属商事株式会社	大阪府	大阪営業所	159
554	株式会社エーティーエヌ	大阪府	大阪営業所	160
555	つつみの里ケア株式会社	大阪府	大阪東営業所	161
556	森脇鉄工株式会社	大阪府	大阪東営業所	162
557	株式会社ヤマナカゴーキン	大阪府	大阪東営業所	163
558	株式会社ヱビス製袋所	大阪府	大阪東営業所	164
559	株式会社共伸電器	大阪府	大阪東営業所	165
560	オージーケー技研工業株式会社	大阪府	大阪東営業所	166
561	有限会社永井製作所	大阪府	大阪東営業所	167
562	有限会社長利製作所	大阪府	大阪東営業所	168
563	シュアーシステム株式会社	大阪府	大阪東営業所	169
564	株式会社サンワ	大阪府	大阪東営業所	170
565	株式会社春日鋲螺製作所	大阪府	大阪東営業所	171
566	アンダーデザイン株式会社	大阪府	大阪東営業所	172
567	有限会社ヒロ工芸	大阪府	大阪東営業所	173
568	ハートスフードクリエーツ株式会社	兵庫県	神戸営業所	174
569	株式会社ネットワイ	兵庫県	神戸営業所	175
570	有限会社仲商店	兵庫県	神戸営業所	176
571	株式会社洲本整備機製作所	兵庫県	神戸営業所	177
572	株式会社林建設	兵庫県	阪神営業所	178
573	株式会社ビーネ	兵庫県	阪神営業所	179
574	寺本運輸倉庫株式会社	兵庫県	阪神営業所	180
575	富士電波工業株式会社	兵庫県	阪神営業所	181
576	株式会社シンエイ	兵庫県	阪神営業所	182
577	株式会社尾池機械製作所	兵庫県	姫路営業所	183
578	株式会社洋行	兵庫県	姫路営業所	184
579	大和美術印刷株式会社	兵庫県	姫路営業所	185
580	株式会社アコオ機工	兵庫県	姫路営業所	186
581	株式会社三洋工事	兵庫県	姫路営業所	187
582	永井産業株式会社	兵庫県	姫路営業所	188
583	播磨環境管理センター株式会社	兵庫県	東播営業所	189

中国・四国

				P.
584	円建創株式会社	島根県	松江営業所	190
585	鷹取醤油株式会社	岡山県	岡山営業所	191
586	鳴本石材株式会社	岡山県	倉敷営業所	192
587	有限会社井上開発工業	岡山県	倉敷営業所	193
588	津山商工会議所	岡山県	津山営業所	194
589	株式会社テック	広島県	三原営業所	195
590	株式会社福山パトロール	広島県	福山営業所	196
591	玉江石油有限会社	山口県	山口営業所	197
592	株式会社安全ガラス山口	山口県	山口営業所	198
593	琴崎産業株式会社	山口県	下関営業所	199
594	琴崎デリバリー株式会社	山口県	下関営業所	200
595	株式会社坂本鉄工所	山口県	下関営業所	201
596	株式会社理化	山口県	下関営業所	202
597	株式会社九内	山口県	徳山営業所	203

九州

				P.
598	株式会社バオラックス	福岡県	東京第三FA支社	204
599	株式会社ケーブルワン	佐賀県	佐賀営業支社	205
600	諫早商工会議所	長崎県	諫早営業所	206
601	大村商工会議所	長崎県	諫早営業所	207
602	島原商工会議所	長崎県	諫早営業所	208
603	有限会社杉谷本舗	長崎県	諫早営業所	209
604	有限会社青井運送	熊本県	八代営業所	210
605	大分サッシ株式会社	大分県	大分営業所	211
606	スパークジャパン株式会社	宮崎県	宮崎営業所	212
607	株式会社満留建設	鹿児島県	川薩営業所	213

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report

60th The Interview

社会福祉法人みんなの輪

理事長
吉武洋子 氏

「誰もが安心して暮らせる地域社会」をめざす

- 理　　事　　長　吉武洋子 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区燕沢
- 主な事業内容　障害福祉支援サービス業
- 従　業　員　数　115名

健康経営優良法人 2021認定
大規模
健康経営優良法人
2021（大規模法人部門）認定

障害のある利用者様とともに地域貢献

“人と自然を大切にする法人”として、職員、利用者様、そして地域を大切にしてきました。
障害のある利用者様が地域貢献活動を行うことが、当法人が目指す「障害のあるなしにかかわらず誰もが安心して暮らせる地域社会」に近づく一歩です。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を。

職員一人ひとりが安心して力を発揮できる状態でなければ、地域貢献や適切な障害者支援は実現しません。その為にも、職員やそのご家族が健康であることが欠かせません。継続した障害者支援や地域貢献を実践するためにも健康増進への取り組みが大切です。

利用者への健康の取り組みを職員にも

日々の業務の中で、利用者に対する健康管理は看護師が中心となって行っています。その中で培った利用者様への健康の取り組みを職員に対しても行うことができるのではと考えました。そもそも自分たちが健康でなければ、ご利用者様に対して説得力がなくなってしまうので、健康経営について教えていただいた事をきっかけに取り組み始めようと思いました。

意外と高かった職員の健康の関心度

従業員に対して「健康習慣アンケート」を実施したところ、「自分にとって健康は大切」と答えた職員が想像以上に多かったことが印象的でした。また、昨年実施した健康に関するセミナーについても、職員からは好評でした。現在は新型コロナウイルスの感染拡大により中断していますが、折を見てまた再開していきたいです。

働いていて幸せと思える職場をめざして

障害のある利用者とともに職員も健康になることができれば、仕事に対する充足感も増すと思います。当法人内には看護師や精神保健福祉士などの専門職がおりますので、協力しながら、健康経営を通した幸せな職場づくりを目指していきたいと思います。

健康経営優良法人認定書を進呈した様子

408

宮城県
仙台営業所

Voice Report 60th

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会

会長
森　正義 氏

社会福祉法人として職員の健康づくりに取り組む

■会　　長　森　正義 氏
■本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区幸町
■主な事業内容　障害福祉事業、宮城県指定管理施設の管理運営
■従 業 員 数　177名

健康経営優良法人 2021認定
大規模
健康経営優良法人
2021（大規模法人部門）認定

障がい当事者支援に最も大切な福祉人材

当法人の会員は、主に、市町村身体障害者福祉協会です。市町村協会は障がい当事者で構成されている団体です。団体はそれぞれの地域で活動しています。
また、福祉人材である職員は、社会福祉法人の一員として、社会福祉事業や公益事業により、地域共生社会の実現のために働いています。

施設経営等に不可欠な感染症対策と健康

地域活動のほか、当法人は３つの施設経営、２つの宮城県指定管理施設の管理運営、県委託事業及び５つの事業を行っています。
施設等には感染リスクの高い障がい者が利用しており、感染対策には力を入れています。
インフルエンザなどの感染症対策は徹底してきており、看護師や栄養士などの専門職を中心に、コロナ禍での感染対策と健康管理を行っています。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

職員に対して「健康習慣アンケート」フィードバックセミナーを実施したとき、職員から「健康経営の取り組みに安心した」「私も健康経営に関わりたい」などの前向きな意見がありました。
コロナ禍により、セミナーなどの取り組みを中断していますが、コロナが落ち着きましたら、さまざまな企画を進めていきたいと思います。

地域に対しても健康の取り組みを

今まで地域を巻き込んだお祭りやパラスポーツのイベントなどを行ってきましたが、健康経営の要素を組み込むことで、地域の方々の健康増進にも貢献できるものと考えております。

全国の障がい当事者団体にも健康経営を

障がい当事者団体は、各都道府県にあります。各団体を支える法人職員も健康で長く働くことにより、全国の障がい福祉や地域福祉を推進させることができると考えます。そのためにもしっかりと健康経営に取り組んでいく所存です。

福祉の業界でも関心の高い健康経営

409

長野県
北信営業所

Voice Report 60th

オリオン機械株式会社

代表取締役社長
太田哲郎 氏

「社員の幸福」を実現するために！

- 代表取締役社長　太田哲郎 氏
- 本 社 所 在 地　長野県須坂市大字幸高246
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　807名(男性:665名・女性:142名)

健康経営優良法人 2021認定
大規模
健康経営優良法人
2021(大規模法人部門)認定

健康経営に取り組むきっかけ

①弊社の経営理念に「社員の幸福」という言葉があります。健康経営の取り組みは経営理念の実践そのものと考えます。
②製造ラインでの急な病欠は工場全体の生産性を落としかねません。一人ひとりが心身ともに健康で100%の力を発揮できれば、生産性維持・向上に繋がると考えます。
③健康経営優良法人認定を受けている一流企業に早く追いつきたいと感じたこともきっかけの一つです。

具体的な取り組みを教えてください

①保健師による社員一人ひとりとの健康面談(年1回)を本社及び遠隔地の工場で実施。健康について対面で確認することは最も重要だと考えており、20年以上前からこだわりをもって継続しております。
②健康診断・再検査の受診勧奨を行っております。
③その他として、健保組合と協調した健康イベント実施(禁煙、減量、ウォーキング、ジョギング)、インフルエンザ予防接種の費用補助、禁煙成功者への奨励金制度　等を実施しております。

メンタル面での取り組み

①ストレスチェックの効果を上げるために、工場現場向けに紙ベースで配布し、回収率向上に努めています。
②メンタルヘルスセミナーを開催しています。
③カウンセラーによる相談日やよろず相談窓口を設け、社員が相談しやすい環境を整えています。

取り組みを通して気づいたこと

①他社と比べても遜色ない活動ができている部分については自信を深めることができました。
②一方、弱い部分も同時にわかるようになりました。例えば、女性特有の健康課題に対する取り組みが希薄だったため、早速セミナーを実施して知識の向上に努めました。今後も、新しい企画に取り組んでいきたいと考えております。
③社員の自覚をどのように促していくか、また周りのサポート体制がどうあるべきかを改めて考える機会にもなりました。

今後の展望

①健康をつくることは「幸せ」をつくることだと思っております。
この会社で働いている社員が「幸せ」だと思えるような環境をつくり、定年までの在職率を上げることを目標にしております。
②認定を受けた後の方が重要だと思っており、これからも認定企業としての責任を果たせるよう益々取り組んでいきます。

子宮頸がんセミナー(男性も参加)

410

長野県
松本営業所

Voice Report 60th

松本日産自動車株式会社

代表取締役会長
長澤一臣 氏

社員を第一に考えて、社員をとても大事にする

- 代表取締役会長　長澤一臣 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市高宮北3-6
- 主な事業内容　自動車の販売・修理
- 従　業　員　数　282名（男性：226名・女性：56名）

健康経営優良法人 2021認定
大規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続
（大規模法人部門）認定

企業理念「お客様の満足は社員の満足から」

社員とその家族の健康維持・増進を重要な経営課題の一つと捉えている長澤会長の思いが健康経営優良法人認定のきっかけでした。仕事に対する「やる気」こそが会社にとって何より大切であると信じ、社員が働きやすく満足できる職場環境を目指し毎年取り組みを見直し継続認定を受けています。

一歩先をいく「実践取組内容」

①全従業員が**毎朝ラジオ体操**を実施。
②**リフレッシュルームの設置**
ガラス張りで北アルプスの山々が望めるほか、ビリヤードや卓球、エアホッケー台を設置し社員が体を動かしたり社員同士の交流を深める空間で心身のリフレッシュにつなげています。
③**禁煙挑戦の日(スワンスワン運動)毎月22日**を全店で**一日禁煙デーを設け**禁煙を促しています。
④**自動販売機にカロリー表示し**、飲み物を意識することからも健康増進へ
⑤**個人に健康宣言(チャレンジカード)を配布**し、自分にあった自分の為の健康宣言をしてもらい、どれだけ健康について意識できたか否かを評価をしています。

従業員だけでなく、支えてくれる家族も大切に・・・

- **入社10年・20年・30年勤続者には節目の年に長期の休暇を取得のうえご家族で行って頂く国内・海外旅行の費用を会社で負担しています。**
- 感染症予防対策として、**インフルエンザ予防接種費用を従業員とその扶養家族を含め全額補助**するとともに、職場にて接種できる環境を整えています。
- 従業員とその家族の方に健康でいられるように、**人間ドックの受診費用も配偶者も含めて補助しています。**
- 社員の子育て支援として、個人別付与方式による**計画有給取得の推進しています。**

会社の未来予想図

【社員が健康で楽しく仕事をし、皆と夢を語り合い充実した未来を考えられる職場にしたい。その中で知恵を出し合い工夫し個人の成長に繋げていって欲しい】
それが長澤会長の目指している企業の未来予想図です。
その為には、これからも従業員が心身共に幸福であり仕事と会社に誇りを持ち、向上心に溢れ、活き活きと働ける会社づくりを目指していきます。

毎月22日は禁煙挑戦の日

個人健康宣言カード
表面

裏面

健康経営優良法人2021 インタビュー

Voice Report

60th The Interview

411

北海道
札幌FA支社

Voice Report 60th

株式会社北海道朝日航洋

代表取締役社長
大宮達也 氏

大切な「人財」が長く健康で働き続け、人財とともに成長する企業であるために・・・

- 代表取締役社長　大宮達也 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市西区
- 主な事業内容　測量業
- 従　業　員　数　69名(男性:39名・女性:30名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

法令遵守と働き方改革を意識する

私たちは法令遵守を第一とした事業活動を行っており、そのためには適切な働き方が重要と考え「働き方改革」を推進しています。企業の経営は「人」のうえに成り立ち、働く従業員が健康で幸せでなければ企業の安定した成長は望めません。そのためにも従業員が「身体」「心」「社会的」健康を保つことができ、人財とともに成長し続ける企業でありたいと考えています。

各健康の相談窓口はそれぞれの専門家

当社では３つの健康(「身体」「心」「社会的」健康)に関する情報提供を行っています。各健康については、産業医が月に1度来社し「身体」「心」の健康面談・職場環境に関する助言を行い、「社会的」健康は健康経営アドバイザーが相談を行っています。それぞれの専門家に相談することで、従業員が疾病の予防や悪化を防ぎ、健康状態が向上するよう目指しています。

健康経営アドバイザーとの出会いにより、健康経営のイメージが沸く

健康経営を導入しようと考えたものの、何から手をつけて良いかわからず、健康経営セミナーに参加しました。セミナーの中で「健康経営アドバイザー」の存在を知り、当社の担当となっていただきました。当社が現状取り組んでいる内容を生かした健康経営プランを提示いただき、この先実施していく健康経営をイメージすることができました。

健康経営は継続することで効果を発揮

昨年度は同じ志(ブライト500認定)をもつ法人様を健康経営アドバイザーより紹介いただき情報交換会を行いました。他社との交流により刺激を受け、さらに健康経営を前向きに取り組むことができました。今後は今実施していることを継続し、「実行→検証」を繰り返すことで健康経営活動の質の向上を図っていきます。

経営陣の思いを従業員に伝えるために

健康経営を導入するにあたっては、「経営陣の思いをいかに従業員に理解してもらうか」ということを考え、経営者、健康づくり担当者が中心となり社内の問題を検討し準備を行いました。まずは管理職・衛生委員会において導入経緯を伝える事、さらにより深く理解してもらえるよう全従業員を対象に健康経営アドバイザーによる説明会を実施しました。健康経営を始めてから、月４回のノー残業ＤＡＹ実施による残業時間削減やワークライフバランス推進、感染症対策への理解、禁煙率低下につながっています。従業員が健康で働くことの意味を理解し、活動に参加してくれるからこそ健康経営の取り組みが成り立ち、継続していくことができると考えております。

健康経営、働き方改革等に関する各種認定証

健康経営アドバイザーが健康経営の導入目的について説明を行いました。感染症対策のためリモートにて開催。

412

北海道
札幌FA支社

Voice Report 60th

株式会社トッキュウ

たくさんの人々に「まごころ」をお届けするためには、健康が第一

- 代表取締役会長　工藤修二 氏
- 本 社 所 在 地　北海道岩見沢市
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　269名(男性:251名・女性:18名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康経営が経営課題克服の一助になる

当社ではここ数年の経営課題として「働き手不足」「高齢化による従業員の体調不良」という２つの問題に直面していました。この問題を解決するために、人々が働きたくなるような職場環境作り、従業員の健康増進を行うために何か方法はないか。その答えを探している際に健康経営という存在を知り、導入していくことを決めました。

健康経営アドバイザーとの出会いから始まった健康経営

当社役員の担当をしているアクサ生命の営業の方が健康経営に精通していることを知り、詳しく話を聞くこととなりました。健康経営アドバイザーとしての活動をメインにされている営業の方だったため、これまでに健康経営を導入してきた他社様の事例を学びつつ、「健康経営の継続」をテーマとして当社に合った健康経営の実践プランを考えて頂きました。

社内全体の健康意識を高めるために、従業員のアイデアを取り入れた健康経営を実施

社内で健康経営を導入するにあたっては、「経営陣の思いをいかに従業員に理解してもらうか」ということを考えました。健康経営アドバイザーから導入経緯を従業員に説明してもらい、経営陣の思いを従業員に理解してもらいました。また、導入するにあたっての打ち合わせは役員代表、従業員代表、健康経営アドバイザーの三者で行い、従業員の意見を取り入れることで健康経営の参加意識向上を図りました。

大切な家族も参加できる健康経営の実践

当社では３つの健康(「身体」「心」「お金」の健康)に関する情報提供を全事業所で行っています。家族も参加できる料理教室・ヨガ教室など実際に身体を動かすイベントも開催している事業所もあります。イベントは新型コロナウイルスによって実施が難しくなりましたが、リモートなどを利用することで全事業所でイベントに参加ができるようになりました。また、提供する情報は従業員を支える家族にも届くようにと健康に関する配布物を給与明細とともに配布しています。

健康経営の質の向上を目指して

健康経営の導入から４年が経過し、年間を通した活動サイクルが固まってきました。健康経営に対する職員の意識も年々高まってきています。今後は実践している健康経営の「質の向上」を意識して取り組み、従業員、従業員を支える家族、そして当社を支えて頂いている地域のみなさんが健康になるような情報発信を行っていければと思います。

上写真:リフレッシュルーム
打ち合わせ場所兼休憩場所として利用。気分転換にエアロバイクやバランスボールなどを利用できます。
就業後はヨガ教室の開催に使用するなど用途が多岐に渡るスペースです。

松浦建設株式会社

代表取締役
松浦淳一 氏

健康経営の輪を拡げ、活力ある社会を作り出す

- 代 表 取 締 役　松浦淳一 氏
- 本 社 所 在 地　北海道岩見沢市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　17名(男性:15名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

元気に働くことができる職場を目指し

岩見沢商工会議所の会頭として健康経営の推進を行ってきましたが、長年苦楽を共にしてきた役員が病気退職したことがきっかけで、自社でも本格的に健康経営の取り組みを始めることにしました。健康経営は従業員が心身ともに健康になり、その結果、企業も活気あふれる職場となる素晴らしい取り組みであると考え導入しました。

健康経営アドバイザーとの出会いにより、健康経営のイメージが沸く

健康経営を導入しようと考えたものの、何から手をつけて良いかわからず、健康経営のセミナーに参加しました。すでに岩見沢市内で健康経営優良法人に認定されている企業様の発表の中で「健康経営アドバイザー」の存在を知りました。その後、健康経営アドバイザーの方を紹介いただき、二人三脚で健康経営を推進していくこととなりました。

経営陣の思いを従業員に伝えるために

社内で健康経営を導入するにあたっては、「経営陣の思いをいかに従業員に理解してもらうか」ということを考え準備を行いました。社長である私から当社が健康経営を導入する経緯を伝えることはもちろんのこと、当社担当の健康経営アドバイザーより従業員全員に個別面談を行い、健康経営の説明を行いました。個別に説明することで、健康経営の導入趣旨を従業員に理解してもらうことができました。

家庭内でも健康経営情報を共有

当社では３つの健康(「身体」「心」「お金」の健康)に関する情報提供をセミナー開催、配布物など様々な手法で毎月バランスよく行っています。提供する情報が従業員を支える家族にも届くようにと健康経営に関する配布物を給与明細に封入しています。健康経営が従業員を通して少しでも広がってほしいという願いから健康経営導入当初より封入しています。

同じ志をもつ仲間と切磋琢磨

昨年度は同じ志(ブライト500認定)をもつ法人様を健康経営アドバイザーより紹介いただき、情報交換会を行いました。他社との交流により刺激を受け、さらに前向きに健康経営を推進することができました。今後は、社内の健康経営推進はもちろんのこと、少しでも健康経営の輪が広がるような活動に取り組んでいきます。

給与明細に健康経営の配布物を封入

来訪者スペースに「健康経営情報スペース」を設置し、健康経営の輪を拡げています

414

青森県
八戸営業所

Voice Report 60th

合同会社西尾経営管理事務所

代表者
西尾和樹 氏

「本当にストレスのない労働環境」の実現を目指し実践した経営手法が「健康経営」でした

- 代　表　者　西尾和樹 氏
- 本 社 所 在 地　青森県八戸市
- 主な事業内容　経営管理コンサルタント業
- 従　業　員　数　3名(男性:1名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

私自身 ストレスフルな職場が好きではないんです。

「ウェルネスワークを通じて、誰もが輝くような穏かな人生をデザインできる社会」を目指し、2014年10月設立
デスクワーク中心の業務はどうしてもストレスフルになりがちですが、西尾代表自身、そうした職場は好きではないことから、設立当初から、月の労働時間120時間など、職場の環境整備に力を入れ続けてきたといいます。

ストレスレスな職場を目指して色々やりました。

運動器具、バランスボール、スタンディングデスク等々、職場環境整備のためにあらゆるものを取り入れたといいます。中でも、ひと際目を引くのが曲線型ワイドモニター。デスクワークの疲労軽減のため全員のデスクに設置したというところに西尾代表らしさが表れています。もうひとつ西尾代表らしさが光るのが血圧と体重の測定。計測そのものがストレスにならないように配慮し、出退勤の導線上に配置されています。

理想の職場環境＝健康経営でした。

職場環境の整備に加え、ガン検診の勧奨、運動の習慣づけなど、健康経営の取り組みに積極的な西尾代表ですが、自身の取り組みが「健康経営」そのものであることに気づいたのは比較的最近とのこと。体系的にわかりやすくまとめられた健康経営を取り入れたことで、自身のヴィジョンが急速に具現化し、一気に理想の職場環境に近づけることが出来、今では健康経営規定まで策定しているといいます。

明暗を分けているのは 働いている人たちの意見が反映されているかどうか。

興味深いのは、西尾代表が、子供のいる主婦の意見を取り入れていること。働いている人たちの意見を積極的に反映させたことで、皆の取り組む姿勢が大きく変わるのを実感したといいます。そうした意見から生まれた取り組みの代表例が、福利厚生の一環として導入している１品100円のいつでも社食サービス。皆の声が反映されたこのサービスに、従業員からも大満足の声が聞かれました。

ブライト500連続認定に向け。

最後に西尾代表に今後の展望について伺いました。
「理想の職場環境を実現する健康経営はすべての企業で取り組んで欲しいと思います。まずは自社の取り組みを成功させて、他社のモデルになるような企業に成長し、健康経営の拡大に寄与して参りたいと思います。」

デスクに設置されている曲線型ワイドモニター

415

福島県
会津若松営業所

会津土建株式会社

代表取締役副社長
菅家忠洋 氏

建設業を通じて会津の未来を創造する健康経営実践企業

- 取締役社長　菅家洋一 氏
- 本社所在地　福島県会津若松市追手町5-36
- 主な事業内容　総合建設業、飲食事業、不動産賃貸事業、高速道路 維持・メンテナンス会社経営 等
- 従業員数　70名

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021 ブライト500認定

Voice Report 60th

地元“会津”と共に歩み続けていくために

弊社は大正15年創業、地域で最も老舗のゼネコンです。「会津に根ざし、会津に貢献し、会津と共に成長する。」をモットーに、古き良き伝統と革新的な技術を融合させ、地元の歴史ある建築物や重要なインフラ整備に携わってまいりました。これからも社会に貢献できる存在であり続けるために、企業の財産である従業員の健康を増進し、元気に働いてもらいたいと切に願い、アクサ生命様のご助力をいただいて健康経営の取り組みをはじめました。

運動習慣の定着化による様々なメリット

体を動かす建設業には無縁のことと思われがちですが、仕事が多忙のため生活が不規則になり、健康診断で運動不足を指摘されてしまいました。そこで、福利厚生とWLBの一環として、フィットネスクラブの法人契約導入や、町のスポーツイベントへの積極的な参加など、運動習慣の定着化に努めました。その結果、健康増進やメンタルヘルスの向上、スポーツを通じたコミュニケーションの円滑化など、様々な面で相乗効果を上げることができました。

健康管理の徹底による労働災害の回避

５月から10月にかけて、労働災害の最重要課題として掲げられているのが熱中症です。特に会津は盆地ですので、夏場の暑さは全国でも指折りです。私達は、建設業の生産部門である現場担当者のリスクと負担を軽減すべく、熱中症対策に力を入れています。定期健診受診の徹底、空調服や冷感シャツの配布、全現場へのウォーターサーバー、送風機、遮光ネットの設置など、作業環境の改善を行っており、現場担当者からは熱中症のリスクと負担が減ったと喜びの声が上がっております。

「楽しみながら健康に」私たちの創意工夫

・２年に１度 全社員を対象にした社員旅行
（国内・海外を個々人が選択）
・社員間コミュニケーション向上のイベントを開催
（BBQ、花見、いかだ下り、ゴルフ、マラソン大会 etc.）
・感染症対策/過重労働対策
AI型顔識別自動検温システムの導入
全社員へマスク及び消毒液を常時配布
リモート会議、Web面接、３密回避の徹底

「企業は人なり」建設会社の健康ビジョン

『健』やかという字のごとく、『建』設会社で働く『人』は健康で心が満たされていなければなりません。社会から信頼される企業創りを心掛け、大切な資本である従業員を重きに置いた結果、職場の活気や気運が上がり、コミュニケーションが円滑となって、仕事の効率性や生産性が格段に向上しました。従業員ファーストの精神が功を奏し、離職が激しい建設業界において、新卒入社５年以内の定着率が90％と高い数字を誇っています。その若い人材が着実に育っており、建設会社として技術力が年々高まっていると実感しています。近年では、東北及び北陸地方整備局局長表彰、ICT活用工事成績優秀企業、福島県優良建設工事表彰など、名誉ある受賞をいただく運びとなりました。また、北陸地方整備局管内159社中、同率２位の工事評定点を収めることができました。これからも健康経営に真摯に取り組み、企業の価値を創造し、会津土建の更なる成長を実現してまいります。

鶴ヶ城ハーフマラソンに参加した若手社員一同

ワタレイ株式会社

代表取締役社長
渡邊嘉一 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　渡邊嘉一 氏
- 本 社 所 在 地　栃木県栃木市皆川城内町
- 主な事業内容　冷凍空調設備業
- 従　業　員　数　21名(男性17名、女性4名)

健康経営担当者
渡邊由起子 氏

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

会社の業績は、心、やる気が一番重要、そしてそれは社員の健康状態で決まる。

弊社は、365日24時間体制でお客様サポートをしております。その中で頑張って働いてくれる社員に対して経営者としてより良い環境の中で仕事をしていただくべく様々な環境を整えることが責務と考えました。
また会社の業績は、心、やる気が一番重要である。そしてそれは社員の健康状態で決まるとの思いで「健康経営」に取り組みました。

社員一人一人が元気に出勤しています

2021年度は「健康を自分の責任において守る」と掲げ社員個人が行動指針を決め、達成度を3か月ごとに提出し、目標に向かって実施していることで健康意識が向上したこともあり、みんな毎日元気に出勤しています。
会社全体の雰囲気が明るくなっています。
健康診断受診後の保険指導も前向きに捉えて指導を受けるようになり、健康が維持されてきています。

健康増進に係る研修・「社員掲示板」の共有

健康づくり担当者と相談し健康増進に係る研修を年1回開催しています。アクサ生命担当者さんにこの研修として健康経営セミナー・資産形成セミナーなどをお願いしました。
健康に関しての情報などは「社員掲示板」に掲示し共有しています。アクサ生命さんの健康経営ワンポイントは全体会議時に配布しています。
全ては行動変容の第一歩と考えています。

今後の展望・・・心からの幸せづくり

会社の経営理念の一つである「心からの幸せづくり」
～幸せは心の満ち足りた状態で、健康でその時その場を精一杯生き、前途に洋々たる希望をもって生きていることを喜び、生かされていることを感謝する気持ちを持ち続けている状態。純情で明るい心が人を幸せに導く～
「心からの幸せづくり」実現のために今後も健康経営に取り組んでいきたいと思います。

働き方改革実現に向けて「水曜日はノー残業デー」としました

社員の健康を考えた時に適切な働き方改革の実現も急務であると考え「水曜日はノー残業デー」と制定しました。
ポスターを中央廊下へ掲示し、向上委員会がオリジナルチェックシートを活用し、個々人に帰宅を推奨しています。
これによって社員のコミュニケーションもUPし、業務にも良い影響となり業績向上へと繋がっています。

セミナー風景

朝のラジオ体操

国際建設株式会社

代表取締役社長
佐々木幸一 氏

お客様から選ばれ続ける建設会社を目指して！

- 代表取締役社長　佐々木幸一 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市塩部4-15-5
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　46名(男性:40名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

会社の方針と健康経営

当社は産業、生活、国土保全の各基盤整備等のニーズにお応えすべく「安全に・より良く・より早く」の方針で取り組んでいます。業務は工事・営業・総務の各部門の社員が使命感を持ち、力を合わせて成り立っています。さらに創業以来、皆様から安心され、社員と家族が充実した人生を送ることが出来るよう、明快な会計を実施しています。健康経営優良認定は取り組み2年で今般、経産省HPに全国代表として紹介されました。

定期健診とその後のフォローはより丁寧に

定期健診後の再検査・精密検査についてはより丁寧に受診勧奨しています。対象者には衛生管理者である担当役員から個別にメールと文書で伝え、内容によっては産業医から直接本人に話すなど受診を促しています。これらの受診は会社負担で出勤扱いとしています。また治療を継続している従業員には状況を報告してもらっています。こうした取り組みにより再検査・精密検査の受診率は定期健診同様、100%となっています。

健康情報の共有に注力

従業員の健康意識を高めるために情報の共有とセミナー等の機会を設けることに注力しています。健康情報を盛り込んだ社内報は毎月発行し、安全衛生委員会の資料も毎回全員にメール配信しています。
また昨年はアクサ生命にも協力してもらい、健康経営セミナーを開催しました。生活習慣アンケートの結果を基に、これから目指すべき健康経営や高血圧予防となる塩分コントロール、禁煙などの知識を共有しました。

高まりつつある健康意識

依然喫煙者はおりますが、世界禁煙デー(5月31日)の前後1週間は敷地内全面禁煙にし、灰皿も撤去しました。またコロナ感染症対策は万全におこなっています。作業員が100人以上となる現場もあり、1人でも感染したらたいへんなことになりますので気が抜けません。「健康観察記録簿」記入も継続しています。こうした取り組みによって社内の健康意識は着実に高まりつつあります。

今後の展望

建設業界全体に言えることですが、今後の課題は長時間労働への対策です。残業時間をリアルで把握したうえで勤怠管理をおこなっていきたいと考えています。今般、総務担当役員が「健康経営エキスパートアドバイザー」資格を取得しました。今後はより専門的な知識に基づき、従業員の健康増進に取り組んでいきます。そして彼らにはもっともっと有意義な人生を送ってほしいと思っています。

本社外観

県の優良認定も取得

経産省HPに掲載

地域での清掃活動

アクサ健康セミナー

ルピナ中部工業株式会社

代表取締役社長
柳沢健一 氏

「よく遊び、よく遊べ」ありがとうを貰おう

- 代表取締役社長　柳沢健一 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市宮渕2-2-31
- 主な事業内容　特定建設業
- 従　業　員　数　31名(男性:24名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2018～2021 4年連続認定

社是「よく遊び・よく遊べ」の実現へ

我が社の社是は、『よく遊び・よく遊べ』。
人が一番楽しく、集中して意欲的になれる…『遊び！』、真剣に遊ぶ時と同じように、目一杯真剣に仕事ができることが我が社の企業理念です。
そしてすべての働く人たちが健康第一+安全第一で成長しながら仕事に取り組める充実した環境をつくっていきます。
20・30歳代が経営をし、40・50歳代が彼らをサポートし60歳を過ぎたら会社を楽しめる組織を目指しています。

健康経営責任者は社長！

弊社のように30人規模の会社の場合、社内で健康推進係は必要だが、部署や担当者にまかせて運営するのではなく、最終責任者は社長が担当する。
30人の部署であれば実践責任者は部長！
やり始めたら社員と根くらべ、3年は絶対やり続ける。
取り組む姿勢→常態化→企業風土へと変えていく。
社内に根づくまでが勝負です、根気よく続けましょう。
当たり前にできる雰囲気がでてきたら、goodですね！

ルピナ中部工業の健康経営実践

①松本市歩こう運動への参加
②ACEプロジェクト地域における運動定着研修会
③長野県委託認定事業　健康プログラムへの参加
④健康プログラムの実践　年12回(2018年より実践中)
⑤毎朝のストレッチとラジオ体操
⑥協会けんぽ様による禁煙指導プログラム
⑦スロトレプロジェクト参加<東京大学×ヘルスグリッド>
(2020～2022年参加予定)
⑧1015motion開始:10時+15時に各自ストレッチ(2021年4月より実践中)

健康プログラムを実践した効果

2021年４月から実践中の1015motionについて、社員からは下記のような声が寄せられています。
・仕事のブレイクタイムが出来て、いい気分転換になっている。
・アラーム通知のおかげで三日坊主にならずに、続けている
・毎日５分×２回のストレッチで、体がやわらかくなってきた。
・腰痛をかばってなかなか運動できなかったが、これなら自分のペースでできるからいい。
今後も継続することで、どんな効果があるか楽しみです。

『ありがとう！』を貰おう・・・目指すもの

“水”というライフラインを取り扱う業務に携わっている責任を自覚し、想像力と人間力豊かな社員を育てていきたい。
そして自分たちで考え、学び、変化・成長し続けられる企業風土を醸成していきたいと考えています。
あたりまえのことを、しっかり続けることで「ありがとう！」をもらえる会社になるはずです。同時に「ありがとう！」をきちんと言うことのできる会社であり、社員でありたい。
水廻りのことで困ったことがあったら「ルピナに連絡しよう！」と頼られ、困りごとにすぐ駆けつけられる社員がいる会社を目指しています。

2021年４月３日
アルプス公園でウォーキングプログラムを実施

エバー株式会社

代表取締役社長
吉田幸隆 氏

創造・追及・安心の理念のもと、社員が誇る成長企業へ！

- 代表取締役社長　吉田幸隆 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県常滑市
- 主な事業内容　金属加工・プレス・金型製造
- 従　業　員　数　109名（男性：84名・女性：25名）

健康経営優良法人 2021認定
プライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

社員の声にアンテナを立てる

今年度やってよかったと思う取り組みに、出荷作業者の腰痛対策があります。出荷作業では日常的に重い荷物を運ぶため、現場従業員の意見に耳を傾け、腰を保護し負担を軽減してくれるサポートスーツを導入しました。当社では従業員の声を拾えるよう、経営計画や研修計画において定期的な面談の実施を明示し、注意深くアンテナを立てるようにしております。面談でのヒアリングの際、はじめは恥ずかしかったり遠慮をして思っていることが中々言えない従業員もおりましたが、全従業員を対象に何回も実施する毎に、だんだん意見が出てくるようになりました。

女性従業員が安心して働く

当社は「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」の認証を受けており、女性が安心して働ける環境づくりにも注力してきました。以前より社内に女性相談窓口を設置しておりましたが、女性従業員が製造技術現場に配属されることになったことがきっかけで見直しを行いました。例えば、肉体労働の際に女性従業員を気遣ったつもりで、「見ていてくれればいいよ」と言ってしまうと疎外感を感じてしまう可能性もあります。そのようなことから不安や悩みを抱えてしまった際には相談窓口担当者が適切な対応をできるよう、研修をしっかりと実施しスキルアップを図りました。

社員による禁煙応援の寄せ書き

健康経営の社外への発信

社外へ向けた発信には社長自ら取り組んでおります。地域企業に対しては商工会議所などを通して自社の取り組みを紹介し、健康経営の普及促進活動を行っております。
また近年では、毎年高校生や中学生への職場体験の受け入れを実施したり、地元の大学生への会社・職業紹介を行っています。これらを通して、将来就職する学生たちにも健康経営の取り組みを理解してもらうと同時に、地域にも頑張っている会社があることを知ってほしいと思っております。

今後の展望 ーEver Vision 2030ー

「2030年に向けてどのような会社にしていきたいか」という問いを従業員一人ひとりに質問し、『Ever Vision 2030』を作成しました。2030年に向けてモノづくりを支援する会社として更に発展していくために、「挑戦できる」「実現できる」「仲間と協力できる」「安心できる」「地域に貢献できる」の５つを重要項目として掲げております。また当社には多国籍の従業員も在籍しており、雇用形態も様々です。国籍や文化の違いを超えて多様性を認め合い、すべての従業員が長く健康で働けるよう、そして社員が誇る成長企業となるために、今後も健康経営に取り組んでいきたいです。

420

京都府
京都営業所

Voice Report 60th

株式会社サンフレッシュ

代表取締役社長
辰見孝則 氏

【衣食住】真ん中の【食】から、健康で豊かな生活を社員と共に！

- 代表取締役社長　辰見孝則 氏
- 本 社 所 在 地　京都府京田辺市河原御影30-8
- 主な事業内容　スーパーマーケット（生鮮・加工食品を販売）
- 従　業　員　数　265名（男性：212名・女性：53名）

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

お客様のお役に立てる従業員教育と健康経営

京都南部に展開する食品スーパーとして1967年創業以来、【衣食住】の真ん中にある【食】を通じて、地域の皆様に、より安心安全で豊かな生活のお役に立てるよう努めてきました。
お客様に気持ちよく買い物をしていただけるよう従業員教育に力を注いでまいりましたが、そこに従業員の健康が重要な要素となることに気づき健康経営を取り入れました。
お陰様で2019年から３年連続で健康経営優良法人の認定を取得でき、さらに今年はブライト500に選定いただきました。

健康習慣アンケートから課題を特定

アクサ生命の健康習慣アンケートの結果から、「飲み物」と「運動」を課題と特定し、その取組みをおこなっています。
毎月提供する健康情報を通して「飲み物」と「運動」への意識付けを高めるようにし、会社の支援策も設けました。
自社の社業を生かしてのトクホ飲料の社員割引は、毎日飲むものなので社員からは好評を得ております。
運動不足に対しては、徒歩や自転車での通勤を奨励しています。自転車通勤を希望する者には、自転車を支給する施策を設けています。

生命保険を使った福利厚生プラン

健康作りをおこなっていても不測の災いがやってくることもあります。事実直近1年間においては従業員の急逝とがん入院に直面いたし、予防だけでなく事後対策の必要性を感じます。
当社では、もしもの病気や事故の時に、よりよい治療が受けられ、経済的にも安心して治療に専念でき、会社を辞めることなく職場復帰を目指してもらえるようにと、生命保険を使った福利厚生プランを設けています。
そして、従業員への思いと当プランの存在と利用価値を伝えたく、従業員とその家族にレターを出しました。

職場環境の改善

健康で長く働き続けられるように、従業員ひとり一人が意識して、職場環境の改善に主体的に取組める会社を目指しています。
社員だけではなく、パートやアルバイトさんも含めた会社全体で健康経営に取組み、働きやすい職場環境を作ります。

従業員の健康がお客様サービスに

健康経営を取組み始めてから、従業員に笑顔が増えたように感じます。健康を意識し健康が増進すれば、職場（売り場）の整理整頓が進み職場の雰囲気も明るくなってきます。
高齢化が進む中、ご年配のお客様へのお声掛けや、明るい雰囲気の売り場作りに心掛け、コミュニティーの場としても地域に貢献していきたいと思います。
コロナ禍でお客様との距離はとらねばなりませんが、笑顔を増やすことで、心の距離を一層近づけていきたいと思います。

421

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

シー・システム株式会社

代表取締役社長
森下康夫 氏

「会社ありきではなく、社員ありきの会社であるために」

- 代表取締役社長　森下康夫 氏
- 本 社 所 在 地　大阪市北区梅田2-5-6
- 主な事業内容　ソフトウェアの総合開発
- 従　業　員　数　27名(男性:24名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
5年連続認定

ソフト開発業界を変えたい！その想いから健康経営に取り組む必要を感じました

『ソフト開発業界の現場は皆ブラック企業』と言われていた1980年頃、弊社の創業者はしっかりしたモノ作りに取り組みたいと創業を決意しました。まずは自社からと、今でいう働き方改革に取り組み、2014年頃に健康経営を知り、取り組みを始めました。
健康経営優良法人認定には最初に認定された大阪６社の中に入ることが出来ました。他の企業様にも健康経営がどんどん広がるといいなと考えています。

健康経営の取り組みで大阪府から講演も

当たり前のことをきちんとしているだけ、と思ってしていましたが、連続５回認定、今年ブライト500を取ることが出来ました。
結果、大阪府から健康経営についてのセミナー依頼も来ております。
これから健康経営を始める企業さん、今取り組まれておられる企業さんへノウハウの発信もしていけたらと考えています。

本当にあった『求人情報にすごく活用できた!!』

ソフト開発会社ですので、ストレスチェックソフトを自社開発しまして、従来57項目だったものを80項目まで増やしました。
コロナもあり、在宅勤務をする社員も増え、メンタル部分のケアも必要だと感じたからです。
求人情報の中にこういった『ウチの会社はこんなことしてます、健康経営優良法人認定も受けています』と書いたところ、１人の求人枠になんと130人の応募がありました。求職者も健康経営を知っている方が増えてきたのですね。

今後の展望

メンタルヘルス対策として、集合研修が難しい今、好きな時間に好きな場所で学習してもらえるように、保健師さんに監修いただいたＥラーニング動画コンテンツ小テスト付を作ろうと思っています。
もうひとつ、企業存続のためにBCP対策を始めようと考えています。何かあった時に会社の大切な財産である社員をどう守れるか、企業として考えておかねばなりません。
健康経営は会社ありきではなく、社員ありきの会社を作っていく、社員のためにできることはどんどんしていきたいと考えています。

全員のコミュニケーションの機会が…

コロナ前は毎月一回全体集会をしておりまして、夜に会議室に会社負担で色々な料理やお酒も用意して、社員全員でわいわいと意見交換をしていたのですが、コロナのためにこれが出来なくなってしまいました。
当社の業務上、単独で作業することも多いので、社員同士のコミュニケーション、また経営層と社員のコミュニケーションの場としてはいい取り組みだったと思っております。
この会議を楽しみにしていた社員も多く、コロナが落ち着いたら再開を予定していますが、それまではオンラインでのランチ会に振り替えて開催しています。

422

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

高槻化成株式会社

代表取締役社長
古座岩雅治 氏

「幸せとやりがいを満喫できる会社を創るために！」

- 代表取締役社長　古座岩雅治 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府高槻市東上牧1-1-3
- 主な事業内容　樹脂・ゴムを原料とした自動車部品製造
- 従　業　員　数　57名(男性:43名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

様々な場面で健康経営という言葉を聞きました

取り組みのきっかけは、経営者向けの外部研修や高槻商工会議所、健保協会のセミナー等で繰り返し健康経営の話を聞き興味を持ちました。当時、弊社が抱えていた悩みとして、人材の確保・会社情報の発信ツールの不足という問題がありました。健康経営の取り組みを続けると社員の豊かな人生を築き、会社の生産性を挙げることが出来るということで、その上経産省からの顕彰制度まであります。まさに弊社が求めていたことです。これは早速取り組もうと考え、2019年から取り組みを続けています。

喫煙率の低下に向けた取り組み

まず注力した取り組みが喫煙率の低下です。受動喫煙防止のために分煙には以前から取り組んでいました。禁煙に向かっての取り組みを個人では難しいと思うので、仲間と一緒にみんなで頑張ろうという気持ちを共有することに徹しています。
今まで喫煙していた時間で、禁煙を目指している従業員同士が集まってスポーツを行っています。その輪は徐々に広がっていき、運動機会の創出にも繋がって良いサイクルとなっています。

従業員のためになる取り組みを…

社員自ら主体的に健康経営の取り組みを続けてもらいたいので、社員本位の取り組みをしないといけないと思っています。社長自ら面談をして個人の意見を聞く時間を設けたり、健康経営会議に若手の社員にも参加してもらって意見を出してもらっています。意見交換する中で、マスクをしながら製造ラインで働くと熱中症になってしまうという話が出てきました。弊社としてマウスガードを全員に配って安心して働ける環境づくりに努めています。他にもコロナの状況が続く中で密を避けられるようにしたいという要望が出てきたので、食堂の利用を2部制にし、レイアウトも変えて環境を整えました。

健康経営活動の社内外への発信を強化！

健康経営の活動を社内外へと発信していくことは、優良法人認定を受けた企業の使命です。弊社としても、自社を表現していくためにも積極的に発信の活動を行っていきたいと考えています。最近では健保協会の講演会で健康経営の取り組みについて話をする機会をいただいたり、YouTubeで大阪府から取り組みについてインタビューを受けました。
弊社の取り組みが社外へと公表されている事を社員に感じ取ってもらいワークエンゲージメントの向上になればと思います。

社員の幸せを第一に、顧客・地域社会に愛される会社へ

より社員のためになる健康経営の取り組みへと進化させていきたいと考えています。そのためには取り組みに対しての効果検証が必要です。経営者、社員双方が密に連携し、共に明るく楽しい人生を送っていけるように取り組みを継続していきます。定年まで全員が安心して働き続けられる会社を目指します。

インディアカというスポーツをみんなで楽しんでいます！

食堂の様子

株式会社ソリューション

代表取締役
長友威一郎 氏

「誇りが明日をひらく」という考え方のもと、この会社で働くこと・この仕事をしていることに誇りを持ってほしい

- 代表取締役　長友威一郎 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区淡路町4-7-5 本町ハイエストビル６階
- 主な事業内容　コンサルティング業
- 従業員数　17名

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 ３年連続認定
2021 ブライト500認定

企業理念の「誇りが明日をひらく」の考え方をもとに、働きやすい職場環境をつくることを目指した

我が社は15年目を迎えておりますが、私が代表となって4年が経過いたしました。就任当初から経営理念である「誇りが明日をひらく」という考え方のもと、この会社で働くこと・この仕事をしていることに誇りを持ってほしいと感じていました。創業当時から新卒採用を継続している中で、新卒入社の社員が結婚・出産・現場復帰などのタイミングを迎えるたび、より働きやすい環境をつくっていきたいという想いがありました。

健康経営の取り組むきっかけは社員の提案から

日頃、当社の社員は日々の業務の中、様々な情報に触れ、事業や会社に役立ちそうな情報があれば社員発信で社内提案をするという風土がありました。これは社長の指示のもとではなく、社員自らが会社のことを考え、自然発生的に慣習化されたと記憶しています。
今回の「健康経営」も社員からの情報提供がきっかけでした。その後取引先などからもアドバイスなどを頂きながら取り組みを開始しました。

健康経営に取り組むことで働きやすい基準を設け、ライフスタイルに応じたルール作りもできた

・宿泊を伴う業務翌日は、午前有給休暇の取得勧奨
・プライベートライフの充実（会社カレンダー連休取得）
・未就学児童を持つ従業員の有給休暇の取得推進
・児童を持つ従業員の時短勤務制度やテレワークによるワークライフバランスの確保

●コロナ禍以降の取り組み
・従業員(同居家族・別居保護者分含む)へ、マスクとアルコール消毒液および抗体検査キットの配布
・全事業所へアルコール消毒液による消毒の徹底と次亜塩素酸空気清浄機の整備

社員自身が健康への意識が高まり、健康をテーマに社内のコミュニケーションも活発に

社員一人ひとり、食生活の改善・運動する機会が増えていると感じます。そして、家族と過ごす時間の確保や実家へ連絡を取るといった家族を大切にする行動にも変化がありました。健康診断の受診後に各自のダイエット計画の共有や健康のための具体的な取り組みなどのコミュニケーション量も増えましたし、社員旅行では「しまなみ海道サイクリング」などの健康を意識したイベントも実施しました。

今後の展望

この健康経営優良法人の認定取得を通じて、社員が自分の人生や健康に対する関心をより高めていってほしいなと思います。その上で、この会社で何のために働くのかといった「働く目的の多様化」を組織が承認し、前向きに応援できるような組織を作り上げていきたいと考えています。一人ひとりが働いている会社や自分自身の人生に誇りを持ち、家族や友人たちに堂々と自慢できる会社にしていくため、今後も取り組み続けていきます。

会社入り口　受付カウンターの様子

エコックス株式会社

代表取締役
荒牧英男 氏

「人と自然に優しいもの作り」「情報は美しい星を創造する」をモットーに健康経営に取り組む

- 代 表 取 締 役　荒牧英男 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市中央区海岸通
- 主な事業内容　衣料品企画・製造・卸
- 従　業　員　数　5名

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021 ブライト500認定

神戸の街を歩いて健康に！

従来より健康に対して造詣が深いと自負しており、**“100歳まで元気に歩くこと“**のために、「歩くこと」をテーマに一般外部向けにセミナーを毎週定期的に実施しています。
そんな折、他人に勧めるのも大事ですが、自分たちが健康でないと説得力に欠けると考え、アクサ生命から健康経営推進の話しを聞いて、まず自分たちが取り組むことで一般向けセミナーに説得力が増すと思い健康経営を推し進めていく必要性を感じています。

セミナー実施回数は週2回！

これまで、「歩くこと」の一般向けセミナーはカルチャースクールのコースとして登録していただき、百貨店等のイベントスペースで１回20～30人に集まっていただき、毎週２回欠かさずに実施しています。
兵庫県内の各地域で実施し、参加者の反響も大きく、１度だけでなく、何度も参加してくれるお客様も増えてきました。この啓蒙活動は今後も続けていこうと思います。
そして、取扱商品に歩くためのパンツ開発があり、実際にそのパンツを使用している方が参加してくれることでより納得性の高いセミナーになっています。

恵まれた環境！

一般向けセミナーを実施するだけでなく、外部講師を招いて社内向けセミナーも積極的に開催しています。
社内向けには、「歩くこと」に対する啓蒙であったり、簡単なストレッチ体操であったりと、多種多様なセミナーを開催し、従業員から好評を得ています。
また、従業員の家族が農業に携わっていることから、旬な有機農法野菜を多く差し入れてくれるので、従業員を含めて全員が食生活についても大変恵まれた環境にあると思います。

社内コミュニケーションは大事！

社内コミュニケーションは非常に重要なことと思っており、普段より会話を重要視し、ことあるごとに声をかけることを実践しています。
また、事務所のテラスでの茶話会や食事会をことあるごとに何度も開催し、軽食をとりながら和気藹藹とした会話を楽しみながら、従業員間のコミュニケーションの促進を図っていて、大変風通しの良い職場と自負しています。

今後の展望

現状は有給休暇の取得率も高く、遠慮なく休める体制は整っています。今後、更に、リフレッシュ休暇取得促進を図っていきたいと思います。
ただ、従業員のストレスについては不安視しており、今後は従業員のストレスチェックを実施し、必要な措置を講じていく予定です。アクサ生命からこのストレスチェックのサービスが提供されるとのことですので、今後活用することで、今まで以上に従業員が働きやすい会社にしていきたいと思います。
今回、初めて優良法人認定の申請をして“ブライト500”の認定を取得することが出来ました。これもひとえに、これまでの会社施策の評価を受けてのことと思います。今後も各種施策・セミナーを継続することで一般の方からも社員からも選ばれる会社にしていきたいと思います。

セミナー風景

425

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 60th

兵神装備株式会社

代表取締役社長
市田邦洋 氏

モーノポンプ一筋に半世紀
多くの産業分野で流体移送のさまざまな課題を解決

- 代表取締役社長　市田邦洋 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市兵庫区御崎本町
- 主な事業内容　産業用ポンプの製造・販売
- 従　業　員　数　439名

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定
2021 ブライト500認定

健康への取り組みはみんなの創意で始まる！

働き方改革の一環で、経営方針として健康についての活動を進めていたところ、協会けんぽからも健康経営についての紹介があり、本格的な取り組みが始まりました。始めに健康のための施策を社内募集したところ、非常に多くの提案がありました。その一つが「バイバイスモーキング」と称した禁煙推進活動です。禁煙に成功した社員にはタバコの葉にちなんで「リーフパイ」を進呈し、社員家族からも好評です。意識調査や健康アンケートも定期的に行い、様々な施策に活かしています。

体力づくりや職場環境の整備も推進

健康に仕事を続けていくためには、体力の維持・向上も欠かせません。体力測定会を開催し、専属トレーナーからのアドバイスを受けたり、コロナ禍においては、簡単なストレッチ等を各自が自由な時間に行えるよう、ワンポイント動画を社内配信しています。野球、サッカー、ゴルフ、登山、ヨガなどの社内サークル活動も活発です。また、安全で快適に仕事ができるよう、オフィスでは昇降式デスクを導入したり、製造現場でも、作業の自動化や地下水を活用した空調を完備するなど、社内環境の整備にも力を入れています。

予防接種施策を推進！“風しん”の抗体検査も

社内での流行防止のため、会社負担で毎年全社員にインフルエンザワクチンの予防接種を勧めています。あわせて各職場で湿度や換気能力を調査し、機器の更新を行うなど、感染拡大予防にも努めています。さらに2019年からは“風しん”の抗体検査を行い、抗体が不十分な場合には会社負担で予防接種を実施しています。当社では2013年から風しんワクチン接種の推奨と補助を行っていましたが、職場での流行によるBCPの観点や、妊娠の可能性のある女性社員や社員家族の感染予防のため、より積極的な対策を実施したものです。

疾病の予防・早期発見のため、健康診断を充実

40歳以上の社員は、定期健康診断に替えて人間ドックを受診しています。中でも胃がん検診は、各拠点に勤務する社員が、医療機関を問わず統一した検査を受診できるよう、全受診者に胃カメラ検査を会社負担で実施するようにしました。また、全社員が健康診断受診後、産業医や保健師との面談指導を受け、再検査や治療が必要な場合には紹介状を作成して受診勧奨を行っています。また健康診断・人間ドック以外に、社内での歯科検診も取り組みをはじめています。

働き方改革、今後の展望

有給休暇取得推進のため、休暇にはさまれた勤務日を「有休奨励日」に設定しています。長期休暇が取りやすくなったと好評です。また、働き方改革の一つとして、朝７時から10時までの間で出勤時間を30分単位で変更できる「就業時間選択制度」（時差出勤）を導入しています。個人の事情やライフスタイルに合わせて１日単位で勤務時間を変更でき、年代や職種を問わず、多くの社員が活用しています。今後も、健康経営施策や働き方改革を通じて、社員が働きがいと仕事への高い手応えを感じられる会社づくりを推進します。

ヘイシン モーノポンプ®

研究開発製造拠点　滋賀事業所

426

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 60th

日本薬品開発株式会社

代表取締役社長
深田秀樹 氏

企業理念！私たちは、みなさまの健康と幸せな暮らしを実現します。

- 代表取締役社長　深田秀樹 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県伊丹市北伊丹
- 主な事業内容　健康食品・医薬部外品の製造販売
- 従　業　員　数　116名(男性:81名・女性:35名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定
2021 ブライト500認定

(兵庫県伊丹市で唯一) https://www.jpd.gr.jp

自然体の健康施策で優良法人認定取得！

会社の企業理念が“私たちはみなさまの健康と幸せな暮らしを実現します”であることから、常日頃から従業員の健康に対する意識を向上させてきました。そして、４年前、健康経営優良法人認定取得を推進するために、協会けんぽに相談したところ健康宣言から始めることを知り、すぐに宣言を行い、その年の優良法人認定申請をいたしました。その結果、認定を取得することができ、改めてこれまでの会社施策は正しかったと認識いたしました。

当然と思っていた健康施策！

従業員の健康診断については、受診までに丁寧なサポートを行うことで受診率は100%、未受診者は皆無となっています。更に、有所見者については再検査や保健指導を受けるように社内連絡を徹底しており、結果として、従業員の健康管理(早期発見・早期治療)にもつながっています。
また、感染症対策として、３年前から冬季前に、従業員全員にマスクを配布し、同時に昨今のコロナ禍でも実施されている感染症防止対策(手洗い・うがい、アルコール手指消毒、マスク着用)を、コロナ禍以前より徹底して推進していることから、おかげ様で感染症による病欠者はほぼ皆無です。
運動面では、全事業所で毎朝礼時にラジオ体操又はストレッチ体操を行っており、健康管理士でもある担当常務取締役は、毎朝6:30から自宅地域でのラジオ体操にも参加しており、健康食品製造販売の会社として、積極的に健康増進を実践しておられます。

今後の展望

今後の課題は喫煙者の減少です。現在会社全体の喫煙率は27%となっているのですが、まだまだ下げられると思っています。現状は、全事業所での屋内全面禁煙等の受動喫煙対策が先行しています。今後は、喫煙者のガンリスクの低下等健康増進の為に、禁煙に関する研修や啓蒙を定期的に行っていきたいと考えております。

産業医も驚く安全衛生委員会！

労働安全衛生の観点から、大分工場では毎月安全衛生委員会を開催しています。その議題の中で、有給休暇の取得状況や、労働時間・残業時間の管理・提言のための現状分析・前年比較等も毎回開示されていて、ワークライフバランスの徹底としての労働時間や残業時間の抑制が目に見えて表れてきています。産業医の先生から安全衛生委員会で「そこまで徹底されていることは驚嘆した」との感想も頂いているほど委員会が充実しています。

様々な研修実施！

定期的に“営業研修”という集合研修を実施しています。研修テーマは商品知識だけにとどまらず健康に関する広いジャンルで、意識改革に役立っています。
直近ではひょうご仕事と生活センターから推薦された「ハラスメント」研修を実施し、研修後の無記名式アンケートから様々な課題が提言され、課題が明確になったことで今後の施策に反映させていきたいと思っています。副次的な効果として、風通しの良い職場であることから、従業員アンケートにも率直な意見を多く記入してもらっております。結果的にはフラットな社内の雰囲気が、従業員の離職率の低下につながっていると思います。
こういった健康経営に関する活動について、担当課長は社内だけでなく社外にも積極的にアピール発信されています。

朝礼前の和やかな事務所風景

担当の常務取締役(右)と担当課長(左)
ブライト500認定証を前に！

コンケングループ 株式会社コンケン・藤クリーン株式会社

代表取締役会長
近藤　義 氏

優良法人認定は通過点！目指しているのは「従業員とその家族の幸せ」

- 代表取締役会長　近藤　義 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県岡山市南区浦安本町133-2
- 主な事業内容　総合建築物解体工事業、産業廃棄物処理業
- 従　業　員　数　117名（男性：103名・女性：14名）

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続
ブライト500認定

「家族も幸せになれる会社」の実現を目指して！

コンケングループは、建築物解体から産業廃棄物中間処理、最終処分まで一貫した取り組みを行っている企業グループです。2007年の「暴力追放宣言」に始まり、2018年からSDGsの活動に取り組み、単なる解体屋・産廃屋とは違う環境価値創造企業を目指しています。さらに、2020年・21年度は、健康経営優良法人を２年連続で取得しました。
様々な取り組みを実施していますが、「従業員とその家族が幸せになれる会社」の実現が一番の目的です。

コロナ対策を厳重に行ったうえで、健康イベントを開催しました

昨今のコロナ禍の影響によって、例年行われている様々な社内イベントの開催ができませんでした。しかし、従業員の健康増進はもちろん、コミュニケーションの促進を図りたい思いもあり、コロナ対策を厳重に行ったうえで、社内で健康イベントを開催しました。その１つとして、2020年10月末に、弊社リサイクルセンターに隣接する敷地を使用させていただき、コロナ収束を願ったサプライズ花火を打ち上げました。このサプライズは、従業員だけでなく、近隣の方々にも喜んでいただけました。
今年度も、町内の消防団の協力を仰ぎ、消防署と警察署の許可を得た上で開催する予定です。

2020/10/31(土)
コロナ禍収束を願い、
サプライズ花火600発を
打ち上げ

「禁煙率100%」が目標です

健康経営をスタートしてから、喫煙者全員と１人１人面談を行いました。さらに、禁煙外来の費用を会社負担とする制度の確立、禁煙を３ヶ月続けた従業員にインセンティブを支給、会社敷地内・社用車の完全禁煙を実施し、従業員の健康増進に取り組みました。その結果、喫煙者が減少し、従業員の健康に対する意識が高まっていることを感じています。

今後の展望

弊社は、2025年４月に向けて「５年計画」を掲げています。同業他社に負けない収入が得られ、定年後も健康体でいられるように会社としてサポートする事で、働きがいを感じられる、より良い会社を目指しています。
今後の展望として、下記項目の実施を考えています。

①外部顧問に依頼をし、メンタルヘルスの相談窓口を設置
②禁煙率100%
③ストレスチェックの結果について、全従業員向けフィードバックセミナーを開催
④2022年度から、従業員の配偶者の方に会社から誕生日プレゼントを贈る制度を導入(21年１月から従業員本人を対象とする取り組みはスタートしています)
⑤グループ会社である農業法人藤ファームの優良法人認定

これらの取り組みを継続し、従業員のみならず、その家族も幸せになれる会社を目指していきます。

2020/11/24(火)
コロナ対策を厳重に行い
ボーリング大会を開催

2020/12/13(日)
きびだんごリレーマラソンinマスカットスタジアム
コンケンランニングチームが参加

マルケー食品株式会社

代表取締役社長
平櫛克也 氏

「定年後も働きたい」そんな会社でいたい

- 代表取締役社長　平櫛克也 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市南松永町2-3-11
- 主な事業内容　冷凍水産食品製造
- 従　業　員　数　100名

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021 ブライト500認定

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

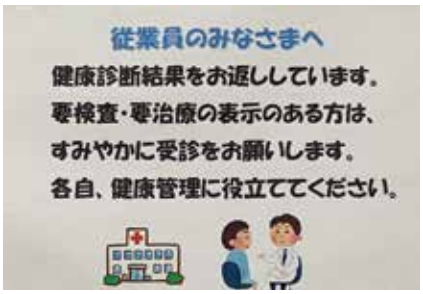
年々、人手不足が深刻となり、更に働き方改革にも対応しなければならず、生産調整に苦労していました。
そんな時にアクサ生命の方から健康経営を勧められ、今の当社にベストマッチであると思いました。従業員の満足度を上げることで生産性を上げていく。そのことが今後の採用活動にも通ずると思い、健康経営の取り組みをしていくことにしました。

新型コロナウィルスの流行によって変わった事。

当社は食品を扱う会社の為、もともと手洗いや消毒については厳重に行っていました。新型コロナウィルスの流行によってさらに従業員の健康管理をし当社から感染者を出さない為、様々な対策を取ってきました。

休憩時間の分散、休憩室を改装

以前は全員同じ時間に休憩をとっており、休憩室では３密に近い環境になっていました。
これではダメだと思い、休憩時間を２部制にして密にならないよう調整しました。
更に休憩室を改装して、飛沫防止のアクリル板も設置しました。



二次健診の推奨を全員が集まる休憩室の入口掲示板に掲示

衛生用品購入代金を補助

コロナウィルス対策の中、マスク等の衛生用品の品薄や高騰により、手に入りにくい状況が続いた為、従業員もかなりのストレスを抱えていました。
会社としてなにか出来ることはないかと考え、マスクの配布や衛生用品購入費として手当を支給しました。

今後の展望

健康経営を通じて従業員がこの会社で働いてきて良かったと思える会社にしなければと思っています。定年後、希望があれば再雇用しておりますが、定年を迎えた際にまだまだ働きたいと思えるよう健康経営に取り組んで行きます。
従業員の高齢化が進んできましたが、このような取り組みを続ける事で若い方にも当社を知ってもらい、入社したいと思える魅力ある会社でありたいと考えております。

会社外観

大幅改装した休憩室

株式会社巽設計コンサルタント

代表取締役
光井謙二 氏

社員とともに、安心して働き続けられる100年企業を目指す

- 代 表 取 締 役　光井謙二 氏
- 本 社 所 在 地　山口県光市光ケ丘5-1
- 主 な 事 業 内 容　建築設計・土木設計
- 従　業　員　数　55名(男性:43名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
ブライト500
健康経営優良法人
2021 ブライト500認定

社員の健康は会社の財産

設計業はデスクワークと現場の両輪からなっており、時期によって業務量の差が激しく、年間を通じて社員一人一人の体調管理が必須であることが以前からの課題でした。
そこで、「100年企業の実現」の経営理念の元、新たに「従業員の健康は会社の財産」のスローガンを掲げ、健康経営の取り組みを開始することになりました。

社内歩数記録大会で楽しく健康づくり

「歩く」ことを日常生活の中に習慣づけてもらうため、山口県公式「やまぐち健幸アプリ」を活用し、定期的に『巽設計歩数記録大会』を開催しています。
社内ランキングがアプリ上でリアルタイムに分かるため、社員同士で競い合って歩数を伸ばすことができています。目標を達成した社員には賞状と賞品を用意し、少しでも楽しく参加してもらえるように工夫しています。

特製ヘルシー弁当と健康茶

2か月で110万歩を歩きました！

特製ヘルシー弁当で食生活改善の手助けを

地域の飲食店の協力を得て、県産野菜をふんだんに使用した特製ヘルシー弁当を自社開発し、社員へ無償提供しています。
内容は極力揚げ物を減らした肉料理や、野菜を沢山使用したおかずなどで、この弁当を通じて普段の食生活改善にも役立てて貰いたいと思っています。
社員アンケートでは「もっと食べてみたい」「ヘルシーな内容でもお腹一杯になり満足できた」「身体に良い味付を知れた」と好評の声が届いています。

その他の主な取り組み

○定期健診代・インフルエンザ予防接種料全額補助
○血圧計・業務用体組成計・マッサージ機導入
○喫煙室整備・分煙機導入による受動喫煙対策
○自動販売機へのカロリー・糖質・おすすめPOP掲示
○禁煙補助剤・歯科専用デンタルグッズ提供
○健康情報コーナー・水素水サーバー設置
○トレーニング施設使用料補助　他

歯科専用デンタルグッズ・禁煙補助剤・おすすめPOP・カロリー糖質表示

地域で誇れる健康経営の模範的企業へ

取り組み開始当初から様々な活動を行っていますが、会社側の一方的な活動になることのないよう、その後のアンケートで社員の感想を聞きながら、当社に合った活動を見つけていくことを心掛けています。
社員として会社に誇りを持ち、かつ安心して働き続けて貰う為に、常に新しい視点での取り組みを発信していくことが課題です。
次の取組目標としては、『健診再検査費用の補助』『管理栄養士や保健師との面談機会提供』など、社員とその家族に寄り添った幅広い活動を進めていきたいと考えています。

業務用体組成計

健康経営優良法人2021
ブライト500とやまぐち健康経営
認定企業　認定書

430

北海道
旭川営業所

株式会社細川商店

代表取締役社長
細川智博 氏

「会社の健全な経営には社員の健康が第一」

- 代表取締役社長　細川智博 氏
- 本 社 所 在 地　北海道士別市多寄町36線西２番地
- 主な事業内容　再生資源卸売業（古紙・故銅鉄・アルミ・容器）
- 従　業　員　数　7名（男性：5名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

【健康経営】導入のきっかけ

健康経営という言葉を初めて聞き、アクサ生命の担当の方から、説明を受け、是非、取り組みたいと思いました。
役員・従業員にとっても健康は大切。わが社にとって、従業員は貴重な財産。従業員の誰一人が欠けることなく働いていける環境を整備していきたいと思っています。
社員一人一人が元気に健康で、長く働ける環境づくりをしていきたいと思い導入いたしました。

健康経営への取組についてはできることから

健康経営の取組について、２つご紹介致します。
①アクサ生命の健康経営アドバイザーによるWEBアンケートのフィードバックセミナーを実施いたしました。
現状の社員の健康状態や健康に関する意識を数値で表すことができ、具体的にどのように取り組んでいくのがいいのかをしっかりと話し合いさせていただきました。
関心の大きい項目についての健康情報を朝礼時に案内していきました。
②禁煙・分煙の取り組み。以前は休憩所（室内）に設置していた喫煙所を屋外に移転し、受動喫煙対策を行いました。

職場内　地域内コミュニケーションを高めていきたい

健康経営は従業員の健康状態良化推進の取り組みですが、この取り組みを社内外へ発信していくことでより企業のイメージアップを図りさらなるコミュニケーションの向上に努めていきたいと思います。長期的な企業の人材確保や今いる従業員の健康の改善を実施し離職率、定着率を高めていきたいと考えています。そして、我が社だけでなく、地域の企業全体で、連絡、連携をしながら健康経営の取り組みが実践できたらと考えています。

今後の取り組みと展望

弊社は祖父が創業し、間もなく創業70周年を迎えます。
私が社長に就任してから従業員も一新し、若返ってきています。若いからこそ、今から取り組む健康課題、身体の健康、こころの健康、社会的健康を認識し、それに対処させていきたいと思っています。従業員一人一人の成長を促す「きっかけ」となるものが、この健康経営であると考えています。
また、私自身、会社が健全な経営を行っていくのも社員の身体の健康とこころの健康、そして社会的健康の３つの健康が重要ととらえています。今後も笑顔と元気が漲る企業として健康経営を引き続き実践してまいりたいと思います。

株式会社サン園芸

代表取締役社長
戸田龍一 氏

「会社の健全な経営には社員の健康が第一」

- 代表取締役社長　戸田龍一 氏
- 本 社 所 在 地　北海道北見市
- 主な事業内容　種苗業
- 従　業　員　数　15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康に関する取り組みは30年以上前から

健康経営という言葉が始まる前から、社員の健康に関する取り組みは行っておりました。社員の健康診断実施や、ラジオ体操への取り組み、そして喫煙者数の減少に向けた取り組みを実施いたしました。
そして３年程前から健康経営という言葉を知りました。自社の取り組みが健康経営に多く当てはまるということであったため、健康経営優良法人認定取得に向け、具体的に動きを出していくことと致しました。

健康経営への取組についてはできることから

健康経営の取組について、大きく２つご紹介致します。
①自動販売機の中身についてはこれまで甘味飲料が多かったものの、機能性表示飲料の商品を導入し、従業員の飲料面での健康維持を推進しています。
②ワークライフバランスを重視し、週末のノー残業デーを取り入れ、さらに有給休暇の積極的取得を推奨しています。
職場環境を考え、導入できるものを積極的に行い、メリハリを持った活動をしていくことが健康経営への第一歩と考えます。

「人材＝財産」、コミュニケーションを高めていきたい

健康状態については社員一人一人が「財産」であると思っておりますので、普段とは違う微妙な変化などがあった際には声掛けを行ったりしております。
結果的に、社内コミュニケーションが円滑に取れてきており、社内の雰囲気もかなり明るくなってまいりました。
現在はコロナ禍もあり、開催はできておりませんが、社内イベントを全員で企画し、さらなるコミュニケーションの向上に努めてまいりたいと思います。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

これからの社会において多様性を重視することが会社としても重要であると考えます。特に若手の従業員が働きやすい職場環境を考えることが経営者にとってこれからの課題となってくるのではないでしょうか。
弊社は、既存の人事制度や諸手当の見直しを図り、これまでとは違った形での評価制度・手当の支給を取り入れております。

今後の社会に対応するための進化を促す「きっかけ」となるものが、この健康経営であったと考えております。

私自身、「会社が健全な経営を行っていくためには、社員の身体的健康と精神的健康、そして社会的健康の３つの健康が不可欠であり、最も重要」ととらえているため、常に柔軟に対応できる会社経営を今後も引き続き目指してまいりたいと考えております。

優良法人認定2021の認定賞をお持ちいただく、戸田社長様と担当の山中課長様

自動販売機の飲料については特保の飲み物に入れ替えも行った

エネルギーサービス北海道株式会社

代表取締役社長
荻　武士 氏

健康経営を活用して、運送業のイメージを変えていきたい

- 代表取締役社長　荻　武士 氏
- 本 社 所 在 地　北海道北見市
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　4名(男性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

トラック協会の講習から興味を持ちました

トラック協会主催の「健康に関する講習」を受けたことが、大きなきっかけです。弊社の課題は「従業員の高齢化と人手不足」でございました。
昨今の就職希望者の方の多くは健康経営を行い福利厚生の充実している事業所を希望する方が多くおります。また、弊社に勤めている従業員も健康で元気に長く就労できる職場環境を求めており、この二つの課題解決に直結するのが健康経営と思うようになりました。

今最も力を入れている取り組みは「感染症対策」

現在、弊社が最も力を入れている取組は「感染症対策」でございます。弊社は２人１組での業務が多く、１人が感染した場合、もう１人も自宅療養となる可能性があり、仮に発生した場合は大きなダメージとなります。
そこで、「体温計・血中酸素濃度測定器・アルコール消毒」の三つを備え、出勤時のチェックを励行している他、従業員相互に様子を確認することにより、体調の変化だけでなく、精神的な変化にもすぐに気づけるように、コミュニケーション向上効果も含めた感染症対策を図っております。

従業員自身の変化について

健康経営に力を入れ、感染症対策以外の施策にも力を入れ始めると、健康に気を遣う従業員が増えてきました。特に大きな変化について２つご紹介いたします。
①喫煙については多くの従業員がこれまで喫煙をしていたが、禁煙をした方や業務時間中は喫煙を控える方が多くなった。
②飲酒については飲酒機会の多かった方も、節度ある飲酒量にとどめ、翌日の顔色もかなり良い状態で出勤をしております。
従業員自身の自主的な変化については、私自身も驚いており、健康経営の成果の一つとしてとらえております。

健康経営に関する今後の展開

これからの展開については２点考えております。
①脳ドックを従業員全員に実施できるよう会社で費用を負担し、脳疾患を未然に防ぐ取組に力を入れていきます。
②ドライバーの健康状態ならびに運転状況を把握できるように、ドライブレコーダーを全車に導入し、「安全と健康に関する投資」を行う予定でございます。
「安全運転と円滑な業務遂行」が会社の信頼に直結するため、従業員の健康への投資を引き続き行ってまいります。

今後の展望

仕事に働きがいをもっていただくと共に、ワークライフバランスを徹底した働きやすい環境を目指していきたいと思っております。人手不足と長時間労働というイメージから脱却するために、私は健康経営に着手致しました。
これから就職を希望される方にとって魅力ある会社になっていきたいとともに、お客様にとっても安全で安心して任せられる会社としてあり続けたいと思っております。
「健康経営」はこれからの多くの業界にまさに必要なテーマとして、私はあり続けるのではないかと考えております。

感染症対策用品一式

カレンダーに書いてある項目を利用して月に一度勉強会を行っている。

株式会社リンザイ

代表取締役社長
岡野友保 氏

「従業員の健康は会社の財産」

- 代表取締役社長　岡野友保 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県久慈市大川目町3-31-1
- 主な事業内容　木材加工業
- 従　業　員　数　17名(男性:14名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人 2021認定
いわて健康経営アワード
2019・2020連続優秀賞

健康経営に取り組んだきっかけ

木材関係ということで、なかなか若い人材が集まらず、従業員の高齢化が進んでいます。2010年、インフルエンザに数人が罹患し、生産、出荷に支障をきたすということが起きました。従業員が高齢化している中、「従業員の健康は会社の財産である」という会社理念の下、最初は、治療費全額補助の禁煙の勧めに始まり、2017年に健康経営の宣言をし、取り組みをスタートしました。

取り組んでいる項目

【健診】生活習慣予防健診実施 / 再検査費用全額補助
【食生活】月１回健康弁当の支給(自家製の汁物・サラダ付)
【運動】毎朝のラジオ体操 / 従業員全員歩数計を携帯 / 独自のウォーキングイベント開催 / 全従業員参加の野菜作り
【受動喫煙対策】排気設備を整えた喫煙所設置 / 禁煙治療費全額補助
【毎朝の健康チェック】現在は、出社時検温実施

互いを深く知る機会となったウォーキングイベント

2019年には運動習慣を身につけてもらうことと家族を含めたコミュニケーションの場づくりを目的とした従業員の家族も参加してのウォーキングイベントを【右下写真】実施しました。
普段の仕事では、気付かない従業員の個性が見られ、お互いを深く知る機会になったと思います。
残念ながら2020年はコロナの影響で開催出来ませんでした。コロナが落ち着いたら、ぜひ、再開したいと計画しています。

コロナ禍のレクレーション「野菜作り」

毎年、恒例の花見や慰労会が開催出来ない中、2020年は、従業員全員参加の野菜作り(畑仕事)を実施しました。【下の写真上】
種まきや苗を植え、草取りもがんばりました。秋には、全員で収穫をし、穫れたての野菜を美味しくいただきました。
月１回、会社提供の健康弁当の日のサラダやお汁の具材にもなっています。全員での野菜作りを通して健康意識が高まったことと皆の団結力が一層、強くなったと実感しています。

従業員の健康は会社の財産

企業にとって最も重要な資産は「人材」であり、従業員一人一人が、より人生を楽しみ、仕事に取り組むために健康は不可欠です。今後も元気に仕事に取り組んで行けるように健康経営を継続して、取り組みを通して従業員との親睦も大切にして行きます。

全従業員参加の野菜作り

家族も参加できる健康ウォーク

434

岩手県
花巻営業所

Voice Report 60th

株式会社中央コーポレーション

代表取締役社長
佐々木史昭 氏

「社員一人一人の健康が、全社の健全経営につながる」

- 代表取締役社長　佐々木史昭 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県花巻市東宮野目 第11地割５
- 主な事業内容　橋梁水門鉄構業
- 従　業　員　数　135名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

取り組みのきっかけ

当社社員の喫煙率が意外に高く、特に若手に喫煙者が多いことが気になっていました。若気の至りで始めた喫煙が自己の人生に取り返しのつかない悪影響を及ぼし、健康寿命を縮めてしまっている可能性があることを若手社員に真剣に考えて欲しかったのです。
花巻商工会議所が健康経営優良法人の認証を受け、身近に詳しい情報を頂戴して、これだ！と思いました。アクサ生命のサポートを受けたおかげで、具体的行動指針を示して頂き、大変ありがたかったです。

アプリを有効利用

約130名の社員全員が、①歩数、②運動、③栄養、④睡眠、⑤禁煙、の５つのジャンルから、いずれか一つを選び、５人１組で構成されるチームのメンバーとなってもらい、アクサ生命推奨のスマートフォンアプリ「みんなでチャレンジ」を活用し、日々の活動をチーム内で共有し、お互い励みにしながら、毎日楽しく活動を続けています。
各チームの週間総合成績をライングループで共有し、全社におけるチーム及び個人の立ち位置を確認し、モチベーションのアップに繋げています。

健康関連行事を積極的に開催

従来より毎朝社員全員揃ってラジオ体操を行っていますが、冬期の転倒防止体操を年間で継続し、当社の特色ある体操としています。春と秋の年２回8～10組程度のゴルフコンペを開催し、令和３年６月は第50回記念大会となります。社員だけでなく取引先の参加者も多く、健康増進に加え、懇親も大いに深まっています。当社には、かつて野球に懸命に取り組んだ社員も多く、花巻鉄工会等の野球大会（軟式）等に積極的に参加し、華麗なプレーを見せています。

メンタルヘルス対策・1オン1ミーティングの活用

当社では、安全衛生活動目標として、メンタルヘルスが原因となる欠勤率が0．9%以下となるよう、年間を通してモニタリングしています。当社経営理念に則り、社員一人一人を大切にする経営を心がけ、メンタルヘルスが不調で欠勤が続いた場合でも、一定期間休養し、回復出来そうであれば、違う環境の部署への異動を提案するなど、双方が納得して復帰・活躍している事例が数多くあります。

令和３年４月から、上司と部下が１対１で、仕事に関わらず、どんなことでも気楽に話し合う場を設ける「１オン１ミーティング」を進めています。２か月に１回30分程度、上司は聞き役に徹し、様々な事を話し合うことで信頼関係が深まり、本音で話し合える関係が醸成できると期待しています。自己の健康についてもざっくばらんに話し合い、相互理解を得ながら健康増進に取り組んでいます。

岩手の自然を健康経営の源に

岩手県は自然に恵まれた山や川、海に囲まれた癒やしの空間が豊富です。社長みずから、岩手県内の山登りで自然に癒やされ活力を得ており、社員にも山登りを奨めています。岩手の山は、一番高い岩手山でも標高2038m、ルートを選べば一日で登下山が可能で、八幡平、姫神山、早池峰山、焼石岳などの名山は標高1500m前後、半日程度で楽しむことができ、温泉もあります。岩手で生きるとことは自然と共に生きること、社員には岩手の自然を楽しむよう推奨し、健康経営の柱にしています。

NPO法人自閉症ピアリングセンターここねっと

事業所の様子

「新しく柔軟な発想」で、障害当事者と健康経営に取り組む

- 理　事　長　佐藤幸子 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市若林区市名坂
- 主な事業内容　仙台市自閉症相談センター事業
- 従　業　員　数　79名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

まず職員が自分らしく健康に

発達障害のある人たちが地域で自分らしく明るい生活を送るためには、発達障害者を支える職員自身が自分らしく元気に働き、健康な生活を送ることが欠かせないと考えています。そのために法人として健康経営に取り組むこととしました。

信頼の証としての健康経営

「発達障害のある人もない人も互いに支え合える地域」を目指すためには地域の方々のご理解が必要です。そのためには、我々は信頼される法人である必要があります。信頼できる団体であることをお伝えするためにも、積極的に「健康経営優良法人」の認定を目指しています。私たちが職員や利用者の皆様が健康について取り組むことで、私たちがより良い生活を目指している姿勢や活動にも具体性が増し、地域の皆様からの支援や共感を得ることができます。将来的に地域全体の健康についても触れていきたいと考えていますので、健康経営の考え方は大きな役割を持っていると考えています。

職員の安心のためにも・・・

健康経営への取り組みは、職員の生活や働く上での安心にもつながります。また、これから我々とともに働きたいと考えていただける方々にも、安心して働ける団体であることを伝えることができます。職員の安心感が、ワークエンゲイジメントを高め、結果として発達障害を持つ人たちへの適切な支援や質の向上・継続につながります。

障害当事者の方とともに

コロナ禍で職員と障害当事者が一堂に会してのセミナーなどの実施が難しくなりました。ですが、発達障害のある人たちももちろん、日々の健康への取り組みは必要です。これからは、新しい形での健康に関する障害当事者支援を行いながら、職員も障害当事者の双方の健康増進に向けた取り組みを考えていく予定です。

地域を巻き込む健康経営

私たちの活動は行政や地域との連携が不可欠です。連携を深めるためにも、地域とともに健康に取り組むという、健康をキーワードにした交流を考えています。障害当事者、地域、職員が一体となって取り組める、新しい形の健康経営を目指して、これからも健康経営にチャレンジしていきたいと思います。

佐藤理事長、黒澤常務理事へ認定証をお渡ししました。

436

宮城県
仙台営業所

Voice Report 60th

株式会社ディーバイス(味のおりがみ)

健康経営担当野村部長(左)
と中村常務(右)

お客様の健康を「食」で支える

- 代表取締役社長　松浦厚司 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区大梶
- 主な事業内容　弁当・調理品・総菜の製造販売
- 従　業　員　数　37名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

“杜の都のお弁当”健康は「食」から

1987年に『味のおりがみ』の屋号で創業、「プロの料理人がつくるお弁当」を掲げ、お客様に心を寄せて様々な商品を作ってきました。手造りにこだわった調理によって、“杜の都”の食を支える一員としていられるのも、社員一人ひとりがプロとして高いパフォーマンスを発揮していただくことが欠かせません。

スローガンのもとさらなる健康増進へ

「従業員の健康こそ会社の健康」をモットーにかかげ、社員の健康に気遣ってきていました。ですが、これからも社員の技術を大切にし、長く働いてもらうためには、新しい試みとして、質の高い健康増進への協力が欠かせません。その為に健康宣言書を策定し、経営陣が会社としての健康に関する姿勢を示し、社員の健康をけん引することとしました。

従業員の健康課題を「見える化」

従業員へアンケートを実施し「運動」「食」の分野に課題が見えてきました。「食」を扱う専門家としても、自身への意識を向上することが必要です。まずは自身の課題を見つめていただき、２つの課題に加えて「心」の健康にも着目しました。

経営陣が健康の取組みを実践！

健康の話題はコミュニケーションにも活躍中です。運動に取組んでいる役員、コロナの中でも減量に成功した役員が社員に対して実践報告を行っています。最近では、社員からも自身の取組みを話す場面が増え、会社全体に健康への意識が浸透してきた実感があります。

コロナ禍だからこそ　健康経営

弊社も新型コロナウィルスの影響を大きく受けています。一方でありがたいことに弊社の商品である“味のおりがみのお弁当”をお買い求めくださる方は尽きません。これからもお客様のために、社員一人ひとりの健康を大切にし、工夫をしながら健康経営に取組んでまいります。

社内掲示中の健康宣言書経営陣の意思を伝える他、Webページでお客様へ発信しています

古代米(雑穀)や寒天などを使用し『ヘルシー』な要望へ応える会席御膳

仙台スイミングスクール

代表取締役社長
千葉和喜 氏

「地域のスイミングクラブのリーダー企業」として健康経営に取組む

- 代表取締役社長　千葉和喜 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区清水沼
- 主な事業内容　水泳技術指導・水泳教室運営
- 従　業　員　数　20名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

地域の健康を支える企業だからこそ

創業して50年、これまでプールを使用した運動・リハビリなどを通して、地域の健康維持・増進に取組んで参りました。しかし、皆さまの健康を支えるためにはまず私たち自身が健康でなくてはなりません。各々が健康を実感し、積極的に健康の維持に取組むことが新しい時代の健康を支える第一歩になります。

アフターコロナを見据えて

新型コロナウイルスの感染拡大により、弊社を含め業界全体が打撃を受けました。一方で、コロナ禍の中でも健康に課題を持つ方々も多くいます。アフターコロナを見据えて、従業員に健康に関する知識を深めてもらいたいと思いました。自分にとっても役立つ、お客さまにとっても役立つということで、健康セミナーに積極的に取組んでいます。

コミュニケーションにも役立つ健康経営

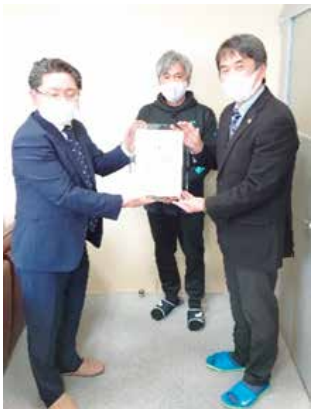
セミナーで学んだ情報がお客さまとのコミュニケーションに役立ちました。また、従業員も自身の健康に関心を持つようになり、従業員同士で健康に関する情報交換をしている姿も目立つようになりました。

お客さまへ笑顔を届けるために・・・

従業員が心から笑顔でお客さまに接するためには、従業員自身の不安を少しでもなくさなくてはなりません。従業員の心・体・暮らしの安心に取組むためにも健康経営は有効に思います。

全従業員が長く働ける職場を目指して

女性従業員が増え、そして、男女ともに子育てや介護を行いながら働く従業員が増えました。従業員の家庭と仕事の両立はこれからますます重要になります。全員が働きがいをもって、長く働き続けることがお客さまへのよりよいサービスにつながります。
健康経営に取組み、従業員の働く環境を考え、お客さまの健康に還元し、地域全体の健康に貢献していきたいと思います。



千葉社長と小山常務に
認定証を贈呈

438

宮城県
古川営業所

Voice Report 60th

株式会社松倉

常務取締役
松倉善輝 氏

社員の皆さんの健康と幸せの実現と共に企業価値を高めたい

- 常 務 取 締 役　松倉善輝 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県大崎市
- 主な事業内容　米菓製造・販売業
- 従　業　員　数　10名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

創業70年を迎え、社員に支えられてきたからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

商品開発等で様々なアイディアを出して頂いたり、会社を様々な面で支えて頂いております。禁煙を社内で始めた際にも、協力をして頂き、早いタイミングで敷地内禁煙まで達することが出来ました。だからこそ会社としては、健康経営にしっかり取り組み、社員の皆さんの健康と幸せを実現させたいと思います。もともと仕事と治療の両立の為の仕組みは会社として整えていましたが、それに加えて、健康に関する諸々の福利厚生を整えました。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を選び、実践中です。

健康に関するお知らせを毎月手渡すようにしています。一人ひとり気になるところは違っていて、いろんな情報を提供することが大切だと感じています。情報の提供から習慣改善までには至っているケースは少ないですが、継続して取り組みをしていきたいと思います。

食品製造の基本としてＨＡＣＣＰの制度を導入し、安全と安心の考えを徹底しています。

HACCPの考え方を研修し、浸透させたことによって、社員の皆さん自身の食品選びの改革に繋がり、意外なところで健康面に寄与しました。また当然のことながら、衛生面からもより徹底された感染症予防にも結び付きました。

売り場においても、感染予防を徹底して、お客様をお迎えできるように環境を整えました。

健康増進に関する携帯アプリを導入！社員全員に活用を推進しています。

アプリのマニュアルを全員に配布

福利厚生の一つとして、食事や運動に関する健康アプリを導入しました。例年できていた懇親会等が難しい状態ですので、社員同士のコミュニケーションの一つになればと、健康相談ダイヤルに加え、福利厚生として新たに導入しました。

今後の展望

社員の皆さんにはいつまでも健康で仕事をしてもらえることが一番。だからこそ、健康に対する意識を会社全体として何をしたら引き上げられるのかを考え、福利厚生を整えながら、100年企業への歩みを進めたいと思っています。

株式会社阿部長商店

代表取締役社長
阿部泰浩 氏

社員一人ひとりが「魚と海のプロフェッショナル」

- 代表取締役社長　阿部泰浩 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県気仙沼市港町
- 主な事業内容　水産業　観光業
- 従　業　員　数　687名(男性:353名・女性:334名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員の健康課題は部門ごとに異なっていた

当社グループは水産事業部と観光事業部の２つがあり、さらに、関連会社を含めた業務拠点が15拠点あります。
拠点ごとに協会けんぽに加入しており、就業形態も異なります。例を挙げれば、水産事業では早朝の鮮魚水揚げがありますし、観光事業では調理や接客です。
水産と観光を融合させた食文化の醸成に挑む企業として、食＝健康の取り組みを全社横断的に推進し、経営的視点から健康課題を見えるように、そして改善することにいたしました。

関連会社を含め３社同時に認定

部門ごとに健康課題は異なりますが、生活習慣等の改善状況の把握や効果の検証等を行い、優良法人認定の申請書に記載しました。
生活習慣などは、質問を７項目に分類できる統一アンケートを実施し、集計結果を社長・部門長・担当者で共有しました。その結果、関連会社を含め３社同時に優良法人認定を取得できました。

男女ともに活躍できる職場環境の整備

女性特有の健康課題に対応する環境整備を行い、婦人科健診(検診)を受けやすくし、女性特有の健康課題に関する知識を得る機会を設けるようにしました。
セミナー参加やキャリア形成の研修なども積極的に行い、女性が活躍できる風通しの良い職場環境作りに取り組みました。
男女ともに生き生きとした仕事ができる環境づくりを推進しています。

外国籍の社員も働ける職場

グループには外国籍の社員も複数います。慣れない土地での生活や言葉の壁を乗り越えることができないと心身の不調に陥る可能性があります。
コミュニケーションの促進が必要なので写真などを盛り込んだツールやマニュアル類を導入しています。さらに、不調者が出た場合の支援体制も整備しました。
仕事の品質を保つだけではなく、業務に携わる社員を守ることにもつながっています。

今後の展望

グループの一人ひとりが有機的につながり、水産という海洋資源を適切に管理し、有効利用する経営理念を掲げています。創業50年目に発生した東日本大震災による被災を乗り越え、60年目を迎える今年は「働きやすい職場環境作り」に一層の取り組み強化を図りたいと考えています。

グループ３社同時に認定取得

株式会社高瀬電設

左前 代表取締役社長
上野定之 氏

「社員が健康と笑顔で働ける会社」を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　上野定之 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県湯沢市岩崎
- 主な事業内容　精密板金製品製造業
- 従　業　員　数　92名(男性:64名・女性:28名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

社員の健康第一！　数年前、病気が発覚し入院する社員が複数人でました。その家族から電話があり「申し訳ございません。しばらく入院になりますが、仕事はそのまま続けられるのでしょうか」と不安そうな声で聞いてきました。「もちろん大丈夫ですよ。ゆっくり休んでください」と答えました。当たり前ですが本人だけでなくご家族も不安になることを実感しました。大きな原因は【喫煙】であること、また休んでいる間、有休がなくなると傷病手当しかないこと。これでは当社としてしっかりと社員を守っているとは言えないと思いました。
まずは病気で入院した時の金銭的補填として会社で保険に加入しました。実費だけですが会社から入院の補填ができ、出費が軽減できれば治療に専念できるのでは、と思いました。また病気をしてからでは遅いので、その前の健康作りに力を、と思っていたところ『健康経営優良法人』のことを知りました。社員の意識も変わってくれたらと思い取り組むことにしました。

感染症対策にもしっかり取り組む

新型コロナ感染症が日本に来てから一年半近くたちました。全国のレベルから見ても秋田県は感染者が少ない…とは言え、いつどこからやってくるかわからないウイルス、社内でも感染症に関するマニュアル作成したり、ご来客様のための会社独自のカウンターを設置、ご来客様用マスク、消毒、記載名簿を設置。社員向けにも非接触型自動検温器と消毒器を入口に設置。社内でできることを最大限対策することに取り組んでいます。

楽しみながら健康作り

以前から社長の意向もあり、地域で行われるスポーツ大会に有志で参加を呼び掛けてきました。走ることが好きな人たちは秋田県で行われている様々な駅伝大会に参加したり、地域で行われている綱引き大会にもエントリーしたり、休日にゴルフへ行ったり、お揃いのTシャツも会社の名前入りで作成、応援団も含めて盛り上がっています。残念ながら2020年コロナ感染症でほとんどの大会が中止になってしまいましたが、早い復活を願っています。皆で楽しみながら運動機会を作っていくことも会社の取り組み、使命と思っています。

今後の展望

アクサ生命保険(株)健康経営アドバイザーのサポートで健康経営優良法人の認定を受けることができ、月に一回、回覧用の健康に関するワンポイントアドバイス情報を頂いております。これからも、掲示板、回覧板という形で社員に伝えていきます。まだまだ高い喫煙率を少しでも下げること、社員全員が健康でいることを目標としていきます。健康なくしていい仕事、夢のある仕事はできないと思っています。社員全員が活き活きと仕事、プライベートに活動できるように、会社として取り組みたいと思います。

有限会社稲庭古来堂

代表取締役社長
麻生　一 氏

「日本伝統食文化」を後世に引き継ぐために健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　麻生　一 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県湯沢市稲庭町
- 主な事業内容　稲庭うどんの製造・販売
- 従　業　員　数　24名(男性:9名・女性:15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

【健康経営】に取り組むきっかけ

弊社は熟練の職人が多く従業員の平均年齢が高いため、従業員の健康状態で生産に大きな影響を与えます。そこで健康経営の取り組みを始めました。令和２年４月に秋田県協会けんぽの健康宣言にエントリーし認定を受けました。その後、健康経営アドバイザーのアクサ生命保険の担当者より経済産業省「健康経営優良法人認定」の話しを聞いたことがきっかけで、一段上の取り組みをすることに決めました。企業発展の主役になるのは、ここで働く社員一人ひとりです。その社員の健康を願うのは当然で、そのために健康経営に取り組みます。

従業員の意識の変化

健康経営アドバイザーのアクサ生命保険の担当者が毎月配布してくれている「健康経営ワンポイントアドバイス」のポスターをもとに生活習慣の意識づけを行うことにより、食生活の改善や運動を始めるなど少しずつ変化がみられるようになりました。「継続は力なり」で今後も無理のない範囲で続けていきたいと思います。

具体的な取り組み

毎年、従業員の健康診断を実施しております。診断結果に対する対応は個人の判断に任せておりましたが、数値に問題のある従業員には協会けんぽ秋田の保健指導をお願いし、来社して個別面談、指導をしてもらっております。また秋田県受動喫煙防止宣言施設に登録して工場建物全て禁煙としました。喫煙者そのものが少なかったですが、この取り組みをきっかけに１名が禁煙することになりました。

今後の展望

お客様が【美味しい笑顔】になっていただくために、健康経営を通じて従業員の健康を推待していきます。また「日本の伝統食文化」を後世にバトンタッチするために新しい人材の採用にもつなげたいです。健康経営を推進していくことで、お客様、従業員の笑顔が増えていくと信じております。

442

山形県
鶴岡営業所

Voice Report 60th

株式会社佐藤組

『人生100年時代をともに歩む企業でありたい』

- 代表取締役　佐藤 友行 氏
- 本社所在地　山形県鶴岡市宝田2-9-72
- 主な事業内容　一般土木建築工事業
- 従業員数　40名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2021 認定

『健康経営』取り組みのきっかけ

建設業界共通の悩みとして、人材不足と高齢化が進んでいます。弊社社員も同じく平均年齢が高いことから、今後、健康面での休業リスクが潜在しています。
日頃から工事における事故に気を付けているものの、社員の健康に目を向けることが少ないと思われました。そこで、健康経営に着眼し、病気による長期離脱や健康管理不足が原因の現場での事故リスクを無くすため、健康意識を社員一人一人に根付かせたいと思い、健康経営に取り組もうと思いました。

日常の身近から取り組み開始

仕事柄職場で水分補給することが多く、自動販売機の内容変更を行いました。
今までは糖類が多い飲み物が多かったのですが、実践済みの会社を参考とさせていただき、ブラックコーヒーやお茶類を増やしました。

従業員の健康習慣から会社全体への健康習慣へ

飲み物の内容を入れ替えることで、最初は一部への効果でしたが、徐々に清涼飲料水ではなく無糖を意識する人が増え始めました。
少しでも関心をもってもらおうと、毎月の安全会資料にアクサ生命が発行する従業員向けの健康資料を添付しています。また、外部講師に依頼し安全会で健康に関するセミナーを行っています。

毎月一回ではあるが情報発信することにより、以前よりは意識が芽生え始めました。今後は朝礼などでも健康について発信をしていきたいです。
今後の目標としては、社員の喫煙率を毎年一人でも多く減らすことです。社内および社有車を全面禁煙とし、屋外喫煙スペースを設置しました。喫煙スペースを減らしたことにより、喫煙回数が減少し、また社有車を禁煙にしたことにより、車内の環境が改善しました。
喫煙者の健康被害を軽減させるとともに、ながら運転を減少させることにより交通事故リスク軽減にもつながっています。

今後の展望

弊社は2021年５月に創業100年となり、これからも地域発展のため地域に密着した仕事で寄り添っていきたいと考えております。それとともに、人生100年時代と言われる中、一緒に働く社員、そして社員のご家族のため、健康経営を通じて企業努力をこれからも重ねていきたいです。

株式会社 佐藤組

443

福島県
いわき浜営業所

株式会社アスム

代表取締役
矢渡　充 氏

健康経営優良法人認定取得は、会社の付加価値を高める。

- 代表取締役　矢渡　充 氏
- 本社所在地　福島県いわき市平字愛谷町1-7-5 ミヤビビル2-A
- 主な事業内容　建設業
- 従業員数　122名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

弊社は、2014年「故郷・福島県浜通りの再生は、地元の自分たちの手で成し遂げる」との強い信念のもと、当時30歳前後の若い仲間たちとスタートしました。ご指導にも恵まれ、一心不乱に福島復興の大前提となる各種業務に携わらせていただきお客様と共に、地域と共にそして、社員と共に活動をしてまいりました。東日本大震災と原発事故から10年を期に、会社の付加価値を更に高めるため何かアクションを起こそうとしていたときアクサ生命の健康経営アドバイザーより健康経営の話を聞いたのが今回のきっかけとなりました。

協会けんぽ「健康事業所宣言」をすることからスタートしました。

先ずは「健康事業所宣言」を行い協会けんぽの保健師さんと健康経営に関しての今後の打ち合わせを行いました。宣言書については会社の通用口に設定したところ、従業員より問い合わせもあり、社内への「健康事業所宣言」の手応えも感じるようになりました。その後、アクサの健康経営支援プログラムを活用し認定への取り組みをひとつひとつ丁寧に行っていきました。

社員全員に理解してもらえるために

現場へ直行・直退という勤務体制が殆んどであるため、社員全員に周知することが課題と感じておりました。このため、毎月の給与支給日に必ず事務所へ給与明細を取りに来てもらいその際、健康経営についての情報提供（アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイス等の配布）を行いまいた。また、従業員さんの意識調査として健康習慣アンケート（Webアンケート）を実施し、アンケートに回答したことにより社員の意識が大きく変わりました。

30年とも40年とも費やすといわれるプロジェクトを完遂するために大切なのは社員とその家族の健康

本当の意味での福島復興の目安となる福島第一原子力発電所の廃炉が叶うまでに、30年とも40年とも費やすと言われております。最後まで責任を持って一貫して担っていくためには、やはり社員とその家族の健康が重要であります。また、2021年４月施行「高年齢者雇用安定法」施行もふまえ、健康で次の世代に技術のバトンタッチができるよう努めております。

今後の展望

この業界は、「会社を転々とする」、「健康に無関心」等のイメージが多いのが現状であります。しかしながら健康経営を社員と共にコツコツと続けていくことで、永年勤続そして健康勤続を実現し魅力ある故郷を次の世代へ繋げていけるよう邁進して参ります。

社内外へ発信できるよう事務所入口に設置した健康経営優良法人2021認定書

444

福島県
いわき浜営業所

Voice Report 60th

株式会社三崎組

株式会社三崎組社屋外観

「仕事と生活の調和」を実現するために！

- 代表取締役社長　太田和夫 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市小名浜字隼人214-3
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　38名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけは、社員全員の働きやすい環境を整えるため

弊社は、お客様の満足を第一に考え、地域社会の暮らしを豊かにする街づくりをするため、土木・建設事業を通し新しい技術やノウハウの蓄積とたゆまぬ努力を日々継続しております。この努力継続を実現するためには、社員が仕事と生活の調和を図り、社員全員の働きやすい環境を整えることが重要であると考え、健康経営をスタートさせました。

2019年「イクボス宣言」「働く女性応援」中小企業認証取得からスタート

2019年働き方改革をふまえ、4月「イクボス宣言」、7月福島県次世代育成支援企業認証制度要綱第7条第1項規定による「働く女性応援」中小企業としての認証を取得する取組からスタートしました。

スマートフォンもフル活用

社員の健康に対する意識を確認するため健康習慣アンケートを実施。また、健康増進のためにふくしま健民アプリを活用。言葉でのコミュニケーションだけではなくスマートフォンもフル活用し社員全員の健康経営参加を啓蒙することができました。

下記目標を「行動計画」として策定し取組中

目標１：小学校就学前の子の養育または家族の介護を行う社員の仕事と家庭の両立を支援する。
＜対策＞育児・介護休業等、諸制度の内容を周知して、利用促進を図る。管理者は、就業規則に定めた育児・介護のための定時帰宅や育児・介護休暇の取得などを促す。
目標２：年次有給休暇取得のため、有給取得日の奨励やリフレッシュ休暇の設定など、有給休暇を取得しやすい環境を整備する。
＜対策＞有給取得を年末年始、夏季休暇、ゴールデンウィーク前後等に設定することを奨励する。管理者は、プロジェクト（工事）完了後にリフレッシュのための休暇取得を促す。

今後の展望

今回の健康経営優良法人2021取得により従業員の健康課題を把握することができ、わが社の行動計画も立てやすくなりました。今後は、社員全員が明るい未来を描けるよう働きやすい環境を整えるための健康経営を継続していきたいと思っております。

2020年11月7日に開催された。協会けんぽふくしまによる健康出前講座の様子

445

福島県
白河営業所

Voice Report 60th

株式会社藤建技術設計センター

代表取締役社長 近藤松一 氏
右から2人目

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　近藤松一 氏
- 本 社 所 在 地　福島県東白川郡棚倉町棚倉字中居野65
- 主な事業内容　測量・土木・地質・調査設計監理業
- 従 業 員 数　47名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「社員の健康は本当に大切ですね」

健康でないといい仕事はできません。当社は「社員は大切な家族である」という思いから、みんなが健康で、笑顔な明るい職場づくりを常に意識しています。健康経営に取り組むことで、世代が違う社員たちの間のコミュニケーションと自主性が生まれ、参画意識が高まる実感をしています。

企業理念の浸透に取り組みました。

新しい社員に対してどうしたら会社の風土や文化を伝えられるのか？新しい社員と管理職の世代間ギャップからコミュニケーションが上手く行かないといった課題があります。測量の現場は毎回様々ですから、お客様とも社員同士でもコミュニーケーションを維持していくことが必要です。アクサ生命の出張出前講座でも企業理念の浸透についてセミナーなども開催しました。そうしたセミナーの機会も、社員間の相互理解に役立ったようです。

タバコの害については啓蒙し続けたい

2020年、2021年優良認定に該当しています。最初に力を入れたのは「喫煙対策」でした。健康課題である社員の喫煙率の高さを改善したいと考え、禁煙についての啓蒙するセミナーや禁煙の害についてのチラシなどを配布するなど禁煙を進めています。社屋の建て替えに合わせて、屋内禁煙にし福島県「空気のきれいな施設」認証を受けました。森林測量をやっています。もし仮に山火事でも起きたら取り返しのつかないことになります。タバコを吸わなければ、火の無いところに煙は立たない・・・。本当に害がありますから社員とその社員の家族のことを考えれば禁煙を勧めたいです。

社員の成長に必要なコミュニケーション 鳥の目と虫の目

当社の様に様々な現場を持つ会社の社員にとって、現場を離れた研修を行うことはなかなか大変です。それでも、そういったコミュニケーション促進の機会を作ることは非常に重要だと考えています。技術に精通していなければ仕事を全うできません。毎回違う現場の中で工夫をしていくには過去の仕事の経験を新しい社員にもうまく伝承していくことが必要です。鳥の目と虫の目、健康経営のコミュニケーションはその両方のバランスをとるきっかけになっていると感じます。

今後の展望

以前は社長が音頭を取って進めていましたが、最近は健康推進委員の社員を中心に様々な企画を推進してくれています。健康の関心度合いはまだまだ差があり、取り組みにも課題はありますが、徐々に健康の話題も増えてきています。社員ひとりひとりが健康づくりに、自主的に動き出せると良いなと思います。自分の健康に主体的に取り組むことは人生に責任を持つこと、仕事にも責任を持つこと。健康経営は人生経営です。

2021年1月16日健康セミナー「企業理念の浸透」実施
講師は奥山由実子氏、テーマは「伸びる会社は月曜の朝が一番楽しい」

446

福島県
白河営業所

Voice Report 60th

協業組合白河地方リサイクルセンター

理事長
中上　徹氏

**「省エネ・リサイクル・資源の有効活用で地域環境保全」を実現。
健康で快適な環境づくりに貢献する。健康経営と理念は同じ**

- 理　事　長　中上　徹氏
- 本社所在地　福島県白河市白坂一里段121
- 主な事業内容　一般廃棄物処理業
- 従業員数　76名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
ふくしま健康経営優良法人
2018・2020 認定

日頃の積み重ねが大事、健康経営に取り組む必要を感じました。

当初課題の血圧は就業前に毎日全員計測して、管理表に記録、グラフで見える化と習慣化。下は記録ノートと計測の様子。

「限りある資源を大切に」、資源の有効活用に取り組んで参りました。人材も同じく大切に！

私達は先人から引き継いできた環境をよりよく将来の世代へ確実に引き継いでいく義務があります。限られた資源を大切に「分ければ資源　混ぜればゴミ」をモットーに、リサイクルに努めています。
そして、人材も大切です。まずは、第一に従業員が健康で安心して働ける環境づくりが大切だと考えます。

安全衛生委員を中心に皆で協力。無理なく継続、楽しみながら取り組む工夫！

アクサ生命の協力で、血液検査キットを使った健康セミナーを開催。肩こり・腰痛予防ストレッチを組み込んだラジオ体操。フィットネスクラブの生活習慣改善セミナーの実施とからだ測定結果をポイント制にしてチーム対抗戦の実施。当初は薄かった関心も芽生え、「次はどんなセミナーをやるんですか？」などの声も出てきました。健康診断での指摘も良化してきました。

社員の健康こそ、会社の一番の財産。

社員の健康について、毎朝の朝礼で部門長より健康管理を意識した安全運行による事故防止、水分補給等の熱中症予防、また感染症予防の徹底などの声掛けを行っています。特に猛暑による、熱中症対策として作業員の制服を空調服に変える対策をしました。通常、作業服の上に反射材ベストを着用していますが、ただでさえ暑い上に、コロナでマスク着用になっています。それらを組み合わせ反射素材の空調服にしました。社員からは、涼しいとのことで、好評です。健康、安全面でも安心です。

今後の展望

2016年から取り組みをしてきました。当初から50％を超えていた喫煙率が一番の課題でした。高血圧者なども多く、健康に対する意識が少ない状況もありました。タバコを止める人も出てきました。
正しい健康意識を備えることで、社員が健康に対する動きが自発的に生まれてほしいと考えています。

2018年10月11日
健康セミナー実施

2019年12月11日
受動喫煙セミナー実施

447

福島県
白河営業所

三金興業株式会社

金子善弥 常務

「安心して暮らせる地域の基盤を支える会社」健康があってこそ！

- 代表取締役　金子芳尚 氏
- 本社所在地　福島県白河市新白河1-73
- 主な事業内容　総合建設業
- 従業員数　47名(男性:42名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

Voice Report 60th

創業95年地域の生活基盤安心安全を守ってきました。

当社は創業大正15年(1926年) 7月で、今年で95周年を迎えます。この間地域社会・協力会社の皆さんとともに、建設業を通して顧客である住民の皆さんの生活基盤整備に努め、地域の安心安全を守ってまいりました。地域社会の幸せのために「まちづくり」事業等にも積極的に取り組んでいる所です。共に働く仲間達も皆、弊社の仕事にやり甲斐と誇りをもって、チームワークを大事にしながら楽しく時には厳しく「ものづくり」の現場に従事しております。

社員が高齢化する中で、健康の課題は感じていました。

2018年に協会けんぽからの案内に応じて健康宣言をしました。その以前から、「福島県働く女性応援認定」「仕事と生活の調和推進企業」など社員の働く環境整備などは意識をしておりました。
産業医契約もかなり以前から導入をしており、その影響もあってか健康についての意識はかなり持っていたと思います。高齢化の中で、健診結果は近年指摘を受ける人数も項目も増えてきたように感じます。多くの社員は健康に関して、危機感が薄いと思っています。

“運動習慣を定着させたい！”

日頃から社長も「体を動かすことは大事」として社員に呼び掛けています。社員の健康課題として、運動不足解消のために地域のフィットネスジムと無料で使える提携をしました。まだまだ利用者は限られています。毎月一回全体会議の日には、クリーンアップ運動として全社員で、本社や営業所や今いる建設現場周りの清掃作業を行っています。運動機会、社員間のコミュニケーションの機会にもなっています。献血も本社と、出張所で毎年行っていて健康話題提供になっています。

健康経営に取り組むことで社員の安心につながり、仕事のストレスが軽減された。

昨年から、会社で健康経営に取り組む事を、会議やセミナーを通じて、折に触れてメッセージを出してきました。以前から取り組んでいるストレスチェックの指標が今年はかなり改善されていました。実施時期も同じなので、繁忙によるものではないかと思いますので、健康経営に取り組むことで社員の安心につながり、仕事のストレスが軽減されたのでしょうか？会社からの発信だけでなく、社員同士のコミュニケーションも大事だと考えています。

ENJOY THROUGH CONSTRUCTION ～建設を通して人生を楽しみましょう～

「ひとづくり」として一人一人が仕事を通して人間的な成長をしていくのは、本当に嬉しいことです。街づくりを通じて、人が成長し、地域の夢を育んでいく、その為には長く健康で働けることが欠かせないと思っています。仕事を楽しんで成長し、貢献していくことを目指しています。健康経営の取り組みは社員の関心度合いに差があります。社員が主体的に楽しんで取り組んでいくことが今後のテーマです。創業100周年まであと5年、これからの100年の土台を作る健康経営です。

令和3年4月3日(土)国道4号線クリーンアップ
皆で、45ℓのゴミ袋で約50袋分のゴミを回収しました。

448

福島県
白河営業所

Voice Report 60th

株式会社共和建商

代表取締役社長
増子国安 氏

「感謝の気持ちを原動力に」健康があってこそ！

- 代表取締役社長　増子国安 氏
- 本 社 所 在 地　福島県白河市田島館ヶ崎4-1
- 主な事業内容　土木資材販売業・建設機械レンタル
- 従　業　員　数　社員数50名　男性36名　女性14名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

仕事は楽しんでもらいたい。起きてる時間の半分は会社にいる。

当社は建設現場に対して総合的な提案ができることをモットーにしています。お客様が思っている以上のことを提案することが喜んでいただけるポイントです。社員自身が仕事を楽しみながら、チームとコミュニケーションを図って、経験を活かしながら工夫をして提案をしていくことが重要です。健康的で笑顔があふれる職場にしたいと思っています。

会社は働く社員全員のもの一人一人が共和建商という会社を作ります！

各部門の企画でイベントを行っています。社員が勝手に「全社セール」、「モダン墓石のデザインコンペ」優秀社員に褒賞。昨年の社員旅行はオリンピック観戦予定でしたが、現在、2年分の旅行を企画中、全社で懇親を深めています。青森県大間のマグロを解体して従業員に家族の分も配りました。

社員が家族に自慢できる会社。地域で、あの会社はいい会社だといわれるようになりたい。

地元の小学校や幼稚園の社会科見学で働く車体験会を行い、社員が直接地域とつながりを持てる良い機会になっています。

主体性って大事だなぁと思います。

社長に就任して４年になります。自ら考え行動できるように様々な取り組みをしてきましたが、漸くその効果が出てきました。主体的な人のエネルギーは素晴らしくて、お互いが相乗効果を生んでいます。健康経営取り組みについても、一日の活動量や血圧などの記録ができるスマートウォッチを社員の人数より少なく購入し、「使ってみたい」という希望者に配ることにしました。全員に配るより盛り上げ効果があったと思います。

健康経営は人生経営。自分の仕事も人生の一部

仕事も健康も今日やって明日すぐに結果が出ないことも続けていくことで大きな効果が出てきます。一人一人が健康の価値を自覚して、自分と家族のために取り組む社員の主体性を引き出して伸ばしていきたいと思っています。健康経営は人生経営。仕事も人生の一部、そう感じて、自慢される会社にしたいですね。

企業理念の浸透　いい会社は月曜の朝が楽しい
ワイワイガヤガヤ受講しました。

449

茨城県
水戸営業所

水戸急送株式会社

代表取締役社長
阿久津　正 氏

「安全第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　阿久津　正 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県水戸市酒門町
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　28名(男性:26名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

Voice Report 60th

人手不足だからこそ、健康経営に取り組むことが必要！

アクサ生命の保険担当者より健康経営セミナーのご案内をいただきました。健康経営セミナーやアクサ生命の担当者の話を聞くうちに 社長である私の健康はもとより、従業員の健康が大事なのだと気付くことが出来ました。
健康経営を一生懸命取り組んでいる同業の社長様のお話を聞く機会があり、取り組みについて聞いてみたところ「人材不足だからこそ健康経営に取り組む」との言葉に、弊社にとっても必要であると感じました。

まずは出来ることから、「健康経営実践プログラム」を参考に活動開始！

以下を実施し、社員の健康増進に繋げています。

- 事業所敷地内全面禁煙
- 平日飲酒禁止
- 年2回の健康診断
- インフルエンザ予防接種推奨(費用は会社負担)
- 働き方改革によるシフト変更(残業の平均化)
- 配置換えによる雇用継続
  (重い病気等で運転ができなくなった場合など)
- トラック ひとり1台専属使用
- 営業所内ウォーターサーバー設置
- 従業員永年勤続表賞
  (商工会議所主催に参加)
- 社内で交通事故防止コンクール実施
  (3チーム制表彰)
  (ランダムに3カ月無事故無違反)

社内にこんな良い変化が……

残業が片寄ることなく調整が出来、従業員も満足しています。交通事故防止コンクール表彰やトラックひとり1台専属かつ特殊塗装のため、いつも綺麗に整備を行い、また安全運転にも心掛けているようです。
雇用面では病気をしても雇用を継続できることが従業員へ浸透し、会社との信頼関係が強くなりました。
営業所内にウォーターサーバーを置くことにより、従業員がマイ水筒に美味しい水を自由に入れて飲めるようになり、こまめに水分補給を行い健康面の意識向上に繋がっています。
2021年4月1日に運転者職場環境良好認定制度の1つ星を取得しはたらきやすい職場と認定されました。
社長の想いが伝わり、健康に気遣う従業員が増え、不平不満が無い職場となりました。また若い人の応募が増え、離職者の減少につながりました。

今後にむけて

アクサ生命提供のアプリを利用して、社内で運動をするなど社員とのコミュニケーションをより一層深めていきたいと思います。今後も健康経営の取り組みを積極的に継続し、採用広告やホームページにも健康経営の取り組みなどを入れて、広めていきたいと思います。同業社にも健康経営の取り組みを推奨していきたいと思います。

450

茨城県
石岡営業所

Voice Report 60th

社会福祉法人陽山会

理事長
前島守雅 氏

「笑顔で明るく親切に」そのような職場環境を目指しています

■ 理　　事　　長　前島守雅 氏
■ 所　　在　　地　茨城県石岡市三村
■ 主な事業内容　障がい者支援施設
■ 従　業　員　数　98名(男性:37名・女性:61名)

http://www.youzankai.or.jp/

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

職員自身が「日々健康であれ」それが優良なサービスを提供できる原点！

私たち陽山会は茨城県石岡市に根ざし、障がい者支援施設、グループホーム、地域交流ホームなどを運営しております。基本理念として「利用者の方々の尊厳を守り、一人ひとりの個性や能力を尊重しながら、質の高いサービスを追求する」ことを掲げており、その理念達成のためには利用者の方を支える職員全員がいきいきと健康で働けることが必要です。そのため、この度アクサ生命の健康経営アドバイザーの協力を頂きながら健康経営の取組を実施しました。

「健康習慣アンケート」を通じて職員同士のコミュニケーションが活性化！

まず健康経営の取組をするにあたって『健康習慣アンケート』を行いましたが、それにより職員個々の健康に対する意識に変化が現れ、互いのコミュニケーションが活性化するという好影響が出ました。具体的には、職員同士で一緒にアンケートを回答し、その回答への感想を職員同士で話すことにより、職員同士で相互に健康管理をし合えるまでになりました。
さらに、例えば腰痛予防体操を、通常は朝礼時に行うため夜間勤務者は参加できないが、その勤務者同士で自主的に空き時間で行うようになる、という行動変容も実現しました。

禁煙対策と感染症予防を重点的に実施！

健康習慣アンケートの結果より、弊会として、「禁煙対策」と「感染症予防」の２点を重点的に取組みました。
禁煙対策として、喫煙による健康被害についての情報提供を適宜行い、また産業医と連携しながら喫煙者への面談を実施しております。これを継続的に行いつつ2022年度中に禁煙外来受診者への費用一部負担の制度を導入することで、最終的には禁煙率+60%の実現予定を目指しています。

三密を激減！徹底した感染症対策！

職業柄、利用者と接する機会が多い我々だからこそ、感染症対策は法人全体として強固に取組んでおります。
常時の喚起とマスク着用、１日３回の職員の検温実施、2週間の行動管理表記録、月１回のゾーニング訓練、そして施設内の消毒作業の徹底実施を行っています。
特に施設内消毒については、朝夕、床や手すりなど人が触れるものは丁寧に消毒作業を徹底実施しております。使用する次亜塩素酸水は１日でポリ容器６～７缶分(約14リットル)にも及んでおります。

今後の展望

現在働いている職員、またこれから入会される未来の職員も含めて、皆が健康増進を実現しながら定年のない“生涯現役”を貫けられる職場環境となる事が今後の理想です。
また、弊会では専門経験職としての高齢者採用も実施しているため、このような環境醸成が必須となります。
最後に、職員が笑顔で明るく親切に勤務し、すべての利用者様と地域社会に笑顔の『和』を広げていけるよう引き続き健康経営の取組をいたします。

・次亜塩素酸水を使用した消毒作業の様子
・健康宣言、健康経営認定証は施設入口に掲載

株式会社諸岡

代表取締役社長
諸岡正美 氏

「道なき未知を切り拓く！」

- 代表取締役CEO　諸岡正美 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県龍ヶ崎市
- 主な事業内容　建設機械製造・販売
- 従　業　員　数　244名(男性:188名・女性:56名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営との出会い

当社は、不整地運搬車や木材破砕機などユニークな工事車両を製造販売し、日本、ドイツ、アメリカを営業拠点にグローバルな企業活動を行っています。
健康経営は、５年ほど前に銀行のセミナーなどでつくば大学の先生のお話しを聞くことで社員の健康作りの大切さは理解していたものの、経営課題として取り上げるまでには至りませんでした。
そのような中で、2019年に、社員が生き生きと働くための「働き方改革宣言」を策定し、その後、これは健康経営にも通じる取り組みであると理解しました。
Do it プランニングの神﨑さんには、これまでも様々な相談をしてきましたが、会社主導の働き方改革だけではなく、社員の「人生100年」をいかに豊かに過ごすことができるか？という従業員の目線で取り組む必要があるとのお話しに共感しました。

「健康経営」で経営者として意識が変わった！

これまで私は、始業時刻になったら社員は万全の体制で業務にあたることが当然、また会社は社員が安全に業務ができるように安全衛生を徹底するという考え方でした。
しかし、健康経営を通じて、より一歩踏み込んだ、社員に「身体の不調はないのか？」「悩みはないのか？」「気持ちよく働いているのか？」という考え方が大切ということに気づきました。
この気づきを経営者として具体的な行動に移すことが必要だと感じ、昼の休憩時間を45分から60分に15分延長し、労働時間を短縮するとともに、スポーツ科学の専門家を招き、社員の健康作りを積極的に進めました。

経営者が変われば 、従業員も変わる！

アクサ生命の提供してくれた健康習慣アンケートを通じて明らかになった課題を社員と共有するため、就業時間中にセミナーの時間をしっかり確保し、健康つくりや経済的な課題への対策などを神﨑さんに話してもらいました。
その後、希望する社員には、個別に相談できるような環境も整備し、社員にとって、なぜ健康が大切か？将来の豊かな人生をどのように手に入れるか？を理解してもらうことに注力しました。
これまで社員に対して社員教育という時間は設けてきましたが、社員の健康作りで時間を作ったのは、今回が初めてでした。
このように、会社も健康作りに関して、できうる限りのサポートを実施する、というメッセージを社員が強く受け止めてくれたと思います。

健康経営の効果

2020年は、コロナを通じて、様々な制限のある年ではあったものの、しっかりと感染症対策を実施したことも社員のモチベーションを高めたと思います。
海外の売り上げが大きく減少するなか、国内の売り上げが大きく伸び、労働時間を減少させて、しかも増収増益を達成しました。
もちろん、この事実だけで健康経営の意義を達成したとは言いませんが、今後も慎重に健康課題と生産性との関係性を注視していきたいと思います。

これから目指すこと

私たちの会社は、今から50年以上も前に、上総掘りという農業用水確保のための井戸堀りの会社からスタートしています。その後、昭和50年代に地下水くみ上げによる地盤沈下などの社会課題に向き合い、さらに自社で使うために、湿地帯における工事の効率化のためにブリヂストンにゴム製のキャタピラー（ゴムクローラー）を作ってもらったことが、現在の仕事へとつながっています。
つまり、常に社会の課題と向き合い、変化し成長してきたのが当社の歴史です。
最近、イタリアの大手ゼネコン企業との業務を提携する中で、サスティナビリティ宣言にサインしてほしいという要請を受けました。
私たちは、ESGからスタートし2030年に向けてSDGsで持続可能な社会をいかに創り上げていくのか？を仕事の延長線上で常に考えながら企業活動してきたため、すぐにもサインすることができました。
現在、茨城県との女性活躍推進企業、茨城大学との実証実験事業や龍ヶ崎市のSDGs企業としても、さらには、経済産業省の「地域未来牽引企業」としての認定なども受けました。
今年の4月からは、女性初の執行役員も誕生しました。性別、年齢を問わず、多様なメンバーが活躍できる会社を目指していきます。
そのためのポイントは、DX（デジタルトランスフォーメーション）によって、業務の効率化をさらに図るとともに、社員の皆さんが自主的な活動を通じて、より良い会社、未来、社会を目指して欲しいと思います。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

マンガでわかる　諸岡のESG・SDGsへの取り組み

諸岡社長とDo it プランニング　神﨑さん

株式会社がくどう舎

取締役副社長 金丸慎一朗 氏(右)
管理部健康経営担当
北條邦子 氏(左)

「幸せに過ごせる社会作り」に貢献します！

- 代表取締役社長　関根利和 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県所沢市小手指元町3-16-10
- 主な事業内容　児童福祉事業
- 従　業　員　数　83名(男性:27名・女性:56名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

高い離職率の改善が、健康経営に取り組む目的でした

業界の課題は離職率の高さにありました。人と接する仕事なので、ストレスを抱える職員も多く、それが職員間の人間関係にも影響し、離職に至るケースもありました。
賃金のアップで応えようにも、業種柄、枠は決められておりなかなか難しい問題で、何か打開策がないかを模索していたところ「健康経営」というワードに出会いました。従業員の健康を経営資源と捉える発想は今までなく、取り組む価値は大きいのではと直感的に感じました。

職場内のコミュニケーション作りから始めました

とにかく手軽に始められるところから取り組んでみました。Webを使っての懇親会を手始めに行い、「密」にならないようにと所沢市内にある航空公園からカルチャーパークまでどんぐりを拾いながら歩く、「青空散歩」も企画し実行しました。拾ったどんぐりを使って、子どもたちのための遊具(コマなど)を職員みんなで手作りしました。
また、健康増進とコミュニケーションの場作りを目的として市民体育館を借りてバドミントン大会も開催しました。これはのちにバドミントンサークルにまでも発展しました。

会社からの発信に職員が一つになりました

コロナ禍において様々な制約がある中、会社からの呼びかけに対し、職員たちが自分たちで企画・準備を進めてくれました。職員間のコミュニケーションも活発化し、同時に職員の健康に対する意識も高まってまいりました。その表れとして健康のために、ウォーキング、ストレッチ、体操を始める職員が出てきました。

従業員の健康に対する意識が明らかに高まりました

取り組みをして嬉しかったことは、職員から「健康について考えるきっかけをもらい、ありがとうございました。」という言葉をもらったことです。
職員の健康に対する意識の高まりをもっとも表したのは特定保健指導の実施者の数です。昨年は実施「0(ゼロ)」だったものが、今年はなんと対象者全員が実施いたしました。

すべての子どもたちが幸せに過ごせる社会に

「あらゆる仕事は社会貢献です。そうでなくてはなりません」私たちは、そう考えます。私たちの経営理念は「すべての子どもたちが健やかに成長し、その家族が幸せに過ごせる社会づくりに貢献します」であります。この想いは当然のことながら、職員も含めてそうありたいと考えています。長く働ける環境を作り整備していく。自分たちができることを、これからも役職員一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

青空散歩の様子

どんぐりを拾っての
手作り遊具の作成

体育館を借りての
バドミントン大会

453

千葉県
千葉営業所

Voice Report 60th

株式会社ボイスコーポレーション

代表取締役社長
阿部ひとみ 氏

～感謝の念を持ちながら、人生を楽しくワクワクと～

- 代表取締役社長　阿部ひとみ 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県千葉市花見川区花園
- 主な事業内容　司会、イベント企画、研修・講師派遣
- 従　業　員　数　80名（契約スタッフ含む）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営から健康経営優良法人認定へ

当社は、1993年に設立した結婚式やイベントの司会、アーティストのプロデュース、社員研修等“人”に携わる事業を全国で幅広く行っている千葉市に本社を構える企業です。
健康経営という言葉や優良法人認定制度というものがあることは以前より知っており、取組むべき制度だなという認識はありました。
優良法人認定には、昨年、後輩で既に認定取得済の会社から、実際にいろいろな取組みをしているのだから一緒に認定取得を目指さないか？というお誘いを受けて、その会社のサポートを受けながら申請をしたところ、初めて取得ができた次第です。

「健康経営」に取組んでいる背景は

当社社員の仕事としては、結婚式やイベントの司会であったり、企業様向けの社員研修であったり、いずれも人と接する仕事であり、かつ自身のモチベーションもとても重要です。
厳密にいうと契約スタッフと社員ということになりますが、ここでは合わせて“社員”とさせていただきまして、この社員に対してはメンタル面を重要視して教育や研修に取組んでいます。内容的には、社長が(一社)国際メンタルイノベーション協会の代表理事をしていることもあり、“潜在意識”を活用することによって不安や悩みを取り除き、前向きになることができるというものの他、社長自らがグループごとに研修を行っています。
また、当社では女性の割合が多いこともあり、家事や子育てのこと等、仕事以外のことでのストレスが多く見受けられるので、社長としては、社員と会ったら、そういった面での声がけを意識して接するようにしています。苦しい場面等、同志がいてこそ切り抜けることができるかと思います。組織の力ですね。

「盛和塾」から学んだことを活かして

社員が女性特有の健康課題に直面した際も、治療と仕事が両立でき、経済的にも会社としてサポートできるよう配慮もしました。保険のありがたみもそこで感じましたね。
他には、社内報で、たばこのこと、健康のこと、気持ちの面のことは定期的に書いて伝えるようにもしています。
「社長はいつも同じことを言っている」と言われますが、逆にそれが大事なことではないでしょうか。そういった積み重ねもあってか、現在は喫煙者がいなくなりました。

自分の可能性は無限大

社員には「みんな、感謝の念を持ちながら、人生を楽しくワクワクと送ってほしい」という想いがあります。
私たちの仕事自体が、そういう仕事であり、お客様からもその感謝の気持ちをいただける、いい意味で“やみつき”になる仕事です。誰もがこの仕事を続けていきたいと思ってくれていると聞いています。その大好きな仕事を続けていくためにも、こころの健康は勿論のこと、身体の健康も、そして支える会社の健康も、組織として継続して取組んでいきたいと思います。

研修会・懇親会時の仲間たち

株式会社ゲンキの平和堂

代表取締役
藤本侑也 氏

社員の物心両面の幸福を追求しています

- 代 表 取 締 役　藤本侑也 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県柏市大山台
- 主な事業内容　総合リユース事業
- 従　業　員　数　60名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」への出会い

創業は先代によって昭和44年に設立された“街の電気屋さん”です。現社長がアメリカから帰国後にリサイクル事業を始め、現在の総合リユース事業の展開となっています。健康経営をスタートしたきっかけは、商工会議所からすすめられアクサ生命から説明を受けたところ既に取り組んでいる内容も多く、健康経営優良法人認定のロゴマークもリクルート等に活用したいということもありました。

会社での取り組みと協会けんぽ「健康な職場づくり宣言」の活用

協会けんぽ千葉支部から、「健康な職場づくり宣言」の説明を直接受け、従業員の家族が1,000円程度で受診できることを知り、従業員に周知しました。また「健康度見える化BOOK」の配布を受け、会社として何に取り組めばいいのかがわかったことが良かったと思います。
そして既に会社として取り組んでいることがいくつかあり紹介します。

①コミュニケーションの促進
従業員だけのSNSの設定や、従業員同士の食事会等に使える毎月3,000円/人の補助をしています。
また朝礼時に職場の教養という冊子を用い、感想を述べることでお互いの考え方、発想がわかるようにしています。

②病気やケガと仕事の両立
以前、ケガをしたパートの方がいました。その人の体調、回復度に合わせた勤務体系を組んでいただきました。また、ケガ以外にもメンタルの相談窓口も社内で設置しています。

③運動の機会
ラジオ体操は、ずっと以前から毎朝実施をしています。

④受動喫煙に対する取組み
10年以上前から、採用の条件として“煙草を吸わないこと”を掲げています。“煙草”を吸っていた従業員も現在は禁煙している状況です。

また、私たちの会社では「お疲れ様です」ではなく、「お楽しみ様です」と言います。
これは言葉に意味がついていて、人は無意識にその言葉をその通り解釈しているから。たとえば、中学生が職場体験に来た時に「仕事ってどう？」と聞くと、働きたくない、辛そう、しんどそうという言葉が返ってきます。理由を聞いた時に一番多かったのが、父親・母親が仕事から帰ってきた後、「疲れた」と言うからなんです。その言葉を子どもは毎日毎日、無意識に刷り込まれているわけですよね。すると仕事をしたことがないのに「仕事は大変なんだ」という風に子どもは思うんです。だから普段から「お疲れ様です」という言葉を使わない。仕事は楽しいものであって、社員は皆好きなことを好きなようにやっていますから、「お楽しみ様です」と言っています。

仕事に行くんじゃなくて、遊びに行くくらいの感覚がいい

具体的な取り組みの一例として、以上のようなことを紹介させていただきましたが、“仕事は楽しいもの”です。
楽しんで働くためには、自分が責任者として、自分たちで考えて行動することが大切。いい意味で、社長が必要なくなることが会社の成長であり、一番の楽しみです。会社のことだけでなく、個人が豊かになること。個人が満たされて家庭も幸せにならない限り、会社に来て仕事をしても上手くいかない。だからこそ、物心両面の幸福を追求しています。

千葉県柏市にある本社社屋です

455

千葉県
銚子営業所

Voice Report 60th

八日市場瓦斯株式会社

代表取締役社長
鵜沢宣広 氏

「ありがとう」から始めよう　幸せ暮らしの合言葉

- 代表取締役社長　鵜沢宣広 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県匝瑳市八日市場
- 主な事業内容　燃料小売、家庭用機械器具
- 従　業　員　数　25名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

毎日仕事に行きたくなる会社を目指して

当社は、1952年創業のプロパンガス製造販売会社で千葉県東総地区で営業開始し69年目を迎えています。ガス以外にも住宅リフォームや家電設置工事まで、暮らしに幸せを運ぶをモットーにしている会社です。健康経営への取組みについては、アクサ生命さんからの情報や社是の中にもある「挨拶一番」「元氣一番」「笑顔一番」のもと、「健康でないと何も始まらない」「健康は心から、心の経営」「仕事がうまくいけば、ストレスも少ないはず、会社にも行きたくなる」の思いで、会社をあげて取組んでいます。

以前から実施していること＋新たな取組み

具体的に取組み、実施していることを順番にご紹介します。

- １日のスタートはラジオ体操⇒気持ちを込めた掃除15分⇒元氣イッパイの活力朝礼、という順で始まります。
  社員の心を一つにするこの朝礼に関しては、倫理法人会の実施する朝礼コンテストの千葉県大会で優勝し、全国大会である“朝礼甲子園”に2018年の千葉県代表として出場させて頂きました。当社の元氣の源になっています。
- 運動面においては、１年くらい前からインストラクターを呼んで会議室を使って“ヨガ”ストレッチを実施しています。
- 定期健康診断においては、通常の項目に加えて「腫瘍マーカー」も実施しています。再検査、精密検査の受診については、社長自らが直接、当該社員に受診を促すようにしています。
- また、社員のメンタルヘルスも含めた健康管理等については地域産業保健センターを活用させていただいています。
- コミュニケーション対策としては暑気払い、忘新年会のほか、社員の誕生日には、社長自ら腕を振るって料理を提供しています。また、本社社屋の事務所の“ドア”を取っ払い名実ともに社内の風通しを良くしました。

取組みとその成果

以上が取組みの１例ですが、取組みを継続する事により、以前に比べて社員が明るくなったと感じています。
また、CSツール委員会、IT委員会、５S委員会等を設置し、社員にアイディアを出し合うことを奨励した結果、社内チラシ等、様々なアクションが現場よりの意見として多数、提案されるようになりました。

幸せはお金で買えない宝物。みんなの心が作るもの

当社の自慢は、なんといっても真面目で正直、多彩な資格を持つ社員です。コーポレートカラーは、黄色です。御覧の通り社屋も黄色です。＝「いつも心に太陽を」です。イメージキャラクターは“ハチ”です。社名の八と働きバチにかけています。全社員で、働いている意味を理解し、やりがいのある会社を作りSDGs精神にも則り、地域貢献を図ることによって、全社員が会社に来たくなる職場づくりを更に推進していきたいと思います。

匝瑳市にある本社社屋です

社長を囲んで

毎月発信しているコミュニケーション情報誌

456

千葉県
銚子営業所

株式会社銚子大洋自動車教習所

代表取締役社長
澤田裕江 氏

～人と命を大切にし　共に成長し続けます～

- 代表取締役社長　澤田裕江 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県銚子市長塚町
- 主な事業内容　自動車教習所
- 従　業　員　数　29名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取組む背景とそれに対しての取組み

当社は、1961年創業、今年で60周年を迎える銚子市にあるドライビングスクールです。取組みのきっかけは、以前に熊本県のドライビングスクールの社長様の働き方改革の講演を聴く機会があり、非常に参考になったのと、アクサ生命さんから健康経営の説明を受けた事であります。また、アクサ生命さんからは継続的にバックアップをいただけるという心強い話もあり、優良法人認定取得に向けて、“健康経営”を取組んでみようと思いました。

・元々、社員の中でメンタル面で体調を崩されている方がいて、大事になる前に何か手をうってあげたいと思っておりました。
そこで、2014年から東京の産業カウンセラーによる全社員向けのメンタルヘルスセミナーを毎年開催しております。また、個別カウンセリングを希望する社員には、そのカウンセリング料の半額を会社が負担するようにしております。
・以前、退職した社員ではありますが、１人がんで亡くしています。健診結果で、要精密検査となっているにもかかわらず、結果としては放置してしまっていたことも原因です。健診結果＝個人情報？という迷いもありました。現在は、社長自らが、健診結果を確認し、再検査等が必要な社員には直接働きかけをしています。
・女性の働き方支援については、女性用の休憩室の設置や不妊治療の支援にも会社として対応しています。
・感染症対策についても、以前よりインフルエンザの予防接種費用は全額会社負担で行っています。対コロナについては会社特製のマスクの作成と配布、消毒液の他、教習車に空気清浄器の設置も行いました。
・喫煙に関しては、コロナ対策という名目も含めて施設内全面禁煙としました。また、６月の禁煙デーに合わせて、６月を就業時間内禁煙月間にする予定です。そもそも人と接する職業で、タバコ臭がしていいのかということもありますので。
また、誕生日には“花かご”をお渡しするようにもしています。以上のような種々の取組みを行っているわけですが、効果としては体調を崩す社員が減ってきていますし、社内ストレスについても減ってきていると実感しております。

今後の展望と取組み

今まで実施してきた取組みに加えて、2021年からは、業務やコミュニケーション目的もあり、チームを６つ作ります。その中で、チームごとに月間平均歩数を競い、年末に表彰をすることとしたり、健康衛生委員会を作って、様々な取組み提案をしてもらう予定にしています。例えば、腰痛防止体操ですとか。
飲み物についても、浄水器ウォーターサーバーの設置も予定しています。
経営理念でもある「人と命を大切にし　共に成長し続けます」を今後も体現し続けていきます。

メンタルヘルスセミナー風景

社屋と共に働く仲間たち

457

千葉県
銚子営業所

Voice Report 60th

株式会社トラヤ

取締役副社長
遠藤雄太 氏

～就業規則と健康経営のコラボで更なる取組み深化へ～

- 代表取締役　遠藤孝二 氏
- 本社所在地　千葉県銚子市新生町
- 主な事業内容　OA事務機器文房具販売
- 従業員数　33名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営と優良法人認定取得に向けて

当社は、個人商店として1946年に創立されました。その後、法人化を経て創業75年目の現在は、千葉県内はもとより茨城県鹿島地区まで幅広いエリアのお客様にご愛顧いただいております。
健康経営および優良法人認定取得への取組みのきっかけは、
①昨年４月に働き方改革等時代に合うように就業規則を大きく改訂。
②ほぼ時を同じくして、アクサ生命の担当の方から健康経営の説明を受ける。
③内容的には、すでに取組んでいることも多く、会社の方向性とも一致したのでさらに積極的に進めていこうというのが実際のところです。

社員が健康を害すること=会社の健康悪化に

普段取組んでいることは、特別なことではなく普通のことです。例えば
・定期健診の受診率100％や再受診、要精密検査者の受診勧奨の直接働きかけ。
・協会けんぽの保健師による特定保健指導の際の会議室の提供。
・協会けんぽから郵送されてくる資料は全社員に渡るようにする。特に、喫煙、禁煙関係の資料は、副社長が直接喫煙者に手渡しをする。
・感染症対策としては、基本的予防策の他、取引先など外部の方との「接触」にも注意し、オンラインでの取引打合せを実施したり、また、入室制限エリアを設置しています。また、マスクも不足時に、社員の家族分も含めて２・３ヶ月分を用意配布。
・メンタル対策としては、２年ほど前から副社長自ら全社員一人一人と個人面談を実施しています。その項目の中にメンタルを設けています。自身のみならず家族に関する項目は多いですね。

健康経営の取組みとそれに対しての効果

前述の通り、就業規則の変更を社会保険労務士と数ヶ月間かけて昨年行いましたが、健康経営の取組みに加えてその効果がでてきているのではと感じます。
例えば、有給休暇が取りやすくなって、仕事のメリハリがつくようになった、思いきって仕事ができるようになったという声を聞くようになりました。会社としても有給休暇は使い切ってほしいと思っています。

今後の展望と取組み

更なる積極的な健康経営のため
・定期健診に今年度より項目のアップグレードを図っています。
・ヘルスリテラシーの強化に向けて、同じ市内の事業所の取組を参考にして、例えば半日をセミナーにあてる等、会場も確保したうえで取組んでいきたいと思っています。
・コミュニケーション醸成の場として、グループワークを取り入れていきたいと思っています。

銚子市内で商工会議所も含めて、今回５社が優良法人認定を取得されていますが、今後は互いに情報交換、相互刺激を図って銚子市を盛り上げていきたいと思います。

認定証

銚子市にある本社

森幸漁網株式会社

専務取締役
森田哲平 氏

WIN×WIN×WIN～お客様・社員・社会を幸せにする企業へ～

- 代表取締役社長　森田健男 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県銚子市新生町
- 主な事業内容　漁網製造卸、漁具卸業
- 従　業　員　数　18名(男性:11名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったのは

当社は、千葉県、茨城県を拠点に、全国の漁業者様への漁網や漁業資材の販売やメンテナンスを行っている1900年創業の会社です。健康経営を取り組むキッカケとなったのはアクサ生命さんからの情報提供です。社員が健康に働ける環境づくりには以前から関心を持っていましたが、どの様に取り組めばよいのかが明確ではありませんでした。その中でアクサ生命さんや協会けんぽさんから「健康な職場づくり」についてアドバイスを頂き、具体的な目標を立てて計画的に健康経営に取り組めています。

以前から実施していること＋新たな取り組み

以前からの取り組みも含めて具体的に行っていることを紹介します。

- 当社は20代～30代の若い社員が多く、飽きさせない工夫として、朝のストレッチはヤマハの“Revストレッチ”を導入しています。また、”ぶら下がり健康器“も設置しています。
- 適切な働き方、長時間労働対策としては、業務工程を“見える化”(工程スケジュール一覧)したことや、同じ残業でも夏場は早出残業制にすることによって、長時間労働の抑制に繋がっています。また、2時間単位での有給休暇の導入を行うなどの対策もとっています。
- 食生活改善面では、健康バランス弁当について1/3を会社負担としているのと、食事面だけではありませんが、アクサ生命から提供される健康習慣アンケートの結果、朝食、睡眠、喫煙が当社の課題であることもわかったので、同じくアクサ生命から提供される“ワンポイントアドバイス”シリーズも、毎月の給与明細に同封するなどして、周知、啓蒙を図っているところです。
- 時期によっては熱中症対策として経口補水液や塩分補給のタブレットを常設するなど対策を行っています。
- 昨年はコロナで実施できませんでしたが、社員全員での1泊2日の旅行も実施しコミュニケーション向上を図っています。

取り組みとその成果

前述のような取り組みを行った成果として、残業時間が減り、従業員の一体感(みんなで取り組む)が感じられるようになってきました。従業員同士でも効率よく仕事をする為にはどうしたら良いかを自主的に意見交換をする場面も多く見受けられるようになりました。リクルート面でも今年の4月時点で昨年比より3倍の応募者数があるなど、健康経営の取り組みが、少しずつ成果に繋がってきているように感じます。

今後の展望

私たちの様な一次産業に携わる仕事は若い世代の働き手が少ないという課題があります。「きつい」「汚い」「危険」といった「3K」のイメージがある事もその要因の一つだと感じており、健康経営に積極的に取り組むことでまずそのイメージを払拭したいと思っています。また、将来を担う若い人材が安心して入社し活躍できる環境を整え、組織が活性化し、お客様へのサービス向上につながるといった良い循環を作り、企業として持続的に成長していける組織づくりをしていきたいと考えています。

朝礼後のストレッチ風景

当社工場

平均年齢が30代前半と若く、若手リーダーの育成に注力をしています

459

千葉県
船橋営業所

Voice Report 60th

東京宅配事業株式会社

代表取締役社長
西宮彰宏 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　西宮彰宏 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県習志野市茜浜1-5-9
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　47名(男性:43名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

不規則な仕事だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は貨物輸送を専門とする物流サービスの会社です。ルートの配送の他に、スポットの仕事もあり仕事柄どうしても生活時間が不規則になることが多い職種であるため、日々の社員の健康にも気をつかう必要があると感じています。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動からスタート

がん検診等の任意検診の費用補助等の実施や、従業員の特定保健指導受診の為の勤務シフトの時間調整を行うなど、社員が健診をうけやすい環境作りを心がけています。
また事業場に設置している自販機も健康に配慮した内容にするなど工夫しています。
今年度はより喫煙率を下げる事に注力し、従来も禁煙の呼びかけポスターを掲示する等禁煙対策を進めてきましたが、個別に声掛けを強化する等し、さらに健康推進に繋げていければと考えています。

会長自ら、毎日丁寧なコミュニケーションを図る事で社員全員に浸透していきました。

社外に出ていることが多い社長に代わって社長の母にあたる会長が毎日朝夕社員に声掛けをおこなっています。健康な生活習慣は「まずは元気な挨拶から」と、社内外問わず気持ちの良いコミュニケーションが図れるように日々心掛けています。「気が付いたことはすぐに指摘する・しかしひきずらない」をモットーに、会長が女性ならではの目線で、厳しく、しかし丁寧に話しをすることにより社員の意識も変化してきました。
今では毎回改善していく健診結果を楽しみに、自ら進んで積極的に健康管理に取り組む社員も出てきました。

仕事とプライベートの両立が大切

社長自らオンとオフをしっかりと分ける事でメリハリをつけていくことが大切と考えており、任意のタイミングで取得できる有給の特別休暇制度等を導入しています。
同好会やサークルなどの支援等も通じて、プライベートも大切にしていきたいと考えています。

今後の展望

これから先の時代の変化を見据えて、会社としての色々な資格取得にチャレンジしてます。社員とともに、持続可能な成長企業を目指していきます。

受付の風景

社屋外観

460

千葉県
船橋営業所

Voice Report 60th

広栄化学工業株式会社

代表取締役社長
吉田茂雄 氏

「顧客第一、仕事と家庭の両立を目指し、健康で働きやすい職場作り」

- 代表取締役社長　吉田茂雄 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県習志野市東習志野6-16-11
- 主な事業内容　他無機化学製品製造業
- 従　業　員　数　58名(男性:43名・女性:15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取組んだきっかけ

当社は創業67年になる会社です。元々、次世代育成支援行動計画を掲げ、2018年には次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主認定を受ける等、働きやすい環境強化に努めておりました。
そんな中、体調がすぐれないという理由で当日お休みの連絡が入ることが多く、シフト管理に苦労をしている姿をみて、何か改善できる方法はないかと考え健康経営に着手しました。

アンケートを活用し、まずは課題の把握から工夫してスタート

まずはアンケートにより、従業員の意識調査を実施しました。最初はアンケートの回収がスムーズにいかない場面もありましたが、リスト管理と簡単な景品(カロリーメイト等)を用意し、全員に丁寧に対応し回答を得ることができました。
副産物として、このアンケートを実施したことにより、会社が取り組もうとしていることが社員にも浸透し、朝ラジオ体操もスタートする等、具体的な動きを作っていくきっかけになったと思います。

病気は早期発見が何よりも大切

35歳以上の従業員には、病気はとにかく早期発見が大切との社長の考えから、健診は半年に一回は必要とのことで、通常の健康診断の他に、任意の日帰りドックを会社負担で奨励してます。
重症化する病気の早期発見を促すことで、たとえガン等の病気になった従業員も、治療しながら働き続けられる環境づくりを意識しています。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

有給の消化が遅れがちな社員には組合を通してフォローができる体制の構築、また残業減少の強化にも努め、家族と過ごす時間の確保やプライベートの充実も呼び掛けています。
また食生活等、生活習慣が乱れがちな独身者には婚活パーティーへの費用負担等も実施しながら気を配っています。

今後の展望

令和3年5月1日～令和5年4月30日まで、2年計画で具体的な目標と行動計画を社内のワークライフバランス委員会を通じて全社員に周知しました。
＊HPでも公開してます。
何事も楽しみながら取り組まないと長続きしないので、色々な健康にちなんだ楽しみのある施策のアイデアも出していきながら社員と共に持続可能な成長できる会社を作っていきたいと考えています。

朝のラジオ体操の風景

社屋外観

461

千葉県
船橋営業所

Voice Report 60th

株式会社パール技研

代表取締役
小嶋大介 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代 表 取 締 役　小嶋大介 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県船橋市旭町2-8-31
- 主な事業内容　自動車内燃機関製造業
- 従　業　員　数　34名(男性:28名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2018・2021 認定

健康経営取り組みのきっかけ

創業65年になる会社です。もともと会社の風土で健康診断の受診率は高かったが、付き合いのある金融機関からの勧めもあり、2018年に最初の優良法人認定を取得しました。インフルエンザの予防接種も希望者には会社負担としながら、近隣の会社にも声をかけて集団接種の機会を設ける等実践しています。コロナ対策も、従業員用のマスクの入手やパーテーションの完備等、いち早く取り組みました。福利厚生制度としてスポーツジムの優待を設ける等、色々取り組みを実践する中で、試行錯誤しながら進めています。優良法人認定の取得は社外は勿論、社内にも会社取り組みを共有できるいい機会になったと感じています。

規定をしっかりととのえて、周知徹底する

平成31年に就業規則の改定に着手しました。改定時には毎回社員全員で読み合わせを実施し周知しています。そうする事で会社の考え方を社員と共有でき、意味があると考えています。就業規則はいつでもだれでも見る事ができるように設置しており、新人研修時にも、規定の読み合わせを行っています。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

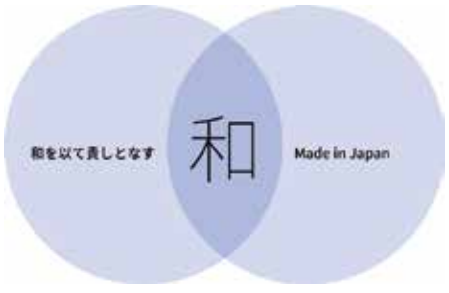
2次検診の受診勧奨等のセンシティブな部分については、総務の社員からではなく、社長自らが社員と Face to face で丁寧に指導し実践することによって、社員の理解を得られやすくなりました。
当社は喫煙率の高さが課題になりますが、改善に向けても社長自らが率先して禁煙に取り組む事により徐々に浸透してきています。
罰則的なことではなく、健康活動を実践できている社員にインセンティブを設ける事で、健康への意識を向上させることを考えています。

新しい人材にもこだわっていきたい

採用にもいい効果があると思います。2021年の優良法人認定もリクルートに有効活用できるように、会社HPの採用情報欄に掲載しています。もともとHP等もスマートフォンを多用する若者目線でのレイアウトにこだわった作りにしている他、フェイスブックやインスタグラム等も活用して広く周知していきます。サークル活動費の補助や忘年会費用全額補助等、社内コミュニケーションの促進も図り、若い社員も働きやすい環境つくりを意識しています。

今後の展望

経済産業省の「地域未来牽引企業」や中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されるなど、将来を見据えて様々なチャレンジをしていく会社において、従業員は非常に大切なパートナーです。今後も会社のモットーである「和」を大切にし、当社にしか出来ない技術を常に磨きながら従業員と共に持続可能な成長を目指していきます。



＜会社のモットー「和」＞
「和」に込められた2つの意味
ひとつ目は「和を以て貴しとなす」という言葉
-意味-
(1)何をするにもみんな仲良く争わず協調するのが良い。
(2)安易に同調するのではなく、お互いに納得するまでしっかり議論しなさい。
ふたつ目は「Made in japan」
日本、の和。日本製という誇りをもってものづくりの仕事を全うしたい。

462

千葉県
船橋営業所

Voice Report 60th

株式会社貝電

代表取締役社長 貝瀬道俊 氏
と従業員の 稲月喜久江 氏

「身体が資本！」生きていくため働くには健康な身体が必要です

- 代表取締役社長　貝瀬道俊 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県船橋市東町896
- 主な事業内容　電気通信工事業
- 従　業　員　数　27名(男性:20名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社長自らの体験から社員の健康面を意識

当社は創業20年を迎える会社です。2018年12月にお客様からのイメージも考慮して業務中の禁煙にも取り組んできました。2019年に社長自身が病気で倒れたことにより、健康の大切さをさらに強く意識するようになり、健康経営アドバイザーからの勧めもあり本格的に健康経営に着手しました。

社長や専務自らが、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員の理解を深めていった

健康診断や２次検診・特定保健指導等、周知するだけではなかなか浸透しないため、社長・専務自らが個別に繰り返し丁寧に指導していきました。２次検診には会社の費用負担も講じて、また業務と同様の伝達ラインを活用することで漏れのない確認体制が構築され100％受診が実現しました。さらに丁寧な個別対応が功を奏し社員の自発性を高める効果も生まれました。

皆さんは何故働いているのでしょうか？

「あなたは生きていくために、健康を維持し、且つもしもの時の準備ができていますか？」
真摯に問いかける社長からのメッセージを記載した手帳を、全社員と協力会社にも配り健康の大切さをアウトプットしています。優良法人認定にふれた社長自身のSNSにも、早速顔見知りの社長からアクションがあり、公私問わず健康でいることの重要性を広めています。

社員の心のケアも大切

日中は個々がそれぞれに顧客対応を行うため、気分転換が図りにくい側面があり、以前は仲間が集まっての飲み会等でコミュニケーションを図る事により心のケアを図る事が出来ていました。今は難しい環境になりましたが、社員からのアイデアもありZOOM等オンラインを活用した飲み会の場を一部費用を会社負担する等して提供しています。特に新入社員にとっては、会社に馴染む場として喜ばれています。

今後の展望

自社の社員のみならず、協力会社の経営者達への啓蒙活動も始めています。同じ仕事をする仲間として、大企業と遜色のないコンプライアンスやメンタルサポートを協力会社へも広める活動を実施していきます。

社長のメッセージ入り手帳

463

東京都
東京第三FA支社

Voice Report 60th

株式会社ナチュラルスタンス

代表取締役社長
岩崎智之 氏

「自然体でつながれる人間性、社員も地域も幸せに」

- 代表取締役社長　岩崎智之 氏
- 本 社 所 在 地　東京都小金井市
- 主な事業内容　介護事業
- 従　業　員　数　43名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

社員の健康を何よりも第一に考えて

高齢者の皆様へ昼・夜問わず介護サービスを提供しております。そのため勤務状況が不規則になることもあり、社員の健康状態を常に気にかけていました。
社員の健康状態は、パフォーマンスに影響し、サービスの質にも直結しています。
社員一人一人が、楽しく健康に働けること。それが、介護というサービス業において重要だと考え、取り組んで参りました。

社員の持っている能力を最大限に活かして

◆社員に、ウエイトリフティングの元学生チャンピオンがおりますので、特技を活かして体育館を借りて筋力トレーニングを行いました。2020年は、体育館の閉鎖などもあり、社員が集まっての活動は、一時的に休止することもありました。しかし、それぞれが、自発的に自宅でトレーニングをするなど、主体的な動きの波及効果がありました。
◆アクサ生命保険の健康習慣調査アンケートの結果から食生活の意識改善を行いました。⇒ベジファースト

社員が健康行動を取れるようになっただけでなく、その家族やご利用者様に波及効果がありました。

具体的な数値は把握しておりませんが、一人一人の意識や行動の変化を感じています。また、社員のご家族にも、良い影響が出ています。
今まで、体調不良者が多く出ているわけではありませんが、コロナ禍でも健康維持ができており、デイサービス事業も休業することなく、365日稼働し運営できております。デイサービスのご利用者様も、機能訓練として外出を毎日実施し、健康的に過ごされております。現在、インフルエンザ、新型コロナの罹患者もゼロとなっています。

介護従事者の将来のキャリアを見える化

アクサ生命保険の担当者から定期的に健康に関する情報をいただいており、様々なジャンルから考えるきっかけとなっております。弊社としましても、以前から社員の作る（描く）ライフプランを面談時に取り入れていました。会社の考え方と社員一人一人の考え方を連動させることが出来るので非常に役立っています。社員のぼんやりと見えていた目標が、ライフプラン面談を実施することで、将来のキャリアビジョンを双方が認識し、経済的に見通しが立ち、目標を明確化していくことができるようになりました。

今後の展望

会社で働いている社員やアルバイトスタッフから、外部に向けての発信を期待しております。介護事業の人材不足は深刻な状況が今後も続くことが想像されます。今、働いてくれている社員の働きやすい環境を作ることで、定着率の向上や離職率の低下を目指します。また、それぞれを数値化し、求職者の方々にもご理解いただけるのでは、と考えております。
そうすることで、同業種からも一目を置かれ、他業種からも弊社で働きたいと熱望される会社になっていきたい。そして、地域で暮らす方々にとって、自然体で愛される会社となっていきたいと考えています。

株式会社アスペア

代表取締役社長
加藤雄一 氏

創業から30年間、大切にしてきた“働きやすさ”の文化

- 代表取締役社長　加藤雄一 氏
- 本 社 所 在 地　東京都町田市原町田
- 主な事業内容　ソフトウェア受託開発
- 従　業　員　数　20名(男性:16名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

ITエンジニア業界の常識を変えたい

1991年の創業以来、**働きやすい企業、社員の健康増進**を目指し、長時間勤務が当たり前のIT業界においても、残業時間を抑えながら質の高い技術と業務を提供してきました。

2017年末ごろ、経営者向け勉強会にて『健康経営』を知り、当社で“日常”の先に顕彰制度があるのではないかと考え、翌年には申請にチャレンジし2019年度より**３年連続で認定**されました。

社員の自己実現の先にこそ会社の未来がある！
～自由闊達　自立と自律～

創業直後から**フレックスタイム制**を採用。
制度を作っただけでなく、経営トップが理解を示し円滑な運用を推奨し、実際だれもが気兼ねなく利用しています。
その結果、**有給休暇消化率も98％**を実現。近年では、**勤務間インターバル制度**も採用し、長時間勤務にならないよう心身の健康への取組みを行っています。
加えて、外部講師による食・運動・こころのセミナーを実施しています。

社員からの声を形にした
【スポーツ奨励補助金制度】

社長自ら、49才からチャレンジしたフルマラソンが、味わった事のない達成感を感じライフワークに！ヨガも定期的に通っています。
そんな社長の姿を垣間見た社員から、スポーツ奨励の補助金制度を作って欲しい！との声が上がり、会社独自の制度として実現しました。

社内でのポジティブの連鎖

３年連続で認定を受ける中、社内での浸透度が進み、社員自ら健康経営を軸にした目標設定を行えるようになりました。

社内での共有や周知は、社内掲示版、雑談機能を持たせたビジネス向けチャットツールにて【健康経営チャンネル】を作成しオンラインでの共有と、リアルでの定例会を行っております。
集合知として皆で成長できる仕組みを作りました。社員の結束にも繋がっています。

今後の展望

当社の取組みを社会発信し、『健康経営』に共感いただけるエンジニアの50名体制を目指し事業拡大していきます。

さらに、ITエンジニア業界と地元町田市の【健康経営】の取組にも尽力し、**健康で明るい社会形成**の一助となるよう貢献して参りたいと思います。

働きやすさがゆえ、ママさんエンジニアも多く在籍。ライフステージの変化でキャリアをあきらめる事なく、活躍されています。

Aspireとは、
『熱望する』の意。
顧客にあの会社に
お願いしようと熱望される会社へ

株式会社弘久社

代表取締役社長
米田隆郎 氏

目指すは「SDGsに適応した企業になること！」

- 代表取締役社長　米田隆郎 氏
- 本 社 所 在 地　東京都立川市上砂町5-1-1
- 主な事業内容　印刷業
- 従　業　員　数　33名(男性:19名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

『CSV(共通価値の創造＝SDGs)』が企業理念 健康経営に取り組むのは、必然でした。

先代の社長が、会社のあるべき将来像を模索する中で、約30年前にCSV(共通価値の創造)という手法に辿り着きました。これは、本業と社会的課題解決の貢献を両立できる企業こそがこれからの社会で必要とされ、生き残って行くと考えたからです。以後、この考え方を中心として企業経営を行って参りました。よって、SDGsに適応した企業を目指すことは当社にとってごく自然なことと言えます。その中で、アクサ生命の社員の方から『健康経営』について紹介されましたが、SDGs17のゴールの３番(すべての人に健康と福祉を)、８番(働きがいも経済成長も)に該当することから、迷わず取り組むこととしました。

健康経営という考え方以前から健康経営を実施

『健康経営』についてアクサ生命の社員の方からお聞きする以前から、弊社では、就業時間内の禁煙推進、全体朝礼時の体操などを実施してきました。また、「心身の成長を図るための毎日の習慣付け」を実施しています。これは「７つの習慣」をヒントにしたもので、社員各々が自身の心身の成長に役立つと考えた毎日の習慣の実施状況を掲示するもので、3年ほど継続しています。「読書をする」「階段を利用する」など目標は人それぞれですが、社員の心と体の健康維持に一役買っている取り組みであると自負しています。

自然な流れで従業員に浸透。二次検診率アップ！

上記の取り組みを既に実施していることから、健康宣言についても自然と従業員の間で認識されたように思います。健康診断についても、役員を含めた全員受診は以前から実施されていましたが、二次検診率については改めて紙ベースでも受診のおすすめをするようになってから、自身の健康について関心が高まった社員が増え、その結果二次検診率もアップしました。

全社を挙げ、SDGs達成に向けた社会貢献を！

健康経営優良法人認定は取得が目的ではありません。この取り組みを従業員に浸透させると同時に、社外へ発信することで、弊社の経営姿勢をご理解頂けるだけでなく、先様が少しでも健康経営に関心をお持ち頂くきっかけにもなります。これは弊社の目指す、SDGs達成への貢献とも繋がります。このように従業員を大事にし、働き甲斐ある職場を実現することで、より良い人材が集まり、ひいては社会貢献度の面でも成長し続ける好循環の会社＝求められる組織にすべく邁進してまいります。

株式会社山城製作所

代表取締役
岡部真幸 氏

当たり前のことをしっかりと実践することが健康経営！

- 代 表 取 締 役　岡部真幸 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県厚木市下川入831-1
- 主な事業内容　電気機械器具製造業
- 従　業　員　数　25名(男性:12名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康であることに感謝

1969年に創立し自動制御盤・配電盤の設計・製作を行っています。誰もが健康であるべきで健康であることに感謝しなければならないと日頃より考えていました。健康経営の話を聞いた時に会社が従業員の健康増進や働く環境整備に取り組むことは意義があることと感じ取り組みをスタートしました。

昼食から食生活の改善を意識

健康経営の取り組みを始める際に優良法人認定の各項目の内容を確認したところほとんどの項目はその時点でクリアしていました。当たり前のことをしっかりと実践し継続していくことが健康経営だと感じました。
朝礼後のラジオ体操や健康情報の提供などの新たな取り組みもスタートさせました。また、食生活の改善に向けた取り組みとして昼食の際に配食サービスを活用した健康弁当を従業員が利用できるようにしました。半額を会社が負担して昼食から健康づくりを支援し従業員からも喜ばれています。健康弁当を通じて健康的な食生活や自身の健康を考えるきっかけとなればと考えています。

コロナ禍で課題も

感染症対策については、毎朝の検温を実施し記録に残しています。また、消毒・マスクの着用・アクリル板の利用等を実践しています。
感染症対策は確実に実践していますが、以前から実施していたバーベキュー大会による従業員のコミュニケーションの向上などが図れないなど課題がでてきています。協会けんぽにお願いしていた保健師の派遣等も未実施でした。健康相談窓口を設置するなど従業員のコロナ禍も含めた健康不安を少しでも解消できる仕組みをスタートさせました。

今後の展望

健康経営優良法人認定は毎年となります。今までは当たり前のことを実践していくだけでしたが、今は、更に一歩踏み込み会社の健康課題は何か、今年度新たな取り組みはどうしたら良いかなどを計画的に考え進めるチャンスにしていきたいと考えています。
今年は、従業員の皆さんの健康意識を高めコミュニケーションを高めることが重要であると認識しています。そのために、毎月１回従業員が話し合えるミーティングを検討しています。
また、従業員の皆と一緒に、私自身が健康であることに感謝し、健康づくりに向けた小さな取り組みを継続して取り組んでいきたいと考えています。

健康経営実践を支えるメンバーと

健康・安全情報の掲示コーナー

467

神奈川県
相模原営業所

Voice Report 60th

株式会社清和サービス

代表取締役
原　正弘 氏

「地域の皆様とともに歩む」企業を目指して！

- 代表取締役　原　正弘 氏
- 本社所在地　神奈川県相模原市中央区宮下3-9-18
- 主な事業内容　廃棄物の収集・運搬・中間処理等
- 従業員数　38名（男性：35名・女性：3名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

日々の当たり前を実践するために

一般廃棄物、産業廃棄物等を取扱い、また公共下水道、道路側溝清掃等、官公の役割である清掃業務に民間業者としてあたっています。また、資源回収事業を通じて地域公共サービスに従事し、地域の皆様と地球の環境問題をともに考え歩んでおります。
市民の皆様から見られる仕事であり、当たり前のことを毎日しっかりと実践しています。最近は、台風や地震等の災害が発生した地域では、この当たり前のことができない場面が発生しています。健康経営の話を聞いたとき、従業員の健康が損なわれた場合、同様のことが起きるリスクがあると感じこの取り組みにチャレンジしようと決意しました。社員が生き生きと働いている姿は市民の皆さんの信頼にもつながると確信しています。

「身体の健康」から、スタート

市の担当者が、健康増進担当課に異動となりその方から指導を受け毎朝ラジオ体操とストレッチ体操に取り組んでいます。また、体を使う仕事であるため会社負担で、毎週1回昼休みに電気マッサージを一人15分の予約制で実施しています。有名なスポーツ選手も通っている医院の先生が施術してくれ、個別にどの部分をケアするかアドバイスをしてくれるため従業員からも好評です。自分が若いころ先代社長から年配者も働きやすい職場環境を整えることが大切と言われたことがあります。その時は何も感じませんでしたが、自分自身も年齢を重ね健康は日々のケアの積み重ねが重要であることに気が付き、このような取り組みをスタートしました。

働く環境づくりも大切

週２日のノー残業デーを設定し仕事にメリハリをつけています。また、健康診断は早期発見・早期治療につながるため全員受診できるようしっかりと取り組んでいます。この1年はコロナ感染症対策が重要であり、毎朝の検温やマスク・消毒・手洗い・換気の励行や食堂のアクリル板の設置等できる限りの対応を実践してきました。体調不良で休んだ方には私自身も声掛けをして病院への受診を指導しています。会社がきちんとした感染症対策を実施していくことが従業員の健康意識向上にもつながります。

今後の展望

労働・安全衛生にもつながる健康経営は大切な取り組みです。今回初めての認定を受けましたが、継続して取り組むことが重要と考えています。従業員の意識を高めるため健康コーナーの設置や従業員アンケートも検討しています。認証ロゴマークの活用も含め健康経営の取り組みを社内外に発信し地域全体に広めることにも貢献したいと考えています。

相模原市にある本社社屋

神奈川県の実施するCHO構想推進事業所にも登録

新潟空調株式会社

代表取締役社長
山田雄治 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　山田雄治 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県新潟市東区古湊町3-63
- 主な事業内容　冷暖房設備工事業
- 従　業　員　数　13名(男性:11名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員あっての会社。健康あっての日々の仕事。

何年も前の事ですが、従業員の一人が体調不良で会社を休まざるを得ない状況となり、「健康の大切さ」を従業員全員が感じる出来事がありました。
それ以来、常に健康は大切だと思っていたので、毎年必ず従業員も役員も全員が健康診断を受診していましたが、それだけではなく、何かプラスで出来ることはないかと考えていました。
そんな時に、アクサ生命の担当の方から、「健康経営」という話を聞き、興味を持ったのがキッカケです。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を。

健康経営の取り組みを始めるにあたり、社内のミーティングで健康情報を共有することからスタートしました。従業員の健康習慣のアンケートを行った結果、「飲酒」と「食事」に関する意識を高めたいと感じたからです。定期的に若手社員を中心に話し合いの場を設けています。
健康診断は検査内容を年代毎に変更することにしました。若年層は健康診断、年齢が上がるにつれて人間ドックへ変更、脳ドックまで会社負担で受診出来る仕組みを作りました。インフルエンザの予防接種は会社負担で全員が受けられるようにしています。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

健康診断の年齢別の仕組みは、まだスタートしたばかりですが、幸いにして今回の健康診断では全員が問題はありませんでした。ただ、受診した従業員からは、「会社でここまで健康に気を使ってもらえると助かる。」や「来年に向けて、もう少し気を付けようかな。」などの声も出るようになり、始めてみて良かったと実感しています。
普段の飲み物や食べ物に気を遣う従業員が増えてきて、良い傾向にあるように思います。

社内の雰囲気にも、少しずつ変化が。

休憩時間の中の会話にも、少しずつ「健康」に関する話題が出るようになってきました。今までは話題に「年代のギャップ」があるのか、どうしても全員が同じ話題ということは無かったと思いますが、健康は年代を問わない話題ですので、社内のコミュニケーションにも一役買っていると思います。
喫煙習慣のある社員からも、「禁煙しようかな」という声も出て、みんなが応援するような環境になってきて、楽しく気軽な雰囲気になってきました。

今後の展望

お客様を訪問した際、冷暖房設備に関連した仕事を頂くこともあります。経営陣の世代交代も一段落した今、新しい仕事を受けられるようにするためにも、将来に向けた社員教育にもしっかりと力を入れて、若い世代を育てていきたいと考えています。
その為にも、全員が健康で元気に長く働ける環境作りの整備はとても重要ですので、これからも健康経営を継続して、技術向上を図り、お客様に貢献できる会社を目指します。

本社社屋

469

新潟県
上越営業所

Voice Report 60th

新井電機株式会社

代表取締役社長
新井康祐 氏

社員ひとり一人のBEST パフォーマンスが信頼・顧客満足度に繋がる

- 代表取締役社長　新井康祐 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県上越市石橋2-1-71
- 主な事業内容　自動車電装品整備業
- 従　業　員　数　13名(男性:9名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

大切な従業員が健康で長く働ける会社を目指して

数年前、会社にとって大きな役割を担っていた工場長が脳出血で死亡退職したことがありました。毎年の健康診断は受診していたものの二次検診や継続しての定期受診は本人任せであったことが、会社として大きな課題だということに気づかされました。その中で協会けんぽからの「健康経営」発信に賛同し、従業員が健康で長く働ける会社を目指してスタートしました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

会社にとって社員は大きな財産です。自動車の電気のプロとして、専門的知識と技術の蓄積がなければ、お客様の信頼を得られる仕事はできません。その為にも社員の健康は何よりも大切であると考えます。また、社員を支える家族も健康でなければ気持ちの上でも良い仕事ができません。
社員、家族共に身体的・精神的に健康でいられることが会社の発展につながるものと考えます。

具体的な取り組み

身体の健康のために、健康診断の100％受診を掲げ、本人任せになっていた再検査受診も就業時間内での受診を指示することで再検査受診率も100％となりました。
また、医師会で運営している上越地域職域健康づくり連絡協議会に参加し、定期的な健康メールマガジンを社内掲示して社員と共有し、個々にあいた時間で「ちょこっと筋トレ」や「ラジオ体操推進」にも取り組んでいます。

今後の展望

まずは風通しの良い何でも相談し、話ができる雰囲気作りをしていきたいと思います。体の健康は勿論のこと、心も健康でなければ良い仕事はできません。
いつでも気軽に相談できるよう、時間的な余裕を持ち、社員への声掛けを忘れずに今後も新しい仕事へも積極的に取り組んで、その成果を社員に還元できるようにしていきたいと考えています。

「健康経営」に取り組んでみて

2017年に健康宣言をして取り組みをスタートして2019年から今回で３回連続健康経営優良法人認定を取得しています。また近年、「健康経営」に対する認知度が大きくなり取引先や関連会社からお声がかかるようになりました。
そして何より「健康経営」のスタートをきっかけに従業員がそれぞれ自身の健康に関心を持ち、自身で設定した健康目標に取り組むようになりました。その結果、長期に休暇を取得する従業員がいなくなりました。

470

新潟県
上越営業所

Voice Report 60th

株式会社越後薬草

代表取締役社長
塚田和志 氏

従業員とともに、お客様に健康をお届けする企業でありたい！

- 代表取締役社長　塚田和志 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県上越市小猿屋73
- 主な事業内容　健康食品製造販売
- 従　業　員　数　44名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康をお届けするからこそ、チャレンジしました

従業員の平均年齢が30代半ばで、社内も若い力に溢れています。しかしその反面、従業員自身が自分の健康に対する関心度が低いです。
健康食品をお客様にお届けする以上、まず第一に従業員が健康でなければならない、また、大切な従業員が、今後も健康で長く働ける会社でありたい、そんな思いから健康経営に取り組むことにしました。

具体的な取り組み

屋内の休憩室の環境整備を行いました。以前は休憩室で喫煙する従業員がいたため、社屋内を全面禁煙にして屋外に喫煙所を設けました。さらに自社の健康食品を10時と15時の休憩時間に自由に食べられるように、休憩室に常備しました。
その他、長年粉砕機を担当している社員が、健康診断で聴力に若干の異常が見られたため、防音用アイテムを支給しました。

「健康経営」に取り組んでみて

健康経営の取り組みを始めたことにより、従業員の意識が少しずつ変化していることを感じます。分煙については、喫煙者はとても素直に従ってくれましたし、自社の商品を毎日摂取することにより、従業員の健康への意識だけでなく、仕事への誇りや商品への愛着が高まりました。

安全衛生推進者発信の情報が効果を発揮

従業員のなかから安全衛生推進者を選出し、安全・衛生に関する情報発信をしてもらっています。
この取り組みによって、従業員の業務上の安全配慮への意識や、従業員自身の健康管理への意識が大きく高まりました。同じ従業員の立場からの情報発信がとても効果的でした。

今後の展望

今後は従業員がもっと明るく・楽しく・元気に働いてもらえる職場を目指していきたいです。過去には草野球チームを作っていたこともありました。現在は新型コロナウィルスの影響で難しいですが、ボウリング大会等のスポーツを通して、従業員同士のコミュニケーションをさらに深めていければと考えています。

休憩室に健康食品
（自社商品）を設置

朝のラジオ体操風景

株式会社大原鉄工所

代表取締役社長
大原興人 氏

「義」、「顧客」、「社員」を大切にし仕事を通して社会に貢献する為に！

- 代表取締役社長　大原興人 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県長岡市
- 主な事業内容　他産業機械装置製造業
- 従　業　員　数　169名(男性:151名・女性:18名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2021 認定

従業員の健康は会社の財産

当社は従業員やその家族が心身ともに健康で元気に活躍できることを第一に考え、日頃から従業員の健康づくりに取り組んでおりました。2017年には「第53回長岡社会保険委員大会」にて健康づくりに積極的に取り組む模範事業所として一般財団法人新潟県社会保険協会長表彰を受賞いたしました。
健康経営については長岡商工会議所の担当職員から紹介され従業員の健康管理と生産性の向上を図れる良い制度と思い取り組みを開始いたしました。

健診結果を踏まえた二次健診受診の徹底

今年度は「健診の結果、精密検査や治療が必要とされた従業員に案内文などで受診勧奨を行う」ことに徹底的に取り組みました。
二次健診が必要な従業員へは産業医による事前の健康相談の機会を設けたり、健康診断担当部署からの対象者への労災二次健診の活用推奨を含めた二次健診受診勧奨を行うなどして受診率向上を図り、90%以上の受診率とすることができました。

※南極観測用雪上車

※社員食堂に掲示した100kcal早見表

従業員自ら健康への意識を持つ事が何よりも大切

会社として、社員の「自分の健康への意識を高める」とともに、生活習慣の改善に取り組んでいます。より健康に意識したライフスタイルを目指せるようになれば、仮に病気に罹患した場合でも、早期発見早期治療をすることで、従業員とそのご家族をお守りできると考えています。
健康への意識づくりの取り組みとして、口腔ケアやメンタルヘルスセミナーの開催をはじめ従業員一人ひとりが健康へ関心を示して貰えるように情報発信に努めております。
またメンタルケア対策の一つとして地元のメンタルクリニックと提携し、心のケア専門の相談窓口を設けました。
当社の事業分野は日本で唯一の雪上車製造販売をはじめ、下水処理プラント、リサイクル機器及びプラント、バイオガス発電等多岐に渡り展開しております。
様々な作業環境で働く従業員の為、感染症対策としてインフルエンザや破傷風等のワクチン接種をしっかりと行っております。

今後の展望

当社の経営目的は「100年生き続けること」です。お客様のみならず社員にも大切なことであり、会社の第一目的と考えております。昨年創業113周年を迎えました。事業継続200年に向け社会経済の環境も様々に変遷する中、デジタルトランスフォーメーションによる社内環境の整備とともに働き方改革をこれからも推進してまいります。
従業員には１日でも長く健康で働き続けていただきたいと思います。
これからも地域で健康経営に取り組む会社の模範となるよう積極的に取り組んでまいります。

株式会社竹中製作所　株式会社竹中銅器

代表取締役社長
竹中伸行 氏

健康は幸福の源なれど努力なくして維持はできない。

- 代表取締役社長　竹中伸行 氏
- 本 社 所 在 地　富山県高岡市長慶寺987番地
- 主な事業内容　アルミ建材製造販売・銅器製造販売
- 従　業　員　数　㈱竹中製作所58名　㈱竹中銅器20名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康な乞食は病める国王よりも幸福である

ショーペンハウアーは「健康はありとあらゆる外的財産に勝る。ほんとうに健康な乞食は病める国王よりも幸福である」といいました。まさに健康は幸福の源だといえます。健康とは、肉体的な健康は無論のこと、精神的にも社会的にも満たされた状態を指すのはいうまでもありません。しかしながら健康であるということは当たり前のことではなく、努力なくしては維持していくことはできません。

健康経営取り組みのきっかけ

健康経営の機運が高まる中、社員一人一人が自らや家族の幸福のために健康に留意するのは当然のこととして、会社が社員の健康管理を経営的な観点で捉え投資を行うことは、社員の福利厚生に役立つのみならず、社員の活力向上・生産性向上をもたらし、結果的に業績向上にもつながると期待して健康経営に取り組みました。
不幸な者が他人を幸福にすることはできない、社員一人一人が健康で幸福になって初めて世の中の役に立ついい仕事ができると信じて取り組みを続けています。

健康経営の取り組み内容

十数年前から健康診断受診率は100％を維持してきましたが、最近は特定保健指導受診率100％を目指して当該者に受診を促しているほか、全社員対象にストレスチェックも実施しています。また35歳以上の社員は自己負担１万円で人間ドックを利用できるようにしています。
育児休業は20年前から女性全員取得、現在は時間外労働・休日出勤を月42時間以上の社員をゼロに全社員有給休暇８日以上取得を目標に働き方改革に取り組んでいます。
館内全面禁煙も十数年前から行い、喫煙者の屋外の喫煙所での喫煙時間も１日３回に限定しています。

健康経営の成果

働き方改革の推進によって無駄な仕事が減り、生産性の向上が見られました。このことは思いがけず、コロナ禍での営業時間短縮、コロナ休暇取得の際に役立ちました。
また、社員の健康維持、体力増進への意識も高まり、ここ数年で４人が喫煙をやめ、毎年６人から８人が人間ドックを受診し、前回の富山マラソンでは社員同士が誘い合って参加し、９名全員が完走しました。

今後の展望

人生百年時代を迎え、今後ますます健康で永く働く必要性が高まってきます。またコロナ禍をきっかけに、働き方改革もさらに進んでいくのではないかと思われます。仕事と休暇にメリハリをつけ、ストレスを感じることなく楽しく仕事ができるような環境づくりに努め、さらに高い次元での健康経営に努めたいと思います。

(株)竹中製作所本社

(株)竹中銅器本社

473

富山県
高岡営業所

株式会社北日本通信工業

代表取締役社長
下村照夫 氏

「社員あっての顧客第一主義」高い信頼を実現するために！

- 代表取締役社長　下村照夫 氏
- 本 社 所 在 地　富山県高岡市笹川3204-1
- 主な事業内容　電気通信工事業
- 従　業　員　数　14名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

当社は、創業以来常に「高い品質の提供」を経営方針として歩んできました。
その「高い品質の提供」を担保するのは技術向上への努力と業務遂行に取り組む社員の健康な体であると考えております。
社員及び社員が持つ技術は当社の最高の「商品」であり、「宝」であります。
今後とも社員の一人ひとりの健康に留意し、社員個々の健康意識向上に向け「健康経営」に取り組んでまいります。

具体的な健康経営推進

①タバコ対策の取組み
（1）電子タバコへの切り替え（全額補助）
（2）リーフレットの掲示

②検診・健康診断受診後の取組み
（1）年２回の健康診断
（2）健康診断後のサポート（会長からの声がけ）
（3）健康診断（再検査、精密検査）の記録

感染症予防、その取り組み

①感染症予防
（1）社内の随所にアルコールの設置
（2）社内のドアノブは抗菌処理
（3）空気清浄機の導入

②その他
（1）水素水サーバの設置
（2）階段にカロリー表示
（3）ラジオ体操の実施
（4）休憩室にストレッチ器具の設置
（5）血圧計の設置

今後の展望

コロナ渦でテレワークの推進が叫ばれていますが、当社は現場仕事が主である事から、「如何にリスクを減らせるか」を社員の現場目線で感染防止に取り組んでまいります。
また、日々の業務での改善、働きやすい現場・職場への変革等、広い意味での「働き方改革」に向け、社員からの提案を受け入れ取り組んでまいります。

株式会社ホンダカーズ高岡

代表取締役
濵野正治 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代 表 取 締 役　濵野正治 氏
- 本 社 所 在 地　富山県高岡市荻布183-1
- 主な事業内容　自動車販売(Hondaディーラー)
- 従　業　員　数　65名(男性:51名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営を取り組むきっかけ

従業員の定期健康診断の受診率は毎年100％であったがその結果、特定保健指導を必要とされた対象者の受診率は皆無であり、また要精密検査・再検査の受診率も低調であった。社員の健康は会社の健康と捉え特定保健指導・再検査の受診率向上のため健康経営を導入した。

具体的な取り組み内容は

まずは、従業員が受診・検診・治療を受け易い環境づくりとして、インフルエンザ予防接種・検診・再検査・保健指導を義務づけ検診は就業時間内に行う旨、就業規則を整備しインフルエンザ予防接種にかかる費用は会社全額負担とした。受診を促すリーフレット・ポスターなど作成し配布・掲示し取り組みを行いました。食生活改善の為、食事と健康についてのポスター作成・掲示、自販機の内容を見直し低カロリー飲料を増やし自販機にカロリー表示し食生活改善に取り組みました。

健康経営を取り組んだ結果

定期健診は従業員の健康を守る為の基本的な取り組みと考えています。健康経営導入後、検診は順調に実施されています。
・定期健康診断全従業員受診　100%
・特定保健指導　対象者７名全員　実施100%
・再検査、精密検査は該当者全員受診100%
・インフルエンザ予防接種全員接種(インフルエンザについては近年感染の報告はなし)
・健康増進の取り組みを社員及び家族にアンケートを実施したところ
　①当社の取り組みについては満足している92%　他の健康対策をしてほしい３%　満足していない５%
　②社員の家族の満足度については、大変満足39%　満足している61%
　③モチベーション・生産性向上はあったかについては、大変効果ある29%　少し効果がある71%の結果であり健康経営導入は効果ありと思われる。

特定保健指導実施率向上のための工夫

特定保健指導を就業時間内に実施し、特定保健指導の保健師に病院から事業所に派遣してもらい事業所にて実施し該当者全員指導を受けることができました。

今後の展望

魅力ある会社づくりの一環として健康経営は「要」であると捉え従業員とそのご家族の健康を守り、今後は社員のストレスや悩みなどの対策としてメンタル面での対応にも力を注ぎたいと考えています。

取り組み風景

475

石川県
金沢営業所

Voice Report 60th

合同会社ぽぷら

個々のニーズに耳を傾け、地域に根付いた事業を！

- 代　表　社　員　木村和子 氏
- 本 社 所 在 地　石川県七尾市八幡町
- 主な事業内容　放課後等デイサービス業
- 従　業　員　数　9名(男性:2名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

いつから健康経営に取り組んでますか？

弊社は親会社が「住み慣れた地域で安心して暮らせるお手伝いをします」という理念のもと、金沢市の近郊で訪問介護サービスや放課後等デイサービスに取り組んでいる会社で、七年ほど前に能登地方の保護者の方から七尾市にも放課後等デイサービスをやってもらえないかという要望があり設立された会社です。
健康経営に関しては親会社が先に健康経営の宣言をしており七尾も宣言したらと勧められている時に協会けんぽさんの資料を見て宣言して取り組み始めました。

今回、どういう取り組みをしましたか？

アクサ生命の担当者のアドバイスをいただき、社員むけに健康経営についてのセミナーを行いました。そこで、健康経営とは、社員それぞれが肉体的健康だけではなく、社会的にも健康にならなくてはいけないと言う事を知り、マネーセミナーを行いました。また、アンケートを実施して、会社全体としての課題を見つけてそれに対しての取り組みを行いました。
具体的に言うと、全体的にちょっと運動不足かなという結果でしたので、毎日、朝礼終了時に全員でラジオ体操を行いました。簡単な事なんですが、それでみんなの運動をするという意識が高くなったと思います。
また、社会的な健康ということは、コミュニケーションの促進も大事だと思い、朝礼時の司会を順番制にして一言を言ってもらうようにしたり、昼食をみんなで一緒に和やかな雰囲気で食べるように心がけています。

福利厚生の面では何をしていますか？

弊社はシフト制で勤務していますので、健康診断も担当者が病院の予約から一括して管理しています。去年はコロナの影響で前半、有休が取りにくい状況が続いて、そのしわ寄せが後半に来てしまいました。今年度は、もっと計画的に有休を取ってもらうようにしたいです。その他、リフレッシュ休暇やインフルエンザの予防接種の補助も実施しています。

感染症対策は？

手洗いやマスク、検温は常日頃から実施しています。また、新たに空気清浄機を設置しました。

外部のサポートは利用しましたか？

アクサ生命さんのサポートパッケージを利用しています。具体的には24時間の健康相談やメンタルやストレスに関してのサポート、色々なアプリの存在も全員にお知らせしています。
今回の優良法人取得に関してはいろいろなアドバイスをもらったり、申請書のチェックもしていただきました。

今後の展望

今年は親会社も優良法人認定を目指しています。これからはグループ全体で健康管理だけではなく運動増進についても力を入れていき、利用者さんも社員もみんなが活き活きとした和やかな雰囲気の事業所を作って行きたいと思っています。

認定証を手に木村和子代表社員とアクサ生命の担当者

476

石川県
小松営業所

Voice Report 60th

株式会社佐々木塗装工業

代表取締役社長
新川　渉 氏

死ぬまで「現役」を目指して！

- 代表取締役社長　新川　渉 氏
- 本 社 所 在 地　石川県能美市上清水タ64
- 主な事業内容　金属製品塗装業
- 従　業　員　数　17名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

『健康経営』という言葉が呼ばれる以前から

戦前生まれの初代社長は、食に大変こだわっていました。昭和40年代創業時には、外食するところやコンビニもなく、社員は昼食を準備することがとても難しい時代でした。「食べなければ働けない」そんな当たり前のことを解消するために、毎日、朝食を食べさせ弁当を持たせ、現場に送り出す日々が続きました。工場内での作業が可能になってからは、社内で全員で同じ昼食を取ることが可能になり、野菜中心のおかず、具だくさんの味噌汁、十五穀米や古代米を使ったご飯など、社員の健康を考えたメニューを取り入れていきました。社員には大好評であり、現在も続けています。

「健康経営優良健康法人認定」を目指すきっかけ

能美市健康センターの方が、これまでの弊社の取り組みをお聞きになり、「健康経営」を推進してみたらどうか？とのアドバイスをいただき、すぐに“衛生委員会”を立ち上げ、取り組みを開始いたしました。

健康経営の具体的な取り組み

①食のこだわり
（旬の食材・無添加のものを使用した昼食の提供）
②手洗い・うがいの声かけの実施
③毎朝の体幹を鍛える体操の実施
④日々の血圧測定の実施
⑤健康診断受診率100％実施、及び二次検診の100％実施
⑥月１回の健康に関するミーティングの実施
（健康経営とは？ストレスとは？等健康に関するもの）
⑦社内顕彰制度の実施
健康診断の数値や改善が良好な社員に対し、表彰を実施
（上位３名に賞金を支給しています）

これからの課題

今後は健康診断の必須項目にない歯科検診にも重視していきたい。喫煙者には、禁煙指導も行なっていきたい。身体の健康のみならず、心の健康（メンタルヘルス）にも注視していく事が大切と考えています。

大切な従業員とその家族の健康と共に会社も成長していきたい

塗装業は、有機溶剤の粉塵を吸い込むとか、シンナーを扱うとか、健康に関するイメージが良くないと思いますが、健康経営に取り組むことで、社員の意識が変わり、会社のイメージも変わって来ました。『社員は家族』『死ぬまで現役』をモットーに、これからも健康経営を推進していきたいと思っています。

株式会社ミヤゲン

代表取締役社長
宮元武利 氏

全社員が健康で末永く元気に働ける企業へ

- 代表取締役社長　宮元武利 氏
- 本 社 所 在 地　福井県敦賀市山泉7-15-3
- 主な事業内容　包装資材・衛生用品の開発・製造
- 従　業　員　数　34名(男性:18名・女性:16名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康診断受診率100％への挑戦

社員の健康が会社の生産性向上や企業価値を高めると考え、健康診断100％受診に取り組んでいます。総務部門で検診バスを手配し、職場にて集団健診を実施することで社員が受診しやすい体制を整えています。未受診者の個別検診予約にも対応し、100％受診の達成に向けて挑戦しています。昨年は再検査受診も義務化した事により、再検査の受診率85％を達成出来ました。今後は再検査受診率100％を目指していきます。

ワークライフバランスを実現

ワークライフバランス実現のため、終業５分前に「蛍の光」を流して定時退社を促し、残業０％に取り組んでいます。また連続有休取得促進月間（６月～10月）を設け、計画的な長期休暇取得に取り組み、昨年は有給取得率73％、年間平均で12日の有休が取得されています。その他、時間単位有休制度で仕事と育児・介護・病気の治療等の両立を支援します。会社として女性が働きやすい環境を整備したことにより福井県から『女性活躍推進企業』に認定されました。

社外活動への取り組み

数年前まではレガッタやバレーボールなど社外での運動や交流の活動を行ってきましたが、コロナ禍で社外活動が難しい状況になったため、社内での運動や交流が出来るよう、休憩室にルームランナーやバイク、筋トレマシーン、トランポリンを設置しました。また全社員に運動の機会を設けるため、フロア間の移動にはエレベーターを使用せず階段昇降を奨励しています。

ミヤゲンHP

健康手当報奨金制度導入へ

社員の健康意識の向上を目的とし、健康報奨金制度を導入しています。具体的には、「再検査なし」「メタボ非該当」を必須条件とし、判定結果を３階級に分け、社長より年に１回朝礼で表彰しています。社員には継続して健康に気を配るよう、自販機コーナーの飲料水にカロリー掲示したり、社員の健康取組目標を廊下に掲示することで取り組みを見える化しています。その効果もあり健康を意識する社員が増加しました。

今後の展望

健康な社員を育成する事により、生産性向上に繋げていきたいと思います。具体的には労災ゼロやさらに有給休暇取得率、有給休暇取得日数をアップして生産性向上を図ります。また喫煙する社員が20％程度いるため、社内での喫煙場所を減らすなどの活動に取り組み、社内での喫煙率０％を目指します。

メンタルヘルスセミナー

社内トレーニングルーム

カワイ株式会社

代表取締役社長
河合洋典 氏

社員と家族の幸せの為に出来る事への挑戦

- 代表取締役社長　河合洋典 氏
- 本 社 所 在 地　福井県越前市上太田町29-15-1
- 主な事業内容　小売業
- 従　業　員　数　86名(男性:47名・女性:39名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社員は一番の財産であるという事

新しい時代の幕開けと共に、新型コロナ禍になり、働く社員が健康でいてこそ、経営の安定・成長につながると日々、実感しています。感染症対策をとりながらのコミュニケーションは、大変難しい部分はありますが、個人個人を尊重し、社員が自ら取り組める事から推奨するようにしています。
スイミングなど運動施設を運営して、社員の利用を促しています。社員が、自ら行動できる環境を作れるようにしています。

産業医との連携強化

産業医との連携により、個別指導を行いサポートの強化をしています。メンタルヘルスなど、現代社会ならではの問題がたくさんあります。大切な社員がそんな問題に直面しないよう、個別指導の中で、会社として出来る事から対応しています。
健康診断結果により、2次検査の推進・生活習慣の見直しを促しています。健康に無関心であったり、重要視出来ていなかった社員が、産業医との面談の中で健康習慣の改善に取り組んでいます。

時代の変化への対応

多数の女性社員が管理職として、活躍しています。働きやすい環境を整える事により、女性が活躍出来る職場を目指しています。
幅広い年代の社員がいる中で、若手社員もベテラン社員もお互いにコミュニケーションを積極的にとりながら、アットホームな雰囲気作りをしています。若年層・高齢層・女性・男性など、年代・性別で分かれてしまうのではなく、セミナーや勉強会などで意見を出し合い、理解しあえるような環境作りを行っています。

ワークライフバランスの重要性

肉体的な健康・精神的な健康。どちらをとっても、ワークライフバランスの大切さを感じずにはいられません。
有給休暇の日数を増やし、お休みを取りやすい環境作りにも取り組んでいます。バースデー休暇など、新しい取り組みも始めました。仕事に集中する環境とプライベートの充実、どちらも大切に出来る環境作りに取り組んでいます。

社長の思い

「より良い暮らしづくり」を支える事が当社の経営理念です。地域から必要とされる会社になる為に色々な事業にチャレンジしてきました。未来に向けて、共に挑戦してくれる社員を大切にし、さらなる高みを目指しています。
働く環境を整える事が、自分に出来る事であり、しなければならない事だと捉え、日々、環境改善に取り組んでいきます！社員と家族の為に、さらなる挑戦をしていきます！

社員研修の様子

石油事業部の社員さん

小浜製綱株式会社

働きやすく・長く働ける・夢のある企業へ

- 代表取締役社長　木下善裕 氏
- 本 社 所 在 地　福井県小浜市多田3-10
- 主な事業内容　綱製造業
- 従　業　員　数　83名(男性:55名・女性:28名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

女性の働きやすい会社・環境へ

女性が活躍できる会社への変革。女性活躍推進企業プラスを取得し、女性がいきいきと働けるように推進しています。未来きらりプログラムを女性リーダーが受講。10年前までは、女性がほとんどいなかった職場でしたが、働きやすい環境の整備に向け、就業規則を改定。女性が長く働けるように育児休業の取得や育児時短勤務の就業時間を選択制に変更しました。今は働いている人から意見が出てくるようになり、より良い環境作りを目指しています。

男性の育児休業推進

女性が取得するものという考えから、男性も子育てに参加しやすい環境を作る事が会社として当たり前になるように、男性の育児休業取得の推進に取り組んでいます。男性社員に遠慮なく休みを取って貰う為に奨励金を設ける取り組みも行っています。
年間休日を毎年、増加できるように調整し、数年前と今年度を比べると７日間増やす事が出来ました。
小さな変化から、社員の意識改革が始まっています。

社内での運動機会を増やす為に

社員同士で、お昼休みにウォーキングをしたり、筋力トレーニングをしたり、自分にあった体の動かし方をみつけています。
活動を活発にする為に、カッターシャツ・スカートでは無理なので、制服の見直しにとりかかりました。革靴・ハイヒールも撤廃し、スニーカービズを推進しています。簡単な変更によって、社員の健康増進に取り組んでいます。
運動する機会を持つことで、コミュニケーションの向上を図る事が出来、心の健康へも繋がっています。

今後の展望

２年連続認定されている健康経営優良法人認定は、今年度はブライト500認定を目指し、2018年から認定を受けているくるみんは、プラチナくるみん認定取得へ挑戦。
男女関係なく、働きやすく・長く働けて、夢を持つことの出来る企業へと更なる労働環境の整備に取り組んでいきます。
一つ一つの取り組みから、選ばれる企業へ成長していきます。

ウォーキングに取り組む社員

健康診断受診率アップへ

コロナウイルス蔓延にともない、健康診断の受診には、とても気を使いました。協会けんぽ提携の病院では予約がとれず、集団検診を行う事が出来ませんでした。県外の社員には個別受診を促すなど、一人一人へ声掛けをする中で、健康診断の受診率アップを実現する事ができました。
検診後は、２次検診を促し、社員みんなの健康への意識改革に取り組んでいます。メンタルヘルス不調者への対応も専門病院と提携し、現代ならではの変化にも対応しています。

齋藤建設株式会社

代表取締役社長
齋藤啓文 氏

これからも丁寧なものづくりを続けるため「健康経営」に取組む！

- 代表取締役社長　齋藤啓文 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市青沼
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　35名(男性:32名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

独創性・協調性・社会性を目指す企業として

当社は昭和21年の創業より建築工事と土木工事の公共事業を中心として、地域社会の基盤となる構造物を作っている会社です。
当社のシンボルマークの赤い円は太陽のようにいつまでも輝き、力強く活動し続ける企業精神を象徴しています。この周りで回転する三つの楔(くさび)は独創性・協調性・社会性を目指す企業の決意の形です。

健康経営に取り組むことになったきっかけ

健康経営に取り組むことになったきっかけはアクサ生命の担当者からの案内でした。もともと従業員に喫煙者が多いことや高齢化が進んでいることなど健康面に課題を感じ、どのような手を打てばいいのか悩んでいたところでした。この健康経営は会社にとっても従業員にとっても重要なことだと認識し、会社として取り組んでいくことにしました。

受診勧奨を丁寧に

定期健診は従業員全員が受診しています。再検査や精密検査の必要な場合、以前は対象者の半数も受診できておりませんでした。しかし今は個別に文書を渡し、必ず受診に行くよう指示しています。そして受診後はその旨を会社に報告してもらうなど徹底しています。今後は受診日は出勤認定してさらに行きやすくするなどのことも検討しています。

受動喫煙対策・感染症対策

喫煙する従業員は多いのですが、事務所の屋内は禁煙とし、敷地内で一か所、喫煙スペースを設けています。
感染症対策も強化しています。インフルエンザの予防接種は事務所近くの医院と提携し、全従業員が受けています。接種の費用は会社で全額負担し、勤務時間内に行くようにしています。

これからのこと

私たちはどのようにしたらそこに住まう人の生活がより豊かになるのかをしっかりと考え施工しています。これからも誠実に、ひとつひとつ丁寧なものづくりを心がけていきます。これらの作り手である従業員には健康で長く働き、有意義な人生を送ってほしいと考えています。そのためにも今後は生活習慣上の課題の把握や健康セミナーの実施など、会社を挙げて健康経営に取り組んでまいります。

本社外観

玄関にはAEDも設置

喫煙スペース

481

山梨県
甲府営業所

Voice Report 60th

山梨ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長
上田文彦 氏

企業理念の実現に不可欠な従業員たちの健康保持・増進のために健康経営に取り組んでいます！

- 代表取締役社長　上田文彦 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市下飯田1-3-2
- 主な事業内容　乳製品乳酸菌飲料の販売
- 従　業　員　数　86名(男性:42名・女性:44名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

当社の企業理念

当社は「私たちは健康で安心なまちづくりに貢献し地域の人々を幸せにします」を企業理念としています。従業員が働きやすい職場となるよう、「やまなし働き方改革共同宣言」への署名、企業内保育所の運営、定期健診・がん健診・ストレスチェックを導入し、子育てサポート企業として次世代認定マーク「くるみん」も取得しています。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営のきっかけはアクサ生命の担当者からの情報提供でした。弊社の本社はすでに優良認定を受けており、弊社も健保連東京連合会の「銀の認定」を取得しておりました。この健康経営は上記の企業理念とも合致しており、今後益々その重要性は増していくと考え、本腰を入れて取り組んでいくこととしました。

さまざまな取り組み

地元のスポーツクラブの法人会員になり、従業員は無料で自由に利用できるようにしました。利用者からは「自分たちの健康増進のためにとてもいい」ととても好評です。
ワークライフバランスの向上にも取り組んでいるところです。毎週火曜日をノー残業デーとし、これはかなり定着してきました。また有給休暇は時間単位で取得できるようにしたことで、スムーズな取得につながっています。

徐々に高まる健康意識

健康習慣アンケートの実施で課題を把握し、全従業員を対象にフィードバックセミナーも行いました。
前述のスポーツジムの利用者が増えてきていることなどからも、従業員たちの健康に関する意識が次第に高まってきていると感じています。アンケートでは運動についての意識が不足しているとの課題もわかっておりますので、今後更に利用者が増えていくことを期待しています。

これからのこと

私たちはお客さまの気持ちに寄り添い、利他の心を持てる従業員作りを経営の基本としています。お客さまの健康に関する不安を知り、少しでも解消できることを考え、一人ひとりが健康アドバイザーとなること。そのために今後も会社を挙げて従業員とともに健康経営を実践していきます。

会社外観

ヤクルト保育所

研修風景

地域の健康教室

有限会社飯窪建材

代表取締役
飯窪　栄氏

従業員たちに長くいきいきと働いてもらうため取り組んでいます！

- 代表取締役　飯窪　栄氏
- 本社所在地　山梨県甲府市善光寺
- 主な事業内容　建設業、解体作業全般
- 従業員数　13名（男性：11名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

従業員が次第に高齢化し、健康上の問題を抱える人も出てくるようになりました。会社として何か対策が必要だと感じ始めていました。しかしノウハウがないため何をどのようにしたらよいかと考えていたちょうどその頃、アクサの担当者から健康経営の話を聞きました。そして、社労士の健康経営セミナーに参加して具体的な手法を学んだことが、会社で取り組むきっかけとなりました。

健康習慣アンケート＆フィードバックセミナー

従業員を対象に健康習慣アンケートをおこないました。彼らの多くが健康の重要性は理解していながら、生活習慣への意識がやや不足していることもわかってきました。そこでアクサの担当スタッフに来てもらいフィードバックのセミナーを開催しました。また喫煙者も複数いるため再度機会を設け、禁煙セミナーもおこないました。当然ながら事務所は禁煙としています。少しずつでも禁煙への意識を高めていくようにします。

定期健診とその後の声掛け

当然ながら定期健診は100％受診しています。産業保健総合支援センターに依頼し、医療機関に連携してもらって、指摘事項のある従業員については個別に通院を促す等しています。こうして背中を押してあげることが治療のきっかけになっています。
また特定健診のあと個別に保健師さんの指導を受ける場を提供し勤務時間内での個別面談を実施しています。この機会に保健師さんには従業員全体への食生活などの指導もお願いしています。

少しずつ意識が変化

昨年当社は「やまなし健康経営優良企業」に認定されました。まだまだこれからではありますが、会社がこの健康経営に取り組んでいることへの意識が高まりつつあります。以前は生活習慣にあまり関心を持っていなかった人も、前述の保健師さんの指導を熱心に聞くようになってきましたし、自覚症状のない場合でも健診結果によって再検査などに足を運ぶようになっています。

今後に向けて

従業員たちにはこれからも長く、健康で働いてほしいです。そのためにまず消毒液やマスク、３密回避などコロナ感染症対策はしっかり継続します。そのうえで皆の健康意識が高まっていくよう、事務所に体重計や血圧計を置き、誰でも自由に測れるようにします。また健康習慣アンケートで意識の変化を把握しながら、セミナーでの啓蒙を図っていきたいと思います。

県の優良認定を取得

会社外観

事務所入り口には消毒液

健康情報も掲示

株式会社高根運送

代表取締役社長
坂本晴彦 氏

皆に健康で長く働いてもらう！そのために「健康経営」に取り組む！

- 代表取締役社長　坂本晴彦 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県北杜市高根町村山北割3263
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　44名（男性：42名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

令和元年に協会けんぽ山梨支部からの声掛けがあり、「健康宣言」をしておりました。そこへアクサ生命の担当者から「健康経営」の案内があり、内容を聞いてみました。ちょうど従業員が高年齢化してきており、定期健康診断の結果などからも会社として対処するべき課題を強く感じていたタイミングでもあったので、当時の社長（現会長）とも相談の結果、「健康経営」に取り組むことにしました。

健康習慣アンケートで課題を把握

従業員の健康課題を把握するために「健康習慣アンケート」を実施しました。従業員の多くはトラックのドライバーですが、皆 回答に協力してくれて短期間で100％の回答率となりました。このアンケートで「睡眠」や「心の健康」については日頃から関心を持って取り組めている一方で、「禁煙」は関心度も取組みも少ないとの傾向が浮き彫りになりました。また生活習慣に気をつけている従業員が多く、不健康行動を取る従業員の割合が比較的少ないこともわかりました。

定期健診後のフォローを丁寧に

山梨産業保健総合支援センターに依頼し、地元の医師に従業員全員の健診データを見ていただき、これに基づいて個別のアドバイスをいただくようにしています。定期健診で要精密検査・再検査となった従業員には必ず受診するように声掛けし、結果を会社に報告してもらうようにしています。実際に定期健診～再検査で病気が早期で発見でき、早期の治療によって完治した事例もありましたので、大事な取り組みだと感じております。

毎月の健康情報、休憩室には血圧計も・・・。

休憩室には血圧計を置き、自由に計測できるようにしています。また、体重計と鉄アレイも置き、従業員が少しでも自分の健康への関心が高まるような環境を整えています。
また、アクサ生命の担当者には毎月「健康経営ワンポイントアドバイス」を従業員の人数分を持参してもらい、給与明細と一緒に封筒に入れて渡しています。初めは関心のなかった従業員も次第に目を通すようになり、中には家族にも見せている人もいて、健康への関心は高まりつつあるようです。

今後のこと

今後の課題は喫煙率の低下だと認識しています。事務所の敷地内は全面禁煙にし、42台あるトラックも禁煙にしています。コロナ禍の現在は難しいですが、いずれ状況を見て従業員を集め、禁煙セミナーなども開催したいです。
喫煙のことも含め、従業員たちが健康意識を高め、今後も健康で長く働いてもらいたい、そのために会社として出来る限りのサポートをしていきたいと考えております。

会社外観

休憩室の血圧計と体重計

従業員が応募する毎月の安全の標語。優秀作は表彰しています。

株式会社内藤製作所

代表取締役社長
内藤健一 氏

お客様に選ばれるものづくりを目指し、「健康経営」に取り組んでいきます！

- 代表取締役社長　内藤健一 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲斐市下今井627-1
- 主な事業内容　精密部品の金型開発・設計製作 他
- 従　業　員　数　151名(男性:97名・女性:54名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

当社は1971年の創業以来、モノづくり産業の一翼を担う製造業として日々努力してきました。昨今、転倒災害が発生したり、生活習慣が原因と思われる体調不良で休んでしまう従業員がいることなどから、対策の必要性を感じておりました。そんな時にアクサ生命の担当者から健康経営のことを聞きました。今後の高齢化等を踏まえ、従業員たちにとっても会社にとっても大切なことだと考え、取り組むこととしました。

効果の高かった健康セミナー

たばこメーカーによる禁煙セミナーを実施したほか、従業員の生活習慣上の課題を把握するため、健康習慣アンケートをおこないました。そして全従業員を20～30人ずつに分け、計６回の健康セミナーを実施しました。アンケートのフィードバックとともに生活習慣についてのアドバイスがあり、熱心に耳を傾けておりました。毎月のワンポイントアドバイスも給与明細とともに配布していますが、こちらも関心を持って見ているようです。

ストレスチェックでの工夫

定期健診は年に２回、県内の医療機関から検診バスに来てもらい、駐車場・会議室を利用し実施。受診率は100％となっています。また年に１回ストレスチェックを実施しています。医療機関と相談し、アンケート冒頭部分にある「結果を会社に公表しますか？」の質問は削除しました。これにより従業員たちは抵抗感なくスムーズに回答できています。当面は同チェックへの理解を深め受診率を高めていくためにこの方法を継続していこうと思っています。

徐々に高まる健康意識

左記の健康セミナー後、自販機の前で総務スタッフに「甘いコーヒーは控えますね」と話しかけてくる等、生活習慣に気をつけようとしている人が増えています。近々、社内の自販機をお茶や野菜ジュース中心のメニューへの入れ替えを検討しています。また喫煙については屋外に喫煙室を設置し休憩時間には吸えるようにしていますが、中には禁煙に挑戦している従業員もいて、健康への意識が高まりつつあると感じています。

今後に向けて

今後は「治療と仕事の両立」に関し、休職者に向けたカリキュラムの作成や環境整備も考えていきます。
健康習慣アンケートを継続して実施し、意識や行動の変化を検証します。健康意識をさらに高めていけるようセミナーの機会も設けていきます。従業員たちがこれからも益々健康で充実した人生が送っていけるようこの健康経営の取り組みを継続し、「お客様に選ばれるものづくり」を実現する会社を目指してまいります。

本社外観

健康セミナー

喫煙室

安全への誓い

健康情報コーナー

株式会社マルエスフリージングジャンクション

代表取締役社長
佐野　強 氏

会社の繁栄と全従業員の生活の向上のため「健康経営」に取組む！

- 代表取締役社長　佐野　強 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県笛吹市石和町井戸20
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業・倉庫業
- 従　業　員　数　122名(男性:110名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

最初のきっかけはアクサ生命の担当者からの案内でした。以前から定期健診等で高血圧の従業員が増えてきていることを産業医からも指摘され、会社として改善策に取り組む必要性を感じておりました。また総務担当も従業員の健康に関して何か行動をおこしていきたいものの、何をどのようにしたらいいのかノウハウがないという状態でした。この健康経営は総務が主体となって一緒に取り組んでいける内容であり、「優良認定に向けて行動してみよう」ということになりました。

健康習慣アンケートで現状を把握

まず従業員の生活習慣に関する現状を把握するため、スマホでのWebアンケートを実施しました。心身ともに健康でいることの必要性はほぼ全従業員が感じており、暴飲暴食や夜更かしなど健康を損ねてしまうことは控えようとするなど、多くが健康を意識していることがわかりました。半面、長時間の運転業務によりどうしても運動不足になっており、改善のために何か取組もうとしている従業員が少ないことなどの課題も認識できました。

血圧・体温は毎朝点検！

60数名のドライバーたちは点呼室で毎朝、体温・血圧・アルコール呼気検査をおこなっています。血圧は一定数値を超えた場合は乗務させないようにしています。血圧降下剤の飲み忘れで高い数値になる場合などは服用後に数値が落ち着いてから乗務するようにしています。これらの検査は乗務後に帰社してからもおこない、また倉庫業務の従業員も毎日血圧検査を実施しています。これらのデータを蓄積していくことにより、今後の健康チェックに活かしていけたらと考えております。

健康に関する研修、情報提供など

年２回の安全講習会の場と毎月の安全衛生委員会では、安全面の項目とともに健康に関する研修や情報提供もおこなっています。産業医も毎回同席されます。産業医には現場に出向いていただき、従業員の健康面に関してアドバイスをしていただいています。またアクサ生命からの毎月のワンポイントアドバイスツールは、左記のアンケートで課題になった項目を中心に全員に配布し、さらに点呼室にも掲示して生活習慣について意識づけを図っています。

これからのこと

前述のとおりドライバーや倉庫勤務の従業員の血圧測定のデータを蓄積中です。産業医と連携して総務部が主導的な役割を担い、これらのデータを活用し健康管理に活かしていきたいと考えています。
従業員にはこれからも安全面と健康面に気をつけながら長く勤めてもらい、充実した人生を歩んでほしいと願っています。今後ともそのためのサポートを会社としておこなってまいります。

我が社のシンボルマークとトラック

点呼室の血圧計

多くの絵画と花でお客様をお迎えする受付

株式会社タクミトーヨー住器

代表取締役
尾﨑一成 氏

さらに高いパフォーマンスの発揮を目指し、「健康経営」に取り組む！

- 代表取締役社長　尾﨑一成 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市古府中町6017-16
- 主な事業内容　新築住宅工事・増改築工事 他
- 従　業　員　数　10名(男性:6名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

健康経営のきっかけは、ちょうど私自身が入院・通院を経験し、保険給付の手続きに来ていたアクサの担当者からの「健康経営ってご存知ですか？」との話題からでした。今回は私自身の罹患でしたが、もし従業員たちがそうなった時のことを想像すると、彼らの健康管理・健康増進は会社として取り組んでいかねばならない、とても重要なことだと考え、この健康経営を導入することとなりました。

従業員の受け止め方に変化が・・・

従業員たちに聞いてみると、以前より有給休暇が取得しやすくなった、健診やその後の再検査やインフルエンザの予防接種など受診しやすくなった等の声が聞かれるようになりました。
健康経営の一環としておこなっている諸々の施策は、今後も継続し、従業員たちに更に浸透させていきたいと思います。

健康習慣アンケート＆セミナー

まず、従業員の生活習慣の課題を把握するためのアンケートと、フィードバックセミナーを実施。合わせて「経済面の自立」を促すマネーセミナーもおこないました。特にお金に関しては今後どれくらい必要になるのか、どのような対策をしたらよいのか等を知る、とてもよい機会となりました。
健康面のワンポイントアドバイスツールも毎月、全員に配布しています。皆、次第に関心を持って見るようになっています。

今後のこと

女性従業員も新たに入社しましたので、今後は受動喫煙対策をさらに進めていきたいです。また治療の必要な従業員には、ためらわずに受診できるように配慮し、今後も高いパフォーマンスを発揮してもらえる体制を目指します。大切な従業員たちが１人も抜けることのないよう、積極的に健康増進に取り組んでまいります。

健診・感染症対策

健康経営に取り組み始めて以降、健診時の腫瘍マーカー等は会社負担で全員が受診しています。追加のオプションを希望する従業員には半額を会社負担しています。その後の再検査については勤務時間内の受診をOKとし、個別に後追いをおこなっています。
インフルエンザの予防接種は全員会社負担で勤務時間内に接種しています。コロナウイルス感染症には従業員、来訪者の検温、消毒、アクリル板の設置など、丁寧な対策を講じています。

会社外観

セミナー風景

研鑽を重ねる社風

感染症対策

487

山梨県
富士吉田営業所

Voice Report 60th

吉田ガス株式会社

代表取締役社長
渡邊　勉 氏

さらに地域に密着しともに歩んでいける企業となるため、健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　渡邊　勉 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県富士吉田市下吉田6-5-1
- 主な事業内容　都市ガスの供給販売、ガス機器の販売他
- 従　業　員　数　46名（男性：39名・女性：7名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

地域に密着した事業を展開

都市ガス事業は地域に密着した事業であり、この地域で信頼され続けていかなければならないと考えております。近年のエネルギー自由化を迎え、今まで以上に地域に密着し、ガスだけでなく、さまざまな暮らしのお手伝いをしていく企業を目指しております。そのためには会社を支えてくれている従業員と会社が、双方の信頼関係のもと一枚岩になっていくことが求められると思っております。

健康経営に取り組むきっかけは・・・・・

上記のことに加え、当社の総務担当リーダーが社会保険委員会の「健康づくり事業」に参加していくなかで、健康に関する情報をもっと会社で共有する必要性も感じておりました。
健康経営のことは商工会議所に相談し、専務理事からアクサ生命を紹介され、詳しく話を聞いて、中期経営計画内の基本方針の一つとして、会社を挙げて取り組むことにしました。

定期健診・長時間労働の抑制

定期健診は100％受診しています。受診勧奨もおこなっていますが、今は再検査などの受診率が100％となるよう、個別の声かけと後追いを始めています。今後は、会社からの一部費用負担や勤務時間内で受診できる体制にすることなどを検討しています。また長時間労働への対策については管理職で実態を共有し、個別にヒアリングすることなどで部署内の業務負担平準化を図るようにしています。早帰りデーは月２回設けて実施中です。

受動喫煙対策

受動喫煙対策もおこなっています。現在の喫煙者率は10％ほどです。2019年４月から敷地内は全面禁煙にしています。会社で車両を40台所有していますが、すべて禁煙にしています。「以前は吸っていたが現在は吸っていない」という従業員もたくさんいますので、今後もセミナーやワンポイント情報などで禁煙への意識を啓蒙していきたいと考えています。

今後のこと

今後は今まで以上に従業員たちの健康管理を積極的におこなっていきます。従業員１人ひとりが自身の健康に関してもっと関心が持てるような職場環境を目指していきたいと考えております。これにより将来も地域にさらに密着し、信頼され、持続可能な会社となっていくことを目指してまいります。

会社外観

協会けんぽからの情報

受付の体温計と消毒

全国ガスで復興を応援中

株式会社槙田商店

代表取締役社長
槙田則夫 氏

健康経営に取り組みながら、心を込めて傘作りに励んでいます！

- 代表取締役社長　槙田則夫 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県南都留郡西桂町小沼1717
- 主な事業内容　傘の製造・販売
- 従　業　員　数　25名(男性:12名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

創業は1866年

当社は1866年に甲斐絹織物の卸業として事業をスタート。1954年に傘生地の生産を始め、「先染洋傘生地」における全国的地位を確立。現在は全国でも珍しいデザイン・生地製造・製品生産までを一貫製造する企業となっています。私が５代目の社長に就任して29年となりますが、当時から毎日のラジオ体操を欠かさず、機織り業のみなさんとのソフトボール・バドミントンなど運動の機会を持つようにしておりました。

スムーズに健康経営を導入

ここ20年くらいは毎週火曜日の夜、近所の中学校の体育館を借りて、従業員やご近所さん20人ほどでソフトバレーを楽しんでおります。今後も継続したいですね。
健康経営のことはアクサの担当者から聞いたのがきっかけでした。上記のように以前から積極的に従業員の健康増進を図ってきておりましたので、スムーズに導入することができました。健康習慣アンケートで生活習慣の課題を把握し、３回に分けてフィードバックセミナーも実施しました。

40年、ヘルシー弁当を無償提供

当社では先代の時から従業員の昼食は全員分、無償で提供しています。カロリー抑え目の減塩メニューのヘルシーなお弁当です。今はコロナ対策をしながら、分散して摂るようにしています。
また、コロナ禍で実施できておりませんが、敷地内の庭でバーベキュー大会をおこなっています。私と新人さんで全員分の買い出しをするのが恒例となっています。コロナが収まったら是非とも再開したいと思います。

高い定着率

従業員たちには少しでも長く、そして気持ちよく働いてほしいので(健康経営とは直接関連しませんが)ご子息の小・中・高校の入学時にはお祝い金を、また従業員本人の誕生月には商品券を進呈しています。また社会貢献も大切なことなので、例えば地域で消防団などの要請があれば進んで引き受けるよう、アドバイスをしています。こうしたことで、おかげさまで従業員は高い定着率を維持しております。

今後のこと

これからもソフトバレーやバーベキュー大会を通じて健康増進やコミュニケーションを継続し、また健康セミナーなどの健康経営の取り組みを通じて、従業員たちにとって働きやすい会社を目指していきたいと思います。

創業1866年

心を込めて作る傘

創業以来の精神

従業員は大切な家族

株式会社米山住研

代表取締役
米山正仁 氏

お客さまに末永く愛される「我が家」をつくりつづけるために「健康経営」に取り組む！

- 代 表 取 締 役　米山正仁 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県南アルプス市飯野
- 主な事業内容　建設・リフォーム・不動産
- 従　業　員　数　29名（男性：21名・女性：8名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

私たちは南アルプス市を中心に工務店経営をしております。おかげ様で今年70周年を迎えることが出来ました。従業員の健康管理については10年以上前から全額会社負担での定期健診をおこなっていますが、ここ数年は平均年齢の上昇に伴い数値等指摘されることも増えてきました。そんな時にアクサ生命の担当者さんから健康経営のことを聞き、従業員のためにも会社のためにもなると思い、取り組むことにしました。

この１年はまずコロナ対策

どの企業でもやっていらっしゃるように、当社でもアルコール消毒、検温などをマメにおこなっています。これは事務所だけでなく現場でも徹底するようにしています。社内外の会議はほとんどリモートを活用しています。万が一従業員が感染した場合の対応も事前に取り決めています。これからもこれらを継続し自分たちから感染者を出さないように充分に留意していきたいと考えています。

会社への思い＆健康習慣のアンケート

春先に従業員から「会社への思いのアンケート」を取りました。これによって彼らの声を聴くことができ、また会社の進む方向もあらためて共有できました。例えば「休日カレンダー」の作成など皆の意見を採り入れたうえで、就業規則の見直しなど働き方改革も進めています。そのあとにおこなった健康習慣アンケートではありのままを回答してくれたことで、現状や課題を把握することができました。今後に活かしていきたいですね。

個人面談を増やして健康チェックも

これまでは従業員との個人面談は年に１回でした。今は増やして３ヵ月に１回のペースでおこなっています。仕事上の目標の確認などが中心ですが、顔色や表情などちょっとした変化も見逃さないようにし、健康チェックも心がけています。メンタル面の相談窓口なども用意していますが、今後もこうした平素のコミュニケーションを大切にしていきます。

今後のこと

健康作りのために運動する習慣のない従業員が多いので、ウォーキングやストレッチなど目標を決めて取り組み、頑張った人を表彰することなども検討してみます。皆にはこの健康経営を活用して今よりもっともっと幸せになってほしいので、会社として可能な限りサポートしていきたいと思います。

本社外観

アルプス店

我が社の精鋭たち

富士島建設株式会社

代表取締役
岩下佳仁 氏

「現在（いま）をまもり、未来をつくる」ために健康経営に取り組む！

- 代 表 取 締 役　岩下佳仁 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県韮崎市富士見
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　34名（男性：32名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むことになったきっかけ

当社は1949年に創設された土木工事を中心とする総合建設業の会社です。企業理念は「確かな技術で、地域のいまをまもり、未来をつくる」です。従業員たちは皆、仕事に前向きで、業界の魅力を伝える作文コンクールに応募し国土交通大臣賞、県知事賞を受賞するなどしています。「健康経営」はアクサ生命の担当者から聞きました。従業員には心身ともに健康で長く勤めてほしいですし、人材確保の観点からも「健康経営」は大いに価値のあるものと考え取り組んでみることにしました。

「FK通信」での情報共有

今はコロナ禍であり全従業員を集めての研修等が充分には実施できておりません。代わりに以前から毎月発行している社内報「FK通信」の中に健康情報なども掲載し関心を高めるようにしています。アクサさんからのワンポイントアドバイスは毎月、給与明細と一緒に渡しています。
これらを継続することで、食生活に気をつけたり、減量しようとする従業員が次第に増えてくるなど、それぞれの健康への関心の高まりを感じているところです。

定期健診＆受診勧奨は丁寧に・・・

定期健診は毎年100％受診しています。課題は有所見者の多いことです。2年前から再検査・精密検査の対象となった従業員は必ず受診するよう勧めており、受診したらその旨を会社に報告するよう求めています。
また喫煙者率は高いのですが、少しずつ改善していけたらと考えています。社有車は全車禁煙とし、また会社、各現場事務所とも屋内は全面禁煙とし、屋外に1カ所、喫煙場所を設けています。

今後のこと

協会けんぽによる特定保健指導内容等を参考に、従業員に健康上の目標を決めてもらい、皆で取り組み、達成した人を会社から表彰するなど、健康への意識づけを図っていきたいと考えています。従業員にはこれからも仕事へのやり甲斐を持たせていきたいし、心身ともに健康でいることで1人ひとりの人生の夢や目標を実現していってもらいたいですね。

生活習慣アンケート＆ストレスチェックの実施

全従業員を対象に各自のスマホを使って「健康習慣アンケート」を実施しました。フィードバックレポートでの分析結果を見ると、自分の生活習慣に無関心な従業員が多いことなど、新たな気づきがありました。
さらにストレスチェック（従業員のセルフチェック）を実施してみました。ここでも従業員は予想外に高いリスクを抱えていることがわかり、改めて従業員たちの健康に配慮することで仕事へのやり甲斐を持ってもらうように取り組んでいく必要があると認識できました。

会社外観

毎月発行している『FK通信』。
健康情報も盛り込んでいます。

わが社の精鋭たち

491

山梨県
山梨北営業所

Voice Report 60th

有限会社管清社

代表取締役社長
脇　久氏

これからもコミュニケーションを大切にしながら「健康経営」に取り組みます！

- 代表取締役社長　脇　久氏
- 本社所在地　山梨県甲府市古上条町
- 主な事業内容　下水道管維持管理業・一般廃棄物収集運搬業他
- 従業員数　14名(男性:12名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

従業員の平均年齢が上がってくるにつれて健康診断で指摘されることが増えてきていました。数年前に病気になった人もいて健康は身近な課題だと感じておりました。そんな時にアクサ生命の担当者から健康経営のことを聞きました。ちょうど協会けんぽ山梨支部から健康宣言の案内が届いていたタイミングであり、健康課題を解決するために取り組んでみることにしました。

受動喫煙対策は以前から・・・

社長自身もともとヘビースモーカーでしたが、娘が誕生したり身近に肺を病んでいる人を見ていたこともあり、８年ほど前に禁煙しました。喫煙する従業員が多く、以前は事務所内でも吸えるようにしていましたが、この健康経営に取り組み始める前に事務所内は禁煙とし、灰皿を設置してある屋外でのみ吸えるようにしました。ここ最近は電子タバコや加熱式タバコに変えるなど健康に配慮する人が少しずつ出てきています。

和気あいあいとした雰囲気の中で・・・

従業員たちは現場で働く前後、朝と夕方には事務所に集まります。和気あいあいとして何でも相談しあえる雰囲気になっています。もし具合の悪そうな人がいたりすると皆で声を掛け合って体調を気遣っています。
先日おこなった健康習慣アンケートでもストレスの要因は？の質問は普通なら「自分の仕事」が圧倒的に多いらしいですが、当社は違っていました。これからもこうしたコミュニケーションを大切にして、メンタル面を含めてケアしていきたいと思います。

徐々に高まる健康意識

健康経営に取り組み始めてからアクサ生命の担当者から毎月生活習慣のワンポイントアドバイスを届けてもらい、従業員の給与明細と一緒に封筒に入れて渡しています。皆、熱心に目を通してくれているようです。若い人たちはまだまだ健康への意識は低いかもしれませんが、最近はベテランが日常会話の中で健康について諭すような場面も見られるようになって、少しずつ健康意識の高まりを感じています。

今後のこと

今後は喫煙する人は禁煙に取り組んでみるなどの健康行動を期待しています。意識して運動をしている人が少ないので、会社として何ができるか考えてみます。また今年も健康習慣アンケートを実施して意識の変化を把握しながら積極的に健康管理をおこない、従業員たちにはこれからも健康で、やりがいを感じながら、いきいきと仕事を続けてもらいたいと思っています。

ある現場の様子

外観

専務と総務

宣言証を掲示

特殊車両

株式会社桑郷

代表取締役社長
韓　成旼 氏

私たちは家族！健康で絆の深い家族を増やすために「健康経営」に取組む！

- 代表取締役社長　韓　成旼 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県西八代郡市川三郷町山保6319
- 主な事業内容　桑の葉・桑の実の栽培、加工、販売等
- 従　業　員　数　28名（男性：13名・女性：15名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社名の由来は・・・・・

かつて養蚕の盛んだった頃、市川三郷町の桑は葉が大きく葉肉の厚い『一瀬桑』が養蚕に不可欠な桑の最良品種として全国に広がり、日本の養蚕を支えました。この桑の生まれ故郷の市川三郷町から桑茶を全国へ、世界へ広め、多くの人に元気な笑顔で過ごしていただきたい、そんな願いを込めて桑郷（くわのさと）と名づけました。

健康経営に取り組むきっかけは・・・・・

健康経営のことはアクサ生命の担当者から聞きました。ちょうど従業員の中にさまざまなストレスが身体に出て体調不良となる人がいたりして、健康管理の重要性を感じていたところでした。社訓にもあるように従業員は大切な家族です。そこで会社として健康経営に取り組むことにしました。健康習慣アンケートをおこない、これで課題を認識し、従業員にはフィードバックのセミナーもおこないました。

最も重視するのは「コミュニケーション」

私は従業員とのコミュニケーションをとても大切にしています。毎日の朝礼では従業員全員が元気に発言します。初めは戸惑っていた人たちもやがて自分の殻を破ってくれるようになります。
私は彼ら彼女らの積極的な意見には即、反応するようにしています。みんなとの食事会も、今はコロナ禍なので機会は少ないですが、なるべく多く実施するように心がけています。

コミュニケーションの効用！

健康になろうと桑のお茶をおいしく飲む従業員が以前より増えてきました。その後ろにいるご家族も含めて健康になっていくようで、みんなの健康意識の高まりを感じています。
従業員とは頻繁に面談しますが、話し終わった後にいい表情になってまた頑張ってくれている姿を見ると、日々のコミュニケーションは大切だと改めて感じています。

今後のこと

従業員たちには自分の健康を手段にして、夢や目標を実現したり生き甲斐をみつけてほしいです。社長は会社の中では太陽のような存在です。これからも健康経営に積極的に取り組み、従業員たちの働く環境を整えていきたいと思います。

従業員は家族！

会社外観

493

山梨県
山梨北営業所

Voice Report 60th

有限会社原林業

代表取締役
原　二士夫 氏

「100年の森林造り」実現のため、健康経営に取り組んでいます！

- 代表取締役　原　二士夫 氏
- 本社所在地　山梨県北杜市大泉町
- 主な事業内容　造林、木材伐出など林業全般
- 従業員数　8名(男性:7名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

山林樹木のお世話をさせていただき20余年・・・

山梨県の北端に位置する八ヶ岳連峰のふもとで、皆様方の山林樹木のお世話をさせていただいております。これからも感謝の心を忘れず、「100年の森林造り」を目指し、技術と成果をご提供することで地域の皆様のお役に立てればと願っております。地域に愛される会社をめざし、中高校生を対象に職業体験指導など社会奉仕的事業も行っています。

健康経営に取り組むきっかけ

以前は健康は個人で管理するものと考えておりました。しかし現実には福利厚生などを充実していても、怪我や病気によって従業員がなかなか定着していませんでした。会社員として彼らの健康面にもっと深く踏み込んでいかなければならないと考えていた時、アクサ生命の担当者から健康経営の話を聞き、課題と感じていたことに役立つと思い、取り組むこととなりました。

フィードバック・マネーセミナーを実施

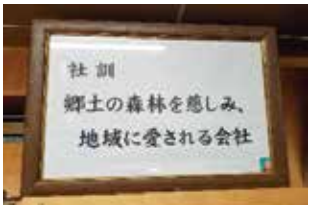
健康経営に取り組み始めてから定期健診は100％受診しています。今まで出来ていなかった保健指導も保健師に来てもらい実施しています。振動工具を使うため白老病検診も会社負担で受診するようにしています。先日は安全衛生大会の開催に合わせて、アクサ生命によるマネーセミナー、保健師による健康指導もおこないました。どちらのテーマも皆、真剣に聞いておりました。こうした機会を設定することは大事だと感じています。

健康への意識の高まり

健康経営に取り組み始めてから、例えば現場でのお昼時「(カップラーメンの)汁は全部飲んじゃだめだよ」など仲間同士での会話が聞かれるようになりました。これは以前にはなかったことです。健康経営優良法人に認定されてからは尚一層、「自分たちは認定企業で働いているんだ」との意識が高まってきているのを感じています。

今後のこと

喫煙者が何人かいますので、費用を一部会社で負担し禁煙外来への受診を勧めています。これからも声かけを継続します。
従業員の健康意識を高めるためセミナーを実施していきます。インターンシップなどの活用で新卒の従業員が入社しますが、健康経営に取り組んでいる会社であること、またそういう会社だからこそ健康になるんだということを伝え、益々充実した人生を送ってもらうよう、サポートしていきます。



社訓

県の優良認定も取得

安全衛生大会時に保健指導

マネーセミナーを実施

株式会社一瀬工務店

代表取締役社長
一瀬太志 氏

これからも大切な従業員たちを守っていくために「健康経営」に取り組む！

- 代表取締役社長　一瀬太志 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県西八代郡市川三郷町
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　16名(男性16名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

少し前にガンに罹患した従業員がいました。産業保健総合支援センターに相談して仕事と治療の両立の体制を整えたりしましたが、最終的にお亡くなりになりました。従業員が病気療養で休むとなると新たな人材の募集など穴埋めにたいへんな思いをしました。
そんなところにアクサ生命の担当者さんから健康経営の話を聞き、大切なことだと感じ、取り組むことにしました。

まず健康習慣アンケートで課題を把握

従業員に協力してもらい健康習慣アンケートをおこないました。日頃一緒に働いていてもなかなかわからなかった課題が見えてきました。多くの人が生活習慣に気をつけていて、健康を損なうような習慣(暴飲暴食・夜更かし・喫煙)などはしないように努めていること、また家族の病気や介護がストレスのもとになっていること、これにより睡眠不足になっていることなどもわかりました。これらも参考に以後、メンタルを含めたケアを心がけていきます。

オプションつけての健診

定期健診はもちろん100%受診していますが、前述の従業員の罹患の経験を活かし、全従業員とも腹部エコーや腫瘍マーカーなどのオプションを追加しています。次年度はさらに項目を変えていきながら、なるべく幅広く検査してもらえるよう工夫していこうと思っています。

受動喫煙対策

現在の喫煙率は約1/3です。自分自身はもともと吸いませんが、以前から禁煙を呼び掛けており、中にはこの声掛けで禁煙を始める従業員もいました。事務所は敷地内全面禁煙にしています。今はコロナ禍で皆を集めての研修などは開催しにくい環境にありますが、今後は禁煙を含めた健康に関する研修の機会なども設けていきたいです。

今後のこと

これからは「受診勧奨」を強化したいと考えています。要治療、要精密検査の従業員には出勤扱いにするなど受診しやすい環境を作っていきます。
従業員たちには今後さらに健康に留意することでそれぞれの人生を充実させてほしいと思っています。

会社外観

アルコール消毒液

「やまなし健康経営優良企業」にも認定されました！

株式会社岩野商会

代表取締役副社長 岩野　仁 氏
取締役総務部長 滝沢春美 氏

「健康経営」で日本一の仕事ができる会社に！

- 代表取締役社長　岩野　彰 氏
- 本 社 所 在 地　長野県長野市北長池
- 主な事業内容　内装工事/ビルメンテナンス業
- 従　業　員　数　529名(男性:247名・女性:282名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

さらなる技術力の向上、人材育成のため健康経営に取り組み始めました！

創業以来、当社では一貫して技術力の向上、人材育成に努めてまいりました。
その結果、社員一人ひとりが卓越した技能を持ち、数々の表彰、グランプリに輝いております。
今後もさらに精進を重ね、お客様からの信頼にお応えできるよう人材育成強化策を検討していた中、アクサ生命担当者から「健康経営」についての説明を受け、これまでの取り組みでもできていることも多々あり、健康経営優良法人認定を取得できると判断し、取り組みを開始致しました。

メンタルヘルス(心)と生活習慣病(体)の対策を強化

10年程前からメンタルヘルス対策は行ってきましたが、これは心の面であり、これから体に対しての取り組みを強化していかなければならないと思い、メタボリック基準に該当している従業員に対して保健師によるカウンセリングを実施しました。また産業医の先生とも連携して健康診断で二次検診の必要がある従業員への検診勧奨を強化し、ほぼ受診することができました。結果、従業員の健康意識が向上し、健康診断結果を真剣に捉え、改善していこうとする動きが高まってきました。

課題としてまず喫煙を減らしたい

これから従業員の平均年齢も上昇してきますので、生活習慣病についてはより気をつけていかなければなりませんが、内装工事業は男性が多く、業界的にも喫煙率が高く、およそ３割が喫煙している状況です。
喫煙については社屋内は禁止し、全体で２カ所、外のスペースでのみ可能としました。
それと同時に働き方改革も喫緊の課題となっており、できることから積極的に実現を図っております。
またアクサ生命の「健康経営サポートパッケージ」の利用を従業員に啓蒙しております。

健康経営と働き方改革の推進に向け行動計画を策定

社員が仕事と子育てを両立させることができ、すべての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、以下の行動計画を策定しました。
・小学校入学以降の時短勤務制度や始業・就業時刻の繰り上げ又は繰り下げ制度などの導入
・所定外労働時間削減のための措置の実施
・若年者のインターンシップ受け入れを行う
特に労働時間削減についてはIT化を促進し、報告・事務作業を減らしたり、どこでも作業できるようにし、時間外労働を削減と週休２日、更には土曜日出勤を可能な限り減らしていくことを強化してまいります。

社員交流活動として同好会活動を行っています！

当社では現在、野球・ソフトボール・フットサルにおいて同好会活動を行っております。社員同士はもちろん、お客さまともより親密な交流をはかるため、様々な活動を推進・サポートして、健康増進を図ってまいります。

フットサル同好会メンバー

練習風景

株式会社小林多男商店

代表取締役社長
小林直之 氏

「お客様と従業員の幸福のために」健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長　小林直之 氏
- 本 社 所 在 地　長野県長野市小島田町
- 主な事業内容　食品原料の販売
- 従　業　員　数　26名(男性:10名・女性:16名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員の「健康」を見える化する、それに共感を得て健康経営を始めました。

従業員の「健康」については食品原料販売を主業としている弊社としては、食の安全の観点からもこれまで意識はしてきましたが、アクサ生命担当者から「健康経営をやってみませんか」とご案内をいただき、これまで弊社がやってきた取り組みを見える化し、さらに進化できるのではと思い、2020年４月に「健康宣言」を行い、「健康経営実践プログラム」を通じて優良法人認定取得を目標に、様々な取り組みをしてまいりました。結果、健康経営優良法人2021認定をいただくことができました。

「健康経営」を通じて、「食品」に対しての安全意識をさらに高めてもらいたい。

「健康経営」の中で特に注力したのが、「食事」です。食品原料を取扱う会社ですので、安心・安全は第一で毎月配布いただく「アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイス」や職域セミナーでは従業員自身の食事の改善だけでなく、食品への関心をさらに高めることができ、本業にも直結する効果があったと思います。

運動・休憩を取り入れてストレスのない職場を目指す！

従来から「健康」意識は高かったと思いますが、健康経営を実践するにあたり、毎日ラジオ体操は全員で行っていますが、卓球やバドミントンなどもチャンレンジしてみました。また、製造部門の従業員は作業時間が長いため、ストレスを溜めないよう、これまで以上に細かく休憩を取る取り組みをしております。就業規則に定めた休憩時間以外に、１時間に１チャイムを鳴らして、全従業員が一斉に休憩を取れるように致しました。従業員アンケートでもストレスを感じている社員が少なく、「運動」と「休憩」をしっかり行うことが効果を出していると思われます。

健康経営を実践することは経営理念に通じる。

弊社の経営理念
・お客様と従業員の幸福のために努力をすること。
・常に安心、安全な食品を提供すること。
・お客様の満足と喜びを常に念頭におき仕事に励む。
これらを健康経営を実践しながらさらに意識を高め、さらに研鑽を積み専門メーカーとして安心してご利用いただける製品作りをモットーに品質の管理及び向上にたえず努力をし、より安心してご利用いただけるように歩み続けてまいります。

今後の展望

長野県は日本酒、野沢菜漬、味噌などの発酵食品という豊かな食文化があり、地元の食文化を継承しつつ、健康にはより一層の注意を払い、従業員のみならず、従業員のご家族からも病気になる方を極力減らしたい、みな健康で生き生きと仕事ができ活気をある職場をさらに追及していきたいと思っております。

朝のスタートは全員でラジオ体操を
毎日欠かさず実施しています！

497

長野県
長野営業所

Voice Report 60th

長野テクトロン株式会社

(右)代表取締役社長 柳澤由英 氏
(左)開発部部長 荒井安志 氏

「長く働ける環境づくり」に健康経営を実践します！

- 代表取締役社長　柳澤由英 氏
- 本 社 所 在 地　長野県長野市篠ノ井塩崎
- 主な事業内容　電子機器製造業
- 従　業　員　数　75名(男性:40名・女性:35名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営は「従業員の能力を最大に引き出すことができる」と感じたので取り組み始めました

「健康経営」という言葉は2019年頃から聞くようになり、同時期に商工会議所とアクサ生命主催の「健康経営セミナー」にも参加して、健康を維持するということは、従業員の能力を最大限に引き出すためには欠かせないものだと認識して、健康経営に取り組んでいこうと決意しました。
当社では65歳以上のパート社員さんが10名以上おり、年齢層が高いということも、より健康を維持することが大切だと実感しております。

1年目は「優良法人認定を取得する」ことを、2年目は「実行性」を重視

健康経営のスタートはまず協会けんぽの「チャレンジ宣言」を行いました。内容としては
・健康診断結果の再検査対象者への産業医から再診勧奨
・各事業場で健康に関する情報を掲示する
・メンタル不調者に対しての産業医との面談の設定
・各事業場の全てのスペースを分煙化
・月１回の健康に関する講習の実施
これらの取り組みを実施して、１年目は「優良法人認定を取得する」ことに注力しましたが、２年目はそれらの「実効性」を重視しました。

外部のサポートも活用し、より実効性の高い取り組みに取り組んでいます

月１回産業医を交え、健康に関しての社内会議を実施しております。当初は会社でなぜ健康に取り組むのか、といった意見もありましたが、対面で様々な健康に関しての指導を受けるにつれ、意識も変わってきました。特に喫煙に関しては分煙が徹底され、禁煙も進んできております。残業に関しても現在では非常に少なくなっており、結果生産性の向上に寄与していると実感しております。

社会に必要とされる企業を目指して

当社の経営理念は
「例がないからやってみようやらないと何も起こらないから」で、チャレンジを大切にしております。
常に社会に必要とされる企業を目指して、変化を恐れずスピード感を持って行動し、社会と共に成長し続けるため、従業員とともに「健康経営」を実践し、能力を最大限発揮し、更に発展していきたいと考えております。

今後の目標

おかげ様で健康経営優良法人認定を２年連続でいただくことができました。長野県は長寿県で健康意識も高く、健康経営優良法人認定の中小規模部門上位に与えられる「ブライト500」を取得される企業も多くいらっしゃいます。先進的な取り組みを学びながら、当社でも「ブライト500」を取得できるように健康経営を進化させていきたいです。

産業医を交えた月１回の健康経営に関する社内会議の風景

松代建設工業株式会社

代表取締役社長
湯本宣成 氏

「活き活きと働ける職場」「風通しの良い職場」の環境づくりを目指して！

- 代表取締役社長　湯本宣成 氏
- 本 社 所 在 地　長野県長野市青木島
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　30名(男性:27名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

信州ACE(エース)プロジェクト*の講習会へ参加したことが健康経営のきっかけに

2017年の夏に、健康づくり県民運動「信州ACEプロジェクト」の講習会に参加し、健康経営の考え方に共感を持ったことと、同時期にアクサ生命担当者からも健康経営を薦められたことが健康経営を始めたきっかけとなりました。
また、一般社団法人サキベジ推進協議会の「サキベジ健康企業登録」も行い、従業員の健康を増進することの重要性を強く認識するようになりました。2019年５月に協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」を致しました。

生活習慣病検診100％と喫煙率の低下をまず目標に

「健康づくりチャレンジ宣言」では、これまでどうしても現場・仕事優先で生活習慣病検診を全員が受けられていなかった状況を改善し、全員が受診して防げる病気は防ぐという意識を持つこと。また、業界全体の傾向でもありますが、喫煙率が高い傾向にあったので、喫煙率を低下させることで従業員の健康増進に寄与できればと思い、この２点をまず重点的に実施致しました。

「健康経営」が従業員にも少しずつ浸透して、効果を実感

「健康づくりチャレンジ宣言」で宣言した取り組みをまず従業員に周知し、2019年度は生活習慣病検診は100％受診となり、2020年度もコロナの影響はありましたが、ほぼ100％受診ができております。喫煙については以前は各自のデスクで喫煙している時代から喫煙スペースを作るなど段階的に減らしていき、今では１カ所のみとして、喫煙者も３割削減ができました。社内会議の際は必ずアクサ生命担当者からいただく「健康経営ワンポイントアドバイス」をテーマを変えて従業員に配布することを続けており、従業員の健康意識が高まっていることが実感できております。

運動習慣と従業員一人一人異なる健康課題をどう解決していくか

現状の課題としては生活習慣病検診を全員が受診することはできていますが、個々健康に関しての課題は異なってきており、二次検診の受診も担当者より受診勧奨はしていますが、後追いができていないのが現状です。
全体的な課題として運動習慣がある従業員が４割ほどで、６割の従業員は運動習慣がなく、中堅・ベテラン従業員ほど運動習慣がない傾向にありますので、会社全体で取り組んでいく必要があると認識しております。

今後の展望

福利厚生面では従業員全員に提携している電話健康相談サービスの連絡先をカードで配布し、福利厚生施設の利用促進も行っております。
また、体の健康だけでなく、上司や社長といった垣根を超え、仕事中気付いたことを何でも発言でき、トップダウンにならない環境を作ることが大切であると思っております。
「活き活きと働ける職場」「風通しの良い職場」づくりを健康経営を通じてこれから更に進化させたいです。

お客様・従業員とも「家族」「親戚」のような
信頼関係を築くことを大切にしております！

*信州ACE(エース)プロジェクトとは
長野県が展開する健康づくり県民運動の名称です。ACEは脳卒中等の生活習慣病予防に効果のあるAction(体を動かす)、Check(健診を受ける)、Eat(健康に食べる)を表し、世界で一番(ACE)の健康長寿を目指す想いを込めたものです。

499

長野県
北信営業所

Voice Report 60th

株式会社塩川組

右から代表取締役社長 塩川伸一 氏
取締役総務部長 勝山隆夫 氏

「働きやすい職場」を実現するために！

- 代表取締役社長　塩川伸一 氏
- 本 社 所 在 地　長野県中野市三好町2-1-4
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　18名(男性:14名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

社員の中に体調不良で休暇を取るケースが発生したことがきっかけの一つでした。
社員の健康を促進し、健康な状態で働いてもらい、生産性を上げることの重要性を感じたためです。
社員の採用の際にも、健康に取り組んでいることを内外にアピールすることの重要性を感じていました。
社員を大切にすることは重要だと感じております。

人生を豊かに歩んでもらうために

残業時間を減らし、家庭との両立をしてもらうように働きかけを行っております。
若い社員が多く、小さい子どもがいるケースが多いです。残業時間を減らし、最大でも60時間を超えないようにしております。
現在は残業時間の多くなってしまう社員はほとんどいなくなりました。何とか残業時間を抑制し、幸せな人生を歩めるような働き方の確立を会社を挙げてバックアップしております。

具体的な取り組み

取り組みといたしまして、社員集会の場で健康診断の再検査の重要性を訴えております。
健康診断受診率は100%ですが、再検査の受診率にも力を入れております。
現在は再検査もほとんどの再検査の判定が出た社員に受診していただいております。
次回は100%を目指します。

今後の展望

今後の健康経営の方針につきましては、さらに健康への取り組みを行うきっかけだと思っております。
経営も社員の健康についても継続することが一番重要だと考えております。
そのため、これまで以上に健康意識を高めていくことが必要だと感じております。
将来的にはブライト500を狙っていきたいと考えております。

働きやすさの追求

先輩社員から率先して休暇の取得や残業時間の抑制に理解を示すようにしています。
会社の方針も重要ですが、現場で働くうえでは、先輩社員がどのような考え方をしているかが実態としては重要だと思っております。
臨機応変に対応できることが重要と考え、そのためにも、自由に休暇がとれ、残業も少ない環境が重要だと思っております。

社員集会で健康診断の再検査の重要性を訴える
代表取締役社長　塩川伸一 氏

伸商機工株式会社

代表取締役社長
宮川岳洋 氏

「やさしさあふれる会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　宮川岳洋 氏
- 本 社 所 在 地　長野県須坂市大字塩野字御林跡1119-3
- 主な事業内容　精密板金加工業
- 従　業　員　数　26名(男性:18名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営に取り組むきっかけ

日ごろの業務で疲労感を感じており、社員の中にも急な体調不良で休暇を取るケースが多い時期がありました。
当時縦割り分業であったこともあり、その中で１名かけてしまうと工程に穴が開いてしまいます。
そんな中で社員の健康に配慮し、健康になっていただき、生産性を上げることの大切さを感じていたことがきっかけです。

最初の取り組み

まずは、ラジオ体操を実施しました。
ラジオ体操の放送を流す機械を購入し、社員全員で実施する場をつくりました。
体調不良で休暇を取っていた方が、病欠での休暇を取らなくなったり、怪我での労災になってしまうケースが減りました。

社内への周知、取り組みの成果

健康経営の取り組みと同時に朝礼を始めました。
朝礼の中で健康経営アドバイザーの力も借りながら、健康経営を周知していきました。
喫煙スペースを設けることによる分煙、熱中症や感染症の対策など、朝礼での周知だけでなく、目に見える形でも周知いたしました。
現在残業時間が減り、生産性が上がったことがすごくうれしく感じております。平均残業時間も60時間くらいありましたが、現在は30時間にすることに成功しています。
毎週のようにあった土曜出勤も月１回まで減らすことに成功しました。

社員には公私ともに幸せになってほしい

健康経営の取り組みを通じて、社員には明るく、健やかに幸せな人生を送っていただきたいと思っています。
働く活力は心身の健康から生まれると思っております。
本人の意識が一番重要ですが、会社で健康経営の取り組みを進めることで、本人の意識が変わり、公私ともに幸せな人生をおくっていただくことを目的にしています。

今後の展望

働き方改革を行い、「元気はつらつ」で働けるような環境の会社にしていきたいと思っております。
社員の中からも自発的に昼休憩時に歩いたり、あえて時間をかけて自転車で通勤する社員もでてきました。
これからは自発的な取り組みをさらに推奨していき、安心、安全、ポジティブな職場環境づくりをめざしていきます。

玄関には熱中症対策の注意喚起や、
感染症対策の消毒液・体温計を設置している

501

長野県
北信営業所

Voice Report 60th

株式会社サンジュニア

サンジュニア　本社社屋

「太陽エネルギーで人と地球の未来をつくる」健康で元気な会社へ

- 代表取締役社長　西原弘樹 氏
- 本 社 所 在 地　長野県須坂市須坂1595-1
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　123名(男性:96名・女性:27名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

サンジュニアでは社員が安心して健康に働けるように、身体の健康だけでなく心の健康も含めて取り組みを進めてきました。
社員が元気に健康で働ける職場であることが、仕事面においても良い方向に進んでいくと考え、日々様々な取り組みを行っています。
「健康経営」への取り組みのきっかけは、社員の健康状態に気を配る事と、社員自身が健康意識を高めることが重要であると考え、スタートしました。

具体的な取り組み事例

今回健康経営の取り組みで力を入れたいと考えているのが、「喫煙率の低下」です。

従来より受動喫煙対策への取り組みなどを行ってきましたが、そこからさらに踏み込んで「卒煙」のサポートをしていく事を今回の取り組みとして重点を置いています。

実際にここ数年で「卒煙」に成功している社員も増えており、情報を共有することにより卒煙に成功する社員が増えるのではと考えております。
具体的な取り組みとしては、保健師の方を招き喫煙に関する影響についての解説を動画で撮影し、社内で共有を行いました。

新型コロナウイルスの影響により、対面での取り組みが難しい状況でも、WEB配信等を活用して社員の健康づくりのサポートを実施しています。

卒煙サポートのため配信した動画

子育てや介護も新しい働き方へ向けての取り組み

これからの社会において、社員の健康だけでなく家族の「子育て」や「介護」に関しても重要なテーマとなることが予想されます。以前より社内制度の見直しや子育て応援宣言への登録などに取り組みをしてきましたが、新しい働き方へ向けて現在テレワークの試験運用や柔軟な時短勤務への対応や、アクサ生命のサポートサービスの活用など、新たな取り組みを進めています。

地域と一緒に健康な社会へ

サンジュニアでは地域と共に成長していく企業を目指し、地域貢献活動にも積極的に取り組みをしてきました。
その中で会社に隣接する旧長野電鉄河東線跡地を地域の方と協力して「河東線記念公園」をつくり、毎月第一金曜日の朝１時間ほど、草刈りや清掃活動を行い公園の維持管理をしながら体を動かしています。
かけがえのない地球を守り、社員や家族、地域の方がいきいきと過ごせる社会を目指して今後も取り組みを行っていきます。

河東線記念公園
地域の方との公園整備の様子

株式会社倭技術研究所

代表取締役社長
藤澤暁浩 氏

「社員がストレスフリーで働ける会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　藤澤暁浩 氏
- 本 社 所 在 地　長野県須坂市臥竜1-4-10
- 主な事業内容　新商品開発サポート・製造業
- 従　業　員　数　9名(男性:8名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

身体を使う仕事ではないからこそ健康経営は重要な戦略

エンジニア業務は特にメンタル面のケアが重要であると常々考えておりました。企業として、どういったサポートが良いのか考える上でも、健康経営は非常に有効な経営戦略だと思います。メンタル不調は特に生産性を下げる要因で、業務の特性上、大きな損失であると捉えています。運動や食事はもちろん、コミュニケーションを図る上でも良い機会でした。今回初めて同制度に申請し、一定の評価をしていただいたことは、社員共々、大変うれしく思っております。

「健康習慣アンケート」から、社内の現状把握

社員全員対象のアンケートを実施し、社内の現状把握から始めました。課題をより具体的に見える化できたことは良かったと思います。「喫煙率を下げる」「サキベジ推奨」を掲げ、企業としてメンタルサポート相談窓口を設置。専門家の相談窓口は、なかなかハードルが高いのですが、アクサ生命健康経営サポートパッケージを活用し、容易に体制を整える事が出来ました。また、すべての社員は健康が大切だと考えていて、コロナ渦の中、スムーズに進める事ができました。

社員が自主的に仕事が出来る環境作り

弊社担当の健康を図り、またそういった場を設けることをポイントに。経営アドバイザーとのやり取りの中で、基本的な認定項目はクリアしているとわかりました。有給取得率が80％超、社員自らスケジュール管理をするスタイルをとっていたためです。健康経営は中長期的な戦略であるため、一年目は思い切って何もやらない選択をとりました。社員に強要するのではなく、セルフケアの環境作りのためです。まず経営者自ら積極的にコミュニケーションをとり、健康作りをしていた社員を担当者に任命した事もあり、自然と社員同士で健康作りの会話が生まれた事は、良い傾向だと思います。

社員とその家族があってこその企業。仕事とプライベートの両立は、ワークエンゲージメントの向上

仕事とプライベート、残業を極力減らし、企業がメリハリをサポートすることにより両立できるものと考えております。また、高いモチベーションを維持し、ワークエンゲージメントの向上にも繋がっています。生活の為だけに働くのではなく、社員の自己実現という経営者の想いがありました。時代遅れと言われる社内の飲み会も自由参加ですが、参加率100％、これはコミュニケーションが図れているからだと思います。ストレスフリーと程よい緊張感は、個々の能力を発揮しやすい状態であると考えています。

今後の展望

一年目が終わり、より具体的な取組を予定しております。昨年、実施出来なかった社内セミナーや、社員の自己実現につながる情報提供を積極的に進めていきたいと考えております。また、欠勤率は低いのですが、アンケート結果にあったプレゼンティズムによる損失を10％削減を目指します。健康経営はSDGs達成に向けても重要な位置づけで、常にイノベーションを生む企業でありたいと切に願っています。

一昨年、設立記念日レクレーションの懇親会にて。年2回程度、社内のコミュニケーションを図り意見交換の場として

503

長野県
北信営業所

Voice Report 60th

株式会社ニットー

代表取締役社長
牧　恵一郎 氏

「イキイキと元気に輝く考動社員で満ちた魅力ある企業」の実現へ！

- 代表取締役社長　牧　恵一郎 氏
- 本 社 所 在 地　長野県須坂市大字八重森2-2
- 主な事業内容　電子部品等製造業
- 従　業　員　数　150名(男性:110名・女性:40名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

電子デバイス製品に使われる光学ガラス等各種部材の精密研磨加工を行っております。お客様に良い製品を提供し続けるためには社員が健康であることが欠かせません。社員が心身ともに健康に毎日働くことができる場を提供することで会社に居場所を感じることができ、また自分自身を高めようという気持ちが醸成され、最終的には企業の永続につながるものと考えております。より一層社員の健康を考える機会として健康経営に取り組みました。

具体的な取り組み

健康診断およびストレスチェック等は必ず行っております。社員の中には交替勤務の者もおり、指定日に受診ができない社員がおりますが、別日を設定し他の施設で必ず受けられるようにフォローしております。また、安全衛生委員会では健康診断の受診率、再検査対象者の再検査受診率などを共有しています。ストレスチェックは、実施後に社員のメンタルケアにどうつなげるかが課題です。その為、日ごろからコミュニケーションが取れる職場づくりを心掛けております。
インフルエンザの予防接種補助を行っております。毎年11月に社内に医療機関の方にお越しいただき、希望者を対象に実施しています。また、他の医療機関で接種した社員及び同居家族の接種費用の補助を行っております。これは「社員はその家族に支えられているものである」という会社方針から行われているものです。
新型コロナウイルス感染防止策も徹底しております。社内においては検温義務や当番制で机や椅子などのアルコール消毒を毎日複数回実施、共有箇所の定期的な消毒を実施しています。社員やご家族の体調不良時にどのような対応を取ればよいのか、「健康チェックフロー」を全社員に配布し、判断に困らないような工夫もしています。また、感染や濃厚接触などにより出勤ができない状況になった際の備えとして、有給休暇の特別積立制度をスタートさせ安心して休める体制を構築しました。

取り組みの成果

健康経営の取り組みを始めることにより、健康経営面での会話が増え、社員間のコミュニケーションを取ることが増えました。
また、近隣の新型コロナウイルス感染状況がわかる社内ネットワークを構築したことにより、社員も積極的に感染状況をチェックをするようになり、意識が非常に高まりました。
クラスターを発生させないためには、会社の取り組みと社員の意識が必要です。
取り組みを通じそのための対策を構築することができました。

今後の展望

育児や介護など社員の各家庭の状況は様々です。福利厚生一つにしても一律で制度を決めていくだけではなく、社員一人ひとりのライフスタイルに合った働き方の実現を進めてまいります。AIやIoT社会と言われて久しい昨今ですが、これからも世の中に必要とされ続けるサービスを生み続けることができる唯一の資源は社員だと考えております。人生100年時代を迎えるにあたり、これからもあらゆる施策に取り組んでまいります。

掲示板にたくさんの健康情報を掲示しています

株式会社関木工所

長野県百年企業
＜信州の老舗＞表彰

「社員の成長が会社の成長に！」次の百年をこの地域と共に！！

■代表取締役　関　裕朗 氏
■本社所在地　長野県須坂市大字須坂219-1
■主な事業内容　建築内装業（木工事・造作家具工事・木製建具工事他）
■従業員数　15名（男性：13名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

売上至上主義から、「社員の幸せ」を追求する『人本経営』に舵取りを変更。

2015年１月、第５代社長に就任した時、長野市圏域は、北陸新幹線の金沢延伸による駅ビル再開発や南長野運動公園サッカー場の新設、地域基幹大型総合病院の増築など、チョットした建設ラッシュに見舞われていました。
弊社は工期の厳しい現場が重なり、連日深夜まで残業して疲れ切っている社員達の顔を見て、会社が売上げを上げる事を至上主義にして、大切な社員の健康を蔑ろにしていた事への激しい後悔と反省を踏まえ、「社員の幸せ」の増大を追求しながら永続できる会社作りを目指す『人本経営』に舵取りを変更致しました。

社員が自分で選んだチーム活動で、自分たちで決めて行動する仕組み作りから始めた！

『人本経営』を学ぶ中で、大阪市の「天彦産業株式会社」樋口社長との出会いがありました。（『日本でいちばん大切にしたい会社５』参照）この会社で活発な“委員会”活動を弊社にも取り入れました。弊社では“チーム”に分かれての活動となりましたが、社員の自主性を尊重する事で社員の日頃の仕事振りでは見えなかった才能や個性に気付く事ができました。今では「環境整備」、「装備整備」、「地域貢献」、「社員親睦」の４つのチームに分かれて活動してくれています。
また、時を同じくしてトイレの改修や照明の増設、塗装設備の更新などハード面でも社員の快適・健康を向上する取組みも行いました。

社員とともに社員を支えてくれているそのご家族も大事！協力企業も大切に！！

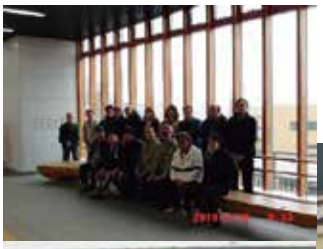
社員を大切にするという事は、元気に家庭から送り出してくれているそのご家族も大切に、また会社の応援団になって貰わなくては良い会社になっていかないと思います。
そこで、2017年から年１回、協力会社もお招きして会社参観を行った後に工場敷地にて親睦バーベキュー大会を開催しています。社員やご家族、協力会社の皆さんの笑顔が自分自身の笑顔に繋がり、皆の笑顔の機会を多くする事が自分の使命と気付く事が出来ました。

社員の笑顔は、ココロとカラダの健康が基底にあってこそ！会社がそこに投資するのは当り前！

社員の笑顔は、当り前の事ですが心と身体の健康という基盤があってこそ！そこで、以下のような取組みをしています。
・健康診断の全額負担と指摘事項改善へのサポート
・インフルエンザの予防接種全額補助
・保健師さんによる指導の積極的受け入れ
・アクサ生命との医療保険契約とそのサポートサービスを全ての社員が受けられる体制(一部はご家族も受益可能に。)
・健康診断時オプションの早期がん発見可能な腫瘍マーカーを全社員分会社負担に。(予定)
・社員と食事会を開催して、要望等言い合える雰囲気づくり
・社員の負担の大き過ぎる受注は辞退する決断体制の構築
・毎月の社長表彰制度で、周囲に認められる喜びがココロの健康とやりがいに！周りの社員は表彰された社員を目標に成長しようと相乗効果に！！　など

今後の展望

弊社が139年も持続できたのはまさしくこの地域のお陰です。地域貢献チームの諸活動だけでなく、障がい者の雇用やＳＤＧｓの推進を通して、より一層地域に溶け込み、地域に貢献し続ける事で、次の百年をこの地域と共に成長・永続したいと思っています。



2019年会社参観＆懇親ＢＢＱ大会

2019年高田城址公園へのお花見日帰り旅行の途中で、弊社が製作した木アルミ複合スクリーンが建て込まれている北陸新幹線飯山駅舎にて

2020年お隣高甫小学校でのおもちゃクラブ（木製パチンコ製作）指導の様子

505

長野県
佐久営業所

Voice Report 60th

シャッターセンター株式会社

代表取締役社長
東山大明 氏

「人生も仕事もからだが資本」長く働ける会社でありたい

- 代 表 取 締 役　東山大明 氏
- 本 社 所 在 地　長野県佐久市塚原
- 主な事業内容　各種シャッター・間仕切り施工など
- 従　業　員　数　6名(男性:4名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

仕事も人生もからだが資本！

「仕事も人生もからだが資本。社員の皆さんには長く働いてもらいたい。それが叶えられる企業でありたい。」
私が社長に就任したのはH27年10月。このような思いから就任当初より、社員の皆さんの健康は大切であると考えていました。会社が今後20年、30年、それ以上に発展していくためには社員の皆さんが健康で長く働き続けられることが欠かせません。健康診断受診率100%はあたりまえ、さらには、現在定年は60歳ですが、将来的には70歳を定年にしたいと考えています。その矢先、健康経営を知りました。社内には健康への意識が高くない方もいらっしゃいました。これを機会に健康経営によって社員の皆さんの意識が変われば仕事も人生もより豊かなものになることを確信して導入することを決めました。

小さな意識改革が第一歩

「健康経営は何から始めたらいいのだろうか。」そこで健康習慣に関するアンケートを実施しました。結果としては、食事に関することの健康意識がまだまだと課題を認識することができました。そこで、できることから始めようと、社内へ飲食に関連したポスターの掲示をすることにしました。社内での健康意識がこれから高まっていくことに期待しています。

従業員のための医療保険

少額ではありますが、業務時間外や休日のケガにも対応した医療保険に加入しています。従業員の健康を守るということは、生活を守ることと同義であると考えます。安心、安定した生活が仕事へのやりがいや生きがいにつながるとすれば、もしもの時の備えは、会社においても、従業員の家族においても必要不可欠だと思い、加入を決めました。小さな事かもしれませんが、少しでも社員の安心につながってくれればと思います。

健康経営の今後の取り組み

今後の方向性としては、取り組みを日々の習慣として落とし込んでいきたいと考えています。SDGｓでも掲げられていますが、『すべての人に健康と福祉を』の目標は、その価値を知り、それぞれの意識を変える事が出発点だと思います。その為に会社ができることを考え、実行していくことが従業員の健康、会社の発展、社会的貢献につながると信じています。
(具体的な取り組み)
①朝の体操の実施
②朝礼での健康管理の意識づけ
③有休消化率100%

100年企業を目指して

弊社は今期47期を迎えています。これまで、数多くの苦境に耐え、事業を継続できたことは、その時々の社員はじめ、お客様のお力添えあってのことです。今後も地域のお客様に貢献し、期待される企業として永続するためには、健全な会社であることが第一条件です。ここでいう健全とは、財務のみならず、働く社員が健康で充実した人生を実現できる職場環境であるということです。その実現こそが、100年企業への第一歩だと考えています。

社屋外観

屋外作業中に水分補給のためのドリンク配布

株式会社エーアイテック

代表取締役社長
大林泰彦 氏

「生きがいを持てる会社」に!!

- 代表取締役社長　大林泰彦 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市和田4010-31
- 主な事業内容　FA機器の開発・設計・製造・販売
- 従　業　員　数　89名(男性:64名・女性:25名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

企業活動の基盤は健康から

取り組みのきっかけは、健康経営優良法人の制度に興味を持ち、**松本商工会議所様に相談した**ところ、アドバイザーとしてアクサ生命保険株式会社様をご紹介頂きました。それまでも、社員の健康を企業活動の基盤と考え、自社独自の取り組みをしておりましたが、国の推奨する基準に沿って、多面的な健康のケアができるよう、アクサ生命様がお力添え下さることを心強く感じました。

「会社に自家菜園」進化していく健康への取り組み

1. 自社の取り組み

フレックスタイム制導入、半日有給休暇導入、会社敷地内の自家菜園、人間ドック、全額会社負担でインフルエンザ予防接種、使用料無料の温泉付き保養施設、健康を考慮したおやつ(ナッツ類、煮干し、チョコレート等)提供、デロンギのコーヒーマシン、卓球台、筋トレ器具、マッサージ器、血圧計など。(コロナ禍により、納涼祭や苗植えバーベキュー等の恒例イベント休止中)

2. アクサ生命保険株式会社様ご支援・ご提案

24時間電話健康相談、メンタルサポート、健康情報(健康経営ワンポイントアドバイス)配布 1 回/月、健康経営習慣アンケートによる把握と対策、健康セミナー(講座・Web)、自販機カロリー表示、喫煙エリア移動など。

3. コロナ対策

指針の策定、基本的な感染対策の徹底、マスク配布 1 枚/日、アルコール消毒増設、ドアノブ等消毒、Web会議による来客数削減、小学校等休業に伴う子供同伴出社・特例休暇の創設、加湿器増設、自動手洗い水栓増設など。

社員とともに健康に・・・協同して創る新制度

健康経営に取り組むことで、制度やツールが増え、社員のニーズに応えられる機会が増えたと感じています。
何かあったら、聞いてみようという社員が多くなり、意見や要望が受け取り易い環境になってきました。
例えば、コロナ対策では、社員の希望に沿って「小学校等休業に伴う子供同伴出社・特例休暇の創設」を行いました。
お子さんが休校の時は、社員と一緒に会社に来て、感染対策をした弊社の会議室で、主に講師と一緒に勉強したり、知育玩具で遊んで過ごしました。お子さんにも楽しく過ごして頂けたようです。
社員もお子さんの休校の不安を和らげることができ、業務の滞りも軽減する効果が得られました。

また、昨年導入したフレックスタイム制・半日有給休暇は利用者が多く、質問や意見なども多く寄せられ、仕事と生活の両立に利用されています。
これからも社員の求めていることに耳を傾けながら、意見を交わしながら、健康経営を進めていきたいと思っています。

社長の未来の願い

・社員食堂を、アルプスの見える、広いスペースに移す計画を進めています。社員同士のコミュニケーションや息抜きの場にしたいと考えています。自家菜園の採れたての野菜を利用するなど、様々なアイデアを企画中です。
・バカンスの取れる会社を目指します。エンジニア集団の会社で、社員が仕事に真剣に向き合う姿を、いつも目のあたりにしています。仕事にも私生活にも、生きがいを持てる会社にしたい、私自身がそうありたいと願っています。

507

長野県
伊那営業所

Voice Report 60th

株式会社竜東スチール

代表取締役社長
伊藤正弘 氏

「社員の健康と未来（あす）の環境経営」に取り組む

- 代表取締役社長　伊藤正弘 氏
- 本 社 所 在 地　長野県伊那市東春近3105
- 主な事業内容　精密板金加工業
- 従　業　員　数　20名（男性：12名・女性：8名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

“創意・熱意・誠意”　精密板金のプロ集団

当社は創業（1994年）以来、お客様のニーズに応える高品質の製品づくりを目標に日々努力を行っております。
事業を行っていく中で、共に働く社員の方々の健康（身体・こころ）はとても重要だと思います。
もともと健康増進に対しては健康診断の補助をするなど積極的に取り組んできましたが、健康経営優良法人認定を取得するにあたり、更なる取り組みが必要と考えました。

健康取組を「見える化・社内表彰」

最初の取り組みは社員に「万歩計」を提供し、毎日歩数を記録し、提出してもらい、給与日にあわせて上位の方を表彰することにしました。目標は「１日8,000歩」
社員間の意識も変化し、コミュニケーションツールにもなってきました。
今では、歩数に加え、毎日の血圧測定、ヘルスメーターに乗り体重・体脂肪・内臓脂肪・体内年齢・基礎代謝等の記録をつけてもらい、会社が健康管理のサポートを行っております。
この取り組みを始めて、検診結果が良くなった社員や、体内年齢が実年齢よりも若くなった社員も出てくるなど、健康意識向上につながっています。

・毎月の平均歩数上位者を公表し表彰

・健康記録シート
（歩数・血圧・体重・体脂肪・内臓脂肪など）

Withコロナの発想製品「ササエール ゆぅ」

コロナ感染が拡大する中、微力ながらお客様の仕事の支えになりたい。
そんな想いで開発した” SaSa Yell You “（あなたを支える）は飲食店やオフィス等で使用するアクリル板専用のスタンドです。
設置場所の雰囲気に合うように多彩なバリエーションを用意しました。
和やかなデザインで癒しを感じてもらいメンタルの支えにもなればとの気持ちで製作しています。

「最新技術を習得する事」も、
「新商品を開発する事」も
社員個々の健康が支えになっていることは間違いありません。

実用新案登録第3230796号

「竜東スチールのパーパス（存在意義）」

“お客様が望むものを創る”
これができるからこそ、竜東スチールの存在意義があるものと考えております。

「健康経営と環境経営」の両立で、
大切な社員が更に生き生きと仕事ができる社内環境を整備し、ご家族と幸せな人生が送れるサポートをして参りたいと思っております。

エコアクション21認証取得

本社・工場

有限会社朝倉石油

本社の外観

「地域のため、人のため、そして従業員のため」

- 代表取締役社長　朝倉祐一 氏
- 本 社 所 在 地　長野県茅野市米沢
- 主な事業内容　燃料等小売業
- 従　業　員　数　18名(男性:14名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定 中小規模
健康経営優良法人 2021 認定

働き方改革と生産性向上の両立のため、健康経営の取り組みが有効と考えました。

働き方改革により、社員には有給休暇の取得と残業時間の抑制を進めることにいたしました。しかしながら、当社は慢性的な人員不足が続いており、従業員の１人でも体調不良などで欠勤者が出ると業務に支障をきたしかねない状況でした。また、体調不良での業務は生産性の低下につながると考えていたところ、茅野商工会議所の委員会席上で健康経営の説明をアクサ生命から受けました。健康経営の取り組みは、現在の課題の解決策と確信し、その場で実施することを決めました。

じっくりと、２年間かけて健康経営の取り組みを進めていきました。

2019年から取り組みをスタートし、健康経営の効果をしっかりと確認していくため、優良法人認定の申請までは２年間かけました。まず初めに実施したのは「健康習慣アンケート」でした。従業員の状況がつぶさにレポート化され、その結果に基づいたセミナーをアクサ生命に実施していただきました。また時宜にかなった「ワンポイントアドバイス」を毎月配布していただいています。会社としても、頭を悩ませていた喫煙問題も、２年を経て敷地内全面禁煙へと移行することができました。

喫煙率０％！変わっていく従業員を目の当たりにしました。

１年目は従業員の中にも戸惑いが感じられましたが、２年目になるとアンケート回答も積極的になり、継続することの大切さを感じました。また定期的な情報提供のおかげで、今まで知らなかった健康に関する内容を知ることができました。なかでも、喫煙に対する従業員の意識は、大きく変化していきました。１人・２人と禁煙する従業員が出始め、現在は喫煙率０％を達成することができました。禁煙以外にも、食生活に対する意識もセミナーを通じて定着しています。

従業員に対する「想い」を伝えたい。

会社として伝えたいことは、「従業員ひとり一人が、心身共に健康で社会生活を送ってほしい」ということです。会社として実施できることに限界はありますが、健康経営という取り組みのなかで、健康セミナーや情報誌を通じて個々に健康に関する知識を吸収していく、そして得たものを従業員の間で共有することが大きな変化に繋がるということを実感してくれたと思います。

地域のため、人のため、そして従業員のため。

弊社の経営理念である、**暮らしやすい「エコ・エネルギー拠点」として貢献する。地域を「元気に」。人を「元気に」。**の実現のためには、我々社員が「元気」でなくてはならない。そう信じて健康経営で未来を切り拓いていきます。

シフト勤務のため、毎年２回に分けてセミナーを開催

509

岐阜県
西濃営業所

Voice Report 60th

岐阜産研工業株式会社

代表取締役
林　敬一郎 氏

「選ばれる会社」を実現するために！

- 代表取締役　林　敬一郎 氏
- 本社所在地　岐阜県揖斐郡大野町
- 主な事業内容　キャスター製造販売業
- 従業員数　57名(男性:27名・女性:30名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

従業員の健康に対する取り組みは良いと思い、健康経営に取り組む必要を感じました。

2018年より従業員の健康維持・増進のために取り組み始めました。
最初は健保組合から健康経営を紹介されました。最初はよく分からなかったのですが、健康保険組合として取り組んでいくと言われ、内容を聞いてみると従業員の健康に対する取り組みということで共感し、実施することを決めました。

従業員への意識改革として健康に関するセミナーは継続して実施しております。

健康経営は従業員と一緒にしていく必要があり、一人一人が健康について考える機会を持ってもらうため、セミナーは年に1回以上は実施しております。セミナー内容は禁煙、メンタル、食べ物等幅広く実施し、自分、家族の健康に対して見直す機会になればと思い、継続しております。セミナー中にみんなでストレッチをするなど体を動かし、参加できる機会も設けております。
希望者で実施しておりますが参加者も増えてきて、少しづつ意識できてきていると思っております。

禁煙者が増えました。

業種柄喫煙者は多いほうだと思います。だからこそ分煙を徹底しました。本社は禁煙ルームを作りました。それ以外は屋内全面禁煙としました。
みんなの前で禁煙宣言をした方に対して協力金をお渡しし、禁煙希望者の後押しをしております。実際に取り入れてから7人程度が禁煙に成功しております。
今後も喫煙者への過度なストレスにならないよう、禁煙運動は続けていく予定です。

人に選ばれ、長く続けてもらえる会社にしていきます。

人生100年時代を考えると健康で長く働ける職場づくりが大事だと思っております。健康経営を取り組み始め、健康診断の受診率は100％となりました。そして、健康に関するセミナーの後に特定保健指導や保健指導を実施しており、できるだけ早い段階で二次健診等に行ける仕組みを作っております。
従業員のプライベートの時間、家族との時間を大事に考えております。有給休暇の取得率を向上させるため、休日が取れそうなときには積極的に取ってもらえるように促しております。

今後の展望

実践していく中で、健康診断の結果も少し良くなっております。
セミナーを通じて少しづつ意識が変わってきていると思うので、体験型のセミナーを取り入れて、さらに健康の維持・増進に努めていきます。
せっかくのご縁で入社していただいた従業員全員が健康で長く働ける職場づくりをしながら会社を発展させるために、今後も健康経営を実践していきます。

2020年11月7日健康セミナー実施
テーマは免疫力アップ　セミナー中のストレッチ講座

株式会社小川ミート

代表取締役社長
小川香織 氏

働き方改革で従業員の満足度向上、そして生産性向上へ！

- 代表取締役社長　小川香織 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県大垣市
- 主な事業内容　食肉販売業
- 従　業　員　数　78名(男性:39名・女性:39名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営というワードを耳にして、自分の体験から健康経営を取り組む必要性を感じました。

1年程前から健康経営というワードは聞いており、そこから耳にする機会も増え、健康経営について勉強しました。
社長自らも現場で遅く迄働いていたことがあり、その頃家族との時間、自分の時間が少ないことが悩みでした。
働き方改革も始まり、改めて働く意味を考えました。生活、プライベートを充実させるために仕事を頑張ってほしいとの思いから、健康経営を取り組み始めました。

やると決めたら即実践！！ まずは取り組めそうな活動を。

健康診断で指摘をされた方には社長自ら声掛けをし、2次検診を促しております。
就業中は禁煙にしました。
夏場の熱中症対策として、塩飴を配布し、水分補給と塩分補給ができるようにしました。
従業員のプライベート充実のため、残業時間の削減、有給休暇取得率の増加、勤務時間の短縮を実施しました。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

健康経営を従業員と一緒に取り組んでいく方法を考えました。
健康増進の文章を配布することで、意識改革に取り組みました。
健康がなぜ大事なのか、家族との時間を大事にすることの大切さを従業員に伝えていっております。実際に時間ができた従業員が育児に参加したり、家族との時間が増えたという報告もありました。従業員が気持ちよく仕事ができるのも家族あってのものだと思います。全員で協力し合い、働き方改革をし、仕事とプライベートの両立を実現していきます。

大切な従業員とそのご家族の健康とともに会社も成長していきたい。

従業員とそのご家族には健康で笑顔で過ごしてもらいたいとの思いから健康経営に取り組んでおります。
残業時間を徹底管理し、本部の応援体制も強化することで残業を少なくし、ご家族との時間を確保しやすくしております。
有給休暇も交代制で確保し、お子様の行事に参加できた、家族と旅行をしてきたという声も上がっております。
また、勤務時間自体を20時定時から19時定時に変更することで、プライベートの時間を確保でき、結婚・出産された方も増えました。

今後の展望

従業員がいつまでも健康、かつ笑顔でいくつになっても働ける環境を作っていき、ご縁を繋げていきたいと思っております。
そのためにもこれからも健康経営を実践していき、従業員とそのご家族まで満足してもらえるような職場づくりをしていきます。
そうすることで、「人が集まる会社づくり」を実践していけるのではないかと思っております。これからも新しいことを取り入れて実践していきます。

健康の意識付けのため、定期的に健康情報を配布

511

静岡県
首都圏第一PB

Voice Report 60th

深澤工業株式会社

代表取締役社長
深澤勇弘 氏

安全と健康はすべてに優先する

- 代表取締役社長　深澤勇弘 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県熱海市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　23名(男性:21名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

私たちの仕事

私たちの会社は、東京から熱海にかけて主にＪＲ関係の土木工事を請け負う建設業です。
中でも、屋根や天井のある場所でも機械に頼らずに、建物・橋梁の基礎を丸く人力で掘り進める深礎工法で、運行中の新宿駅、渋谷駅、品川駅のコンコース地下の工事を請け負い、正に巨大な駅というインフラを陰ながら支える業務を行っています。
この仕事には、何よりも社員の安全確保が重要になりますが、運行終了後の夜間の工事も多く、社員の健康面への配慮も重要となります。

健康経営を始めた理由

建設業は、一般的にイメージが悪く、優秀な人材がなかなか採用できない状況です。そのような中で、働きがいのあるクリーンな職場にしていきたいと考えていた折、熱海の経営者の会合でDo it プランニングの神﨑さんから健康経営のお話しを聞き、ぜひ実行していきたいと考えました。
まずは営業車両の中での喫煙を止め、受動喫煙防止に努めるとともに、健康であれば、何歳までも働き続けることができることを伝えました。
幸いなことに、当社には75歳になっても元気に現場を飛び回る社員がおり、この方を通じて、若い社員にも健康の重要性が伝わることとなりました。

社員の意識が変わったこと

私は、社員は宝物であり、資格や勉強だけでなく、人間力、つまり挨拶をはじめとした仕事や人生に対する真摯な態度を育てていきたいと考えていました。
そのためには、社員一人ひとりが幸せである実感を持っていることが必要になります。
アクサ生命さんのアンケートを通じて知りえた、社員の内面、将来への経済的な不安を解消することが重要だと感じ、神﨑さんに一人ひとりの課題解決に向けたサポートをしてもらいました。
(神﨑氏)
「健康には、身体やこころのほかに社会的な健康があって、働きがい、生きがいとともに、経済的な不安を解消することが重要です。
社員本人だけでなく、配偶者や親御さんにもお会いして、『ご自身の将来の何が課題なのか？どのようにすれば解決できるのか？』を一緒になって考えていきました。
特に、将来の年金額の試算には、皆さん興味をもってもらえました。人は、課題があってもその解決に向けた行動を取ることで、人生を前向きに捉えることできます。
人生の目標を持つことで、精神面がより強くなることができます。
社員の皆様の精神的な成長に寄与できれば、大変嬉しいことだと感じています。」

←Do it プランニング
神﨑さん

健康経営担当→
山田さん

当社のこれからの課題

当社は、山梨県で大工をしていた先代の私の父親が、全長7800メールに及ぶ難攻の丹那トンネル(熱海から三島に抜ける函南まで)の工事のために熱海に居を構えたことから始まっています。
社員は家族というのは、私自身が幼いころから、従業員と同じ屋根の下で暮らし、母が全員分の食事を作り、そこで育ってきたことが大きく影響していると思います。
今でも社員のために、新しい福利厚生制度を導入できたりすると大変嬉しい気持ちになります。
昨年は、新卒の社員も２名入社し、熱海市内の小学校の補修工事を担当してもらっています。また丹那トンネルの補修工事を請け負い、新しいご縁や父の代から続く浅からぬご縁を感じたりしています。
2020年は過去最高益を更新しました。社員のためにしてあげたい、そのことは、つまり利益を出し続けなければなりません。社会的意義をしっかりと見つめ、健康経営を通じて、会社も社員も成長していきたいと願っています。

有限会社むつみ製パン

代表取締役
鈴木隆弘 氏

「みんな仲むつまじく」という想いを社名に込めて！

有限会社 むつみ製パン

- 代表取締役　鈴木隆弘 氏
- 本社所在地　静岡県浜松市西区西山町
- 主な事業内容　学校給食用パン・米飯委託加工
- 従業員数　32名(男性:22名・女性:10名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康経営に取り組むきっかけ

戦争を経験した祖父が「みんな仲むつまじく」という想いを社名に込め、「有限会社むつみ製パン」を創業しました。
平和になった現代においても「みんな仲むつまじく」の想いは不変で、学校や職場で、クラスメイトや同僚、あるいは家族と仲むつまじく食事をする、それが健康の原点でもあると考えます。食品を扱う会社として特に安全性に関しては年を追うごとに要求が厳しくなっており、弊社では製品を安心して召し上がっていただけるよう、社員の意識向上、工場内の環境整備、作業のマニュアル整備に取り組み、平成27年には「静岡県版ミニHACCP」の認証を取得しました。そんな中で商工会議所の健康経営セミナーに参加し、社員の健康に配慮するということは、社内で「仲むつまじく」の想いを共有し、社員の仕事への意識向上に役立つと判断し、健康経営の取り組みに着手いたしました。

静岡県版 ミニHACCP 認定工場

「静岡県ミニHACCP」と健康経営

毎日、子供たちが食べる学校給食。子供たちが笑顔で安心して食べられる、おいしいパン・米飯を届けるため取得した「静岡県ミニHACCP」は健康経営にも役立っています。
改正食品衛生法によって2021年6月からは「HACCP完全義務化」が全ての食品関連事業者に求められる様になりました。一早く取得に取り組んだことで、様々な面で健康経営の取り組みに役立っています。今年で6年目の継続となりますが、コロナ禍の前より微生物・異物の混入を防ぐため全員マスクの着用、消毒、空気清浄機の設置など様々な感染防止対策として取り組むことで安全と安心を子供たちにお届けしています。
また、平成27年4月からパンに使う小麦粉を県内産を含む国産100%に切り替えました。「地産地消」を推進するとともに、いっそう風味豊かでおいしいパンが子供たちに提供できるようになりました。

健康診断受診率100%は当たり前

先代の社長の頃から健康診断受診率は高いベースが出来ておりましたが、代が変わってから社長が従業員に直接声掛けをして健康診断受診率100%を目指すというよりは当たり前の事とし取り組んでいます。5年前からは、浜松市が主催する「浜松ウエルネス推進協議会」に参加し、取組宣言を3つ①健康診断受診率100%、②社内完全禁煙、③スポーツイベントの実施(フットサル)を実行し、疾病・介護予防や健康づくりに取り組んでいます。

今後の展望

社内においては従業員の高齢化に伴い、現在の運施策のフットサルにプラスして、ウオーキングコンテストを取り組んで更なる健康増進を目指していこうと考えております。
また、社外へはこれからも、お客様へは食を通じて、そして「仲むつまじく」を通じて精神衛生でも健康をアピール。
そして、浜松市のヘルス推進事業へも積極的に参加し、健康経営を通じて情報発信をすることで、産業界、そして地域に貢献出来る会社を目指してまいりたいと考えております。

513

愛知県
名古屋FA支社

Voice Report 60th

株式会社サン太陽

代表取締役社長
鈴木克典 氏

**お客様に寄り添いおもてなしの心で
笑顔あふれる優しい介護を目指します。**

- 代表取締役社長　鈴木克典 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県春日井市上条町
- 主な事業内容　介護サービス業
- 従　業　員　数　168名(男性:44名・女性:124名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

社員が一丸となって健康を意識することが重要だからこそ健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社では、『快適な暮らしが出来るようお客様に寄り添い、おもてなしの心で笑顔あふれる優しい介護を目指します』を理念に活動をしている介護施設運営会社です。大切なお客様に笑顔が提供出来るように社員がまずは健康でなくてはなりません。人員も充足しておらず、一人でも病欠者が出ると現場への影響も大きい。事業継続からも、社員が一丸となって健康を意識することが重要と考えました。

「健康経営」の一環として弊社が社員の為にした行動

全事業所の喫煙室を廃止して敷地内禁煙とし禁煙外来受診費用の一部負担制度を導入。(金銭投資)
給食業者、アクサ生命の協力で健康をテーマにランチ研修を実施。(外注・時間投資)
健保と相談して健診結果に指摘があった人に対し個別に特定保健指導を実施。(時間投資)
感染予防・対策用品の購入配備。(空間投資)
自動販売機の飲料にカロリー表示をし低カロリーの飲料を推奨。(外注・時間投資)

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

ランチ研修や自動販売機のカロリー表示をしたことで、社員が食生活やライフプランに関して意識するようになりました。
社員の喫煙に対する意識に変化があり喫煙をしないお客様への配慮をより心がけるようになりました。
アンケートから社員ニーズを定量化して把握することで、会社が施策を考えやすくなりました。
健診結果を会社と社員で共有し、一緒に問題解決することにより社員の安心感が増しました。

今後の会社のブランド力強化のために。

健康経営の施策については弊社にとって社員やその家族にとっても無理なく進めていけるものであり、今後とも社員の幸せや会社のブランド力強化のためにより一層努力していきたいと考えております。

今後の展望

弊社の夢は地域で信頼される介護サービスを提供する事であり、なくてはならない存在であり続けたいと感じております。
そのためには今、働いている社員も今後入社される社員も健康な心身で長く安心して働ける環境を作っていきたいと思います。
今回、アクサ生命の担当者のアドバイスによって丁寧に説明いただき弊社が取り組んでみたいことを一緒になって取り組んだことにより、健康経営優良法人認定を取得出来たことは非常に感謝しております。

健康をテーマにしたランチ研修の風景

514

愛知県
名古屋営業所

Voice Report 60th

有限会社一誠

代表取締役
吉川立洋 氏

「真心のこもった商品を提供すること」それが一誠

■代表取締役　吉川立洋 氏
■本社所在地　岐阜県羽島市福寿町平方2-46-1
■主な事業内容　企画製造・販売
■従業員数　39名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

「健康経営」への取り組みのきっかけは、アクサ生命の担当者から情報提供を受けたのが始まりです。
社員の健康を促進し、健康な状態で働いてもらい、生産性を上げることの重要性を感じました。
創業当時から社屋の完全禁煙など、従業員への健康に配慮してきましたが、健康経営優良法人2021年認定により、社員の健康への意識改善や社外へのPRに効果があると期待しています。

喫煙率の改善に向けて

生活習慣病予防の観点から、社員の喫煙率の高さが懸念材料でした。
その為、喫煙の時間と場所を制限したことや、禁煙啓発ポスターの掲示など各種の取り組みを行ったところ、徐々ですが成果が表れ、昨年度より25％喫煙率を下げることができました。
引き続き、喫煙率の良化を会社全体で取り組んでいき、社員の健康増進に努めていきたいと思います。

具体的な取り組み事例

昨年度、取り組んだ事例をご紹介いたします。
尚、取り組みへの効果検証は、アクサ生命が提供をしている健康習慣アンケートを利用することで、「見える化」を図り、改善に役立てています。

・全従業員（パート、アルバイト）の健康診断100％実施
・全従業員（パート、アルバイト）のインフルエンザ予防接種の実施（全額会社負担）
・社屋内の完全禁煙（創業時からの継続）
・顧客訪問用に玄関への体温チェック計と除菌アルコールの設置
・荷物の搬入以外でのエレベーターの不使用推奨
・自販機には健康志向のメニューを多くラインナップ
・熱中症対策に物流部門への電動ファン付空調服を支給

仕事を通じて、各国との懸け橋に！

当社は、寝具・インテリア・雑貨・肌着等を中心に、全国の小売店へ企画製造および販売を行っています。
アジア各国に出向き、商品企画・商品の買い付け（バイヤー）を通じ、日本と各国との懸け橋になれればと、社員の自由な発想、そして楽しい仕事を社風として取り組んでいます。
社員旅行では、毎年海外に出かけ（台湾、香港マカオ、バンコク等）、社内のコミュニケーションを深めるイベントも多く取り入れています。
健康経営の推進により、体、心、そしてワークエンゲージメントの更なる改善向上を図っていきたいと思います。

社員旅行の様子

515

愛知県
知多営業所

Voice Report 60th

株式会社吉見製作所

代表取締役社長
坂　一宏 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　坂　一宏 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県大府市森岡町
- 主な事業内容　形状記憶合金の加工・販売
- 従　業　員　数　9名（男性：3名・女性：6名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」を知る以前から従業員の健康増進に取り組んでいた

当社は元々企業理念に基づき、残業ゼロ・喫煙者ゼロと従業員の健康対策に取り組んでいました。そんな折、大府商工会議所主催の健康経営セミナーに参加したことがきっかけで、「自社でも認定を取得できるのでは」と思い、2019年の春頃に健康宣言を実施しました。宣言後どのように健康経営を進めていくか試行錯誤していたところ、アクサ生命の担当者から支援に関する話を聞き、本格的に取り組みを開始しました。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を。

食生活に関する取り組みには特に注力してきました。昨年には「食事と運動の関係」や「食べ物に含まれるカロリー」に関するお話など、食事をテーマにアクサ生命担当者より、従業員に対して健康セミナーを開催しました。このセミナーをきっかけに、会社で支給する飲料やおやつもカロリーや糖分が低いものなどに変更したりもしました。その結果、従業員間で昼食に含まれるカロリーを気にしたり、口にするものが健康志向になったりと従業員の行動変容にも結果が出始めています。

感染症対策をきっかけに予防接種率も向上！

感染症予防にも力を入れています。マスクやアルコール消毒液の配置に加え、2019年からはインフルエンザの予防接種への会社補助も行っています。実は数年前に社内でインフルエンザが流行し、複数の従業員が休まざるを得ず会社にも打撃となったことがありました。「会社が補助を出すことで、従業員が予防接種を受けてくれるなら」と思い制度を整え周知した結果、ほぼ全員が予防接種を受けてくれました。

コロナ対策にも活かされている

インフルエンザの教訓はコロナ対策にも活かされております。万が一コロナに罹患してしまった時、経営者自身が「どうしたらいいか困る」と考え、一早く「新型コロナウイルス感染症に関する行動指針」を作成し従業員に展開しています。また、密を避けるためにオフィスの設備配置の変更や時間差休憩の導入など、罹らない・うつさないための対策を講じています。

今後の展望 -For More “Good” Company-

決して従業員に対して健康行動を強制するのではなく、従業員の自主性を重んじて取り組みを取捨選択できる土台整備こそが健康経営の本来の姿であると考えています。今後も当社の経営理念である「For More “Good” Company」に基づき、従業員が健康づくりに取り組んでみようと思ったときにいつでも取り組める環境づくりに注力していきたいです。

2020年8月7日健康セミナー実施
講師はアクサ生命健康経営アドバイザー、テーマは食事

愛知金属工業株式会社

代表取締役社長
矢上貴浩 氏

「健康第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　矢上貴浩 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県大府市横根町
- 主な事業内容　輸送用機械器具製造業
- 従　業　員　数　60名(男性:39名・女性:21名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康都市おおぶ」の一員として

当社は元々2018年の10月に健康宣言をしておりましたが、本格的に健康経営の取り組みを開始したのは2019年の11月からになります。従業員の平均年齢が高く、体調を崩して長期入院をされた方や定期健診でがんが見つかった方がおり、全体朝礼の場で折に触れて「自身の健康」に関する発信をしていたところに、アクサ生命保険の健康経営アドバイザーから健康経営について紹介を受けたことが本格的な取り組みのきっかけとなりました。

二次検診受診率が向上！

二次検診の受診勧奨には力を入れました。以前までも二次検診の案内を従業員に出してはいましたが、その後のフォローは不十分でした。そこで受診報告管理を強化したところ、2019年度にはわずか20％であった二次検診受診率が2020年度には50%まで向上しました。引き続き二次検診受診の勧奨を行い、健康を害する従業員の発生を未然に防ぎたいと考えております。

ワークライフバランスの充実に向けて

ワークライフバランスの充実に向けた取り組みにも注力してきました。残業時間の推移は毎週総務経理部にてモニタリングし、各部門に周知し改善を促しています。比較的長時間労働になることの多かった現場部署では、派遣社員を雇用し負担の軽減を図るなど、適切な働き方実現に向け取り組んでいます。また勤務間インターバル制度を導入し、就業規則にも明記しています。やはり健康が第一ですから、今後もより実効性の高い取り組みを実施していきます。

従業員からの発案で風通しの良い職場を実現！

昨年においては、新型コロナ禍で月1回実施していた全体朝礼ができなくなるなど、社内コミュニケーションには苦労をしていました。そのような中で従業員からの発案があり、社員間投票制度を創設しました。これは「ヒーロー部門」「がんばった部門」など複数のテーマに対して、該当する従業員を選んで投票し、1位になった従業員を発表・表彰するというものです。発表の際は非常に盛り上がり、従業員同士の距離感がより近づくなど風通しのよい職場づくりに寄与する取り組みとなりました。

今後の展望 ー従業員満足と健康経営ー

当社の経営理念の中でも健康経営と密接に関係するものとして「CS(顧客満足)よりES(従業員満足)」を掲げております。自分たちが成長して満足していなければ、お客様に満足していただけないと思い、会社として従業員満足を追求しております。健康経営は取り組みの一環として、今後も継続していきたいと考えております。

2019年12月　アクサ生命を講師に迎え
全社員向けに健康セミナーを実施

517

愛知県
知多営業所

Voice Report 60th

株式会社前田工作所

代表取締役社長
前田静一郎 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　前田静一郎 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県常滑市小林町
- 主な事業内容　工作機械部品製造業
- 従　業　員　数　8名(男性:8名・女性:0名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

取組みのきっかけ__危機意識が原動力となった

現社長の年齢が60代であり、従業員も高齢化が進み、平均年齢が50歳(2019年当時)となっていました。このままでは会社の継続性が心配されたため、次世代を担う人材の採用に力を入れるようになったんです。しかし、すぐには採用に結びつかない。そこで、いかに今の体制で生産性を維持するかが課題となりました。そんな中、2019年頃にメディア等で健康経営というワードを目にする機会が増え、健康経営について調べると、「健康経営とは企業側で社員の健康に投資し、仕事の質や生産性を上げるという経営スタイル」だった。まさに時代の流れでもあり自社でも取組みを本格化していきました。

「健康への意識」を重視！

実践して良かった取組みは、出荷作業者や製造作業者の腰痛対策をしたこと。現場作業者は、日常的に素材や製品を運ぶため、一部の社員が腰痛に悩まされていました。そんな中、アクサ生命の健康経営ADVからのワンポンイントアドバイスの提供を受け、簡単なストレッチを業務中に取り入れ、改善を図っています。その他、病気や体調不良については、我慢せずに申し出るように周知して対応していくことにしています。

職場の掲示板に、腰痛をテーマにしたマニュアルを掲示して、改善を図っている。

二次検診受診率が向上！

二次検診の受診には力をいれており、以前からも二次検診の案内を従業員に出していたんですが、その後のフォローは不十分でした。そこで受診報告管理の強化を図り、病気と治療の両立をテーマに、二次検診は有休をとるのではなく、通院、検査を就業中に受診しても出勤認定(特定保険指導に限る)としました。それに合わせ、就業規定も改定しました。

今後の展望__従業員満足と健康経営

2020年はコロナ禍で経済も企業の業績も不透明ではあったのですが、ぶれることなく本来の危機意識にもとづく施策を遂行しました。コロナ禍を脱した先にどうありたいかを考え、他社が採用活動を控える中、人材の採用活動を行い、結果として新卒人材の採用に成功。有給休暇の5日以上取得は義務化。社員の有給休暇の取得状況としては年平均6日は取得しています。また、健康意識向上を目的に健康セミナーを実施し、今後も健康をテーマにしたセミナーを企画して、継続的に健康経営に取組んでいきたいと考えています。

後継者の専務である、前田鋼作氏。社長の意思を引き継ぎ、今後も健康経営を推進する。次年度より、代表取締役に就任予定。

協栄産業株式会社

(左)会長 大島良和 氏
(右)社長 郷司智広 氏

「製造業は心技体」社員の心を豊かにするために！

- 取締役社長　郷司智広 氏
- 本社所在地　愛知県丹羽郡大口町
- 主な事業内容　製造業
- 従業員数　64名(男性:37名・女性:27名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

新卒採用を継続していくためにも、健康経営に取り組み、社員の健康を気遣う必要を痛感。

新卒採用と生産性向上のためにも、働く環境を安全に整備する必要があると思い、工場を新設しました。
しかしながら、職場環境を整備しても社員の中には、昼食を摂らない若い社員もおり、勤務の継続性や生産性の面からも、社員のメンタル面にも踏み込んで向き合う必要があると痛感していました。

精神修養のWeb研修により、社員が満足し気づきを得られた。

社員のメンタルサポートのため、会長が以前から行っていた座禅や写経による精神修養を取り入れることも考えましたが、社員にまで拡げるのはどうかとの葛藤もありました。
そんななか、たまたま親会社の仕入先グループのメンバー向けに実施していた研修が、コロナによりWeb開催になったため、高僧による精神安寧の研修を全社員で受講しました。
社員からは「当たり前のことに感謝する」等の沢山の気づきが得られた。と好評であったので、今後も機会を設けて実施していく予定です。

健康衛生面の社内情報発信と社員全員のコミュニケーションのために。

健康衛生面の情報発信は総務部が全体ミーティング時や社内報を使って周知しています。
また、外国人従業員が半数近くいるので、工場敷地内の一角に畑を設け、社員と一緒に野菜を作って、みんなで収穫し食堂で食べたり持ち帰ったりして、食を通じて外国人も含めた従業員全員のコミュニケーションの向上と食に関心を持たせることにつながっています。

ラジオ体操に真剣に取り組むことで、仕事モードに気持ちを切替える。

創業時から欠かさず行っているラジオ体操がマンネリ化していたため、最近はビデオ撮りして社員がお互いに楽しんで採点し合い、正しく効果的なラジオ体操ができるよう取り組んでいます。これもコミュニケーションの向上や仕事モードへの気持ちの切り替えに役立っています。

全社員との経営方針の共有と将来に向けて

毎年会社と部門の方針だけでなく、全社員の個々の目標や取り組みも掲載した「経営指針書」を作成し、全社員に配布することで連帯感が生まれ、4月には全取引先にも参加いただき発表会を行っており、全員参画経営につながっています。
これからも当社での仕事が従業員個々の幸せにつながり、心豊かに生活できる基盤になれるよう、人間尊重経営を進めていきます。

519

愛知県
小牧営業所

Voice Report 60th

株式会社大京化学

代表取締役社長
中村公彦 氏

従業員の健康と仕事のやりがいこそが会社発展の礎

- 代表取締役社長　中村公彦 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県小牧市小木南1-51-1
- 主な事業内容　総合プラスチックス加工
- 従　業　員　数　44名(男性:33名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健診結果が悪化傾向にあったため、生活習慣病の予防として健康経営に取組む必要を感じました。

定期健康診断の有所見数が増加傾向にあり、所属の健保組合から4年前に健康経営に取組みませんかとのオファーと情報提供を受けました。
健保組合から対策メニューの提示を受けましたが、すでに自社で取組んでいる内容もいくつか含まれていたため、無理せず取組めると考えました。

健康課題として、まず喫煙率の低下に取組みました。

それまで喫煙率が50％超と高かったため、未成年の新入社員の入社を機に、喫煙率の低下にまず取組みました。
最初は工場敷地内に喫煙スペースを設け、その後屋外に移動と段階を追って進めていきました。
この取組みのはじめとしてみずからも禁煙を宣言し、現在は喫煙率も40％台前半まで低下していますが、20％以下を目指してこれからも取組んでいきます。

保健指導により健診結果への対応と健康習慣アンケートにより健康課題を見つけ出すことができた。

定期健康診断の全員受診はもちろんですが、その結果で有所見者に該当した全員に保健指導を受けてもらっています。また全社的な傾向から保健士さんと対策を検討し、それに沿ったテーマで健康セミナーを開催することで、改善に取組んできましたが、社員がどれだけ自身の健康に関心を持っているかの確認が取れていませんでした。
そこでAXAさんから健康習慣アンケートのご協力をいただき、従業員の健康や生活習慣に対する意識の把握が可能となり、改善すべき課題が明確になりました。そこから朝食や夜勤前などいつでも健康に配慮した食事が摂れるよう社員食堂に冷凍食材を用意したり、従業員への意識付けのための情報提供を毎月定期的に行っています。

コロナによるストレスも増大しており、メンタル面でも社員を支えていく必要性を強く感じている。

空調の使えない製造現場の夏場は蒸し暑く、マスク着用もかなりのストレスになっており、今後はメンタル面の把握のためストレスチェックを実施したいと考えています。
また、みんなで楽しんで取組める健康アプリの充実やコロナ終息後には社の研修所(岐阜県中津川市)で運動体験などしていきたいと考えています。

新しい分野の製品づくりにもチャレンジすることで社員の士気ややりがいを高めていきたい。

業務用厨房機器のプラスチック部品が主力ですが、今後は先端医療機器のカバー部品や機能部品に拡げることで、社員の士気ややりがいの向上につなげ、より社会に貢献ができる会社を目指していきたいと考えています。

520

愛知県
岡崎営業所

Voice Report 60th

エネロップ株式会社

代表取締役
久村　淨 氏

ひと・町・地球をやさしさで結ぶエネルギー会社を目指して！！

- 代表取締役　久村　淨 氏
- 本社所在地　愛知県西尾市法光寺町流6-12
- 主な事業内容　ガス事業・工業用地開発事業
- 従業員数　20名(男性:16名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

弊社は、「ひと・町・地球をやさしさで結ぶエネルギー」をテーマに2002年に設立いたしました。
クリーンエネルギーである「天然ガス」を、企業様生産設備へガス導管やサテライト方式により供給を行っております。ガス供給事業を通じて地域の暮らしを豊かにし、地域の発展に貢献できる会社を目指しております。
その中で、「まずは従業員が豊かな生活が送れるようにしよう」ということで、インフルエンザ予防接種費用・健康診断受診費用の全額補助などの福利厚生を充実させ、協会けんぽの「健康宣言」事業にも参加表明をしておりました。
今回、弊社に通っていただいているアクサ生命の担当者様から「ステップアップしてみましょう」とご提案いただいたことから、「健康経営」に取り組むことになりました。

強制ではなく自発を大切にしたい

健康経営に取り組むにあたり、まずはアクサ生命様の健康習慣アンケートを実施いたしました。その中で従業員の運動不足と睡眠不足がエンゲージメントを下げていることがわかりました。そこで、毎日14時頃からラジオ体操の音楽を流すことにしました。
事務員は1日中パソコンの前に座ってほとんど席から離れることがありません。そのため腰痛や肩こり痛を訴える従業員が多く、業務の間に体操をし、筋肉をほぐすことが有効だと考えました。
ラジオ体操は強制ではありません。音楽が流れると、立ち上がり自席付近で体操を行う従業員もいれば、業務に集中している従業員もいます。これは、集中を途切れさせてしまうことはかえってエンゲージメントを下げる理由になると考えたからです。といっても、音楽が流れるとほとんどの従業員が自発的にラジオ体操を行い、リフレッシュに役立てています。最近では「昨日は体操をしなかったから、何だか肩が重いわ」という従業員の声も聞こえるようになりました。

食から健康に取り組む

弊社には食堂がないため、昼食はコンビニや外食をとる従業員が多くいました。希望者には会社からまとめて弁当を注文することができますが、揚げ物がメインの高カロリーなものでした。これでは従業員の健康は守れないと思い、昨年から栄養士監修のヘルシー弁当を取り入れました。1食でいろいろな食材がとれると大変好評です。少しずつヘルシー弁当の利用者が増え、健康診断の結果につながればいいなと考えています。

思いついたらやってみよう

健康経営を主導している総務部には、「いいと思ったことはやってみて、だめならまた考えればいい」という風潮があります。上司とも気軽に相談できる雰囲気があるため、いつも活発な意見が飛び交っています。従業員の体調や健康に気を配り、自分たちにできることをみつけたらどんどんやってみる。この取組姿勢が健康経営の推進につながっていると思います。

今後の展望

今後も、従業員が笑顔で健康に長く働くことができる職場を目指し、アクサ生命の担当者様にご支援いただきながら、アンケート実施や情報の提供など勢力的に取り組んでいきたいと思います。

ラジオ体操の風景

ヘルシー弁当

521

愛知県
岡崎営業所

Voice Report 60th

株式会社東海機械製作所

取締役社長
近藤盛仁 氏

「社員と共に会社が成長し続け皆が幸せになる」の実現のために！

- 取締役社長　近藤盛仁 氏
- 本社所在地　愛知県岡崎市藤川町
- 主な事業内容　他産業機械装置製造業
- 従業員数　110名(男性:96名・女性:14名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

大型機械装置を扱う会社だからこそ安全第一

弊社は社員と共に会社が成長し続け皆が幸せになること、そして創意工夫と品質保証で皆様の信頼に応えるモノづくりを経営理念に掲げる、大型の機械装置を扱う企業です。それ故に社是に安全第一を標榜し、一日の大半を会社で過ごす社員の安全管理や衛生管理に細心の注意を払いながら環境を良くしていくことをごく自然のこととして実践していました。健康保険組合から健康経営優良法人の概要を聞いて、既に対応していることで申請できると判断をいたしました。

社員と共に会社が成長するには社員の健康があたりまえのこと

社員の健康管理の基本である年1回の定期健康診断の100%実施はあたりまえのこととして、再検査等受診勧奨の取り組みにも力を入れています。場合により産業医にアドバイスを受けきめ細かい対応をおこなってきました。また健康保険組合とも連携し特定保健指導など健康づくり・健康維持の土台となる部分をしっかり実践してまいりました。社員と共に会社が成長するには社員の健康があたりまえのこととしてあるという強い思いがあります。

社員の自発的アクションにも期待

健康づくりには社員の意識向上と自発的なアクションが必要です。会社はそのあと押しをする仕組みを提供してきました。生活習慣アンケートの結果、運動不足が課題であると把握できたため、運動機会を増やすため毎日のラジオ体操はもちろんのこと、健康保険組合が実施する年2回のウォーキングラリーに会社が費用を提供し参加を促してまいりました。結果コミュニケーションの増進にもつながり、社員同士の一体感の醸成にも寄与できています。

大切な社員の健康とともに会社も成長していく

さらに、食生活の改善に向けた取り組みとして会社が手配する仕出弁当も低カロリー弁当が選択できます。量的に少ないという意見もでましたが徐々に定着してきました。
メンタルとも連動する過重労働対策にも相当以前から力を注いできました。残業時間の把握・管理は職制を通じて厳格に行っています。以前は80時間も超えるケースもありましたが、その際も産業医の面談を必須として対策を講じてきました。

今後の展望

コロナ禍の今、マスク配布や消毒液設置など感染症対策は当然ですが、以前より会社でインフルエンザの予防接種を本人の負担なしで実施し衛生管理にも配慮してきました。
今後も社員全員がより健康で生きがいをもって仕事をしてもらうために、産業医や健康保険組合等と密接に連携しながら、様々の健康経営の取り組みを継続してまいりたいと思っております。

令和元年度全国安全週間
安全講話「ロコモ体操」

522

愛知県
岡崎営業所

株式会社ヤマカワ

代表取締役社長
山川　敦 氏

「社内通貨制度」を健康経営にフル活用！

- 代表取締役社長　山川　敦 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県岡崎市暮戸町
- 主な事業内容　金型および自動車部品の検具製作
- 従　業　員　数　18名(男性:13名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

明日につながる創造性を経営理念に

2020年に創業60年を迎えた弊社は、一昨年山川木型からヤマカワへと社名変更をいたしました。木型時代のノウハウを引き継ぎ、成形金型として今の時代へ繋げる企業として「明日につながる創造性」を経営理念に掲げています。現在コロナで大変な状況ですが、現状維持ではなく変革にチャレンジしつつ、ものづくりに邁進しています。そしてそれを実践するのが社員であり、技術面・精神面・経済面においてこの会社で豊かさを追求してもらいたいと思ってきました。

新たなコミュニケーションの取り組み「社内通貨制度」をクリエイト

明日につながる創造性のなかから「社内通貨制度」という仕組みが2年前にうまれました。これは弊社が開発したスマホアプリでC-coin systemと名付けている社内で使える仮想通貨です。ITが普及して希薄となった社内のコミュニケーションを円滑にしようとスタートしましたが、毎月月初に付与される会社からの贈与ポイントを社員同士で「感謝」の気持ちをプレゼントしあうツールです。このやり取りにより、コミュニケーションが活発になり会社に活力が生まれています。

社内通貨制度を健康経営にも活用

この社内通貨制度は、健康経営の推進にも活用しています。具体的には喫煙率を減少させたいという思いから、禁煙成功者にはポイントを付与する制度を始め2名が成功しました。不公平にならないよう非喫煙者にもポイントを付与しています。また運動や食生活の取り組みなど社員がゲーム感覚で健康経営に取り組めますので、福利厚生の充実が図れていると実感しています。さらに改善提案を評価ポイントにしたり給与に反映されない仕事(例えば忘年会の幹事)など評価したりして幅広く活用をしています。

経営方針発表会に全社員が参加 風通しの良い職場に

溜まったポイントは何にでも物品に交換可能です。また今年は、久しぶりに新卒で新入社員の入社がありましたが、この制度を通じて早く会社に馴染んでもらえると期待しています。さらに、年1回の経営方針発表会には全社員が参加し、社内通貨保有ランキングの表彰を行い励みにしてもらっています。他社様からも問い合わせがあり弊社HPを紹介し、確認して頂いております。

今後の展望

その外にもコロナ以前からインフルエンザの予防接種費用の会社負担やヨーグルトを配布するなど感染症対策には力を入れてきました。
私自身も過去に病気で入院していますので、社員の健康は本当に大切だと思っています。今後の課題として食生活の改善や運動の促進にももっと力をいれて取り組みたいと思っています。またその思いをHPの更新情報で綴っており、これからも社員に積極的に伝達してまいります。

2020年健康セミナー実施

523

三重県
桑名営業所

Voice Report 60th

さんあい薬局株式会社

代表取締役社長
中野隆文 氏

笑顔と親切をモットーに、明るく働きやすい職場づくりを推進します

- 代表取締役社長　中野隆文 氏
- 本 社 所 在 地　三重県桑名市寿町3-25
- 主な事業内容　調剤薬局業・居宅介護支援事業
- 従　業　員　数　110名(男性:30名・女性:80名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

普段から取り組んでいたことが健康経営

アクサ生命様からのお声掛けで、初めて「健康経営」という言葉を知りました。健康経営優良法人に取り組む中で、普段から弊社で当たり前のように行っていることも数多くありました。
「患者様に良いサービスを提供するには、まずは従業員が気持ちよく働ける環境でなければならない」という考えのもと、これまで会社を経営してきたことは間違っていなかったのだと、確信をもつことができました。

店舗の垣根を超えた交流・コミュニケーション

同じ会社の従業員でも、配属店が違うとなかなか顔を合わすことがありません。
そこで、現在は新型コロナウィルスの影響により中止しておりますが、新年会、歓迎会、ボーリング大会やゴルフコンペなど、全従業員が参加できる行事を会社が企画・運営をしています。社内のコミュニケーションが活性化することで、チームワークやモチベーションが向上し、円滑な業務遂行に繋がっています。

直近の課題は「労働時間」

地域密着型の調剤薬局なので、患者様が来られる限りは店を閉めることはできません。特に繁忙期はどうしても営業時間が長くなります。
そこで、長時間勤務を少しでも減らせるように、弊社では各薬局に業界平均よりも多い人員を配置しています。そのことにより時差出勤や短時間勤務の人などもシフトを組みやすくなり、結果としてゆとりを持った働き方を提供できています。

今後の取組み

調剤薬局は患者様のセンシティブな情報を扱う上に、新型コロナウィルスの影響により従業員の負担は以前より増えています。従業員が心身ともに健やかな状態で働けるよう、今後はメンタルヘルス対策にも力を入れていきたいと考えています。

新型コロナ対策にも健康経営

2020年4月に緊急事態宣言が発令されて以降でも、さまざまな病気をお持ちの方が窓口にいらっしゃいます。
全国的にマスクが不足する中においても、毎日従業員が使う分を会社で何とか確保して感染予防に努めました。
熱のある患者様は店舗内ではなくマイカーで待機していただいたり、場合によってはゴーグルや防護服を装備して対応するなど、従業員が安心して職務に取り組めるよう配慮しています。

感染症対策
実施薬局のポスター

歓迎会の様子

524

滋賀県
彦根営業所

ウィンクル株式会社

代表取締役
内藤修一 氏

「働く人にも企業にもベストな関係を目指して」Win-Win-Win

- 代表取締役　内藤修一 氏
- 本社所在地　滋賀県彦根市高宮町211
- 主な事業内容　人材派遣業
- 従業員数　72名(男性:46名・女性:26名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

スタッフへの感謝を込めて、健康経営導入

2011年4月12日(創業2005年6月)設立、昨年10周年を迎えるにあたって、スタッフのみなさんにこの事業を続けられた恩返しをなにかしたいと思っていた矢先、コロナ渦でのダメージを受けてしまい思いだけで具現化できずの状況でした。
そんな折、アクサ生命の担当者から「健康経営」を紹介いただき、こんな時期こそスタッフが健康に過ごせるための経営が必要と感じ、スタッフへの感謝の気持ちも込め健康経営のアクションを起こすこととしました。

喫煙者を減らす取り組み

新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと実践しつつ、健康課題として「禁煙」を第一に取り組みました。喫煙者を減少させるのを目的として事務所内および敷地内では基本は禁煙。以前に設置された喫煙ルームはコロナ予防対策で、利用は11:30～13:30までの2時間・人数は４名超禁止、15分以上の利用禁止、と厳しい制限を設けました。
そのかいもありタバコの臭気も無くなり、受動喫煙対策にも貢献し、喫煙者を減少をさせることができました。
また派遣先様の喫煙環境についても、受動喫煙回避のためほとんど屋外に設置されるようになりました。

喫煙の「害」と受動喫煙の「被害」の情報提供

これらの禁煙に対する実施は、会社側が一方的に取り決めても場当たり的で実現できるはずもなく、喫煙に対する本人自身の自覚と行動変容が必要です。
そこで、喫煙による自身への『害』と、その周りにいる者への受動喫煙による『被害』について、正しいと知識と情報を紙面を用いて何度も啓蒙をおこないました。

禁煙は家族のためにも

しかし、最終的にもっとも影響するのは家族であって、身近にいる家族に対して、家族のために喫煙について見つめなおすように紙面で伝えました。特に受動喫煙についてのリスクを提示し、その怖さについて大げさ目にチラシを配布しました。

Win-Win-Win 三方よしの実現

当社のスタッフには今なおメタボ予備軍が多数おります。
当社の制服(作業着)は、サイズが６L以上は別注扱いとなるのですがそのギリギリの者も数名おります。
禁煙に続いて、今はメタボ対策・減量の取り組みを始めています。ひとつはスポーツジムなど法人契約をして、チケット制で希望する者に配布するなど、私も含めて運動増進を進めたいと思っております。
スタッフあっての会社です。健康経営でスタッフの健康増進を進め、『働く人にも企業にもベストな関係をめざして』Win-Win-Winの三方よしを実現します。

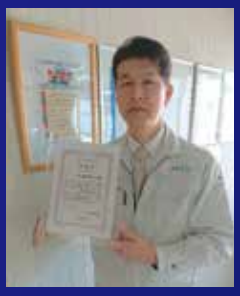
喫煙ルームでの対策

525

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 60th

大洋産業株式会社



代表取締役社長
小田柿喜暢 氏

「SDGｓ」と「健康経営」、社員とその家族の健康が会社の発展に

- 代表取締役社長　小田柿喜暢 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県彦根市芹川町528
- 主な事業内容　一般管工事業・一般機械器具製造業
- 従　業　員　数　37名(男性:30名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

ワークライフバランス、働き方改革を進める中で社員の健康増進が重要と気づく

当社は少数精鋭のオーダー生産型の企業です。
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)で、社員が能力や個性を十分に発揮し、「仕事」も「生活」もともに充実していると実感できる環境づくりを進めています。特に、「子育てしやすい職場」、「男女がともに働きやすい職場」「地域の若者育成」などを3年計画を立案して具現化してきました。その中で、社員が心身ともに健康であるという基本条件が抜けていることに気づきました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

まずは社員の心身の健康。そして社員自身が自立的に健康に留意することで、社員の家族の健康に対する意識も変化していくと考えます。会社は社員一人一人の力が合わさって強くなり継続していきます。
そして、その社員を支える家族が健康であることが、「仕事」も「生活」も充実していると実感できると信じています。社員とその家族の健康が会社の持続的な発展に繋がります。

2019年「SDGs宣言」と同時に「健康経営」も一気に取り組みをはじめる

2019年「SDGｓ」を取り組むことにしました。その中の目標３では「すべての人に健康と福祉を」が掲げられています。この目標と「健康経営」が合致すると考え、すぐさま「健康宣言」を行い、「健康経営」に取り組むことにしました。

SDGｓ「すべての人に健康と福祉を」

社員が普段の生活の中で健康を意識するようになれば、次は、積極的な健康増進に取り組んでいきたいと考えています。楽しい健康増進の取組み、定期的なメンタルチェックとフィードバックなどを取組み、SDGｓの「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」を実現します。

D E W
大洋産業株式会社

まずは、社員が自らの健康に留意することからスタート

社内健康診断は100%の受診率を継続していますが、健康診断も当たり前になると、よほどのことが無い限り健診結果に基づく行動変容は困難なような気がします。
そこで、社員が自らの健康に一層留意するようにと、健康診断時のオプション検査費用の一部を補助し、通常検査よりも多くの健康状態を知る機会を作るようにしました。
同時に、検査結果で要検査等の結果が出た社員には、検査受診促進の通知を出すようにしました。

上:健康セミナー実施風景
左:少数精鋭の社員

株式会社アラカワ

代表取締役社長
荒川深冊 氏

皆様の笑顔の為に何ができるかを考え続けていく

- 代表取締役社長　荒川深冊 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県彦根市大薮町2034-13
- 主な事業内容　研究開発機器・健康関連商品 小売業
- 従　業　員　数　6名(男性:2名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康関連の商品を取り扱っている会社だから

当社は昭和40年に理化学機器販売の会社として創業以来、滋賀県の教育機関、官公庁、企業の研究関連部署など多くの研究・開発・品質管理に携わる方々にお取引いただいております。
平成17年からは健康維持の為の冷え取り健康美容を提唱している株式会社高陽社の特販会社として、入浴剤や健康食品、海洋深層水などの個人向け商品も取り扱っております。
健康というキーワードから「健康経営」に繋がりました。

健康経営優良法人の「認定」事業を知って

アクサ生命の健康経営アドバイザーから、国の顕彰制度(優良法人認定)があることを知り、「認定」取得を目指して健康経営に取り組むことにしました。

課題は運動不足と新型コロナウイルス対策

事務仕事が多く運動不足が課題のため、運動の奨励と情報の周知から始めました。具体的には「車を使わずに歩く」ことや「体幹トレーニング」を奨励しました。
感染症(新型コロナウイルス)予防対策では、マスク着用・アルコール除菌はもちろん、立体非接触型体温計の設置のほか、銀イオン除菌スプレーも事務所内に設置いたしました。

従業員ひとり一人の健康維持が経営課題

手前みそではありますが、健康関連商品を取り扱っていますことからも、現在従業員はみんな健康です。
少人数の会社ですので、1人でも欠けるとすぐさま事業に大きなマイナス影響がおよびます。それ故ひとり一人の健康維持が経営課題であると言っても過言ではありません。

健康で笑顔になる社会作りを目指して

従業員の健康はもちろん、「皆様の笑顔の為に何が出来るかを考え続けていく」という社風のもと、多くの方が健康で笑顔になる社会作りを目指していきます。

arakawa 株式会社 アラカワ

527

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 60th

鈴木ヘルスケアサービス株式会社

代表取締役社長
鈴木則成 氏

老人福祉の職場で、「イキイキと働くことが、最大の予防法」

- 代表取締役社長　鈴木則成 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県彦根市後三条町350-3
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　100名(男性:14名・女性:86名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康で生き生きと生活できる地域づくりを目指して

1974年に鍼灸治療院を開設以来、地域での健康維持・健康増進を推し進めて参りました。
1999年には、さらに健康で生き生きと生活できる地域づくりを実現するために、在宅介護をメインにする在宅介護サービス会社に生まれ変わりました。
安全で質の高いサービスを提供するためには、従業員が健康でなければなりません。経営理念に「イキイキと働きやすい職場を提供し、生き甲斐を感じる会社をつくります」としています。

勤務環境の不満から退職者が多かった

経営理念とは裏腹に勤務環境への不満から退職者が多くいました。そのための対策が必要となり、「子育て世代への配慮」・「休暇制度の確立」・「人材育成」など各種取り組みを本格的におこない「優良企業認定」の取得を目指しました。

「健康経営優良法人」認定取得を目指して

上述の各種の取り組みにより、残業時間は減り有給休暇取得率は上がりました。そして離職率は大きく下がりました。
そんな折に、アクサ生命の担当者から「健康経営」を紹介いただき、「これだ！」と直感しすぐに導入を決めました。
在宅介護サービスには、体力は必要ですしメンタル面の安定も求められます。体と心の健康があってこそ質の高いサービスが提供可能となります。
まずは従業員の健康が大事で「健康経営」はすっぽりとはまりました。そして従業員ひとり一人の健康意識を高めることが一番必要であると気づきました。

健康経営のリソースは、社内に多くある

健康経営を意識すると社内にはリソースが数多くあることに気づきました。リハビリ用の機材はトレーニングジムと同様ですし、社員には保健士・栄養士・歯科衛生士などの資格保有者がいます。普段はお客様へのサービスとして提供(指導やアドバイス・相談会など)しておりますが、従業員みんなの健康にも大いに役立てる事が出来ます。
健康経営優良法人2021認定取得ができました今年、2022認定に向けて、それらリソースの活用を進めています。

介護予防は、イキイキと働くことが最大の予防

仕事柄もあって健康の重要性は重く受け止めています。
健康経営を積極的に取り入れ「イキイキと働きやすい職場を提供し、生き甲斐を感じる会社」を実現していきます。
従業員には、ここで働くこと・長く働き続けることが、最大の介護予防・健康増進であることを実感して欲しいと思います。
そして、当社の経営理念　「住み慣れた地域で　自分らしく老いることができる　社会の実現をめざして」を推し進めます。

長和産業株式会社

代表取締役会長
藤本正幸 氏

「グローバルに活動し、この社会に貢献する」ーー経営理念のもとー

- 代表取締役会長　藤本正幸 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県長浜市新庄中町158
- 主な事業内容　建具製造業
- 従　業　員　数　33名(男性:18名・女性:15名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康経営は経営理念に合致

1962年に繊維卸業の藤本商店を創業、1970年にアルミ・木製建具の製造・販売・工事部門を新設し長和産業株式会社として設立しました。
会社は、従業員のため・お客様のため・社会のために在るべきとの精神のもと、会社の健康も従業員の健康も等しく大事と考え、従業員の健康管理には気を付けてきました。
アクサ生命から「健康経営」を紹介いただいた際、当社の理念と合致するものであり、すぐさま取り入れることとしました。

What is your Ikigai ?

世界が注目する日本の『Ikigai』を経営に取り入れたいと考えました。人生で最も大きなウエイトを占める仕事、この仕事に『Ikigai』を持てるかどうかが、人生を大きく左右させます。
働き方改革やワークライフバランスに取り組んでいることは、この『Ikigai』に必要なものである事が理解できました。
「生きがい」と「健康」が大事、つまり健康でないと精一杯生きるのが大変となる。健康経営を積極的に推進すべき理由はこの『Ikigai』の手段であるためだと腹落ちしました。

従業員の健康は会社発展の手段

従業員の健康は会社発展の手段であると以前から考えていました。それ故、健康管理には十分に手当てをしてきました。
健康診断の受診率100％、有所見者の再診査は出勤認定をしており督促も徹底し、こちらも受診率100％です。
さらに35歳以上の従業員には、5年毎に「人間ドック」を全額会社負担で実施しています。

健康経営から『ＳＤＧｓ』の取り組みを開始

従業員の「生きがい」と「健康」が、会社の価値を高め、それを社会に広め貢献する、この好循環こそが経営理念です。
健康経営で従業員の健康度を高め、それが会社の持続可能な発展に繋がり、それをお客様と社会に貢献していきます。
今からは、持続可能な世界に考慮する企業となるべく、
『ＳＤＧｓ』の取り組みを本格的に始めます。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

マスクとアルコール消毒のほか、出勤時には自動検温装置の測定体温で勤務・自家用車内で待機・帰社の基準を設けました。予防・免疫力アップの観点から、「高濃度水素水」を設置し、また「大型酸素ドーム」を購入し疲労回復や集中力アップのためにも従業員に使用を勧めています。

5人が入れる「大型酸素ドーム」

「高濃度水素水」

529

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 60th

長浜葬祭有限会社

代表取締役
西濱　一氏

社員とその家族を守り、地域になくてはならない会社となるために

- 代表取締役　西濱　一氏
- 本社所在地　滋賀県長浜市神照町147-1
- 主な事業内容　葬祭業
- 従業員数　36名(男性:16名・女性:20名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

２９歳の若さで脳梗塞で倒れたのを機に

当社は今年50周年を迎える葬儀社です。24年前、専務であった私は29歳の若さで脳梗塞に倒れ、家族と会社に大変な苦労と負担を掛けました。その苦労を社員とその家族にはさせまいと、その後会社での健康重視の取り組みを行ってきました。
「健康宣言」事業を知りその取り組みを始めていたところに、アクサ生命の担当者から声を掛けていただき、本格的に健康経営優良法人認定を目指して取り組むことといたしました。

健康増進は、社員が自発的に取り組めるように

会社の健康診断は15年以上続けていますが、社員の平均年齢が徐々に高くなるにつれ健診結果の指摘が多くなってきているように感じています。
健康増進は、本人が意識して自発的に取り組める仕組みを作ることが大事と考え、保健委員からの健康情報の発信や、部署内でのラジオ体操等により運動機会を増やし、日常でのスモールチェンジから健康増進を促しています。

新型コロナウイルス感染症対策

当社では葬祭ホールの運営にあたり、新型コロナウイルス感染症対策は絶対であり、万全をもって取り組んでおります。
コロナBCPを作成し、社員の分散出勤と出社時の検温ならびに消毒液を設置し、社員へのマスク配布もおこないました。
ホールにおいては、三密を避けた式場レイアウトならびに動線の変更、加湿機能付き空気清浄機の設置、換気の見直し等考え得る対策をおこなっています。
お客様と社員をコロナから守り、安心安全に人生最後のお見送りをお手伝いできるよう心掛けています。

コロナ禍での社員の健康増進対策

社員は、コロナ禍での行動制約による運動不足やストレスによる過食などが原因で、体重増加傾向にあります。それが原因となって健康数値にも影響がでているように思われます。
健康診断結果の有所見者には、再診の督促と受診完了報告を求めることで受診率100％を目指します。
社員全員で歩数イベントを実施することで、運動への意識付けと運動不足の解消を促します。また、今年はストレスチェックを実施してメンタルヘルス対策の充実を図ります。

社員とその家族を守る健康経営で

50周年の節目を迎える今年、社員とその家族を守るための健康経営を一層推し進めます。社員が健康であることで、「高いパフォーマンスでお客様に喜ばれる会社・地域になくてはならない会社」となれるように取り組みます。

新型コロナウイルス感染症対策セミナーの実施風景

株式会社一休庵

代表取締役社長
上川悟史 氏

滋賀・京都で飲食店を多店舗展開する「株式会社 一休庵」コロナ禍での笑顔を届ける「人作り」

- 代表取締役社長　上川悟史 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県犬上郡甲良町池寺1-5
- 主な事業内容　飲食業
- 従　業　員　数　200名(男性:40名・女性:160名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「健康経営」で会社も従業員も順調に推移

昭和54年設立、観光地での郷土料理と土産販売から始め、近年ではお客様ニーズにお応えすべく焼肉・居酒屋等の外食産業を多店舗展開してきました。
「健康経営優良法人」認定を2020・2021年と2年連続で取得することができました。それまでの各種の取組(当社独自の懸賞制度や働き方改革ならびに健康経営アクション)により、「社員が辞めなくなり・社員間の一体感が強くなり・笑顔が多くなる」など順調に推移してきました。

心身の健康増進を目的に「懸賞金」

有給休暇取得を推奨するために「連続7日以上の休暇内容のレポート提出」で、レポート内容を審査して1位に30万円を授与する制度を設けていますが、昨年はコロナ禍で実施できませんでした。
コロナ禍で運動不足になりがちな事から、全員に万歩計を配布し、月単位で歩数の報告を求め、年間で上位者に賞金を授与する制度を新たに設けました。
そのほか「一休庵アワード」として、店舗毎でアイデアとその実践と成果を競う表彰制度も設けています。

一転、コロナ禍で想像を絶する苦境に

しかし、昨年新型コロナウイルスの蔓延が始まると一転し、私ども飲食業においては想像を絶する苦境に直面しました。売上は２割程度まで落ち込み、営業時間の短縮から閉めるべきかを検討せざるを得なくなりました。
その状況下、自宅待機が増え従業員同士の会う機会が減り、先行き不安から多くの従業員がストレスを抱え、メンタル面での対策が急務となりました。

お客様に笑顔を届ける「人作り」

コロナ禍で未曽有の危機に直面しておりますが、アフターコロナを見据え、従業員の心身の健康の維持と増進に努めます。
そして、
「食」を通じて、たくさんの「幸せ」を作り出すー。
この思いを胸に、地域で愛される“店作り”と、
お客様に笑顔を届ける“人作り”に励んでいきます。

従業員のメンタルヘルス対策が急務

まずは店を閉めないと決断しました。閉めてしまうと会う機会自体が無くなってしまいますし、何よりも仕事が無くなることを意味しますので、それは何としても避けたいと考えました。
そして、次にコミュニケーションのためのSNS活用を決めました。SNSで、全社員・各店舗・店長等役職別・報連相・井戸端会議など10以上のグループを設定し、どこかのグループで繋がりを持たせ、コミュニケーション不足にならないようにしました。
また、「24時間電話メンタルヘルス相談」が利用できることも再度アナウンスをおこない周知いたしました。
従業員のみんなは、会社の危機を理解し、店舗のコロナ対策に万全を期しながらよく踏ん張ってくれました。

一休庵

531

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 60th

株式会社こじま花店

代表取締役
小嶋大記 氏

「お客様・従業員の笑顔」を実現するために！

- 代表取締役　小嶋大記 氏
- 本社所在地　滋賀県東近江市八日市町11-19
- 主な事業内容　小売業
- 従業員数　9名(男性:3名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営と聞いて最初は・・・

最初は、どんな難しいことをしないといけないのかと思いました。普段、日々の忙しさから、健康に対して大事だと思いつつも意識を向けることはあまりなかったのですが、「身近なところから始めたらいいですよ！」というアドバイスをいただき、私も含め、従業員の健康に対する意識づけから始めることによって、少しずつ、各自、自身の健康を意識するようになって来たのかと思います。例えば、普段は、ジュースを飲んでいたのですが、意識的にお茶を選んだり、持参したりする行動に変わってきたように思います。

社員一人一人の自信につなげていきたい

健康経営は、何か難しいことをするのではなく、課題を把握し、身近なところから取り組むことによって、このような認定を受けられたことは、会社として、社員一人一人の自信につながるのではないかと思います。

コロナ禍での取り組みについて

コロナが騒がれなかったら、普段から、マスク着用はもちろん、手洗い、消毒をこれまで、それほど気にしたことはなかったが、従業員一人一人が感染しない、させないを意識しました。毎年以上に、今年は手洗い、消毒の意識が高まりました。その意識が高まったこともあり、毎年なら、冬にインフルエンザに感染して休むものがいるのですが、今年は、マスクの着用も徹底していたこともあってか、風邪で休むものも出ず健康経営の取り組みと、併せて喜んでいます。

花を通じて、お客様、従業員の笑顔を作りたい

年齢を重ねていくと病気自慢ではないですが、会話が、健康の話題になっていきます。健康経営に取り組むことによって、お客様へも元気を与えられ、元気になってもらえるようなお店作りをしていきたいと思います。従業員には、会社、商品(花)を通じて、笑顔と元気を創造してもらい、お客様には、従業員や、お店、商品(花)を通じて、元気と笑顔を贈り続けられるような、会社を目指していきたいと思います。

従業員の健康の意識の変化とともに社内でも変化が・・・

健康診断の結果を受けて、従業員の健康に対する意識が変わり、普段の食べ物・飲み物に対する意識に変化があったように思います。また、いろんな健康に対するアドバイスをいただき、空き時間でできるエクササイズなど、重い腰を上げて取り組むのではなく、少しの意識の変化でき、気軽にできるエクササイズなどを通じて社内でのコミュニケーションも増えてきたのではないかと思います。

532

滋賀県
彦根営業所

びわ貨物運送株式会社

取締役専務
西村嘉次 氏

「お客様の荷物はわが子です」安全確実に運ぶ事が我社の使命

- 取 締 役 専 務　西村嘉次 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県彦根市城町2-8-7
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業・倉庫業
- 従　業　員　数　80名(男性:71名・女性:9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営は我社の使命に必須であり必然

1964年創立、現在は一般貨物の運送をはじめ、倉庫保管、加工、ピッキングそして物流管理業などもおこなう「総合物流企業」として事業を展開しています。
健康経営は、アクサ生命から紹介をいただいたことがきっかけとなり取組みを始めることとなりました。
お客様の荷物を安全確実に運ぶことが我社の使命であり、そのためには社員が心身ともに健康でなくてはなりません。
健康経営は我社にとって必須であり必然であったと思います。

安全第一のための健康第一

運転手は体が資本です。しかし仕事柄不健康な行動に陥りやすい環境下にあります。勤務時間帯が不規則で、食事の時間・場所・内容も不規則になりがち、さらに交通渋滞等でストレスのたまりやすい状況も多々あることからか、腰痛と肥満が相対的に多いと感じています。
安全運転には健康が第一ですので、健康診断の全員受診は当然で、有所見者には出勤認定をして督促も徹底していることから再検査の受診率も100%となっています。

メンタルヘルスは話をしっかりと聴くことから

ストレスがたまるとイライラして、それが事故に繋がったりします。だからメンタルヘルスは重要です。従業員との対話を重視し、話をしっかりと聴くことを実践しています。事務所に戻った際には、身も心も揉みほぐすことでリラックスできるようにと、高性能マッサージチェアーを設置してあります。
心身ともにリフレッシュして家路に向かってもらい、ストレスを少しでも軽減できたらと願っています。

ゆとりのある仕事に

コロナ禍において仕事が大きく落ち込んだ時期もありました。時間的な余裕ができたのは、仕事へのゆとり・働き方改革を考える良いきっかけとなりました。
同様に、社員の健康作りも「きっかけ」が大事であると気づき、毎月開催する安全会議の際に、健康をテーマとした情報提供の場を設けることにしました。

毎月開催の安全会議。健康情報も毎月提供

全ての社員が幸せを感じる企業となること

健康経営を推進することで、経営理念のひとつである『全ての社員が幸せを感じる企業となる事』を目指します。
社員の健康を通して、安全に徹し、環境に配慮し、ものを確実に運ぶための品質を高め物流のワンストップサービスを創造します。そして、地域・社会に対してお役に立てる企業を目指します。

533

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 60th

株式会社片岡精起製作所

代表取締役社長
片岡寿史 氏

社員の健康とともに『たゆまぬ努力と技術の向上を目指して』

- 代表取締役社長　片岡寿史 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県東近江市大林町5-13
- 主な事業内容　金型設計・製作及び各種部品の製作・量産
- 従　業　員　数　24名(男性:13名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営の導入は違和感なくスムーズに

1984年設立、金型の量産加工や制作・販売をおこなっています。現在パソコンや家電製品などが日々進化しており、その内部部品も0.001㎜単位での精度が要求され、その要求に応えるべく、技術の向上に日々取り組んでいます。
私ども中小企業では、従業員が1人でも欠けると大ダメージを受けます。そのため普段から事故無し(安全第一)と健康維持には腐心しています。だから健康経営はなんの違和感もなくスムーズに取り入れることができました。

社員の会話・コミュニケーションが増えました

健康経営をきっかけとして、普段の会話に健康ネタの類いが多くなりました。さらに金融リテラシーのセミナーを実施したことでお金の関心が高まり、人生100年時代に向けた体とお金の健康意識と行動変容に拍車がかかったように感じます。
そのように、会話の量が増えコミュニケーションの機会が増えたことにより、体操時や雑談時の表情も明るく豊かになり、笑顔も増え職場の雰囲気も良くなったと感じます。

「運動」を課題と特定し、行動変容への取り組み

定期健康診断は100%受診を続けており、若い社員にはオプション検査も付けています。近年有所見者が増えてきており再検査・要検査等の受診督励を個別におこなっています。
健康習慣アンケートの結果から、「運動」の行動変容が必要であると課題特定をし、そこから取り組みを始めました。
掲示板に関連情報を掲示し、健康器具も設置しました。
そして、午後の勤務開始の10分間、「オビロビ体操」をすることにしました。全員がTVモニターをみながら体操をしています。

永く働いてもらう職場づくり

定年後の継続雇用においては年齢制限は設けておりませんので、従業員には健康で怪我もなく永く働いてもらうことを理想としています。
そのために、出勤日数や働く時間を選択できるようにするなど働き方改革も進めています。
従業員ひとり一人が健康を維持することで、当社のスローガンである『たゆまぬ努力と技術の向上を目指して』を持続可能なものとしていきたいと思います。

社員それぞれが意識することで行動変容が進む

前述の体操を始めたことや健康習慣アンケートのフィードバックセミナーによって、社員の意識が大きく変わったと実感します。
昼休憩時にキャッチボールなど軽い運動を始めた者、家庭においても「オビロビ体操」を始めたとの報告も聞いています。
「飲み物」については、自動販売機で糖分やカロリーの高い飲料を敬遠するようになったり、食堂では飲むものや砂糖の量を変えた社員が多くいます。
「食べ物」でも、ヘルシー弁当(低カロリー)を注文する社員が増えました。
社員それぞれが行動変容をおこなっている証左と思います。

午後の始業時の「オビロビ体操」の風景

片岡精起製作所
KATAOKA SEIKI CO.,LTD.

534

京都府
京都営業所

Voice Report 60th

エフエム宇治放送株式会社

FMうじ　サテライトスタジオ

地域の方へ　お役に立てる情報をお届けするために！

- 代表取締役社長　山本哲治 氏
- 本 社 所 在 地　京都府宇治市宇治琵琶45-13
- 主な事業内容　ラジオ放送
- 従　業　員　数　6名(男性:3名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

１番はコロナ禍での経営でした。
放送という代替えの利きにくい仕事がら日頃から健康には注意を払っていましたが今回は状況が違いました。放送は止められないため、スタジオ内の換気はもとより、次亜塩素酸による局内の消毒、マスク、アルコール消毒、アクリル板による仕切りなど考えられる対策を行い、最後は局内全体を光触媒コーティングしました。いつ誰がかかるかわからない。それでも放送は止められない危機感から本気でスタッフ全ての健康に注視するようになりました。

ミーティング中にも互いの健康チェック

明るく楽しい「娯楽情報番組」を放送する以上、怪我や病気をしていても、放送時にリスナーの方には絶対に気づかれない。全てのスタッフがそんな思いでこれまでやってきましたが、基本は健康が１番。
健康経営の取り組みは、本人だけでなく、互いの健康チェック意識に繋がり、番組ミーティングの際にも仕事内容だけでなく、その時の互いの健康状態にも気を遣うようになりました。

会社全額負担による健康診断 インフル予防接種の１００％実施

年１回の健康診断はこれまでも会社全額負担で実施してきましたが、昨年からインフルエンザの予防接種も会社負担で取り組みスタッフ全員が実施する事が出来ました。

今後の展望

弊社は、通常の放送はもとより、災害時における地域に特化した災害放送を最大の使命だと考えています。そのためには日々の健康が最も大切で、いつ来るかわからない、しかし必ずやって来る災害に対し、１００％の力が発揮できるよう、今後も社内の健康環境を充実させ、個々における健康意識の向上に繋げていきたいと思っています。

535

京都府
京都営業所

Voice Report 60th

宇治第一交通株式会社

宇治　本社

地域のお客様のより快適な生活環境を支える！

- 代表取締役社長　伊藤　洋 氏
- 本 社 所 在 地　京都府宇治市槇島町大川原31-1
- 主な事業内容　一般乗用旅客自動車運送業
- 従　業　員　数　113名(男性:109名・女性:4名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

タクシー乗務の仕事は、営業車両にて一人で与えられた時間と営業圏内で運転業務の為、常に管理者が個々の体調を把握することが難しい。実際のところ個人個人の体調管理の徹底が必要である。その手助けとして、健康経営に取り組み自分達の健康管理について、関心を持ってもらう事が目的です。

事業用自動車の事故撲滅

自動車を運転される人の平均年齢が上がってきている背景から、自社の従業員の高齢化もあり、若い年代でも健康管理が十分で無い為、従業員が一丸となって健康経営に取り組み健康意識を高め健康起因事故を予防する。

従業員の健康は会社の宝

定期健康診断の受診率は100％を維持していく。「安全第一」は勿論の事「健康第一」の意識を持ち働きやすい環境作りを行い、従業員の増加と定着を図る。

今後の健康経営への取り組み

健康経営アドバイザーと意見を出し合い話し合いながら、1月に一度全員懇談会にて健康ミーティングを実施して、全従業員がいつも明るく元気で長く勤められる会社を目指して健康経営の取り組みをさらにステップアップし、タクシー業のイメージアップを図り、誰でも働きやすい会社を目指して行きます。

京都宝製菓株式会社

代表取締役
河越将守 氏

地域に愛されるを目指して！

- 代表取締役　河越将守 氏
- 本社所在地　京都府京都市右京区嵯峨天竜寺造路町31
- 主な事業内容　和洋菓子製造・卸売業
- 従業員数　80名(男性:31名・女性:49名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」に取り組むきっかけ

「健康経営」という制度を知ってはいたものの、どのようにはじめればよいのかと思っていたところ、アクサ生命の担当者から情報提供をいただきました。
以前からの課題として、従業員の体調不良による突発的な休みや離職率が減らないことがありました。
今回の取組みにより、課題改善とともに従業員に寄り添える企業を目指すことを目的としました。

まずは「健康アクション宣言」から社内外へ発信

まず「健康アクション宣言」を社内外に発信し、従業員ひとりひとりに健康を意識してもらうことからはじめました。
生活習慣アンケートでわかった当社の課題に沿ったセミナーを行ったことでも個人の意識改革に繋がったと感じています。

新型コロナウイルスへの対策

健康経営に取り組みはじめて間もなく、新型コロナウイルスが流行し、観光地の土産菓子製造・販売をしている当社も大きく影響を受けました。
助成金などの制度を利用し、自社工場の稼動も最低限に。給与減額はせず、従業員には休業またはリモートワークなどの対応をしました。
社内の除菌のほか、昼休憩の時間をずらしたり、机の配置変更、また従業員へ除菌用アルコールを無料で配布するなど出来る範囲で対策をしました。

従業員同士のコミュニケーション

毎年、新年会・夏のBBQ大会・忘年会を開催しています。普段あまり接することのない他部署との貴重な交流の場でもあります。2020年は残念ながら開催できていないので、今後世間が落ち着いた頃、皆が集まれることを願っています。

今後の取組み

新型コロナウイルスの流行により、これまでの「普通」がガラリと変わりました。こうした環境の変化に沿って会社もよりよく変化していけるよう、今後も健康経営を通して出来ることから進めていきます。
地域に愛される商品作りをするために、従業員に愛される会社を皆で作っていきます。

537
大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

TSA Partners株式会社

「プロフェッショナル集団」を実現するために健康経営に取り組む

■代表取締役　徳永洋亮 氏
■本社所在地　大阪府大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル本館16階
■主な事業内容　M&Aアドバイザリー
■従業員数　40名(グループ合算)

健康経営優良法人 2021認定 中小規模
健康経営優良法人 2021 認定

プロフェッショナルであり続けるための健康経営

日夜知恵を絞り、常に進化するプロフェッショナル集団であり続ける覚悟が大切だと考えております。
この覚悟を維持する為のエネルギーは、社員一人ひとりの夢や志です。
会社の方からも社員の夢のために何か後押し出来ないかと悩んでいた時に出会ったのが健康経営でした。
社員の健康課題に向かって真摯に取り組みをする活動は、弊社が重要視している考え方と合致していたため、すぐに取り組みを始めました。

すでに取り組んでいる事を徹底する

まず健康経営の取り組みを進める上で、弊社が注力した事は健康診断受診率100%の徹底です。
全員が徹底して行っていかなければならない部分です。
受診状況の確認、また社長自ら該当社員に声掛けを何度も繰り返し行いサイクル化させております。
こうした小さな動きの一つ一つが、社員の健康への意識の変化に繋がっていけばと考えております。

BMI22以下を目指して

コロナが続く現状では、満足に運動機会の創出が出来ていない人は多いと思います。
弊社でも同様であり、社員の平均年齢も若いため運動には特に力を入れていきたいと考えております。
BMI22以下を達成すると金一封のインセンティブが受けられる制度を設けました。他にも2020年12月頃から、スポーツジムと法人契約し、無料でジムの利用が出来るようにしております。

社員の意識に根付く取り組みのために…

弊社の今後の課題としては、いかに社員の健康への課題意識を啓蒙させられるかだと感じております。
単なる健康経営としての取り組みではなく、自身の将来の夢のための取り組みへと昇華させていきたいと思っています。
そのためには社員の意識に根強くいきわたるように、PDCAのサイクルを行っていくことが重要です。
都度効果検証を行いながら社員へのフィードバックを積極的に行っていきたいです。

今後の展望

2022年度の優良法人認定に向けて、社員と一丸となり常に進化し続けていきます。
他社にはない弊社独自の社員の居場所の提供のために、引き続き様々な施策を進めていきます。

538

大阪府
大阪営業所

株式会社フロアテック

代表取締役社長
武本智樹 氏

「全員が安心できる会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　武本智樹 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市平野区喜連東2-1-58
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　45名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

Voice Report 60th

すべては従業員が安心して働けるために

弊社での健康経営の取り組みは3年前から始まりました。
最初は求職者から見たときに、少しでも良いイメージを発信していきたいという考えからスタートしました。
転機が訪れたのは昨年のコロナの状況が深刻になったことです。従業員が輝いてこそ、会社の成長へと繋がる。その思いからコロナの状況でも従業員が安心して働くことが出来るように会社として全力を尽くそうと決めました。その取り組みの成果の確認のためにも優良法人申請をした結果、認定を頂くことが出来ました。

心の健康へは特に配慮しています

特に注力した健康課題としては、メンタルヘルスケアです。
悩みを打ち明けずに自身で抱え込み、仕事を辞めてしまう状況は何としても無くしたいという思いを強く持っています。
具体的な取り組み内容としては、従業員が事務所に戻ってきた際に社長自ら1on1で面談の機会を設けております。
面談といっても固くなってしまうと素直な意見も言いづらいと思うので、フランクにコミュニケーションの一環として声掛けを行っています。階層別に特有の悩みがありますので、各個人の時間の確保に努めています。

従業員全員の参画意識を促していくには…

今後更に自社での健康経営の取り組みを昇華させるためには、従業員全員の参画意識が大切だと感じています。
弊社の従業員の平均年齢は20代後半のため、まだまだ健康への危機管理が弱い部分があります。
今後の狙いとしては、既婚者が多いため家族まで巻き込んでの健康経営の取り組みに拡大させていきたいと考えています。家族の声掛けもあれば、今以上の健康への意識を持った行動へと変えていけるのではないかと期待しています。

従業員の絆を大切に！

社長、従業員共にアクティブな人が多いため、コロナの状況になるまでは毎年海外旅行に行っていました。
また、サーフィンにゴルフと、思いっきり体を動かしてコミュニケーションを深めているときは至福のひと時です…。
仕事だけでなく趣味も一緒に楽しみあえる環境・仲間が職場にはあるんだと感じてもらえていたら嬉しいなと思っています。
また、弊社は大阪エヴェッサの公式スポンサーを務めておりますので一緒に試合に応援に行くこともまた恒例行事となっています。

今後の展望

社内外から安心して働ける会社だと言ってもらえるように取り組みを続けていきたいと考えています。
事業としても今後更なる拡大の計画をしています。
そのためには従業員の活躍が必要不可欠です。元気にずっと弊社の一員として働いてもらえるように、会社として全力でこれからもサポートしていきたいと考えています。
目指せブライト500！

539

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

関西デジタルソフト株式会社

代表取締役社長
沖上俊昭 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　沖上俊昭 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市北区中之島2-3-33
  大阪三井物産ビル5階
- 主な事業内容　ソフトウェア開発業
- 従　業　員　数　29名(男性:22名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

取引先が優良法人認定を受けていたことがきっかけ

健康経営との出会いは去年の夏ごろです。たまたま取引先が優良法人認定を受けている事を知り、健康経営について詳しく調べたことがきっかけでした。
健康経営はこれからの変革の社会の中で、弊社が成長していく上で必要不可欠だと感じて取り組んでみようと思いました。

残業への取り組みに注力しました

同業他社の状況を見てもストレスを抱えている従業員が多い業種です。そこからは決して目を背けてはいけないと感じています。だからこそ、社員への声かけは社長自ら徹底して行っています。
コミュニケーションを繰り返し取ることで、仕事を抱えすぎていないか等の社員の様子の変化をキャッチしやすくなります。
近い立場で関わり合いを持ち、少しずつでも残業時間の減少に繋がればと考えています。

35歳以上の社員は人間ドック受診

弊社では35歳以上の社員は全員、人間ドックの受診を行っております。
各個人が気になる項目について自発的に検査を受けられるように、オプション診察を含め会社負担で上限10万円までサポートする体制を整えています。
また、定期健診で再検査に該当した社員がいた場合は、社長がチェックし二次検査に必ず行くように声をかけています。
積極的に社長自身が二次検診に行く姿を見せることで、少しでも社員の意識向上に繋がればと思っています。

社員の家族まで巻き込んでの健康経営

弊社での健康経営の取り組みを、社員の家族まで含めたものへブラッシュアップしたいと考えています。
コロナが蔓延して、これまでの在り方とは大きく異なった動きが求められると思います。経験したことのない環境で苦労はしますが、その苦労がプラスになる日が来ると信じて…。
今後社員がイキイキと誇りを持って働くことが出来るように、ワークライフバランスはもちろんのこと、互いに仕事面も健康面も意識しあいながら日々過ごしていきたいなと思います。

今後の展望

煌めく日本のオンリーワン・ナンバーワン企業に選ばれたり、産経新聞の取材も受けたのですが、そんな時期に優良法人認定を取得出来て良かったと思います。今後も認定を毎年受けられるように精進したいと思います。これからも輝いていけるように弊社一同、向上心を持って努めてまいります。

コロナ発生前の2019年の忘年会の一幕です。
中之島の夜景をバックに社員が集まって騒いでおります。
この様な宴会ができる日が一刻も早く来ることを祈ります。

コインタックス株式会社

代表取締役
田辺拓也 氏

新しい会社、新しい『仲間』だからこそ、新しいことにチャレンジ！

- 代 表 取 締 役　田辺拓也 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市北区
- 主な事業内容　暗号資産の申告サポート
- 従　業　員　数　5名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

若い、これからの会社だからこそ健康経営に取り組む。

当社は「仮想通貨分野における的確な税務サービスを提供し仮想通貨市場の発展に貢献する」ことを理念に、2018年に設立いたしました。昨年、健康経営のことを知る機会があり、今後さらに事業を拡大させるために、また社員の定着のためにも、これはせひ取り組むべきだと感じ、まずは健康宣言の社内外への発信からスタートしました。

創業時からの『仲間』とともにまずは取り組めそうな活動からスタート。

健康面では心配のない若い社員が多い中、外部のコンサルを受けつつ、まずは出来ることからスタートしました。
健康診断の受診の重要性、生活習慣病のリスクなど、今までは意識が薄かった健康課題に関して、全員で学ぶ機会が出来ました。

社長も社員も、フラットな雰囲気をつくりたい。

主にパソコンと向き合う業務が多く、休憩時にしっかりとリフレッシュ出来るようにと、掘りごたつ式のテーブルを設置、畳ばりにした談話室を設置し、社員が靴を脱いでくつろげるスペースを事務所内に設置しました。デスクとは違った雰囲気で社員間のコミュニケーションが図れるようになりました。

『仲間』と、いろいろと学べた1年。

業種自体が新しい分野であり、常に新しいことに取り組むマインドを、健康経営の取り組みを通じてさらに醸成させていきたいと考えています。コロナ禍において、いままで意識が薄かった感染症について体験し、学び、対策したこともさることながら、あらためて全員が健康に関して意識を持つことができました。また、若いからこそこれからの生活習慣が大切だということを、全員で学ぶことができた1年でした。

今後の展望

継続していくことが大切。
今後も全員で健康経営に取り組んでいきます。

コインタックス
Comprehensive Coin Tax Service

社員が靴をぬいで休憩できる和室の談話室を設置

541

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社Ｂｅ＆Ｄｏ

代表取締役
石見一女 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

■代表取締役　石見一女 氏
■本社所在地　大阪府大阪市北区
■主な事業内容　ソフトウェア開発　経営コンサルタント
■従業員数　13名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
3年連続認定

2011年の創業時より健康経営に取り組む

健康経営という言葉をまだ一部の人しか知らない2011年創業時、健康経営研究会、現理事長の岡田先生との出会いから健康経営の考え方に感銘を受けました。その後経産省、厚労省と、認定制度に関して関りを持たせていただきながら、自社でも2011年に健康宣言を行い、取り組みを開始しました。生き生きと働くため、生産性を高めるためにも、健康経営への取り組みは企業にとって非常に大切だと考えています。

自社のコンサルティングメニューと、健康経営の取り組みに親和性を感じる

弊社では、Wellbeingマネジメントシステム
Habi*do（ハビドゥ）を開発し、多くの会社への提供、
運用支援を行っています。健康経営の推進にもご活用いただいています。
心身の健康度向上や健康経営の理解度を把握する仕組みも搭載し、お客様に活用いただくとともに、自社でも活用し健康経営に取り組んでまいりました。

目標をたてて、みんなで励ましあいながらゴールを目指す風土が醸成された。

2020年は、健康度チェック（※１）で問題のあった『運動』をテーマとし、2週間、普段より体を動かす期間を設けました。Habi*do でお互いに励ましあいながら楽しく取り組みました。

また、コロナ禍においても、社員の中でユーチューブの健康体操に取り組むのが流行りました。特に年配の社員は積極的に習慣化し取り組んでくれています。従業員数が少ない反面、全員で楽しみながら取り組めました。

※１健康度チェック・・・健康経営研究会の岡田先生の監修を受け、Habi*doに搭載されています。

自社のマネジメント手法に健康経営は欠かせないことを、社員全員が再認識できた

従業員がより一層健康に興味をもって取り組んでいるのを嬉しく思います。顕彰制度を取る前から、健康は大切だと思ってくれていますが、顕彰制度への取り組みを通じて、健康を通じた社内のネットワークがより構築されたことが大きな成果でした。
健康は利害関係がない。上下関係もない。コミュニケーション促進の為に、健康経営の取り組みは素晴らしツールだと感じています。

今後の展望

自社のシステム・アプリケーション活用し、継続的な取り組みを行い、社内外ともに広く健康経営の取り組みを発信していきたいと考えています。

在宅メンバーも含めオンラインで体操に取り組みました

株式会社ORBLET LIFE

本社玄関

社員は人財、社員が健康で活き活きと働ける環境と プライベートも充実したワークライフバランスのとれた会社をつくる

- 代表取締役　難波美智子 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市淀川区西中島7-6-12 新大阪駅前和光ビル7F
- 主な事業内容　住宅サービス事業
- 従業員数　25名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営への取り組むきっかけは、周囲の人の経験を伺い、健康への意識が高まった

周囲の身近な人が経験された、環境や体調の変化で「辛く、大変な思いをした」というお話しを伺い、健康に関しての意識が高まり、“身体が資本”と強く思うようになりました。そして自分だけでなく従業員の健康も指導管理し、社長発信で社内の健康意識の向上に努めるようになりました。そんな時「健康経営」というキーワードを耳にする機会があり、健康経営の考え方に賛同し、取り組むことを決めました。

取り組み当初は従業員の意識変革に苦労もありました

健康経営に取り組みを始めた当初は、自身も含めどの様な事を行えば良いのか、基準もわからないまま取り組んでいましたので社員にも戸惑いがあったと思います。
実際、優良法人認定制度への申請も従業員から担当を決め作業を進めていましたが、自社だけでは認定基準などを確認することが出来ないので、取引先様など外部の助言も頂きながら進めていきました。

初年度の認定以後、健康経営が社員に浸透していくスピードが速まった

初年度認定以後、明らかに社員の健康意識が高まったと思います。会社として社員の健康を考え、様々なものを導入していきました。それによって今では社員一人ひとりが健康に関する取組を行っております。

- ・健康づくりアプリの導入
- ・健康食品の情報提供
- ・空気清浄機の導入
- ・産業医による健康相談制度の導入
- ・海の見える保養所の導入

健康経営に取り組んだ結果、社員の健康リテラシーも向上し、人材採用でも効果が見られた

社員がそれぞれ普段の生活習慣を見直すきっかけにもなりました。

- ・食事を気にする様になった。
- ・万歩計【アプリ】を活用し、歩数を気にする様になった。
- ・電車通勤から自転車通勤に切り替えた。

社内でこれらの様な効果が見られる一方、新規の人材採用でも健康経営実践企業としてアピールポイントも増え、他社とのアドバンテージが持てた。

今後の展望

健康経営に取り組む一方、SDGsの8番認定も取得し、それ以降退職者もなくなり、事業基盤である人材確保の面でも安定をしました。今後は新たな事業拠点の拡大を行う予定もあり、更なる事業成長とともに働きがいのある会社づくりを推進して参りたいと考えています。

2021年度健康経営優良法人認定証

健康管理アプリを導入
歩数、睡眠、食事バランスなどを管理

543

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社上原

代表取締役
上原正史 氏

伝統技術を守り、伝えていくために、社員を守るところから

- 代 表 取 締 役　上原正史 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市東住吉区住道矢田6-5-6
- 主な事業内容　細工野菜の加工製造販売及び冷凍冷蔵業
- 従 業 員 数　14名(男性:3名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社員全員が安心して働ける土壌作りのために、健康経営を進めたかった…

社員全員が検診をしていたのは4年前。
自身が40歳まで検診を受けておらず、これからの長い人生を健康に働いていけるのか、そして何より従業員が働き続けられる条件を整えていこうと思ったことがきっかけでした。昨年秋に協会からの宣言書をもらい、社内外に健康経営に対する意識を発信しようと決断し、すぐに提出をしました。

社員の成長とともに会社の成長と次世代の育成を…

製造業であるからこそ、技術やノウハウを次の世代につないでいきたいと思っています。自身もスポーツを続けてきた経験もあり、今ある事業を守ってくれる熱意のある人物を求めてます。そういう観点からも健康経営優良法人を取り続けて、まずは会社の環境が整っていることが周囲に分かってもらえれば会社の強みにもなりますし、コロナ禍のような状況にも社員一同で乗り越えていけると信じています。

外国人留学生の採用にも支援と健康経営を…

社員は若い年代も多く、更には外国人留学生を積極的に採用しています。現在は4名、多い時期には7名。国からではなく、会社から健康を意識するよう受診を勧めています。自身の健康が社員全体を守ることにもつながり、留学生の社員が健康に働けることで、結果、彼らの生活を守っていくのだという思いで関わっています。コロナウイルスのワクチン接種も、今後積極的に勧めています。

伝統技術を継承し、真心と感謝を込めて社会に貢献を…

日本の技術である「飾り切り」の世界に入って29年。毎日技術を磨き続けてきました。和食が2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されたことで、国内にとどまらず海外にも飾りものの文化が認知されています。わが社はコロナ禍にあっても、日本の伝統を守りながらも、時代の進歩と共存し、皆様に改めて日本の伝統の良さを知っていただけると信じています。真心と感謝を込めて、お客様一人ひとりに喜んでいただけるよう社員一同努力してまいります。

社員でコミュニケーションをとり、心身ともに健康な環境の実現を目指して…

心のストレスや人間関係も健康に影響することから、ストレスチェックなども行うようシステムを作っていこうとしています。自身は以前朝から夜まで働いていても平気でしたが、現代の実情も顧み、社員には気持ちよく働いてもらえるよう、シフトを社員に委ねて作ってもらい、有給なども社員の家庭の事情等に合わせて取りやすいよう発信しています。また昼食会などの会社内のコミュニケーションを図る場を作ってみようかと社員に相談もしています。全員に長く働いていきたいと思ってほしいというのが一番の思いです。

伝統の柳一刀流を受け継ぎ、一つずつ丁寧に

社員同士の様々な勉強会も頑張っています

太陽染工株式会社

代表取締役社長
飯田龍介 氏

職場を支えてくれている社員とその家族のために、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　飯田龍介 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市福島区
- 主な事業内容　ポリエステル産業資材用ベルトの機械染色
- 従　業　員　数　10名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営は時代の流れに即した取り組み

弊社は昭和12年に発足した会社です。お世話になっているコンサルタント会社から、健康経営のことを聞く機会があり、今の時代の流れに即した取り組みで、ぜひ自社でも始めてみようと思い取り組むことを決めました。経営者として、まずは社内外への健康宣言の発信からスタートしました。

社内外への取り組み発信

自社のHP、フェイスブックで健康経営の取り組みを始めたことを社内外に発信するとともに、従業員全員への周知を行いました。もともと職場全体で、安全面には充分注意をはらって来ましたが、外部講師から提供されたヘルスリテラシーの向上のための様々な情報を社員と共有することで、健康診断や再検査・保健指導の必要性についてもあらためて全員で考える時間が持てました。
また、夏場の暑さ対策は、スポットクーラーの設置、ドリンク・塩飴の支給等を行ってきました。社員も自分たちが働く環境づくりに積極的に取り組んでくれています。

健康で、長く働ける職場を目指して

主に海外からの社員が製造現場を支えてくれており、『日本で、この会社で働きたい』と思ってもらえるような職場づくりを目指して取り組んできました。帰国後も『もういちどこの会社で働きたい』との想いで復職してくれた社員もいます。さらに健康経営に取り組むことで、今までの【安全で働きやすい職場】に加えて【健康で長く働ける職場】の意識が芽生えてきたと感じます。

健康について全員で考える機会が増えた

コロナ禍で、感染対策などをしっかりと取り組む中で、従業員同士のコミュニケーションも向上し、健康に対する意識もさらに向上したと思います。

今後の展望

従業員が『健康で長く働きたい』と思う会社を目指し培ってきた技術を後の世代へと継承するためにも引き続き健康経営に取り組んでいきます。

ポリエステル繊維の
優れた高品質の染色加工技術を承継

545

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

ACTUNI(アクチューニ)株式会社

代表取締役
小原史郎 氏

従業員の物心両面の幸福を追求することで、お客様と社会の為に進化し続ける企業となるために

- 代表取締役　小原史郎 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市住之江区南港東8-2-25
- 主な事業内容　非破壊検査装置及び セキュリティ製品の製造販売
- 従業員数　46名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

お客様と社会に「安全で快適な社会から得られる心の豊かさ」を提供

健康経営を知ったきっかけは外部の健康経営のセミナーに参加したことです。認定項目については既にある福利厚生制度を活用できると思い取得を目指しました。2019年に代表取締役を委員長とする健康経営推進委員会を立ち上げ、2020年2月に第5回大阪府健康づくりアワード特別賞を受賞、2021年度健康経営優良法人に認定されました。社員の平均年齢が高くなり健康について問題意識があったことが動機づけになりました。

委員会立ち上げ後、毎年の取り組みを策定 健康アンケートの実施と結果を周知

委員会の立ち上げ後は年度毎の取り組みを策定しました。健康アンケートを実施し結果を周知することで健康教育に取組み、毎月の健康情報を発信しています。ストレッチの時間の導入や、屋外喫煙場所の廃止、35歳以上の社員は会社負担で5年に１度人間ドック受診、健康診断後の再検査費用を会社負担(上限1万円)、また休業・復職規定の作成も行いました。在宅ワークの導入はコロナ前から試験的に実施していたこともあり現在も継続し、時間単位・半日単位での年休取得制度や育児の為の時短勤務、介護の為の在宅勤務も取得可能です。

従業員一人ひとりの健康の維持・増進 活力の向上をもって創出活動に邁進

禁煙には力を入れており、毎月22日の禁煙デーを設け禁煙チャレンジを推奨しています。30年前から実施の非喫煙手当5,000円/月もあるので入社や結婚・出産を機にやめる社員が多数おります。またACTUNIカフェを開設し血圧計や運動器具を設置しました。朝やお昼に会社の外周を走ったり歩いたりしている社員もいることから、ポイント付与などの企画を現在検討中です。健康課題については自社でオリジナルのアンケートをアプリで実施したり、関心の高かった内容のセミナーなども開催しています。

部署を超えた社員同士のコミュニケーション

部署を超えて全員参加の「マシュマロチャレンジゲーム」のイベントを企画しました。業務時間中に仕事以外のことをすることに渋る社員もいて、参加してくれるか不安もありましたが、普段接することのない社員同士が楽しくコミュニケーションをとれる場となりました。社長から「会社としての企画なので参加して」と声をかけてもらったことも成功の要因です。現在はコロナ禍の為、集まって行えるイベントができませんが、ウォーキングでのポイントなどを企画していきたいと考えております。

今後の展望

健康経営優良法人の認定を受けましたが、本当に社員が以前より健康になったのかどうか、取り組みについての効果検証がすごく大切だと思っています。社員が高齢になる中、この先会社を続けるためには今いる社員に健康でいてもらうことが大切だと思います。長くサスティナブルに会社が継続するには「社員には健康のことを考えずに仕事に邁進してほしい」という逆説的な考えになるが、そこを目指していきたいです。

マシュマロチャレンジゲームの様子

546

大阪府
大阪営業所

I-QUON株式会社

代表取締役
(左)稲田礼子 氏
(右)楠　無我 氏

「健康と幸せが溢れる会社」を実現するために！

- 代表取締役　稲田礼子 氏　楠　無我 氏
- 本社所在地　大阪府高槻市城北町2-9-34
- 主な事業内容　企業・団体等におけるメンタルヘルスに関するコンサルティング実施
- 従業員数　5名(男性:2名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

少数精鋭だからこそ人財を大切に

健康に関わる専門家が少数精鋭で皆様のQOL(Quality of Life)向上をサポート出来る事が弊社の強みです。事業として各企業様へメンタルヘルス等のサポートを行っておりますので、社員の健康への意識は比較的高いです。今後より一層の意識の向上、付加価値提供のために出来ることはないかと考えていた時に、健康経営第一人者である岡田邦夫先生の話を聞き早速取り組もうと考えました。

女性活躍に焦点を当てて健康経営を舵取り！

弊社で働いている社員の過半数が女性です。女性の健康保持・増進に向けた取り組みは最重要課題だと捉えています。具体的には、各種婦人科がん検診の費用を自己負担なしで行っています。また、女性の産業医を中心とした女性の健康づくりを推進するチームを設置し、相談体制の整備、女性の働き方や健康をテーマとした外部セミナーの参加の促進を行っています。子育て者への有給休暇取得も積極的に奨励して社内外問わず有意義な時間を過ごしてもらいたいですね。

食生活へもしっかりとアプローチしていきたい

社員の平均年齢が若いため、食生活の面を会社としてサポートしていく必要があると感じています。月一のミーティングでは食事を提供し、なるべく栄養価の高い食事を摂るようにしてもらっています。今後は自然食やノンカフェインの飲料を推奨したりと、食に関する健康情報をたくさん発信して一人でも多くの社員の関心度が上がるように工夫していきたいと考えています。

定期的な運動の機会の提供と実施

コロナの影響もあり運動の機会が失われている人が多くなっています。弊社でもデスクワークが多いため、情報機器作業における腰痛対策として、時間を決めてラジオ体操及びダンスを組み合わせて楽しく体をほぐしています。

今後の展望

弊社では現在産業医による月一回以上の講話と情報共有を行っております。社内への周知はもちろん、社外への発信へと更に力を入れたいと思います。新型コロナウイルス感染症の蔓延で働く環境は大きく変化し、その変化への対応が求められています。会社としても働く一個人としても苦労される事が多くなるかもしれません。弊社はそのような企業様、働かれている社員の皆様の健康と幸せを推進していけるようこれからも取り組みを続けていきます。

547

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社エムクリエイト

代表取締役社長
三木彰悟 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　三木彰悟 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府池田市豊島南1-14-23
- 主な事業内容　解体工事　LGS・ボード工事
  建築・内装一式工事
- 従　業　員　数　13名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

取引先との何気ない雑談から

健康経営との出会いは去年の7月頃でした。取引先の方と何気ない会話の中で、優良法人認定を取得しているという話を聞き興味を持ちました。
取り組み意義について調べ、高齢化社会の日本でこの先、会社としても個々人としても満足感を持って活躍していくために必要不可欠だと感じました。

取り組みの効果検証をしっかり行う

せっかくの健康経営の取り組みを定着化していくために効果検証の重要性を感じています。
今後更に自社の取り組みをブラシュアップさせていくためにも従業員アンケートの実施を現在行っています。
これは従業員の健康への意識調査に特化したものになっており、サポートいただくアクサ生命の方と相談を重ねながら継続していきたいと考えております。

メンタルヘルスケアに注力！

業種的にストレスを感じやすいという大きな課題がありますので、特に心の健康については弊社での最優先事項と捉えて取り組みを行いました。
具体的には社長との個別面談で日ごろから細かな意見交換を行っております。特に階層ごとの悩みを聞くことも大切にしています。現在はコロナで多人数での集合ができないため、オンライン懇談会を積極的に実施しております。従業員がカウンセリングを受けたいと思う先生を指名して、個別に受けられる仕組みになっております。

今後の展望

『私たちは関わる人々を幸せにし、幸福が連鎖する社会、業界をクリエイトします。』という理念を掲げて日々邁進しています。
これは社内でも同様です。まずは社内から健康経営の取り組みを通じて従業員全員が幸せになり、会社としても幸せになることで、社外へも幸福を連鎖していけるように精進したいと思います。

労働時間を改善していきたい

労働時間についても業種的に長くなってしまいがちです。
ここについては今後の課題と捉えています。
日ごろの従業員に対しての声掛けはもちろんのこと、計画的な有給休暇取得の推進を行っていこうと考えています。
残業時間の削減について、全員のスケジュールを共有して少しでも助け合いながら改善していけるように努めていきたいと考えております。

株式会社アイムスタイル

代表取締役社長
原田芳洋 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　原田芳洋 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市中央区平野町2-2-6
- 主な事業内容　医療・健康・福祉に関するIT業務
- 従 業 員 数　3名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

公共機関のHP制作で健康経営の項目の導入決定になり健康経営に取り組む必要を感じました。

従来の業務として大阪府のホームページを制作している中で昨年より項目に健康経営のジャンルが導入されることになり、健康経営についての知識が必要になったことがきっかけで健康経営に取り組むことになりました。

まずは社員全員の健康状態を把握することが重要です。

社員全員の健康状態の把握を健康診断から実施。再検査が必要な社員には、必ず受診要請を社長から伝える。
時節柄、メンタルヘルスには特に注視し、ストレスチェックをWEBアンケートから実施。心の相談窓口を第三者機関に委託し、設置する。日常的に社長から、健康の重要性を語るようにしています。

健康経営の取り組みを通して仕事に対する使命感の向上につながりました。

日常的に健康に関する情報が豊富に集まってくるので、そのアドバンテージを有効活用し、顧客から顧客へ情報を広める事と収集する事で仕事のバージョンアップを図る社員同士の交流もできてきました。それが、仕事に対するワークエンゲイジメントの向上につながっています。

健康の大切さを仕事を通じて伝えていきたい。

健康であることが、すべてにおいて、プラスに作用していきます。
生きていく中で欲が生まれることがいかに重要であるかを伝えていきます。食欲・仕事欲はすべて健康な体、精神から生まれます。公共機関のHPの制作・病院のHPからの健康知識の案内・大学の研究機関HPからの情報提供。仕事に会社としての想いを伝えていきたいと従業員一同が意識をするようになりました。

今後の展望

これからは、代表者の起業時の経験を活かして健康経営がいかに素晴らしい経営戦略であるかを表現する方法を考えていきます。今までに無かった方法で健康経営を推進するシステムを開発していきます。

2021年1月7日健康経営サイト公開
大阪府委託業務で仕事を通じて健康経営を学ぶことができました

549

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社くだら

取締役副社長
門表拓吾 氏

私たちはエンターテイナーとして『楽しさ・面白さ・元気』を提供する「健康経営」実施企業を目指します！

- 取締役社長　門表　修氏
- 本社所在地　大阪府大阪市平野区平野馬場2-7-6
- 主な事業内容　業務用酒類販売・飲食店開業支援業
- 従業員数　20名（男性：16名・女性：4名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

くだらに関わる全ての人を大切にしてきた取り組みを形に…

会社は人ありき、仕事は健康ありきでできるものなので、社員一人ひとりの意識を高めるように努力しています。3年ほど前から会社全体で健康に対する意識を変えてきました。そうした中で、昨年、健康経営優良法人認定のお話を聞き、今まで会社のため人のために取り組んできたことをしっかりと形にできるものであると感じ、すぐに取り組むことにしました。また、酒類卸業は物流業界と同様に人手不足が常に課題にあがるため、健康経営のブランディングは必要だと感じました。

コロナを言い訳にしない企業経営を目指して

昨年はコロナの流行により例年通りの仕事ができず、週5日の出勤を思い切って週３日にした時期がありました。取引先のお客様にも予定を合わせていただく必要がありましたが、日頃の社員と取引先様との密なコミュニケーションによる信頼関係の強さから、ご理解をいただくことができました。また、コロナ禍で飲食店経営者は経営の立て直しに注力されており、我々にできることを改めて考える機会となりました。中でも個人経営のオーナー様は自身の健康の優先度が低くなることが多く、健康ありきの店舗経営を意識した情報提供など行っています。そうした取り組み等で社員一丸となれた成果もあり、ある商品では近畿圏で随一の実績を出すこともできました。

おもしろいことを、かっこよくやる

数年前にSDGｓについて知り、社内の自動販売機を購入するだけで一部のお金がカンボジアに寄付されるものに変更しました。毎日の昼礼では、社員同士が情報共有し、時には社員主体の勉強会なども実施し、それをお客様への付加価値として情報を提供するなど、お客様へのサービス向上につなげられるような取り組みをしています。また、コロナ禍で時間ができたことを前向きに捉え、社員を守るためにも、運転技術の向上のためのウェブトレーニングも実施しました。現在も大きな事故はゼロとなっています。

社員とその家族、そしてお客様を守る

私自身小さな子供がおり、家庭と仕事は密接に関係していると考えます。そして社員の家族が将来入りたくなる会社作りを目指しています。3年ほど前から男性社員にも育児休業取得を勧め、現在まで取得率は100％です。また、メンタルヘルス研修や整骨院の出張施術をお願いすることもあります。ご家族に会社を知ってもらい、社員同士のコミュニケーションの促進のためにも、グランピング、バーベキューや卓球大会なども行いました。集金リスクの安全配慮義務としては、催涙ガスや防犯ブザーの配布なども行っています。

健康経営で培ったノウハウを発信できる企業でありたい

常に思うことは、健康経営を形骸化させてはいけないということです。そのために今後も、献血を推奨したり、残業時間の削減、有給取得率や連休取得の向上を勧めていこうと思っています。自分だけではなく、社員全員で健康経営に取り組む！という意識がしっかりつくことが大切だと感じています。また、社員だけでなく、お客様にも会社でのノウハウを発信し、社会全体で健康経営の意識が根付いていけばいいなと思っています。今後も、社員やお客様のためにも、そして会社の発展のためにも様々な健康に対して積極的に取り組んでまいります。

グランピングの様子（2019年社内レクリエーション）

保険師窓口のご案内

社内勉強会の様子

カンボジア教育機関への自動販売機寄付

550

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社マスパック

代表取締役社長
増田昭雄 氏

全従業員が元気になれる会社を目指して！

- 代表取締役社長　増田昭雄 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府摂津市南別府町1-3
- 主な事業内容　紙器製造
- 従　業　員　数　42名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営への取り組みは昨年から

商工会議所から健康経営の話を聞いて、実際に取り組みを始めたのは昨年の7月頃からでした。それまで一切健康経営の取り組みをしていなかったかというと、それは違います。経営理念としても『社員が物心両面で豊かで幸福であること』を掲げています。なので、常日頃から社員が幸福な状態で働くことが出来る環境を提供したいと考えていました。
これまでも自社の取り組みを更に磨き上げていくためにも、健康経営の取り組みを良いものだと感じて昨年申請をして認定をいただきました。

生活習慣病の重症化予防を掲げて取り組み開始

日本国でも大きな問題となっている生活習慣病の医療費増加の問題。これは決して他人事ではないと考え生活習慣病の予防の徹底をする必要があると感じました。
取り組みとして、体の健康と心の健康を支える『月一保健室の開設』を行っています。健康診断結果のフォロー、メンタル相談や血圧測定等を習慣化して行っていくという内容となっています。自身の健康状態に目を向ける機会を会社で提供することで、少しでも個々人の行動変容に訴えかけることが出来ればと思っています。

健康経営に取り組んで良かったこと

改めて健康経営として社員にも協力をしてもらいながら取り組みを行ってみて良かったと感じた点は2点あります。
1点目は社員の健康管理にもっと関与しなければならないと気付いたことです。日頃の健康管理を自己完結で行うことは大変難しいです。いかに会社が関与してサポートするかにかかっていると思います。
2点目は社員間で行動を起こす機運が出来たことです。社員一丸となって取り組むことで、お互いに健康への意識を高めあう雰囲気が出てきたことは良いことだと感じています。

みんなで楽しく運動機会を創出する！

週に一度10分の運動機会をつくるという取り組みを現在進めています。この運動機会への参加率を60％にしたいと考えています。どのような運動をするのかについては、社員同士で意見を出し合って決めてもらいました。意見が出て決まった、大縄跳びと早歩き散歩をみんなで楽しみながら行っています。
コミュニケーションの促進にも繋がりますし、一石二鳥です。

今後の展望

健康経営の取り組みは弊社の100年経営プロジェクトの一環として取り入れています。すべては社員のために。社員が自身の力を存分に発揮して、長く勤めてもらってこそ会社が存続できます。これからも社員一同多様な意見を出し合いながら豊かで幸福な人生を歩めるように取り組みを続けていきたいと思います。

551

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社尾鍋組

代表取締役社長
尾鍋哲也 氏

「心身ともに健康で働ける会社」であり続けたい！

- 代表取締役社長　尾鍋哲也 氏
- 本 社 所 在 地　三重県松阪市飯高町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　12名(男性:10名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員・会社ともにプラスになる良い取り組みだと感じ、すぐに始めました

多くの同業者の方が優良法人認定を取得されていることから、健康経営を知りました。従業員にとっても良いことですし、会社のイメージアップにも繋がるので、積極的に取り組んでいくことを決めました。優良法人認定の取得の条件などはすでにクリアしていることを認識していたので、コロナウイルスの感染拡大もあり、優良法人認定の申請をしました。

従業員が自身の健康に向き合える環境づくりに専念

二次検査受診をまめに呼びかけ、従業員自身の健康に対する意識を高めることや、通院しやすいように有給を時間で取得できるようにしています。またインフルエンザの予防接種代を、会社で4,000円負担するなど、あらゆる感染症から従業員を守るための対策には注力しています。
残業や休日出勤、有給取得状況などをしっかり把握・管理し、働き方改善を個々に行い、心身のストレス緩和にも気を配っています。

呼びかけることで従業員の意識を改善することができました

毎月末に行っている全員出席の会議にて様々な呼びかけを行ってきました。以前までは二次検査の受診が確認できない従業員もいたのですが、会社としての思いが伝わり受診率100%になりました。またインフルエンザ予防接種代の補助を行うことで、接種する従業員が増えました。健康にしっかり向き合える環境づくりに注力しているので、従業員の健康に対する意識は変わってきていると実感しています。

従業員同士のコミュニケーションの場を設け、こころの健康にも配慮しています

コロナウイルス感染拡大の影響で昨年はできませんでしたが、会社負担で会社全体・部署ごとでの食事会などを開催し、社員同士が気楽にコミュニケーションをとれる場を設けました。社外での場を設けることで、肩の力を抜いてコミュニケーションをとることができ、その結果、業務の報連相などもしっかり行えるようになったと感じています。

従業員・経営者ともに体と心の健康が一番大事

優良法人認定の取得のために特別に何かを新しく始めたわけではなく、従業員の健康を第一に考えることは当然のことだと考えています。その結果、外部からの評価を見える化できる優良法人認定の取得に結び付きました。従業員も経営者も、体と心の健康が一番大事だと心から思っています。「心身ともに健康に働ける場所(会社)」であり続けたい、そう思っています。

外観

552
大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

大阪紙器工業株式会社

代表取締役社長
平田　顕 氏

「人が集まる会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　平田　顕 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府高槻市宮田町1-3-2
- 主な事業内容　段ボール箱製造業
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

弊社にとっての健康経営

弊社での健康経営の取組みは3年前から始まりました。
西日本パッケージング健康保険組合で健康経営の紹介があり、そこで認識したことがきっかけです。これからは従業員の健康を考えた経営が不可欠になってくると強く感じました。
以前より働き方改革を推進しており、更にブラッシュアップした内容にしていきたいという気持ちもあり、健康経営に取組むことにしました。
従業員の協力もあり、3年連続で優良法人認定をいただいています。

感染症予防は特に注力しています

特に注力したことは、従業員の感染症予防です。
一昨年に10名の従業員がインフルエンザに罹患しました。製造ラインにも著しい支障をきたしましたが、お得意先にご迷惑をかけてはいけないと、少人数で必死に生産しました。二度と同じことは繰り返さない…。その気持ちで対策を進めました。
会社負担でのインフルエンザ予防接種、加湿器の設置、うがい薬の設置、手洗いの啓蒙ポスター掲示などを行い、翌年以降は罹患者数0名を継続しています。現在は、今までの感染症対策を基に、月に一度のマスク配布、携帯アルコールの配布、アルコール消毒液の設置、事務所のレイアウト変更などを進め、新型コロナウイルス感染症予防に努めています。

熱中症対策も万全に！

近年、地球温暖化の影響により熱中症対策が必須となっています。
特に、夏場の工場内は暑く、熱中症のリスクが高まります。実際にこれまで毎年熱中症の症状を訴える従業員がいました。これではいけないと、屋根全面に断熱材を貼り、10時と15時には15分程度のクールダウンタイムを設けました。
冷たい飲み物がいつでも飲めるように工場内に3台の小型冷蔵庫を設置、塩飴やペットボトルのミネラルウオーターを配布しています。
この夏は工場全体の換気と冷風給気のシステムを増設し、より快適な職場作りを目指しています。

心の健康も支えたい

従業員の人間力向上を目的に、月刊誌「致知」を従業員全員に配付し、社内研修（木鶏会）を毎月開催して５年が経過します。
各号の推薦記事を読み、自身の考えを感想文にまとめ、チームで感想文を発表し合うことでお互いの考えを知ります。
従業員同士のコミュニケーションの円滑化とともに、健康的な考え方を学ぶ機会を提供することで、人間力向上にとどまらず心の健康にも役立っています。

100年企業を目指して…

弊社の主力事業である段ボール製品は人々の日々の暮らしを支える、なくてはならないものとなっています。
その上、リサイクル率が高く、持続可能な社会創造に大きく寄与することができていると考えています。
社会でこの大きな役割を担っていくためには、従業員一人一人の健康増進が重要であると認識し、これからも健康経営を進めていきます。

553

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

日生金属商事株式会社

代表取締役社長
松浦貴嗣 氏

「誇りと情熱が持てる会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　松浦貴嗣 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西成区南津守7-3-3
- 主な事業内容　締結部品販売業
- 従　業　員　数　4名(男性:2名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

知り合いの企業からの話で健康経営を知りました

知り合いの企業から話を聞いて健康経営の取り組みを始めたのが2020年からです。
自社のブランド力向上、今後の求人を増やしていくために取り組むべき活動だと感じ早速従業員に協力してもらいながら一歩ずつ歩み始めました。取り組みを続けるうちに、社員が元気に活発に働いている姿を見るのが嬉しく感じ、心身ともに健康で働ける職場環境をつくることが生産性の向上、離職率の低下につながると共に健康に過ごすことが何よりの幸せだと感じています。

有給休暇取得推進で全社員を笑顔に

弊社では様々なことを全社員共有フォルダで見える化を図り、共有を行っています。有給休暇に向けての計画も同様です。期初に年間カレンダーを配布して予定が立てやすいように配慮しています。有給休暇見える化グラフを作成し、円グラフで各個人の消化・未消化が分かるようにしています。
アニバーサリー休暇も弊社の有休推進の制度の特徴です。自分の誕生日月に有給休暇を取得した社員に金一封とお食事ギフトを贈呈します。この制度を活用して、ご家族ともに楽しい時間を過ごしてもらいたいですね。

二次検診の受診率100％を目指す！

健康診断結果を受けて本人と社長との個別面談をしています。二次検診に該当している従業員に対しては面談時に受診日を決めるところまで行っています。
本人の健康への取り組み意識がないと自発的な受診に繋がらないと思うので、日頃から自身の健康状態を把握してもらえるようにしています。ウェアラブル端末を全員に配布して、血圧や睡眠時間を計っています。結果を社員の共有フォルダにそれぞれが記入し、全員で共有するということを習慣化しています。

ブライト500を目指して…

健康経営の取り組みを続けて2度の優良法人認定を受けることが出来ました。これは社員全員が一丸となって、健康課題に対して意識的に取り組んでくれた成果です。
この活動をこれからもブラッシュアップしていくことが、これからの弊社の飛躍へと繋がると考えています。
社員一人ひとりが弊社で満足して働いてもらえるように、またこんな良い会社に勤めているんだぞ、と言ってもらえるようにブライト500認定に向けて歩んでいきたいと思います。

食生活の支援も積極的に！

食生活の改善は手の付け所が難しいと思います。その中で弊社で工夫していることは、青汁等のサプリメントを提供しています。毎月各社員それぞれの希望を聞いて、700円まで会社で負担をして提供しています。いろいろなサプリメントを試しながら全社員が日常的に摂取可能なものを選出して健康改善につなげたいと考えています。
社員も様々なサプリメントを楽しみながら摂取していくようになったので、意識づけとしては良い効果が出ていると感じています。

554

大阪府
大阪営業所

Voice Report 60th

株式会社エーティーエヌ

代表取締役社長
井上　保 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために！

- 代表取締役社長　井上　保 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府枚方市山田池東町
- 主な事業内容　警備・ビルメンテナンス業
- 従　業　員　数　9名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

まずは従業員の健康が重要 健康経営に取り組む必要を感じました

協会けんぽ、他様々な方から健康経営に関してお聞きする機会があり、当社に於いても、持病のある社員、腰痛に悩む社員など、様々な健康課題があることにあらためて気づき、まずは協会けんぽさまと連携し、健康宣言からスタートしました。

協会けんぽのメールマガジンを活用 コロナ対策はもちろん、夏場の暑さ対策も重要

・協会けんぽのメールマガジンに登録し、配信いただいた情報を社内で共有しました。
・コロナ感染対策として、社員へのハンドジェル・除菌スプレー・マスクの配布、オフィス環境としては仕切り板の設置・非接触体温計の設置・換気対策をいち早く対応しました。
・夏場対策として、スポーツドリンク・塩飴等を支給しました。
・他、ストレスチェックの実施、インフルエンザ予防接種費用を一部負担を導入しました。
・従業員対象の医療保険へ加入しました。

コロナ禍で、健康への意識が高まる

コロナ禍で、会社も従業員も一丸となって感染予防に取り組んだことで、健康診断の受診も含め、社員の健康への意識がさらに高まりました。
夏場の暑さ対策に関しては、さらに対策を強化することが出来ました。

セミナーを活用し、健康への意識がさらに向上

外部講師による健康経営セミナーを開催し、健康に関する意識の向上が図れました。
また、今後は運動機会の増進を図れるようなテーマで会社全員で勉強し、取り組みたいと考えています。

今後の展望

エッセンシャルワーカーとしての使命と責任を持ち、日々業務に励んでおります。今後も地域社会に貢献できるよう精進してまいります。そしてともに働く社員の健康を守り、長く働き続けられる会社を目指します。

555

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

つつみの里ケア株式会社

代表取締役
土井邦敏 氏

健康経営により会社の活力向上と地域の活性化を目指す！

- 代表取締役　土井邦敏 氏
- 本社所在地　大阪府柏原市法善寺
- 主な事業内容　高齢者介護
- 従業員数　15名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

介護事業であることから 健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社では「陽射しの入る、明るく・楽しい 笑って 動いてくつろいで アットホームで、ご利用者様お一人おひとりに寄り添った手厚い介護を実践」を理念に活動している会社です。90歳以上の方のご利用が多く、一人一人のニーズに合ったきめ細かいサービスを提供するためには、職員が心身ともに健康であることが必要不可欠であります。そのために「健康経営」は重要な取り組みと思い、実践することを決定しました。

働きやすい職場づくり

・当施設では飲料水・調理の水は、日本トリムの電解水素水を使用しており、また社長のお母様が旬の食材を使った手作りの昼食を当施設ご利用者様・職員に提供しております。

・従来、休憩を一斉に取るようにしていましたが、休憩室に冷暖房の完備をしてゆっくりとくつろげる空間を作り、ひとりずつずらして休憩時間を取るようにしました。そうすることで、職員がよりいきいきと働くようになったと実感しております。

健康診断受診率100%、二次検診も必ず受診

「健康」は良い仕事を行うための基礎であり、定期健診の受診は健康維持や早期発見・早期治療のための重要な取り組みです。職員は家族や同僚やお客さま、友人など多くの人たちとの関わりの中で生活しており、明るく豊かな生活を送っていくためには、現在の自分の体の状態を知ることが大切です。このために、定期健診はもちろんのこと職員の健診結果を社長が把握し、再検査等の該当者には速やかな受診を促しています。

ヘルスリテラシー向上の取り組み

社長みずから介護福祉士実習指導者の資格を取得し、月に1回従業員に対し介護・健康・感染症対策等をテーマとした研修を実施しております。このように健康に対する意識の向上を促すことを行っています。

今後に向けて

職員が心身ともに健康でいきいきと働く人財マネジメントでもある「健康経営」の取り組みをさらに推し進め、トップランナーとして、日本全国に普及できるように取り組んでいきたいと思います。

森脇鉄工株式会社

代表取締役社長
森脇拓也 氏

「関わる全ての企業・人とともに成長、発展していく」を実現するために！

- 代表取締役社長　森脇拓也 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府門真市三ツ島6-22-1
- 主な事業内容　鉄工業
- 従　業　員　数　30名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社員が誇りを持って働ける会社に

当社は鉄工業でございますが、イメージはどちらかというとキレイなイメージを持たれる人は少ないと思っております。そのイメージを変えたく、作業服を2種類用意しすべて会社負担でクリーニングを出し、清潔感を保てるようにしております。また、森脇鉄工という組織の一員であることと、当社で働いている事を誇りに思ってもらえるよう作業服に会社名を入れるようにしています。

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

健康経営に取り組むことが採用活動につながることはもちろんのこと、社員がいきいきと働き定着化して会社の永続的な発展にもつながると思い健康経営に取り組むこととしました。
また、一人ひとりが健康管理を意識していきいきと働くことは、日々の業務の質を高めることになり、顧客からの信頼を得ることができますし、会社のイメージアップにもなると思いました。

健康習慣アンケートから課題改善

健康習慣アンケートを従業員全員に実施したことで、健康課題を見える化することができました。アンケートの結果や普段から飲む物が炭酸飲料やパックジュース等であることから食事・飲み物などの生活習慣を考えなければと思いました。将来の生活習慣病のリスクなどは、若い頃から注意しなければならないが、個人に任せてもなかなか上手くいかないのではと思い、個人の問題から会社の問題だと捉えました。そこで、自動販売機のラインナップに「特定保健飲料」のお茶を入れ会社が一部料金負担することにしました。

社内のコミュニケーションの促進によってワークエンゲイジメントを高める

当社には、野球部・フットサル部・バスケットボール部があり、ユニホームや道具などの活動費用を会社が負担しています。運動を通じて若手からベテランまで、世代を超えたコミュニケーションが活発となり、円滑な業務遂行に大いなる効果を感じています。また、昨年は創立50周年という大切な節目の年でした。記念パーティーとしての食事会を従業員のご家族にも参加してもらい、その後工場(職場)見学などをしてもらうという企画でした。しかし、コロナ禍の中実施する事が叶いませんでした。今年こそは何か特別なイベントを考えたいと思っています。

今後の展望

今の健康経営の取り組みを促進させて新しい人材の採用にも繋げていきたいと思っております。また当社では、今後女性の採用を積極的に行っていきたいと考えており、そのためにも健康経営を通じて今いる社員の健康を維持しつつ誰もが働きやすい職場づくりをさらに構築する必要があると考えております。

弊社の自動販売機
(特保は表示価格を130円とし、差額は会社負担)

弊社の作業服

会社の仲間たちとフットサルの大会に出場

557
大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

株式会社ヤマナカゴーキン

代表取締役社長
山中雅仁 氏

「事業は人なり」社員の成長こそ会社の成長

- 代表取締役社長　山中雅仁 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市加納4-4-24
- 主な事業内容　精密鍛造金型の製造販売
  およびDXを活用したものづくり支援
- 従 業 員 数　219名(男性:180名・女性:39名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「事業は人なり」の理念にもとづき、健康増進・職場の環境づくりには昔から取り組んでいました。

当社は創業60年になりますが55年前に「社是」の中に「秩序ある協調精神を育成して職場を明朗にし従業員の福祉増進を図る。」を掲げて従業員の健康増進に取り組んで参りました。また、当社の経営理念の中に「事業は人なり」「社員の成長こそ会社の成長」とありますが、この理念の奥には、「職場の安全衛生活動無くしては会社の発展はない」との認識のもとに、人命尊重、安全第一を掲げて、安心安全で快適な職場づくりに取り組んでまいりました。

従業員意識調査を踏まえてインナーブランディング高揚策として健康経営を掲げました。

従業員の意識を把握することが大切であると2019年3月18日から4月10日にかけて全従業員に調査を行いました。結果、総合満足度は他社水準に到達しているものの職場のストレス等さまざまな課題も浮き出されました。そこでまず「インナーブランディング」を高揚させることが肝心であると結論付けこの活動を開始することになりました。はじめに全社員に従業員意識調査結果を報告し、従業員満足度向上を宣言し、職場ごとの満足度向上策を従業員の意見を聴取しながら作り上げたり、継続的にトップメッセージの発信をしました。そして、インナーブランディング高揚策の更なる柱として社員が心身共に元気で働ける職場を目指す「健康経営優良法人2020」の認定にチャレンジすることを掲げました。

各健康経営課題への取り組み

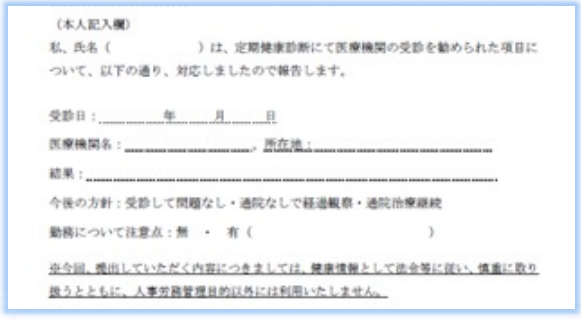
注力した取り組みは次の内容になります。
①徹底した受診管理による定期健康診断100%受診
②二次健診費用の全額会社負担と未受診者フォロー
③メンタルヘルスは総合医療コンサルタント会社と産業医を活用し、メンタルヘルス教育の実施、メンタル休職者の復職支援、長時間勤務者への面談等を実施
④社内掲示や社内新聞への健康情報掲載

生活の不安なく公私のバランスをとりながら安心して働けることが雇用の健全性です

当社で今特に力を入れて取り組んでいる健康課題は長時間労働対策です。ワークライフバランスを取りながら安心して働ける環境をつくることは非常に重要です。そこで、先ず「現状の見える化」が重要と考え、新勤怠管理システムを導入しました。正確な勤務時間の把握と一定の時間外労働に達するとアラームが出力されて未然に過重労働を防止することが可能となりました。それでも長時間労働に至った者には、健康障害の防止のため産業医に面談してもらうことにしています。
また、とりわけ注力しておりますのはインターバル時間9.5時間未満の従業員をゼロにすることです。各管理職には、インターバル時間確保を促し、また総務部門および各地区安全衛生委員会においてフォローを行い、徹底を図っています。

健康経営で仕事を「おもしろおかしく」して欲しい

仕事が充実しているということは仕事にやりがいをもてるということ、目標や夢を叶えていくことだと思います。それには健康経営の取り組みが不可欠です。堀場製作所の創業者である故堀場雅夫氏が社是にされていますが、まさしく仕事を「おもしろおかしく」することで健全で実りの多い人生を従業員にも過ごしてもらいたいと思います。



（本人記入欄）
私、氏名（　　）は、定期健康診断にて医療機関の受診を勧められた項目について、以下の通り、対応しましたので報告します。

受診日：＿＿年＿＿月＿＿日
医療機関名：＿＿＿＿＿＿＿＿　所在地：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
結果：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
今後の方針：受診して問題なし・通院なしで経過観察・通院治療継続
勤務について注意点：無　・　有（　　）

※今回、提出していただく内容につきましては、健康情報として適合等に従い、慎重に取り扱うとともに、人事労務管理目的以外には利用いたしません。

2次検診の結果報告書
未受診者の撲滅に寄与

558

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

株式会社エビス製袋所

代表取締役社長
萩原慎太郎 氏

未来を守ることに貢献することが我社の使命

- 代表取締役社長　萩原慎太郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-8-37
- 主な事業内容　包装用品卸業
- 従　業　員　数　36名(男性:27名・女性:9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員の未来を守ることも社会への使命と考え従業員の健康に取り組みました。

当社は、創業から90年を越えて包装資材に携わってきました。袋や箱などの商品パッケージは、世の中のビジネスが洗練されていくにつれてその間大きく変化を遂げてきました。現在、環境マネジメント、低炭素社会の実現、ESGやSDGsをはじめ、企業が責任を持って社会の未来を守ることに積極的に貢献することが求められています。当社においてもその責任を果たしていくことが使命であると様々な取り組みを行っております。そういった社会の未来を守るために大切なことは、実際の担い手である当社の社員の未来を守ること、すなわち従業員の健康を守りつづけなければ、社会に使命を果たして貢献しつづけていけるはずはありません。そう考えていた折に、取引先で「健康経営優良法人」のことを聞き、アクサ生命の担当者からの勧めもあってチャレンジすることにしました。

まずは意識づけに「体力測定会」を実施しました。

まずは、従業員の運動づくりをして健康に対する意識づけしていくことが大切だと感じました。そこで当社では体力測定会を実施し、現在の運動能力や筋力といったものを知ってもらうように「見える化」するようにしました。それぞれが、目標をたて次回の測定会に向けて全社員に導入した運動機会増進アプリ等の活用をし、実践取り組みをするように促しています。当初体力測定しますと言ったら反発があるのではないかと心配しておりましたが、学生時代以来だと喜んでやってくれました。

感染症対策に万全を期しています。

コロナ禍において社内でのクラスター発生防止に向けできる限りの対策を致しており、毎日の検温、消毒液の設置、マスクの配布等を万全を期しています。マスクについては巷で供給が不足していると聞き従業員の家族からの感染リスクも鑑みて家族分のマスクも配布しました。また通勤時の公共交通機関利用者のリスクを避けるため社有車を利用して自宅が同じ方面のもので乗り合わせての通勤をしてもらっています。

コミュニケーションの活性化によりワークエンゲイジメントを高めております。

ワークエンゲイジメントを高めるためには何よりコミュニケーションであると考えております。当社ではコミュニケーションを高めるため、1年おきに近場(犬鳴山温泉)と遠方(海外、北海道、沖縄)に毎年社員旅行を行っており、ほかにも、夏のバーベキュー大会やゴルフコンペなども開催して親睦を図っています(昨年はコロナでいずれも中止)。また、家族やプライベートでのコミュニケーションの活性化を図ってもらえるように、毎週水曜日の早帰りデー、連続7日間のリフレッシュ休暇制度などを設けてワークライフバランスの推進をしています。

次のステップは筋力の低下防止、維持を中心に

当社の従業員においては半歩先・一歩先のビジネスをお客様と創造し続けたいと頑張ってくれていますが、その思いが健康状態の悪化で阻害されるとしたら、こんなに悲しいことはありません。それがゆえに健康には常に意識を持ってもらえるように、各自専用のアプリを導入し体力測定会や健康診断の結果並びに毎日の体調を常に見れるようにして意識の継続を図っています。そして次のステップとして体の源である「筋力」の低下を防ぎ、高い水準を維持していく取り組みを中心にと強化していきたいと考えております。

体力測定会を実施

559

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

株式会社共伸電器

代表取締役
平尾元章 氏

「社員が豊かな実りある生活ができるように」共存共栄の精神で

- 代表取締役　平尾元章 氏
- 本社所在地　大阪府東大阪市衣摺5-1-25
- 主な事業内容　照明器具製造/金属加工-ガラス加工業
- 従業員数　22名(男性:16名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組む必要を感じる出来事がありました。

2年前に課長職として当社を支えてくれていた幹部従業員が大きな病気に見舞われました。その後、壮絶な闘病生活を過ごされましたが、見事に職場復帰を果たしてくれてみんなで安堵しました。今は、以前とは異なる体に負担のない仕事にかえて、そこで頑張ってくれています。当時、会社は大きな痛手を受けましたが、闘病で頑張っている社員に負けじと全従業員が一丸となって業務にあたり立ち直ることができました。この経験から社員の健康に気を配ることがいかに大切であるかを痛感しました。常日頃から社員の健康に気を配るようになりました。そんな折、アクサ生命の担当者から「健康経営優良法人認定」の話を聞き目指すこととなりました。

健康診断で早期の病気発見につながっています。

当社は、上記の経験から、病気をできるだけ早期に発見することが最も重要と考えて健康診断の実施に力を入れています。全員が実施できるように、検診車に会社に来てもらい一斉に健康診断を行っています。また50歳以上の社員には会社負担でがん検診も受診してもらっています。実際にガンの初期の段階での発見があり、本人、ご家族からも感謝いただいたケースもありました。

まずは社長自ら健康経営に取り組む姿勢をみせるようにしています。

健康経営はトップダウンでやってもうまくいかないと思い、まずは社長が率先垂範でするようにしています。毎日1万歩を目指すと社長が従業員に宣言し、仕事終了後に会社周辺を歩くようにしています。たまに従業員に昨日の歩数を話していると何人か、同調する従業員もでてきて会社への通勤にバスに乗らずに最寄駅から徒歩で20分かけて歩いてくる人等歩くことへの取り組みを始める従業員が出てきています。またコロナ禍の感染防止のために、マスクが最も手に入らない時期には社長自ら薬局に並んで手に入れ従業員に配布しました。そのせいか従業員の感染予防意識は高まりました。

社員自らが企画し、実行することで会社も成長していきたい。

職場のコミュニケーションを深めるために、毎年全額会社負担の社員旅行を行っています。(昨年はコロナのために中止)これも、トップダウンではなく、企画段階からコミュニケーションをとってもらおうと、幹事を持ち回りで従業員から数名選び、行先や行程、イベント企画等決めてもらっています。幹事をすることで、様々な意見の調整をしたり、役割を分担しますので、仕事とは別の一体感を感じることができ、そのことがかえって仕事にいい影響を与えています。

今後の展望

当社は照明器具・板金部品を製造しております。より良いものを真心こめて提供して、より多くの人々の生活にやすらぎや働きやすい環境を作っていきたいと思っています。そのように社会に貢献し続けていくためには、協力関係先の人々そして、当社で働く社員が豊かな実りのある生活ができるように共存共栄を忘れてはいけないと考えております。今後も、当社が健康経営を通して従業員を幸せにし、世の中を少しでも明るく照らす貢献ができる存在であり続けたいと思います。

受動喫煙対策で
新たに設置した喫煙室

当社のモノづくり技術

オージーケー技研工業株式会社

代表取締役社長
木村泰治 氏

OGKは社員の幸せを原動力に発展します

- 代表取締役社長　木村泰治 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市高井田本通6-2-32
- 主な事業内容　自転車及部分品製造業
- 従　業　員　数　113名(男性:85名・女性:28名)

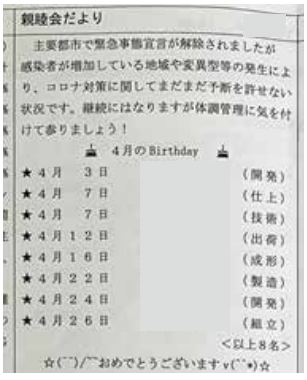
健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員の幸せを実現するために健康経営に取り組むことは必然でした。

当社は自転車パーツを中心としたお客様の日常に寄り添ったものづくりを続けてきました。人の心を和ます製品づくりでお客様に貢献するという想いは今も受け継がれています。このように、お客様が家族と過ごす幸せな時間を提供する私たちにとっては何よりも従業員が幸せな時間を過ごしてなければ成り立ちません。それがゆえに、当社では社訓に「OGKは社員の幸せを原動力に発展します」と謳っております。社員の幸せの中に健康であることは当然含まれています。そのような思いから健康経営に取り組むことは必然的な流れでした。

コミュニケーションの良化がストレス軽減ひいてはワークエンゲジメントの向上につながりました。

仕事の連携性がもとめられる「ものづくり企業」にとってコミュニケーションの悪化は生産性の悪化につながります。そこで当社ではコミュニケーションの良化に注力しております。従業員から選出した親睦委員会がコミュニケーションの場の企画、立案から実行を中心になって担っており、自主性をもって運営を行っております。去年はコロナ禍でできなかった事もありましたが、「海外社員旅行」「忘年会」「新入社員歓迎会」等の行事や社内報への記事掲載などを催しました。結果社内の風通しが非常に良くなり、毎年行っているストレスチェックでは産業医との面談が必要な社員が一人も居なくなりました。


親睦会だより

主要都市で緊急事態宣言が解除されましたが感染者が増加している地域や変異型等の発生により、コロナ対策に関してまだまだ予断を許せない状況です。継続にはなりますが体調管理に気を付けて参りましょう！

4月のBirthday

★4月 3日	(開発)
★4月 7日	(仕上)
★4月 7日	(技術)
★4月12日	(出荷)
★4月16日	(成形)
★4月22日	(製造)
★4月24日	(開発)
★4月26日	(組立)

<以上8名>

☆(^^)/^^おめでとうございます v(^^)☆

毎月発行「親睦会だより」

当社製品

コロナ禍における感染症防止対策を徹底しました。

当社はコロナに屈しないようにできる限りの対応をとっています。一時、消毒液やマスクが非常に手に入りにくい状況となりましたが、当社の中国工場と連携をとり、幸いにも従業員に配布することができる必要分を確保することができました。またテレワークの活用、食堂の密を避けるため昼休憩時間の交代制等を実施しました。公共交通機関で通勤を行っているものに対しては社有車の利用を許可し、自宅が近隣のもの同士が乗り合い通勤することで密になる電車、バスを回避しました。

幸せな社会の実現に貢献できるように今後も健康経営を取り組みます。

当社では、かつて大きな病気を患いながらも亡くなるまで一生懸命勤め続けてくれた従業員がいました。その際、従業員への感謝の気持ちと同時に、もっと元気で永く勤めて欲しかったという思いをもちました。従業員の健康を守ることが何よりも大切であることを改めて痛感したのです。当社は現在比較的若い社員が多いのですが、若いときは健康の意識が低くなりがちで暴飲暴食したり、ついつい夜更かししたりすることがあります。今は問題なくとも10年後20年後影響が出てくることもあります。やはり、会社が積極的に健康に関与して従業員の未来を守り、当社製品を通じて社会に末永く貢献していかなければなりません。当社は、お子さま用の自転車に搭載するチャイルドシートを主に製造しておりますが、当社の従業員にも子供を望んでいるものには子宝に恵まれて、このチャイルドシートを利用して、将来当社の製品で幸せに育ったという人を増やしてほしいと願っております。当社には現在4名も産休中の社員がおり、非常に楽しみにしています。今後も元気な笑顔で幸せな社会の実現に貢献できるよう健康経営に取り組んでいきます。

MISSION -OGKの存在理由-
OGKは創造力と実現力で世界の家族を幸せにします
OGKは社員の幸せを原動力に発展します

世界の家族と従業員の幸せを願う社訓

561

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

有限会社永井製作所

代表取締役社長
岩田千春 氏

家族のように従業員の健康を守ります！

- 代表取締役社長　岩田千春 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市高井田本通2-4-21
- 主な事業内容　ネジ製造販売
- 従　業　員　数　8名(男性:6名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

技術力が命である当社にとって従業員の健康経営に取り組むことは必然でした。

当社は１ミリ以上からのステンレスネジを製造をしております。そのため高い技術力が必要となっており、顧客からのご要望に応えるべく技術を日々磨いて信頼を勝ち得ております。
この信頼を支える従業員の技術は残念ながら一朝一夕に身につくものでなく、一人前になるのに通常5,6年かかります。よって、当社にとって会社を支える高い技術力を有している大切な従業員の健康を守ることは、経営上もっとも高いポジションに位置するといっても過言ではありません。健康経営の取り組みは当社にとって必然であったといえます。

栄養バランスを考えた「野菜たっぷりみそ汁」を提供しています。

20年前当社の従業員は独身者が多く食事の栄養バランスに無頓着な傾向があり、昼食も簡単なもので済ませている傾向がありました。そこで社長夫人がせめて会社にいるときは栄養バランスのよいものをと考え、野菜たっぷりのみそ汁を作り、果物も用意して従業員に配りました。以来ずっと続けており、今に至っても当社では昼食は外食に行かず、机を囲んで摂るようになっておりコミニュケーションの良化にもつながっています。

感染症対策に万全を期しています。

コロナ禍における感染症防止対策はもっとも神経を注いでおります。消毒液、非接触型体温計およびパルスオキスメーターも設置しております。またマスク代を特別支給し万全を期しております。

健康診断の結果を放置しないようにしています。

健康診断については100％受診を徹底しており、女性社員には乳がん検診などのオプション検診も会社全額費用負担で行っています。健診結果をみて指摘項目があった従業員については受診の声かけを都度行っています。また健診結果項目への改善に役立つ健康情報（例えば血圧数値が高めの方には注意すべき食事のとり方など）を調べて、一人一人に伝えて改善の意識をしてもらっています。

小さくてもきらりと輝くものづくりの会社を目指して健康経営を取り組みます。

当社は従業員8名の小さな会社ですが、そのため全員に気を配ることができる利点があります。まさしく家族のように寄り添えあえる会社です。今後もこのアットホームな雰囲気を大切にしながら、ものづくりのまち東大阪で小さいながらもきらりと輝く高い技術の会社でありつづけたいと思います。そのためにも健康経営の取り組みは大企業だけでなく当社のような小さい企業こそ必要な取り組みだと思って継続して取り組んでいきます。

栄養バランスを考えたお味噌汁、果物等
を提供しています

562

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

有限会社長利製作所

代表取締役
少路剛一郎 氏

「社員一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働く」を実現するために！

- 代 表 取 締 役　少路剛一郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市川俣1-16-14
- 主な事業内容　プラスチック射出成形
- 従　業　員　数　6名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営導入のきっかけは・・・

先代の社長から経営を引き継ぎ、令和2年8月から代表を務めています。企業が人を選ぶのではなく、「人が企業を選ぶ時代」であると感じ、会社に魅力を感じてもらえるよう色々な施策に取り組んでいます。また、企業の発展に欠かせないのはそこで働く社員の成長であり、働くことで得られる充実感であると考えています。その中で、健康経営のことを知り、これまでの取り組みの延長であると思いました。さらには会社のイメージアップや他社との差別化を図ることができると考え健康経営に取り組むことを決めました。

会社として特に注力したこと

健康経営に向けて社員一人一人のワークライフバランスを会社として支える仕組みが必要であると考えています。その一つとして、社員の残業を減らす取り組みを行っております。社員にいきいきと働いてもらいたいという社長の想いがあって、一番注力して取り組んでいます。結果として、残業する社員はほとんどいなくなり、生産性の向上・基本的に定時に帰れる体制を整えることができました。社員にとって、さらに働きやすい環境・風通しの良い職番環境を作っていきたいと思います。

社長自ら、社員とコミュニケーションを図る！

働き方改革の一環として、3時になると社長自ら従業員にお菓子(夏はアイスなど)を配ってコミュニケーション促進を行っています。この取り組みを行ったことで、職場のメンバーとの会話が以前より増え、お互いの理解が深まったり・リラックスする時間ができ、メリハリが出たりという効果があります。さらに社長と従業員とのコミュニケーション促進に限らず、従業員同士のコミュニケーションも強化され、職場の雰囲気がより明るくなりました。

職場内で食生活・飲み物の改善を実施！

弊社の近くに自動販売機がありますが、甘い種類の飲み物が多くなっています。そこで社員がいつでも気軽に飲めるように、コーヒーメーカーを設置し、さらにはお茶や水なども休憩室に用意しました。そうすることで糖分の多い飲み物の抑制にも繋がりました。また偏った食事が続かないように健康面に配慮した仕出し弁当を一部会社負担で用意しております。今より少しでも健康に対する意識を上げられるように継続して行っていきたいと考えています。

自由に飲める休憩室の飲み物！

常設しているコーヒーメーカー！

健康に配慮したお弁当！

今後の展望

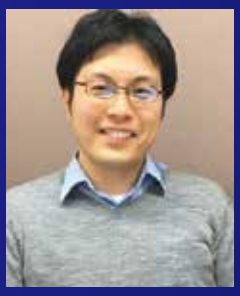
現状にとどまらず、さらなる社員の健康意識向上が図られ、今後は運動増進についても力を入れていきたいと考えています。具体的にはラジオ体操を取り入れていこうと考えております。また、会社は人生の多くの部分、時間を担う場であります。健康面のサポートを続けていくことも会社として一つのミッションだと考えております。

563

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

シュアーシステム株式会社



代表取締役
森本恵司 氏

「社員が健康でいきいきと働く会社」を目指し健康経営に取り組む！

- 代表取締役　森本恵司 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市浪速区日本橋西2-8-3 伸和ビル401
- 主な事業内容　Webサイト構築・システム開発
- 従業員数　2名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」の為に取り組んだのではなく、元々取り組んでいたことが「健康経営」だった

弊社は少人数企業なので、一人が欠けるだけで業務が回らなくなるため、従業員一人一人の健康を第一に考えています。また、先代の社長の時から残業はほとんどなく、子育て世代であっても安心して働くことができるように産休・育休は積極的に取得してもらっています。そして、従業員一人一人が健康で長くこの会社で働いてほしいという想いもあって、健康経営に取り組むことを決めました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

弊社は極力残業時間を抑え、家族と過ごす時間を多くとってほしいと考えています。
その一方で激務でメンタル不調者が多いというイメージを持たれる業種でもあるので、社員、そのご家族も不安なく安心して働いていただける環境づくりに努めていきたいと思っています。社員の皆さんの「心」と「身体」の健康が、今後の会社成長に向けた大きな原動力になると考えています。

健康経営の具体的な取り組み内容について

定期健診受診率100%は当然のこととして、健診結果で「要再検査」や「要精密検査」の項目があった場合は、社員任せにせず、再受診するまで健診後のフォローを必ず実施しています。また、自動販売機で買う清涼飲料水には砂糖を多く含んでいるものがあり、あまり健康に配慮されていないと思いました。そこで、健康に配慮した糖質の少ない、純粋なお水を社員がいつでも手軽に飲めるようにウォーターサーバーを設置しました。

今後の展望

今後力を入れて取り組んでいきたいことは大きく2つございます。
一つ目は、「健康診断の項目を増やすこと」です。がん検診などの任意検診の受診を促し、病気の早期発見、そして病気と仕事の両立ができるように会社として費用の補助など行っていきたいと考えています。
二つ目は、「運動」の促進です。ほとんどがデスクワークになるので、座りながらできる運動や事務所に運動器具の導入していきたいと考えています。
健康経営に対して無理な目標を立てずに継続していくことが大事だと思っていますので、これからもできることからコツコツ取り組んでいきたいと思います。

できることから少しずつ‼

新型コロナウイルス感染予防で、アルコール消毒の徹底、最新の空気清浄機を導入、従業員がマスクを購入した際の費用を会社が全額負担するようにしております。加えて、我々の仕事はパソコンが必須アイテムでもあるので、在宅勤務時は、リモート手当として「電気代・通信費」も会社がすべて負担するようにしております。

最新の空気清浄機‼

事務所に設置した
ウォーターサーバー!

2021年度
健康経営優良法人認定証‼

564

大阪府
大阪東営業所

株式会社サンワ

代表取締役社長
霜野武志 氏

「子どもたちの喜ぶ顔が見たくて」を実践し続けるために！

- 代表取締役社長　霜野武志 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市荒本西4-4-14
- 主な事業内容　図工・美術教材・クラフト・インテリア雑貨の企画、製造、卸、販売業
- 従 業 員 数　60名（男性：19名・女性：41名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

子供たちの笑顔を追い求めるからこそ従業員を笑顔にする取り組みを行っています。

「子供たちの喜ぶ顔がみたくて」・・・当社の事業目的は、この言葉に集約されています。1961年の創業以来、60年にわたり変わらない想いで、図画工作および美術教材の教材商品の開発から製造・卸・販売まで、一貫した生産・サービス体制を整えた総合メーカーとして、お客さまの要望に的確かつスピーディに応えてきました。子供たちの笑顔を追い求めていくには社員が心から笑顔でなければなりません。そのため従業員一丸となって様々な取り組みを頑張ってくれています。この取り組みを公に評価してくれるものはないかと探していたところアクサ生命の担当者から「健康経営優良法人認定制度」のことを聞き挑戦することにしました。

「コミュニケーション」の向上に様々な取り組みをしています。

子供たちを笑顔にする仕事をするためには社員が職場のストレスを抱えていてはいけません。そこで当社ではコミュニケーション向上への取り組みを最も重要な取り組みとして行っています。
(現在コロナ禍で中止しているものもあります)

1.サンクスカードによる表彰制度
　PC・スマホにて投票、年間で最ももらった人あげた人を表彰
2.飲みにケーションの促進（費用の会社負担あり）
　「6ピタ」6時から部門で懇親　最初に全員2分間スピーチ
　「サシ飲み」上司と部下で一対一の本音トーク懇親会
3.そのほか親睦行事
　「新入社員歓迎会」「ボーリング大会」「フットサル会」「バスケットボール会」等
4.社会貢献行事　地域のイベント参加、工作教室開催等

たくさんやっていますが、各取り組みもやらされているように感じては何もなりません。当社では各社員が自主性をもって積極的にあたるよう、各項目ごとにプロジェクトを作って全員がいずれかのプロジェクトに参加してコミュニケーション向上に携わっています。そして何よりも大切にしているコミュニケーションは当たり前のことですが、明るく「挨拶」するということです。
挨拶は基本です。挨拶は全員に徹底しています。

休暇の取りやすい環境を創りワークライフバランス

ワークライフバランスも当社で今取り組んでいる健康課題の一つです。時間外労働は月間35時間を厳守するよう取り組んでおり、残業時間についてはチャットで見える化して、15時間、20時間で色わけし注意を促しております。また、有給休暇の取得促進のために、年始に年間の有給休暇推奨日を5日以上設定し発表します。得意先にはこの日を会社休業日として案内しますので確実に休暇を取れるようにバックアップしています。

会社の未来を創り上げる社員に育ってほしい。

当社は若い社員が非常に多く、活気があり元気に働いていますが、この先も同じ力を永く発揮できるように会社として健康面のフォローをしていきたいと考えています。こうした若い社員の育成のため、会社では毎月1回土曜日に一日かけて勉強会を行っています。社内社外の講師を招き様々なテーマを設定し、仕事と結びつくものだけでなく、仕事と関係ない「ジェンダーレス」や「交通安全講習」「トイレの清掃方法」などの今後の人生にも役立つテーマを選びながら人間性の成就につなげ、会社の未来を創り上げていく社員に育って、社会の次の世代の子供たちを育ててほしいと願っています。

上司と部下の「サシ飲み」の様子を掲示

サンクスカード
獲得枚数を掲示

565

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

株式会社春日鋲螺製作所

代表取締役社長
田中秀和 氏

「健康経営」によって会社の雰囲気が明るくなりました！

- 代表取締役社長　田中秀和 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府八尾市老原9-130
- 主な事業内容　ねじボルト製品製造販売業
- 従　業　員　数　10名(男性:9名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

「人」が何よりも大切です。よって「人の健康」も何よりも大切。

当社は「ねじの大切さを知り、常に大事に造る」をモットーにして八尾市にて創業以来50年以上、冷間圧造の技術を駆使して、お客様のニーズに合わせた様々なねじ、ボルトの製造販売を行ってまいりました。特に、当社では鉄(Fe)の加工を得意とし、中でも根角ボルトに関しては大変好評を得ております。そんな高い技術で顧客の要望に応える当社にとっては「人」が何よりも大切であることについては何の抵抗もありません。そしてその「人」の健康を守ることは当然ながら同じように何よりも大切なことです。そんな折アクサ生命から「健康経営優良法人」のことを聞きすぐに認定を目指すことにしてさまざまな取り組みを行いました。おかげさまで今年で2年連続認定を取ることができました。

クラブ活動にて運動増進とコミュニケーションの良化ができています。

運動増進につきましては、まず、当社の社長は空手の有段者であり毎週大学の空手道部に指導に出掛けるほどの腕前を持っておりますので運動に対しての意識は非常に高いといえます。それでも、残念ながら従業員からは空手をやりたいとの声は上がっておりませんでした。そんな中、従業員のひとりから空手ではなく、なぜかゴルフをしたいとの要望がありました。社長も従業員からの意見を組みとり「それなら一度ゴルフコンペでもしようか」と希望者を募りました。意外にもこれが実に好評で全員参加のコンペとなり、非常に盛り上がり、次からもやりたいと何と「ゴルフクラブ」を作ることになりました。今では定期的に練習やコンペを行うほどになっております。工場内にも練習施設を設置し休憩時間などに練習をおこなって皆で汗を流しております。また相乗効果として、それまで、どちらかというと仕事のみの関係であった従業員同士がクラブ活動を通じて仕事以外の話でコミュニケーションがよくなり、職場内が非常に明るい雰囲気になりました。風邪を引く人が少なくなったこともクラブ活動を通じた運動の成果かもしれません。

ワークライフバランスを徹底して仕事の成果にも貢献していきます。

当社では働き方改革で日曜日のほか第1.4土曜日を休みとし、5月から10月については熱中症対策もかねて全土曜日を休日としました。また年間の有給休暇は年度初めに申告してもらいカレンダー表に記載することで確実に消化できるよう配慮しています。残業はほぼなく定時で業務終了ができており、今後もワークライフバランスを守ることが仕事の集中力向上につながり成果アップにも貢献することになりますので推進してまいります。

今後も明るく楽しい職場にしていきます。

当社は若い人から年配の方まで様々な人がいますが、職場内においていかにストレスをためずに過ごしていけるかに一番気を使っております。仕事自体は決して楽しいことではなくつらく感じることも多々あると思います。ただ、そんな時でも人間関係がうまくいっており、お互いの気持ちを理解し支えあえる状況であれば、みんなで励まし合いつらいことも乗り越えていけるはずです。今後もそんな明るく楽しい職場を目指して、健康はただ単に体を健康にするだけではなく、そういった心の健康や社会的な健康も常に意識して取り組みたいと思います。

工場内のゴルフ練習場

社員旅行の様子
（コロナ流行前）

アンダーデザイン株式会社

代表取締役社長
川口竜広 氏

「社員が生き生きと健康に笑顔で働ける会社」を健康経営で実現する！

- 代表取締役社長　川口竜広 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市長田3-5-11
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　206名(男性:194名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2021 5年連続認定

従業員の健康なくして会社は成り立たない

弊社は電気通信工事の業務が主体で、夜間・休日残業など長時間労働が多く発生していました。世間では過重労働などで過労死が問題になってきており、過重労働の削減＝健康経営に取り組むべきと考えました。また、弊社のスローガンの一つでもある「顧客のビジネスを、いかに活性化できるか」を実現していくには、まずは我々自身が健康である必要性を感じ、取り組むきっかけにしました。

管理職と従業員が直接面談を行う月1ミーティング

長時間労働の問題は早期に改善しなくてはならない課題と考えました。そこで、2015年4月から現在も継続している「月1ミーティング」を毎月欠かさず実施しております。当初は、社員一人一人の「業務量の把握」、「適切な上司の業務指導」により労働時間管理を徹底しておりました。2018年からは「業務の進捗確認と完了までの課題」、「業務改善と効率化の取り組み」にも注力しました。結果、長時間労働の問題だけではなく、聞く側・聞かれる側双方のコミュニケーション能力の向上が図れ、メンタル面の改善もすることができました。

従業員の健康と家族の幸せを守るために

2017年に弊社の社員が病気で亡くなりました。このことをきっかけに翌年2018年の定期健康診断より、40歳以上の社員対象に腫瘍マーカーCEA・CA19-9のオプション検査を全額会社費用負担で追加しました。要精密検査・再検査となる社員を減少させていくために、定期健康診断の結果を産業医から社員にフィードバックをしております。再検査費用に関しては会社負担・本人負担の範囲を見直し、「定期健康診断規定」を作成し会社が全額負担しております。

設定期限までの定期健康診断100%受診に向けて

弊社では、定期健康診断の予約は総務部門で一括で行っております。ところが、業務の都合でキャンセルをする社員がいたりして、予約後の受診は社員任せのところもあったので、受診完了の把握が困難でした。そこで、検診先へ直接受診状況の確認をこまめに行うことで未受診社員を把握し、受診の催促を行った結果期限内に100%受診することができました。

今後の展望

特定健康指導の該当者の人数がなかなか減らず健康診断の期間のみ意識をしている傾向があると思っています。一人一人が日々健康に対する意識を持ってもらえるよう、定期的に健康に関する情報を発信していきたいと考えております。さらにストレスチェック実施にもっと力を入れていきたいと考えています。目に見えない部分であるため、いつの間にか精神的に負担がかかってしまうことを防ぐためには、自分自身のメンタルにも意識をもってもらい、高ストレスと判断された場合や少しでも不安感がある方への相談しやすい環境づくりを行っていきたいと思います。また、社員が気軽に運動できるGYMコーナーを設置しているので、健康に対する意識をさらに向上させていきたいと考えています。

コミュニケーションを活性化するクリエイティブなオフィス(大阪)

GYMコーナー

ミーティング風景

567

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 60th

有限会社ヒロ工芸

代表取締役
畑中智行 氏
(写真中央)

「社員が健康でいきいきと働く会社」を目指し健康経営に取り組む！

- 代 表 取 締 役　畑中智行 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府交野市星田北3-30-5
- 主な事業内容　看板デザイン
- 従　業　員　数　4名(男性:3名・女性:1名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」への取り組みのきっかけ

いわゆる「看板屋」でまだ健康経営優良法人認定をどこも取っていないと聞き、全国で一番、大阪で一番初めに取得したかったので健康経営に取り組みました。また、弊社は少数精鋭の会社ですので、社員が自身の健康課題に向き合ってもらい、改善していくことも重要だと思っています。健康経営を実践することで、「心と体の健康」の維持増進及び社員が安心できる「働きやすい職場づくり」の実現を目指していきます。

健康経営の日常の取り組み

・会社共有の冷蔵庫に野菜ジュースやお茶などをいつでも無料で飲めるようにしています。このようにすることで社員がいつでも気軽に飲むことができ、リフレッシュや社員同士のコミュニケーションの促進にもつながると思っています。社員の健康を維持するためにも、飲み物は社長自ら厳選しております。

・今般の新型コロナウイルスの流行に伴い、社員の健康、安心安全に注意を払い、会社でマスク・アルコール消毒液を用意し、車にも常備するようにしました。また、社員のインフルエンザ予防接種費用を全額負担しています。

運動器具を社内に設置し運動機会の創出

社員がいつでも気軽に運動に取り組めるキッカケになればと、社内にトレーニングマシーンを数台設置しております。さらに今後はランニングマシーンの追加も考えています。また弊社には専属のマッサージ師がおり、定期的に来てもらうことで社員にリフレッシュしてもらってます。
このように健康行動を促すことで健康に対する意識が高まり、業務効率アップ、さらには日々の顧客対応にも繋がっていくと考えています。

「働き方改革」を念頭において、社員にとっての働きやすい職場を意識しています

働き方改革によって、自分のライフスタイルにあった働き方を選択する人が増えてきています。
長時間労働といった仕事におけるストレスは精神的な健康を妨げてしまいます。弊社では、ストレスを発散してもらいたいという想いから、残業はほとんどなく休暇も自由に取ってもらってます。結果として、病気などで会社を休む社員がいなくなり、社員のワークライフバランスを実現させることができました。

今後の展望

社員の満足度が顧客の満足度に繋がると思っています。社員一人一人の元気と笑顔が会社の宝であり活力です。現在実施していることを継続的に実施することにより、社員自身が今以上に自分の健康に関心を持ち、生活習慣病予防に努め体力増進に向けて取り組んでもらいたいです。それをサポートできる企業であり続けたいと思います。

職場に設置された運動器具

常設の飲み物

ハートスフードクリエーツ株式会社

代表取締役社長
西脇　章 氏

「食空間の総合プロデュース」を実現するために！

- 代表取締役社長　西脇　章 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市東灘区御影石町
- 主な事業内容　給食＆農業＆スイーツ＆外食
- 従　業　員　数　110名(男性:22名・女性:88名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

食を通して健康になる

4年前協会けんぽの講習会を受講し、健康経営事業を知りました。その当時体調不良で寝込んだこともあったため、翌年健康宣言を行い、健康経営の取り組みを始めました。最初に就業規則にメンタルヘルスやワークライフバランスに関わること、有給休暇の取得制度について行動指針を追記しました。
そして、管理職層にまず研修を実施し、制度の周知を徹底いたしました。健康増進に関する就業規則の追記なので、ほぼ全社員が賛成して、取り組んでくれています。

NOA検診で安心してガン治療

健康診断は公共機関の食事の受注をしている関係で全社員が当たり前に受診していました。受診率は当然100％を維持していました。更に、有所見者には保健師の指導のもと2次健診の受診を推奨しており、現在は全員が受診してくれています。また、ガンの早期発見のために任意で費用の約20％(6000円)を一部個人負担としているNOA検査を実施しており、最悪のD判定が下った場合、会社負担で治療費約120万円程度負担し、安心して治療に専念できる環境を作っています。

福利厚生は満足

福利厚生制度は各種実施し、充実しています。
例えば、若い世代に奨励金返済支援制度を実施しています。また、様々な自己啓発事業について費用の半分を補助したり、また、資格取得制度により講習受講費用の半分も補助しています。
更に、まかない食として昼食は全て会社負担で無料で提供しています。栄養価を考慮し、毎日新鮮な野菜中心でメニューが変わることで絶大な人気を誇っています。
また、感染症対策でマスク、手洗い、アルコール消毒は当たり前ですが、血圧測定も義務化しています。食をつかさどる業務上、塩分の取りすぎをチェックすることにも貢献しています。

充実した社内研修

毎年2回3月と7月の第3土曜日と月曜日に定期的に社内研修センターで研修を実施しています。社内外から講師をお招きし、食事やメンタルヘルス、その他もろもろのテーマで研修会を実施しています。都合で聞けなかった社員向けにオンラインでも実施し、その録画を取って保存することで全社員が必ず視聴できるようにしています。
なお、この研修会に参加すると、研修終了後、とれたて野菜を膨大に用意しておき、こちらで用意した袋に詰め放題で持ち帰りが可能になるので、研修会参加率は非常に高いです。

“心遣勝歩“(真剣勝負の造語)で満足を”　！

相手を思いやる心から気遣いが生まれ、他人が面倒で邪魔な作業を率先垂範して行うことで相手から感謝されます。これが非常に大事なことで、食をテーマに仕事をしている関係で「手作りに勝る味なない」と思っています。愛情をスパイスにできることでお客様に満足感を持ってい頂けていると確信しています。なので広告宣伝をほとんど行っていないのですが、口コミでどんどん販路が広がっているのを実感しています。これを継続するためにも社員の健康は非常に大事なので、健康経営はこれからも様々な場面で周知していきたいと思います。

社員による
自社農場スタート

新メニュー
開発モニター会議

569

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 60th

株式会社ネットワイ

代表取締役
横井敏夫 氏

“誠実に”顧客第一主義を実現！

- 代 表 取 締 役　横井敏夫 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市長田区菅原通6-7-1
- 主な事業内容　機械器具販売、リフォーム
- 従　業　員　数　11名(男性:9名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

心身の健康が会社の成長の必須条件！

会社が成長するには心身の健康が一番と考えていて、新人の採用については、5年ほど前から様々なリクルート活動を行っていましたが、求める人材の採用は難しく、苦しんでいました。そうした中、1年半ほど前にアクサ生命から健康経営の健康増進から人材難が解消された会社もあるとの話を聞いて、「これだ！」と思い取り組みを始めました。おかげ様でこの1年で3名もの採用が出来て、健康経営に取り組んだ効果の表れと感じています。

喫煙対策は喫緊の課題！

喫煙コーナーを当初は1階の駐車場脇に設置していましたが一般の通行人や登下校の児童・生徒にも悪影響があると危惧し、2階事務所内に完全分煙室を設けて喫煙場所を移動しました。しかし、残念ながら男性社員9名中4名がまだ喫煙しているので、禁煙への取り組みは喫緊の課題と認識しています。そんな現状を打破するために、禁煙手当の創設や、営業車内完全禁煙や、禁煙セミナーの開催等を検討しています。1人でも禁煙が進む制度を作りたいと考えています。

健康診断未受診による後悔！未然防止の徹底！

以前より健康診断の受診率は100%でしたが、一昨年1名の社員が業務の都合で受診が出来ませんでした。しかし、まさにその年、その未受診の社員が大病を患うことになり、「健康診断を受けさせていれば、未然に防げたかもしれない」と悲しい思いをしました。よって、今後同様なことが起きないよう、健康診断はもちろん、有所見者への再検査も産業医や保健師のフォローを通じて実施する体制を整え、今では全員受診してくれています。他にも、インフルエンザ予防接種も会社が全額費用を負担して、医師に往診を依頼し、会社で接種してもらっています。

今後の展望

働き方改革・業務効率化の一環として、PCを持っていない営業職に顧客前でも業務が可能になるようPCを配備し、IT化を推し進めたことから残業時間が減少し、自由時間が増え、有給休暇の計画的取得も可能になったとのことで好評を得ています。更に、体重計・血圧計・体脂肪計等の健康器具を購入・設置することで社員が自分自身で体調を把握できる環境を整え、自己管理できる体制作りをしていこうと思います。そして、行動指針でもある「心身ともに健康で、常に笑顔で行動できる環境」を作っていきたいと思います。

感染症予防対策は万全！

感染症予防対策として、手洗い・うがい、マスクの着用は当然のこととして、各机ごとに天井から床までビニールシートのパーテーション(右図参照)で区切り、万全の感染予防対策を行っています。他にも、運動不足解消を図る目的で、朝礼時に本気のラジオ体操を行っています。本気で行うことで運動量が半端ないことを実感しています。
なお、体操の他にも、全社員で会社の近隣清掃を当番制で実施しているので地元の方に感謝されています。合わせて社内の大掃除(トイレ含む)も年6回実施し、キレイ好きの会社に次第になっていると感じています。

社内健康セミナー風景

天井から床まで、事務所全体覆われた
飛沫感染防止ビニールシート

有限会社仲商店

代表取締役社長
仲　清蔵 氏

「誠実に人とのお付き合い」の企業理念のもと健康経営推進！

- 代表取締役　仲　清蔵 氏
- 本社所在地　兵庫県神戸市中央区元町通
- 主な事業内容　製紙原料問屋
- 従業員数　40名(男性:28名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営を取り組むきっかけ！

1年と少し前、健康経営について、協会けんぽ主催の「メタボセミナー」に参加してその内容を初めて知りました。
その時は、いいことだとは思いましたが、何から始めたらよいのかわからずそのままにしていました。
そして1年前、アクサ生命からタイミングよく健康経営の話しとサポートについて説明があり、サポートしてもらえるのならしてもらおうと思い取り組みを始めました。

健康経営で始めたこと！

健康経営の取り組みとしてまず、教育・研修から始めました。
会社の業務内容が体力的に厳しい仕事という事もあり、特にリーダー層の社員は退職抑制の為、一緒に働く仲間や所属員に対しての気遣いが非常に求められます。
そうしたことから、コーチングスキルアップや所属員を育てることを目的として外部の研修に積極的に参加してもらいました。研修後はリーダーの目の色が変わって、活き活きとして職場の一体感を大事にして業務に励んでくれる姿を見て効果があったことを実感しています。

毎日継続することが大事！

健康診断結果において、メタボ所見のあった社員には、レコーディングダイエットを勧めています。これは女性社員が食事管理をサポートをしながら毎日自分の体重を記録することで、暴飲暴食の歯止めにしてもらっています。少しづつでも効果が表れている社員もいますので続けていきたいと思います。
もう一つは、血圧測定です。これも血圧の高い社員向けに実施しています。特に冬の寒い時期には体調変化には気を遣っています。体調が少しでも不良の時は休憩を取らせるか、そのまま早退してもらい、無理をさせない職場環境を作っています。

コロナ禍でのコミュニケーション！

コロナ禍だからこそ、人と人のつながりが希薄になることを避けるために、広い工場内スペースを活用してバーベキュー大会を始めました。日程や内容を企画する社員、中央卸売市場から食材を調達してくる社長、現場の準備をする社員等、役割を明確にして全従業員が楽しく参加しています。
また、家族同伴も可能にしたことで子供を連れてきて参加する社員もいて、和気藹藹と行っています。社員からは楽しい会社で嬉しいとの感想もあり、継続していきたいと思います。

働き方改革！

休暇制度については、有給休暇は業務に支障がない範囲で全従業員が計画的に取得してくれています。海外旅行のためや、家族旅行で長期休暇が必要な時は臨機応変に取得してもらっています。また、ご両親や祖父母の介護のための休暇についても認めており、従業員から好評を得ていて働きやすい会社と評判です。
ハラスメント対策にも気を遣っています。社内での何気ない会話や、従業員同士の会話にも注意して、ハラスメント防止やストレスをためない環境作りを意識しています。
これからも働きやすい会社を目指して、全従業員が長く働きたいと思う会社にしていくためにも健康経営を続けて行きたいと思います。

従業員総出で盛り上がる
バーベキュー大会

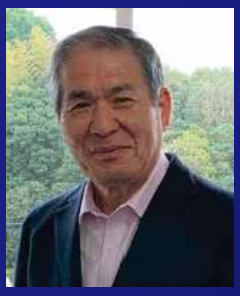
女性社員の懇親会

571

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 60th

株式会社洲本整備機製作所



代表取締役社長
番所利行 氏

優良法人認定を取得して受けた高(好)評価 …地域密着で健康経営を推し進める

- 代表取締役社長　番所利行 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県洲本市宇山
- 主な事業内容　高圧洗浄機等製造販売
- 従　業　員　数　62名(男性:50名・女性:12名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

優良法人認定を取得して顕彰されました！

昨年健康経営優良法人中小規模部門の認定を受けたことを光栄に思います。また、経済産業省から「地域未来牽引企業」の認定に加え、「ひょうごオンリーワン企業」としても認定を受けました。
これは商品の良さや企業としての行動を評価してくれたことに対する認定ですが、健康経営優良法人認定を取得したことが契機になったと思います。今後もこのような認定に恥じない商品の提供はもちろん、従業員を大切にする企業としてこれからも努力していく所存です。

働き方改革を推し進める！

これからの課題として働き方改革を更に推し進めたいと思っています。
まず、就業時間を短縮することから始めて、残業を減らし、就業後の時間を家族との団らんで過ごせるようにしてあげたいと思います。
ただ、コロナの関係で会社で製造している洗浄商品の売れ行きが好調で、非常に忙しい日々が続いているので、残業を減らすだけでなく、有給休暇も計画的に取得できるようにして、忙しくても家族から喜ばれる会社にしたいと思います。

人材採用に光明が！

優良認定を取得したことで、支援学校から生徒を雇用することが出来ました。入社後、在籍の従業員のみんなが優しく、温かく見守って、仕事を教えてくれることで、大変明るく他の社員とも変わらない仕事をしてくれています。また、運転免許も取得することが出来て大変喜んでくれています。親御さん・先輩社員の優しい対応もあり、集中して作業することを学び、皆さんから褒めてもらうことで生き生きとしてきたことが非常に嬉しいと言っていただきました。更に地域密着企業として地域貢献に優れている凄い会社ともお褒めいただき大変ありがたいことと感謝に堪えません。これも健康経営を推し進めた効果と思っています。

今後の展望

将来の展望として、現在、女性活躍会社を目指して採用活動にいそしんでいます。昨今の商品開発において、女性目線で、女性のための商品開発は必須であり、男性では気付かない部分を担ってもらおうと思っています。
なお、余談ですが、50代男性の独身が多いことから、メンタルヘルス対策にも通じることとして婚活を推進し、心の健康経営を進めようと思っています。婚活で心身ともに穏やかになって、生産性アップにつながって欲しいと思っています。

コミュニケーションを大事に！

これまでも社員間のコミュニケーションは良好と自負していますが、更にメンタルヘルス対策を推し進めて、不平不満を言う社員の根絶に力を注ぎたいと思っています。そのためにもコロナ感染症対策を万全にしながら豪華な花見弁当を用意してお花見を全社員で行う予定です。1人でも疎外感を与えないよう気を付けながら楽しいと思ってもらえるイベントにしていきたいと思っています。

豪華なお弁当での花見風景

572

兵庫県
阪神営業所

株式会社林建設

代表取締役社長
林　幹郎 氏

健康の基本の第1歩は「歩くこと」！ここから始める健康経営！

- 代表取締役社長　林　幹郎 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県伊丹市大鹿
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　48名(男性:41名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

100万歩運動から始める健康経営！

数年前から、兵庫県建築健康保険組合から3か月間で「50万歩・100万歩 歩く運動」を推奨され、参加者には毎回景品を頂き、参加者も徐々に増えています。なお、兵庫県建築健康保険組合の運動は3か月間だったので、それ以外の月は会社独自に継続し、年間通して運動を継続しています。今では150万歩 歩く社員も出てきて「歩く」ことの意識付けが出来ていると実感しています。余談ですが、歩く際、大股で歩くことを意識して実践することで腰痛も改善し年齢を重ねても姿勢もよくなり健康であることを実感できています。

40歳以上の全社員は会社負担でペット健診！

5年前に社員がガンを発症し亡くなったことをきっかけに100%社員が受診している健康診断では十分ではないと感じ、高額な費用がかかることを承知で、40歳以上の社員には1年半ごとにペット健診を受診してもらっています。その結果、病気の早期発見につながり、今ではガンを理由に長期に休む社員もいなくなりました。
なお、健康診断の結果、有所見者には再検査や通院指示を明確にして、漏れなく受診してもらっています。おかげで重症者は出ていません。

コミュニケーションイベント！

社員間コミュニケーションを図るために様々なイベントを実施しています。例えば、社内旅行は社員で旅行委員会を設置して、時期や行先を決定しています。原則として全員参加で実施されており、昨年は会社創立90周年であったことから、全額会社負担で沖縄旅行を予定しておりましたが、コロナ禍のため、3月の予定が9月に延び、更に今年4月に再延期になりました。早くコロナが収まってほしいと願っています。
また、主任以下の若手部会で会合を毎月会議形式で開催し、様々な意見具申や提案を行ってくれています。部会終了後の懇親会もすごく楽しみになっています。

社員集会、研修は計画的に実施！

社員集会を年間3回ホテルで集会と立食形式の懇親会を兼ねて実施しています。内容については、4月開催は新入社員の歓迎会を兼ね、永年勤続表彰を実施しています。7月はボーナス支給に合わせて実施し、12月は同じくボーナス支給と忘年会を兼ねて定期的に実施していて好評です。
研修会も、「ＰＭアップセミナー」(ポテンシャル＆モチベーション向上セミナー)としてコンサルティング専門の先生を招いて年間2回上半期と年間決算時期に実施しています。コミュニケーションの要素も取り入れてゲーム大会も実施することでいつも盛り上がります。

福利厚生は充実！今後の展望

地域柄、阪神ファンも多いので、甲子園球場の年間シートチケットを購入しています。全社員が年間1回は観戦に行けるので大変好評です。阪神ファン以外でも応援できる席なので楽しく見学できています。
また、グランリゾートとも提携して、大企業並みの福利厚生施設を割安に利用できるようにしており、社員の家族旅行等で活用されています。
今後は、業種柄喫煙者が約半数ほどいるので、喫煙対策に力を入れて毎年少しづつでも禁煙に成功した社員が増えるようにしていきたいと思っています。

社員旅行(伊勢神宮参詣、2019年10月)

573

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 60th

株式会社ビーネ

代表取締役
田坪吉史 氏

人々が住み慣れた地域社会で暮らすことの喜びを支え、志を同じくして働く者の心豊かな生活を追求します

- 代表取締役　田坪吉史 氏
- 本社所在地　兵庫県西宮市城ケ堀町
- 主な事業内容　訪問看護
- 従業員数　38名(男性:15名・女性:23名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

既に行っていたことで認定を目指した

2年前協会けんぽから健康施策について現状の内容で優良法人認定項目に該当しているとの指導を受け、2020優良法人認定を目指しましたが、申請書作成時のケアレスミスから認定を取得出来ませんでした。
しかし、今回2021の認定申請ではしっかり準備をし、ケアレスミスをなくして申請したことで認定を取得することが出来ました。今後は福利厚生や子育て支援制度を拡充して継続して優良認定を取得出来るようにしていく所存です。

従業員　それぞれの思い

働きやすい職場環境

働きやすい職場環境を目指して毎月グループごとにミーティングと研修会を実施しています。仕事上の困ったことや悩み事などを相談できる場として重宝しています。また自己啓発から外部セミナーを自主的に受講した従業員には受講料を補助(年間4万円)することで喜んでもらっています。更に、コミュニケーション促進のため家族同伴OKのバーベキュー大会を適宜開催したり、各従業員の誕生日ごとに全員で考えたサプライズ「バースデープレゼント」を渡して仕事に楽しさを加えています。
勤務についてもコロナ禍の関係で毎朝出勤の義務をなくし、オンラインでの確認に変更したことから通勤時間が短縮され余裕が出来たことで家庭と仕事の両立がスムーズになりました。おかげで、子供との時間にも余裕が出来て、家族団らんも増えて充実した生活になったと好評です。

今後の展望～子育て支援

仕事柄女性の多い職場で、小さな子供を育てていて家庭と仕事の両立に課題を抱える社員がいることから、今後も子育て支援は手厚くしていきたいと考えています。時短勤務であったり、様々な待遇改善の制度を制定して、働きやすい会社として“はたらいてよかった”と言ってもらえる会社にしたいと思います。

グループミーティング風景

574

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 60th

寺本運輸倉庫株式会社

代表取締役社長
寺本雅明 氏

「親切」「確実」「信用」「努力」の精神を常に持ち、社会へ安全・安心を提供します。

- 代表取締役社長　寺本雅明 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県尼崎市南初島町
- 主な事業内容　倉庫業、一般貨物自動車運送事業
- 従　業　員　数　80名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

ドライバーが大事だから始めた健康経営！

2年前商工会議所から紹介を受けてトラック乗務員の健康フォローが出来るならと思い健康経営に取り組みました。業種上、健康診断は年2回実施しておりますが、乗務員の高齢化が進み、健康管理の必要性が高まりました。現在は運行管理者が中心となり2次健診を勧奨しています。受診結果判明後は、契約している産業医に個別相談を行い、重症化を防いでいます。

働き方改革で就業規則の変更！

これまで、給与体系は走行距離に応じて決まる歩合制でしたので、給与を上げるために各運転手は無理をした運転も享受していました。よって、現状を変えるために固定給の比率を上げる賃金体系に変更しました。その結果、無理をした運転勤務がなくなり、運転者間のローテーションも国土交通省の指導に合わせてお互いに尊重しあって組めるようになりました。更に、有給休暇も付与日数の80％近くを取得してくれており、規則の変更によって職場環境が改善されたと感じています。

自律的な互助会！

創業間もない頃から、相互の融和、人格向上、技術の研磨、生活の向上を目的とした『親睦会』を運営しています。最近では従業員間のコミュニケーション促進活動として、食事会や各オリエンテーリングを企画し楽しい時間を作っています。また、祝い金や見舞金などのサポートに加え、貸付制度を設けています。

完全禁煙に向けて！

喫煙対策は課題と考えています。そのため、分煙場所は人が行き来しない分煙スペース場所を選んで決めて、それ以外の場所を完全禁煙にしました。同時に社用車内も完全禁煙を徹底しています。
喫煙者へはまず減煙を促す助成制度を行いました。

メンタルヘルス対策・福利厚生制度！

ストレスチェックについては、アンケートを随時実施して症状が重症化する前に手当できるようにしています。
不定期でありますが、社外の専門講師をお招きし「あんぜん・あんしんセミナー」を実施しています。

初島危険物倉庫

自社車両

ベスト・テクニックを略してベステック
BEST TECK=Trust/Effort/Certainty/Kindness

575

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 60th

富士電波工業株式会社

代表取締役社長
横畠俊夫 氏

「和と挑戦」を実践し「ものづくりの環」をつないで 100年企業を目指すには、社員の健康が欠かせません！

- 代表取締役社長　横畠俊夫 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市淀川区新高
- 主な事業内容　工業用電気加熱装置開発・製造・販売
- 従　業　員　数　135 名(男性:122名・女性:13名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むキッカケ

当社で健康経営を初めて議論したのは2016年です。雑誌で健康経営の特集記事を読んだ相談役から示唆を受け、安全衛生委員会で議論を始めました。そして経営戦略会議で議題に上げて健康法等について意見交換しました。その後、生活習慣病予防の標語募集や個人別の健康目標設定を呼び掛けるなど、地道な取り組みが始まりました。健診項目に胃透視も追加しました。2018年になって取引先が優良法人認定を取得したことを知り、健康増進活動の推進には認定制度が有効かも？と感じ始めた頃、タイミングよくアクサ生命からサポートの提案を受け、認定が就活生に注目されていることもうかがいました。そこで昨年、健康宣言を発表し優良法人認定を申請して無事取得することができました。

「健康目標カード」で全員参加！

全社員に健康行動を促すために「健康目標カード」を各自で作成して宣言してもらっています。最初は個人情報なので取扱いについて反対意見も多く、社内に公表しないことで合意を取りましたが制度としては続けていました。そして、優良法人認定取得を契機に今年からは、全員が互いに励まし合って参加できるように目標を開示することにしました。目標管理に役立つアプリを紹介して、個人でもグループでもよいので出来ることから始めてもらっています。会社としても参加率が上がるようなポイント化や賞品等の支援策を用意して続けたいと思います。

メタボリックシンドローム5%削減に向けて！

健康増進活動の具体的な目標として、メタボ該当者数の削減を掲げています。そこで、運動機会の増加と食事習慣の見直し策に取り組んでいます。長年続けている始業時のラジオ体操に加えて午後にストレッチタイムを推奨したり、従来からの野菜中心の給食弁当に加えて量の少ないヘルシー弁当を導入しています。コロナ禍が終息したらハイキング等の健康イベントの開催や、専門家の方を講師に招いた健康セミナーも企画していきたいです。

ワークライフバランスの充実！

装置の設置工事を伴う業務の都合上、出張工事で休日出勤が多い社員もいますが、振替休日や代休を確実に取得させています。有給休暇の取得率も平均70%以上と高く、中には土日祝と合わせて10日程度の連休を取る社員もいます。業務の繁閑を上司が把握して仕事の割り振りに気を配り、残業の総時間規制は徹底しています。原価意識も向上し、付き合い残業は皆無です。メンタルヘルス予防策についてはストレスチェックを実施しているものの、これからの課題です。ハラスメント防止と共に産業医の先生とも連携を密にして対処していきたいと思っています。

今後の展望

当社は2018年の創業70周年記念式典で「100年企業を目指す」と宣言しました。永年にわたり製造業として事故予防の観点から、労働安全衛生法の法令遵守と作業環境の向上に重点を置いてきました。これからは健康経営の目的である社員の健康増進と生産性向上の相乗効果を得られるよう、コミュニケーションの促進や病気になっても安心して働き続けられる制度の拡充にも注力していきます。それが少子高齢化のわが国でものづくりに貢献し続ける100年企業の必須条件だと考えています。

安全衛生標語入選作品

始業時のラジオ体操

ヘルシー弁当

576

兵庫県
阪神営業所

株式会社シンエイ

取締役社長
西村　孝 氏

**“正道を求め、お客様や社会から強く必要とされる会社になる”
経営理念のもと健康経営を実現！**

- 取 締 役 社 長　西村　孝 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西宮市小曽根町
- 主な事業内容　総合建築・リフォーム業
- 従　業　員　数　6名(男性:4名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

グループ会社の先行取得から健康経営開始！

2018年にグループ会社が優良法人認定に取り組み、優良法人認定を取得しました。
その後、同じグループ会社として取得を目指すこととしました。そんな中、昨年アクサ生命から改めて認定取得のお話しを聞き、サポートしてくれるということもあり、本格的に取り組むことになりました。

全面禁煙への取組！

喫煙者は以前3名いましたが現在1名になっています。この機会に今年中にゼロにしたいと思います。
これまで、喫煙者に配慮し、1階の駐車場脇に灰皿を設置していたため近隣の住民からも喫煙場所として認識されていました。ある時、禁煙推奨のため灰皿を撤去したところ、吸い殻のポイ捨てが相次いだことから再度継続せざるを得ないこととなりました。
しかし、今回は近隣住民にもしっかり周知してから灰皿を撤去することで受動喫煙対策を徹底し、喫煙者をゼロにしたいと思っています。

互助会も手助け！

福利厚生制度の一環として、社員相互で互助会組織を立ち上げています。毎月積み立てをして、その費用で社内旅行や食事会を行っています。
社内旅行について以前はグループ会社全体で行っていましたが、コロナの影響のため昨年度からはグループ会社全体の社内旅行は実施していません。
食事会についてもコロナの影響で延期になっていますが、今年は再開できればと楽しみにしています。

「甲子園から100㎞歩け大会」開催！

20年前から社員教育とコミュニケーション促進の一環として50km歩くことから始めました。当初は50km先の市町村まで歩き、現地で宿泊し参加者の皆様と【感動を共有】し非常に好評でした。
その後、歩く距離を毎年10kmづつ増やし、現在は合計100km（甲子園球場から明石商工会議所の往復）となり、『甲子園50km100km歩け大会』として今では多い時に100名ほどの参加者になっております。
現在社員はスタッフとして、チェックポイントや歩く道中でのサポートなどの役割を担っており、全社員が年1度の一大イベントとして取り組んでおります。
この大会は一昼夜かけて甲子園から明石までの往復100kmまたは50kmのいずれか完歩する大会で、体力と気力への挑戦と参加者相互の感動の共有を目的としています。

本社全景

第18回歩け大会集合写真

577

兵庫県
姫路営業所

株式会社尾池機械製作所

代表取締役社長
河岸則博 氏

**独自の技術を提供して顧客の発展に貢献し、
これをよろこび、感謝する人々と共に前進する。**

- 代表取締役社長　河岸則博 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市大津区勘兵衛町
- 主な事業内容　プラント修理・メンテナンス等機械加工
- 従　業　員　数　26名(男性:23名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社員を守るために健康経営！

健康経営を始めるきっかけはアクサ生命の社員から1年前に案内があり、会社が発展していくためには「社員の健康がなにより大切」と考えて経営をしていたので、早速取り組みを始めました。
当初は社員全員が食事も飲み物もお酒も何も考えず好きなものを好きなだけ摂っていたので、体調不良で生産性があがらないこともしばしばありました。よって、従業員の行動を知りたいとの思いから従業員アンケートを実施させていただき、従業員の嗜好がわかり、取りくむ課題が明確になりました。

喫煙対策が課題！

仕事柄か、男性が多い職場の影響からか喫煙率が非常に高いと危惧しています。
現在は約半分(12名～13名)が喫煙しているので、毎年少しづつでも禁煙者が増えるようにしていきたいと思います。
そのために、建物外の喫煙コーナーでは煙草コミュニティーが出来てしまい長時間休憩状態となってしまうため、頻繁に注意喚起し、喫煙時間を短時間にするよう注意しています。
なかなか浸透しないのですが、続けていきたいと思っています。

楽しい会社を目指して！

会社に出勤することが楽しくなるよう下記のような様々な交流会や、イベントを実施しています。例えば、家族も招待して合同の新年会や忘年会、その他任意参加の食事会や、夏のバーベキュー大会等を年に数回開催し、非常に楽しみにしてくれています。また、ボウリング大会や日帰り旅行を企画・実施することで、和気藹藹の社風が出来ていると思います。
(今はコロナ過の中、様々な集合イベントが延期されていますので、コロナ禍が明けたときには復活するので、その時が楽しみです。)

感染症対策・今後の展望！

昨今のコロナ禍の中、感染症対策には気を遣っています。
アルコール消毒、マスク配布は当たり前ですが、非接触検温器や加湿器も設置し、換気対策も万全にしています。
また、お手洗いでは従来は布製のタオルを常置しておりましたが、紙タオルに変更し、感染防止をしながら安心して働ける環境になることを常に意識しています。
コロナ禍が収束した折には社員全員で楽しめるイベントや、これまでできなかったことを行い、今まで以上に楽しく働ける職場を醸成したいと思います。

従業員勉強会も定期的に！

仕事柄繁忙期や閑散期があるので、特に閑散期には定期的に勉強会・研修会を実施しています。
内容は安全対策や(自然)災害等に備える研修会で、消火器の使用方法やAEDの使い方講習会等を実施しています。
今後は安全対策等だけでなく、将来不安である老後不安や介護不安に備える研修会も企画しており、社員全員が明るい未来を描けるよう会社としてたくさんの情報を提供したいと思っています。

会社全景

安全第一の職場

株式会社洋行

代表取締役
長濵昭吾 氏

「唯一無二」 省力化と快適職場の創造！

- 代 表 取 締 役　長濵昭吾 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市兼田
- 主な事業内容　ベルトコンベアー関連部品製造・販売
- 従　業　員　数　5名(男性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

人材確保には健康経営！

元々、様々の会社から健康経営という言葉は聞いていたが、具体的な行動には至っていませんでした。そんな時アクサ生命から詳細な話しを聞いて、社員のためになるのであれば、また、人材確保の観点から効果が見込める可能性があればと思い優良法人認定を目指すこととしました。
昨年は申請書のケアレスミスから認定取得できなかったのですが、今年はアクサ生命の申請書サポートもあり、認定を取得できてほっとしています。今後、優良法人認定マークをHPに載せて、応募者に安心感を持ってもらえるよう取り組みたいと思います。

健康診断後の後追いもOK！

健康診断は毎年100％受診しています。その結果について、所見の有無にかかわらず、知り合いの看護師に検査結果についてのコメントとアドバイスを従業員の了解のもとで実施し、生活環境の改善も含めて感謝されています。
なお、検査結果がD/Eの有所見者は2次検査に行くまで受診を後追いし、生活態度の改変を求めていて、面倒でも検査を実施することで体調悪化には至っていません。
また、40歳以上の従業員には腫瘍マーカー検査を2年に1度実施しています。早期がんの発見に役立つと思い継続しています。

働き方改革で変化！

これまで業務の都合上、土曜日出勤が発生していましたが、働き方改革から就業規則を変更し、完全週休2日制にしました。そして、残業もほとんど発生することがなくなり、本当にホワイトな職場になったと従業員ともども実感しています。
また、職場内は歩いて移動するのが多いことから毎日職場だけで1万歩は歩いていることがわかり、運動不足気味の社員は存在せず、全員足腰が強いと感じています。

楽しい職場！

従業員のコミュニケーション促進として毎月食事会を開催しています。和気藹藹と毎回楽しい時間を過ごしています。
また、家族同伴および取引先(仕入れ先)の担当者の家族も同伴でバーベキュー大会を定期的に開催しています。家族に働きやすい会社だと嬉しい評判をいただいています。
そして、釣り好きが集まって釣りに行ったり、お花見の時期にはお花見をしたりして、定期的に楽しい時間が過ごせるようにしています。昨年はコロナ禍の関係で出来なかったことも多いですが、今年は出来れば実施したいと思っています。

今後の展望・課題

従業員が自分自身の健康管理で病気の早期発見のためには検査をすることが一番だと思うので、年1回の健康診断を年2回実施にし、更に、腫瘍マーカー検査と同様に2年に1度は脳ドック検査も実施して、ガン・脳梗塞等の重い病いの早期発見に努めたいと考えています。
また、インフルエンザの予防接種は毎年会社負担で実施しているので今後も継続し、コロナワクチンの予防接種も可能になれば考えたいと思います。
なお、最後1人の喫煙者への禁煙施策を導入し、完全禁煙会社に早期にしたいと願っています。

会社全景

釣り好き仲間と！

579

兵庫県
姫路営業所

Voice Report 60th

大和美術印刷株式会社

共同CEO：
(左)佐々木賢司 氏
(右)篠田直宏 氏

より速く、より正確に、そしてより美しく！

■ 共同最高経営責任者 兼 代表取締役　佐々木賢司 氏
　　篠田直宏 氏
■ 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市網干区新在家
■ 主な事業内容　コミュニケーション販促支援・印刷業
■ 従 業 員 数　67名(男性:43名・女性:24名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

働き方改革から健康経営！

兵庫県のひょうご優良経営賞を平成26年に受賞した後も、働き方改革と社員が重要な経営課題になると考えて、県の仕事と生活の調和推進企業に認定して頂き、就業規則の見直しや有給休暇の取得推進に努めてきました。そんな折、外部セミナーで健康経営優良法人の認定制度をお聞きし、取得に向けて健康宣言を行いました。協会けんぽからサポートを受けていくと、認定取得のための条件をほとんど満たしていることが確認できたため、翌年優良法人認定申請を行い、取得することができました。

健康維持のためのウオーキング！

健康維持のためにウオーキングを推奨していて、今年は一般財団法人アールビーズスポーツ財団が実施する「ウオーキング歩数競争」に参加しようと考えています。全国約800社が参加予定で、会社対抗戦になるので、社員一丸となって歩く意識を高揚させ、継続的な健康に対する取り組みのきっかけになればと思います。また、毎月行われる部門長を対象にした勉強会の中で、健康経営について取り上げました。その時、部門長自身が積極的に自分自身の健康に対して何らかのポジティブな取り組みを行っていたことは、健康経営が浸透していることを実感したタイミングでした。

メンタルヘルス対策はこれから

以前からストレスチェックを実施していましたが、最初は任意で実施していたため参加率は決して褒められるものではありませんでした。しかし、3年前からスマホの普及とともに、ペーパーレスのWEBアンケートに変更したことから全社員がストレスチェックを受けてくれるようになりました。課題としては、メンタルヘルスチェック後のフォローです。当社ではメンタル問題を抱えるきっかけになる部分を事前に察知して対策を考えていこうと、無記名で会社の良い点や改善点、気になる点を入力してもらい、改善の機会をつくり、メンタル問題を軽減させる対策にしていこうと取り組んでいます。

今後の展望

今後については、約10％の喫煙者の減少に取り組みたいと思っています。現在2か所(完全分煙室と喫煙コーナーオープンスペース)ありますが、受動喫煙対策も兼ねて1か所にすることや、喫煙者に禁煙プログラムを作成してもらい、自主的に禁煙にチャレンジしてもらい、毎年少しづつでも喫煙者が減っていくことを目標としています。
更に、全従業員のワークエンゲージメント向上のために自己啓発プログラムを開示し、チャレンジしてもらおうと思っています。そして、ブライト500の認定取得を目指したいと思います。

健康診断は徹底的に実施！

健康診断については、姫路市医師会と協同して全従業員が100％受診してくれています。そして再検査等の有所見者について、健診判定がA～Eの5段階で評価を受けますが、それがC判定の場合は再検査に行くまでサポートし、DおよびE判定の時は、今後1年間の計画的な生活習慣改善チャレンジプログラムを作成して提出してもらい、その後追いをしています。おかげ様で提出した社員は1年間後追いされるので、徐々にではありますが、生活習慣が改善され、要指摘項目が減ってきていると実感しています。

ISO 14001 JQA-EM3822　ISO 9001 JQA-QMA12375　ISO/IEC 27001 JQA-IM0791　FSC ミックス FSC® C163459

**左から、ISO14001(環境マネジメントシステム)、
ISO9001(品質マネジメントシステム)、
ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)取得
FSC(責任ある森林管理認証制度)取得**

株式会社アコオ機工

代表取締役社長
間鍋雄樹 氏

「あしたをもっと快適に！」社員満足度100%の会社へ！

- 代表取締役社長　間鍋雄樹 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県赤穂市東有年
- 主な事業内容　鉄道車両部品を主とする金属加工業
- 従　業　員　数　80名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

経営指針書に明記～安心な健康診断体制！

健康経営については2年前アクサ生命から紹介を受け、10年ビジョンである『社員満足度100%の会社を創る』につながると思い優良認定を目指し、取得することができました。特筆すべきは会社のバイブルである「経営指針書」を全社員に配布し、あらゆる業務について徹底していますが、その中で「安全・健康にかかわる方針」として健康診断の受診と、検査結果において、"C"判定以上の社員は必ず2次健診を受診するよう明文化しています。これを徹底するために総務課が後追いをすることで未受診者は発生せず、病気の早期発見に寄与しています。

やる気集団への集まり！

委員会活動において、委員長の人選で悩みましたが、杞憂で毎年、社長が自ら全社員と個人面談を実施していますが、その際に、委員会の活動に参加したいかどうかを尋ねると全社員の40%以上が自ら参加したい、委員長もやりたい、と大変心強い回答があり、自主運営に困らない状況となりました。なお、委員会活動も立派な仕事であると位置付けるためにも委員には手当を支給し、喜ばれています。
「今の大ヒットはこれだ」という本にこの委員会制度が紹介されたので、みんな自信をもって活動しています。

機能し続ける委員会制度！

従業員間のコミュニケーションの促進および、様々な提言等を提案し易くするために「経営指針書」において各種委員会制度を立ち上げて自主運営をしています。
これは所属、年次、年齢一切関係なく、7名以下で構成される組織です。ある委員会は入社2年目の社員が委員長を務めていますがしっかり運営されています。
＊レクリエーション委員会：全社員で楽しく交流することを目的に年間2回ボーリング大会、バーベキュー大会やスポーツ大会等を企画して活動しています。直前のボーリング大会では参加率が委員会設置後初めて最高90%と脅威の参加率となりました。（委員会設置前に会社主催で開催した時は50%程度の参加率でしたので、権限移譲を受けた従業員による自主運営に勝るものはないと実感しています。）
＊研修委員会：楽しく学ぶをコンセプトに年2回定例で実施しています。伝言ゲームや折り紙を使った課題確認、コミュニケーションの取り方などのゲームの要素を入れた研修は人気で参加者は引きも切りません。
他にも、「安全衛生委員会」で安全・健康に関する情報を発信し、「環境整備委員会」で年4回全社員での環境整備活動を行ったり、「褒章委員会」でお互いを知り、感謝し、尊敬しあう文化をつくったり、「改善提案委員会」で様々な改善提案を推進し、とりまとめを行っています。

働き方改革の推進！

働き方改革において、まず残業時間の短縮に軸足を置きました。第1にノー残業デーを毎週水曜日に設定し徹底しました。第2にそれまで月間100時間超の残業している社員もいましたが、強制的に月間40時間以内に全社員徹底し、守らせました。業務フロー改善も全社員で行い、業務時間が大幅に短縮されたにもかかわらず生産性がアップし、売り上げが伸びたことで、先入観にとらわれてはいけないと改めて感じました。更に、生産性がアップしたことから年間休日を5日間増加させ110日にしましたが、今後5年以内に年間休日120日を目標に掲げ、役職者のトップダウンではなく、全社員で業務の短縮化・簡易化を取り組んでいきます。

ゲーム要素を取り入れた
研修風景

バーベキュー大会

581

兵庫県
姫路営業所

Voice Report 60th

株式会社三洋工事

代表取締役社長
中塚智哉 氏

人材教育を最優先に捉え、「心の通う製品を作る」をモットー！

- 代表取締役社長　中塚智哉 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県揖保郡太子町松ケ下
- 主な事業内容　精密板金加工業（製缶加工・機械加工）
- 従　業　員　数　48名（男性：33名・女性：15名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

従業員を大切に思うから始めた健康経営

2年前アクサ生命から健康経営についてお聞きし、以前より従業員が働きやすい環境を作るためにはどうしたらよいのだろうか、と常に考えていたので、この機会に何かを始めないといけないと考え取り組むこととしました。
まず、健康診断については、前々から受診率は100％となっていたので特定健診と合わせて、継続するようにしました。有所見者には2次健診を積極的に推進し、またガン健診や婦人科健診については、希望者が任意でいつでも受診できるようにしたことからおかげ様でこれまで重症者は発生していません。

従業員教育

従業員同士のコミュニケーション促進や、仕事へのモチベーションアップを図るための研修を定期的に実施しています。全員一緒に集合して実施するときや、（コロナ禍でもあるので）グループごとに実施したりすることもあります。
また年度初にはグループ長のための役職者（リーダー）研修を実施することで、グループ長が配下の所属員へ気遣いするさまが顕著となっていて、効果が表れていると実感しています。
毎朝のラジオ体操もグループ長が目を光らせてくれるおかげで真剣に実施してくれています。

働きやすい会社を目指して

働きやすい会社を目指して有給休暇の取得に関しては、繁忙期は希望通りの取得は難しいですが、閑散期には従業員の希望を聞いて、可能な限り要望通り計画的に取得出来るようにしています。従業員からの反応はメリハリがついていて良いと歓迎されています。
喫煙については、従業員の半分以上が喫煙者のため、禁煙を推奨していますが、道半ばというところです。喫煙と受動喫煙対策として工場裏の少し遠いところに喫煙コーナーを設置し、禁煙者や歩行者と接しないようにしています。禁煙者からは好評を得ています。

コロナ禍の中、今後の展望

感染症対策については万全にして、現場作業でのマスク着用は夏場は息切れして着用が厳しくても着用を義務付け、会話が出来る場所ではパテーションを設置し、朝礼も集合ではなくオンラインでグループごとに実施するようにして感染者を絶対に出さない工夫を続けています。早く前に戻って職場が楽しく過ごせる場所になることを願っています。
今回アクサ生命提供の従業員生活習慣アンケートを実施し、従業員の生活習慣での課題が明確になったので、次回アンケートまでに改善できるように施策と啓蒙を徹底していこうと考えています。

食事手当支給

社内コミュニケーションを推進するために、定期的にバーベキュー大会を開催しています。この事業のために会社として、毎月部署ごと（5部署）のグループ長に手当を支給しています。各グループ長は2～6か月分の手当をプールしておいて、年1回のバーベキュー大会を盛大に開催しています。
最近はコロナ禍の関係で中止としておりますが、落ち着き次第開催する予定にしています。

ISO9001:2015 認証
取得の高い技術力

BBQ大会団らんの様子

永井産業株式会社

代表取締役社長
林　叔子 氏

社是「和を以て貴しと為す」

- 代表取締役社長　林　叔子 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県姫路市北条宮の町
- 主な事業内容　紙卸売業
- 従　業　員　数　90名

社員の体調管理のために始めた健康経営

数年前、ある従業員が重い病に伏せ、本人も会社も心身共に苦労したことから、他の従業員には同じ思いをさせたくないとの考えから健康経営に取り組み、優良法人認定取得を目指すこととしました。最初は自社で申請項目に該当するかどうか考えながら申請書を作成しましたが、実施している施策が各項目に当てはまるかどうかの判断が難しく断念しました。
しかし、今回はアクサ生命のサポートを受けて申請したところ、優良認定を取得できました。サポートのありがたさを感じています。

研修会は自発的に参加！

健康に関する協会けんぽ主催セミナーや、業界団体で実施するセミナー等の外部セミナーには会社として積極的に聴講に行くよう推奨しています。これは、聞いてきた内容を従業員が報告書を会社に提出してくれることでその知識が広まり、明るく楽しい職場が醸成されているからです。よって、セミナー費用については全額会社負担としているので従業員から大変好評を得ています。また、フットサル同好会があり、任意で参加したり、各部署ごとに会社から予算をつけてもらって食事会や懇親会を定期的に実施しています。みんなこうしたレクリエーションではこの時とばかりに楽しんでくれています。

アクサのサポートで課題を明確化！

自社の課題を明確にするために、アクサ生命から提供を受けた従業員行動変容アンケートを実施し、会社全体の課題として“運動不足”が明確になりました。
最初はワンポイントアドバイス資料で従業員の意識改革を視覚に訴えることから始めました。渡す資料が増えるごとに次第に周知され、従業員の意識改革に役立っていると感じています。また、簡単なストレッチ体操等の身体を動かす資料を発信し続けたことで、従業員1人1人が自発的に取り組んでくれるようになり、効果の高さを実感しています。

今後の展望・喫煙者減少に挑戦！

本社ビル会館内は完全禁煙で会館外に分煙スペースを設置しています。また、様々な人が運転する会社所有の車内を完全禁煙にしました。今後は喫煙者が少しでも減少するように禁煙施策を継続していきたいと思います。
そして、運動不足解消のために“1日5分運動”を推奨していますが、この施策を継続することで体幹を鍛えて、健康な生活が送れるようサポートしていきたいと思います。

認定証とともに

健康診断ではしっかり後追い

健康診断について、全従業員が毎年受診して受診率は100％となっています。また、特定健診についても同様です。そうした中、有所見者については、最初は2次健診を受診するよう口頭で指示するだけでしたが、少しづつ意識が高くなってきて、現在は該当者に書面で通知しており、その受診結果を提出するよう求めています。こうすることで2次健診の受診率も飛躍的に向上し、100％受診もまもなく達成できると思います。おかげ様で体調不良を理由として長期休暇を取得する従業員が減少し、病気も早期発見で、重症化する従業員は少なくなっています。

会社全景

583

兵庫県
東播営業所

播磨環境管理センター株式会社

代表取締役
青柳　淳 氏

社是:「出来る　出来る　必ず出来る」でオンリーワン企業に！

- 代表取締役　青柳　淳 氏
- 本社所在地　兵庫県高砂市高砂町鍛冶屋町
- 主な事業内容　ビルメンテナンス業
- 従業員数　270名(男性約35%、女性約65%)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

有能人材採用の一助になればと健康経営開始！

3年前に健康経営について有能な人材採用に繋がっているとの話を聞いて健康経営の取り組みを始めました。
その後、優良法人認定申請を目指すこととしましたが、認定要件の多くが、既に我社として5年以上前から取り組んでいた項目であったので、今回認定を取得することが出来ました。
なお、喫煙対策ではまだ約3%の社員が喫煙をしているので「就業時間内完全禁煙」、「喫煙場所での滞在時間の短縮」を掲げて、完全禁煙会社を目指します。

健康が一番！

健康診断は日程を確実に通達することにより全社員が必ず受診しています。有所見者については、書面で再受診を促し、受診後医療機関からの書類を提出してもらうようにしています。従業員間でもお互いに気軽に受診結果を話題にできる職場環境で、お互いに再受診を促したり、上司は業務の日程調整の配慮を行います。更に、産業医の先生に健康診断結果をチェックしてもらい、必要に応じて健康指導を実施してもらっています。もちろん社長も例外ではありません。

働き方改革！

社内は大変自由な風潮で、風通しの良い職場となっております。有給休暇についても取得しやすい職場雰囲気があり子供の急な体調不良や学校行事でお父さんが有休をとる姿も珍しくありません。また、就業時間終了後には従業員同士が楽しくコミュニケーションを取っている姿もしばしば見受けられ、お互いを尊重し合いながらワークエンゲージメントを高く維持してくれています。
更に従業員が病気やケガで長期療養が必要になった時でも、従業員や家族が安心して治療に専念でき、再び会社復帰に向けて頑張れるように様々な形のバックアップ体制を確立しています。

健康維持の取り組み！

従業員の体力維持とロコモティブシンドローム(日本整形外科学会推奨)対策として体力テストの仕方の案内やアドバイスを継続的に実施しています。それと並行して、歩くことの大切さを周知しながら、転倒しにくい靴を従業員の皆さんの手元に安価に届くようにして転倒事故防止に努めています。
また、会社の建物の中にはトレーニングジムがあり、播磨パワークラブとして活動をしております。従業員であれば誰でも無償で利用可能で、最近では従業員同伴であれば社外の人でも無償利用を可能としています。そんなこともあり、ベンチプレスにおいては全国大会2位や県大会優勝の強者社員も出て、社内クラブ活動として盛り上がっています。

自由な風潮！

最近はコロナ禍で実施できていませんが、コミュニケーション促進のためにお花見大会や様々な研修会を実施しています。
従業員全員が日本人古来の考え方である「お互い様」の精神のもと、業務上でも業務外でもお互いを尊重し合い助け合う事で働きやすい職場が醸成されてきています。今後も従業員一丸となって、継続して楽しく明るく、そして、働きやすい職場づくりを目指します。

社員が中心となって
作成した
会社ポスター
中央は社長

社是

584

島根県
松江営業所

Voice Report 60th

円建創株式会社

代表取締役
安達盛二 氏

■代表取締役　安達盛二 氏
■本社所在地　島根県松江市東津田町1280-1
■主な事業内容　建設業・住宅建築業
■従業員数　18名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

家族のしあわせは健康があってこそ。お客様にも従業員にも健康な暮らしを提供

注文住宅建築やリフォームを中心に自然の木造住宅を提案し、健康で暮らせる家づくりをモットーにお客様に喜んでもらえる暮らしを提供しています。
自社の立てる家は、住んで健康になる家。お客様にそのように説明しているので、自分たちも健康意識を高めていかないといけない。充実した福利厚生や職場環境の整備で従業員一人一人の健康づくりにも力を注いでいます。

「そのままの木」素材を大切にした住宅を提供

健康診断全社員受診　オプション費用も全額会社負担で受診しやすい環境を整備

健康づくりの取り組みとして全従業員18名の健康診断受診を徹底している。このうち、女性従業員(7人)は乳がん検診と子宮がん検診、35歳以上の男性従業員は前立腺がん検診を受けており、検診費用を会社が全額負担。併せて、インフルエンザ予防接種の費用も負担しています。
昨年は、アクサ生命の「健康習慣アンケート」も実施し、従業員の健康課題もチェックしました。今後も継続的に実施し健康課題解決に取り組みます。

健康づくりだけではなく万が一の備えも

健康づくりだけではなく、万が一の備えとして社内にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。民間企業でAEDを設置している事例はまだ少数でしょう。全従業員がAED講習を受けているため、目の前で人が倒れた時に行動に移せる体制を整えています。
これからも、家族ぐるみの健康づくりで社業発展を目指していきます。

社内交流をはかる「リラックスデー」の開催

年に数度ある第5土曜日を「リラックスデー」と名付けて近隣の観光地へプチ旅行を開催。仕事を離れてリフレッシュできる機会を設けることでモチベーションアップにもつながっています。また、毎日10時と15時に従業員が談笑する「ティータイム」も設けています。社員同士がニックネームで呼び合うほど仲が良くなるきっかけになりました。

救命講習に取り組む従業員

585

岡山県
岡山営業所

Voice Report 60th

鷹取醤油株式会社

代表取締役社長
鷹取宏尚 氏

健康経営で元気溌溂！「愛醸感謝」をモットーに！
今日も安全でおいしい醤油づくりに一醤懸命です！！

- 代表取締役社長　鷹取宏尚 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県備前市香登本887
- 主な事業内容　食品製造業
- 従　業　員　数　17名(男性:6名・女性:11名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営の話を聞いて、挑戦！！

健康経営を始めたきっかけは、出入りの業者から健康経営の話を聞いたこと。以前から取り組んでいたことが健康経営だと知ったことで興味を持ち、健活企業宣言、社内へ掲示することで、従業員にも健康維持への意識が芽生え、取り組みも加速しました。また、社内の自動販売機の飲み物にトクホ飲料を安価に提供することによって、従業員も大いに喜んで利用しています。

従業員の健康は日々のチェックから・・・

食品を扱う業種柄、日々の健康チェックは欠かすことができません。工場はもちろんのこと、事務所・販売店舗もコロナ前から丁寧な健康チェックを行ってきました。健康診断も、以前から全員が自発的に受診、比較的年齢層も若い(平均年齢29歳)ため、二次検診が必要な従業員もいません。

取り組みにもコロナの影響が・・・

以前から、スポーツジムの法人契約を行い、従業員には無料で利用できるようにしており、運動機会の増進には努めてきていました。しかし、昨年からのコロナの影響で利用者数も大幅に減ってきてしまい、運動機会も減りつつありましたが、就業前体操・休憩時間でのストレッチなどを取り入れるなど、運動への意識を高める工夫をしています。

今後の展望

創業が明治38年で今年で116年になります。春先には毎年、燕が巣づくりと産卵に訪れてくれます。今年も30家族は来そうですね。従業員の健康を見守るのは、燕のお母さんと一緒。伝統の技術を繋いで、従業員を大きく羽ばたかせていくには、健康であることが最低条件。当代は4代目になります。これまでの116年の伝統を受け継ぎ、これから100年先の時代にも世界に必要な会社になるために、健康経営は欠かせないと感じています。

従業員は家族！！
社長のまかないメシでコミュニケーションを！

10年近く前から、社内の休憩スペースに専用のキッチンを入れて、社長自らが腕を振るい、従業員にまかないメシを振舞ってコミュニケーションを図っています。サラメシにも出演しました！従業員もこのスペースに居心地の良さを感じてくれ、料理も楽しみにしてくれています。従業員から希望があり、この休憩スペースで、結婚披露宴をしたことも あります！

商売繁盛(醤賣半畳)　！

今年の燕家族！燕の訪れは、春の訪れ！
販売店名(燕来庵)の由来にも！！

鳴本石材株式会社

代表取締役社長
鳴本太郎 氏

「社員が生き生きと働く職場作り」を目指して！

- 代表取締役社長　鳴本太郎 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県笠岡市茂平2918-23
- 主な事業内容　石材全般（墓石用、モニュメント、造園用、各種建築用）の製造および輸入卸販売
- 従 業 員 数　60名（男性：40名・女性：20名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

「健康経営」は様々なメディアから聞いていました

近年、様々なメディアを通じて“健康経営”という言葉を多く聞くことが増えました。私たちの笠岡市でも“健康経営優良法人認定”を受けられた事業所があったため、言葉は聞いていたものの、実際何をすればいいのか？どういう意味なのかを正しく理解していなかったように思います。具体的な取り組みをサポートして頂いたことに感謝しています。

「健康経営」を知れば知るほど素晴らしい取り組みだと感じました

健康経営優良法人認定基準の認定項目を私自身別途チェックシートに抜き出した上で、「このすべての項目を全部やってみよう」という気持ちになりました。勿論優良法人認定を頂くことは名誉なことですが、あくまで目標と目的は異なります。「社員が生き生きと働く職場を作る」という目的のためには「健康経営に取り組まない」選択肢はないと痛感しました。

具体的な取り組みをスタート！

岡山県協会けんぽの健康宣言事業には参加していましたが、従業員の生活習慣を把握するアンケートを実施し、そのフィードバックを行うセミナーをオンラインで開催しました。また会社の方針、健康経営への取り組みを会議、朝礼、チャットアプリなどで共有し、定期的な健康情報の提供を行っています。

岡山県笠岡市の事業所全景

社内表彰制度を導入しました

当社では年間の個人業績を称える「ナルモトアワード」という表彰を毎年行っていますが、「ナルモトアワード2020」には「健康経営部門ベストBMI賞」を新設しました。これは目標BMIにどれだけ近くなれるかを私も含めて全員で目指す表彰です。健康経営への意識づけの効果もありますが、何よりも全社員で明るく楽しく健康になることを目的にしています。また、新たに地域スポーツイベントに参加の際には、会社より参加費の補助を行う制度をスタートしました。

行動変容へのチャレンジ

2020年健康経営に関する取り組みを行ってきましたが、会社の取り組みを通して、従業員の生活習慣がどのように変化したのかを検証することが課題だと思っています。今後、更なるメンタルヘルス対応なども必要だと感じていますが、社員の健康が会社の健康に繋がると強く確信して、健康経営の取り組みを一層深めていきたいと思っています。

鳴本石材　健康経営宣言！！　＃職場環境＃健康経営

テーマ	取り組み内容	実施状況 2020年	2021年
健康課題の把握	定期健診の実施（12月）及び受診率100%	○	
	定期健診オプション検査の情報提供	○	
	定期健診の再検査・精密検査の受診率100%	×	
	ストレスチェックの実施（6月）及び受診率100%	○	
	ストレスチェック不調者に対し相談機関の設置及び当該機関の案内（固定病院）	○	
健康意識の向上	健康に関する情報提供（月1回以上）	△	
	アワード健康経営部門	○	
ワークライフバランスの推進	週休二日制の導入	×	○
	時差指定有給の導入	○	○
	有児短時間勤務の導入	○	○
コミュニケーションの促進	会社主催の親睦会の実施（年1回以上）	○	
治療と仕事の両立支援	時間単位の有給制度の導入により勤務時間内に通院可能な環境整備	○	○
食生活の改善	アクサ健康経営サポートパッケージ（食事・栄養管理支援アプリ）の提供	○	○
運動機会の増進	スポーツイベントへの参加費負担（上限一人10,000円/年）	×	
	アクサ健康経営サポートパッケージ（運動機会増進アプリ）の提供	○	○
感染症予防対策	コロナ対応マニュアルの作成及び定期的な見直し	○	
	風疹やインフルエンザ等の予防接種の費用負担（上限一人2,000円/年）	×	
	加湿器、空気清浄機の設置（事務所）	△	
	（流行期）検温、消毒、マスク着用、換気の実施	○	○
過重労働対策	時間外勤務の事前申請による時間管理	△	
	長時間労働者に対する是正措置	○	
メンタルヘルス対策	アクサ健康経営サポートパッケージ（メンタルサポートサービス）の提供	○	○
	メンタルヘルス不調者に対する働き方（配置転換・業務内容・勤務時間）の変更	○	
	産業カウンセラーによる全社員面談（6月）	×	
受動喫煙対策	屋内禁煙・喫煙事業場・屋外分煙の実施	△	
熱中症対策	（工場）スポーツドリンクの支給	○	

「健康経営チェックシート」と
オンラインで開催された「ナルモトアワード2020」の様子

587

岡山県
倉敷営業所

Voice Report 60th

有限会社井上開発工業

代表取締役社長
井上　薫 氏

「健康第一！仕事第二！」をスローガンに！

■ 代表取締役社長　井上　薫 氏
■ 本 社 所 在 地　岡山県倉敷市加須山880-2
■ 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業、
産業廃棄物収集運搬業、建設業全般
■ 従　業　員　数　23名（男性：21名・女性：2名）

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

自分自身が大病を患ったことをきっかけに

2019年、社長である自分自身が大病を患い、従業員に多大な心配をかけてしまいました。そこで、今までの不摂生な生活を反省し、健康に気を遣うようになりました。ところがその後、従業員も一年間の入院を要する大病を患う事態となってしまい、従業員が一人欠けることで生じる不利益やリスクの大きさに直面しました。そこで「従業員の健康管理が何よりも大切だ。なんとかしなければ・・・」と悩んでいたところ、アクサ生命から健康経営の話を聞き、ここが変えるチャンスだと思い優良法人認定を目指すことにしました。

従業員の意識の変化

私は従業員に対して「事故をしない。健康でいること。」それだけを言い続けています。そこで、自らが仕事後のウォーキングを実施し、食事にも気を付ける生活を行うことで、会社全体の環境や雰囲気を整えていきました。その結果、喫煙者が減り、健康経営をきっかけに従業員の意識や行動が変化し、会社全体が良い方向に流れていることを実感できるようになってきました。

優良法人認定に向けた取り組み

優良法人認定に向けて、まずは従業員全員を対象とした生活習慣アンケートを実施し、従業員の健康管理に対する私の熱意を伝えました。その後、生活習慣アンケートのフィードバックセミナーを行い、具体的な取り組みをスタートしました。
主な取り組みとして、まずは完全な分煙から始めようと思い、お手製の喫煙所を設置しました。
さらに、健康管理に関するチラシを定期的に配布することで、「社長＝健康体を好む」というイメージが確立し、自然と従業員の意識も変わっていったように感じます。

今後の展望

今後は従業員の運動不足改善を目的として、第2土曜日をスポーツチャレンジデーと設定し、出勤日の取り扱いをスタートします。仕事の一環として健康づくりができるように、別拠点営業所の一室にトレーニングルームを作り、従業員のみならず地域の方々にも気軽に利用してもらいたいと考えています。会社の環境や設備を整えるのが私の役目ですが、自己満足で終わるのではなく、優良法人として認めてもらえることに誇りを持って、これからも健康第一、仕事第二をスローガンに精進してまいります。

本社外観

お手製の喫煙所

別拠点営業所をトレーニングルームに

津山商工会議所

会頭
松田欣也 氏

「共生社会」を目指して

- 会　　頭　松田欣也 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県津山市山下30-9
- 主な事業内容　総合経済団体
  (2300会員　令和3年3月31日現在)
- 従 業 員 数　22名(男性:13名・女性:9名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2019～2021 3年連続認定

健康経営を取り組むきっかけは

津山商工会議所は2019・2020・2021と3年連続で健康経営優良法人認定を受けることができました。
健康経営を始めたきっかけは、2018年に岡山県商工会議所連合会やアクサ生命からご紹介いただいたことです。津山市の人口減少、とりわけ生産年齢人口の減少は大きな社会的課題です。また、これから地方都市が生き残るためには【共生社会】の実現が求められます。そのためには健康で生涯現役で過ごすための「健康経営」の実践が必要だと考えました。

予期せぬコロナへの対応

津山商工会議所の会頭の社業は食品スーパーなので、人一倍コロナへの対応は早く、2020年4月にはマスクを大量に購入し会員事業所や職員に提供、所内に消毒・アクリル板・検温機器の設置などの対策を講じています。
また、状況に応じて職員の市外への移動制限や夜間の飲食の自粛にも努めているところです。

職員の意識の向上

まずは会議所職員の健康について取り組みを開始しました。健康診断の全員受診はもちろんのこと、2019年10月には協会けんぽ岡山支部から管理栄養士を招き、全職員対象に「食と栄養に関するセミナー」を開催しました。
また2020年10月には津山市の保健師による「睡眠に関するセミナー」を開催しました。
今後も毎年テーマを決めてセミナーを開催し、職員の意識の向上に努めてまいります。

今後の展望

「共生社会」の実現のためには、「健康経営」の推進が極めて重要です。今後とも当所がしっかりと「健康経営」を実践し具体的な取り組みをHPや会報を通じて発信してまいります。
そして、会員事業所で働くすべての皆様が生涯元気で働くことができるように、「健康経営」の理念と実践を引き続き啓蒙してまいります。

具体的な取り組み

現在のコロナ禍では困難ではありますが、2019年12月の職員旅行では親睦のみならず、「歩く」をテーマに観光地を全員で足が棒になるまで歩きました(笑)
また、津山商工会議所は中心市街地にあるため、近隣への移動には公用車に替えて自転車を使用することとしました。
暑い日も寒い日も、職員は自転車で会員事業所を巡回しており、体力の増進にも繋がっております。

近隣会員事業所を
自転車で巡回する下山職員

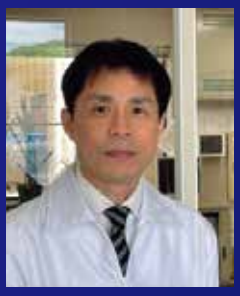
2019年、2020年に続き、2021年も健康経営優良法人認定を受けることができました。

589

広島県
三原営業所

Voice Report 60th

株式会社テック



代表取締役社長
松下琢哉 氏

社員は皆家族！ファミリー的経営を目指して35年！

- 代表取締役社長　松下琢哉 氏
- 本 社 所 在 地　広島県竹原市西野町195-1
- 主な事業内容　樹脂フィルム等の加工
- 従　業　員　数　75名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営への取り組みについて

弊社は年齢層の幅が広く、年代別にそれぞれの心身の課題を持っていました。数年前から働き方改革を社内で進める中で、心身共に健康でいることも重要であると認識しました。そしてより主体的に従業員の健康増進をサポートしたいとの思いから、健康経営を導入することとなりました。一人一人が健康に働くことによる組織の活性化、生産性の向上、人生の充実を目指しています。

健康経営推進体制について

アンケートで現状分析後、できることから実施

①健康診断受診率100％
②インフルエンザ予防接種を社内で実施
③休暇制度の導入　（半日休暇等）
④健康度チェックアンケートの実施　など

健康経営の広がりについて

「心の健康」「睡眠」以外の項目は前年度より「6か月以内には、健康づくりを始める意識なし」の数字が下がりました。健康意識を高めている要因としては「将来の目標を実現するため・家族のため・子供の将来のため」という内発的動機付けを挙げる従業員が多くみられました。これは健康経営・働き方改革を進める中で受け身から自主的な思考を養う働きかけ、仕事とプライベートそれぞれの目標や夢を持つ働きかけをしていく中で、一人一人がしっかり自分と向き合い始めた結果ではないかと考えます。

今後の取り組みについて

アクサ生命のアンケート分析によると、平均睡眠時間5時間未満の従業員が17％いることが分かりました。これは生産性の低下を招くことにもなるため早急に改善をする必要があります。少なくとも6時間の睡眠をとり、さらに質のいい睡眠をとるための情報を提供していきます。
健康経営の推進により、ワークエンゲイジメントを向上させ、ブライト500の入賞を果たせるように努力いたします。
アクサ生命担当者の引き続きのサポートに期待しています。

株式会社福山パトロール

代表取締役社長
下岡育巳 氏

「1人1人が長く勤められる」そんな魅力ある会社でいたい

- 代表取締役社長　下岡育巳 氏
- 本 社 所 在 地　広島県府中市中須町943-3
- 主な事業内容　警備業
- 従　業　員　数　46名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社長就任をきっかけに、健康経営に取り組み始めました。

2020年5月に社長に就任しました。社長就任前から病気等で退職者が多かったため1人1人が長く勤めて欲しいと思っていました。そんな時にアクサ生命の方から健康経営を勧められ、今の当社にベストマッチであると思いました。従業員が健康で長く勤められる。そのことが今後の会社にとって必須だと思い、健康経営の取り組みをしていくことにしました。

健康経営の効果。社長自らダイエット。退職者が０に。

健康経営に取り組むにあたり、手本を見せなければと思い、私自身がダイエットに取り組み10kgの減量に成功しました。社員の意識も変わっていき、健康診断で劇的に改善した社員が数名出ました。中でも一番嬉しかった事は今まで多かった退職者が1年間1人も出なかった事でした。

感染症対策、熱中症対策マニュアルを作成。

元医療従事者の従業員を総務課長に抜擢し健康経営の担当に任命しました。その総務課長が感染症対策及び熱中症対策マニュアルを作成し、社員教育の為1週間6名ずつに分け、私が講師になり研修を行いました。

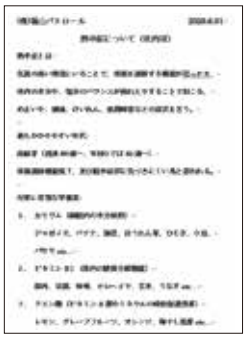
社長の思い

今年5月に50周年の節目を迎えます。警備の仕事は人がいないと出来ない仕事。人が財産です。今後も健康経営を実践していく事で「1人1人が長く勤められる」この会社にずっといたいと思える。そんな魅力のある会社にしていきたいと思います。

給与明細手交時に健康習慣ワンポイントアドバイスを同封

健康習慣の意識付けを効果的にする為、給与明細にアクサ生命の健康習慣ワンポイントアドバイスを同封しました。社員が必ず見るようになり、社員の会話から健康についての話題が出るようになりました。

会社外観



←熱中症対策
マニュアル

健康習慣→
ワンポイント
アドバイス

社員研修風景

591

山口県
山口営業所

玉江石油有限会社

吹上社長と奥様の有香様

「末永くお客様のお役に立てる会社」を実現するために！

- 代表取締役　吹上昌樹 氏
- 本社所在地　山口県萩市大字浜崎町132-8
- 主な事業内容　燃料の配達・運搬業
- 従業員数　13名(男性:10名・女性:3名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

望んでいた健康経営！

弊社は日本海に面しており、離島への油の運搬や船舶への給油、ご家庭や事業所で使用する燃料の配達まで幅広く扱っています。その為従業員の体力面だけではなく、健康面も気になっていました。年齢に関係なく健康診断での指摘事項があり、会社としてどこまで干渉してよいものか分からずもやもやしていました。そんな時に商工会議所で開催された健康経営セミナーを受講し、「これしかない！」と会社に戻り直ぐに健康宣言をすることに決めました。

良い習慣作りを

弊社では日常的に運動する意識を持ってもらうため、全員に歩数計を配布し、毎日の数値を記録する事を義務付けています。その結果は毎月1回全員が集まって行う会議で反省や次の目標を発表し、みんなで情報交換をし、共有しています。社員の本心まではわかりませんが、月を重ねる毎に社内で健康についての話題が増えたり、「お酒の量が減ったとよ」という声も聞こえて来るようになりました。

運動の次は食事を

弊社は男性社員が多く、自分で食事管理をされている社員もいます。仕事をしながらの食事作りは大変ですが、できるだけ偏らないよう気を付けて貰いたいと考えております。先般アクサのフィードバックセミナーで健康弁当を紹介していただき、それ以来コンビニ弁当からそちらの弁当に変えた社員もいました。夕食用におかずだけ買って家で食べる社員もいるようです。

社員とともにお客様との長いお付き合いを

人材の確保が厳しい現在、今いる社員は会社にとって正に宝物です。
離島の多い萩では、地域の方に弊社は必要な存在になっています。社員自身も長寿化社会で少しでも長く働けることが大事ですのでそのためにも健康であることが最も大切であると思います。
社員一人一人健康で長く働いてくれることが会社を支え、地域の方に貢献できると信じてこれから健康経営を続けて参ります。
お客様と長くお付き合いをして、お互いに顔を合わせるのが楽しみとなる会社にしていきたいですね。

株式会社安全ガラス山口

代表取締役社長
熊谷淳一 氏

健康経営をきっかけに更に元気活発な会社を目指す！

- 代表取締役社長　熊谷淳一 氏
- 本 社 所 在 地　山口県山口市朝田1066-2
- 主な事業内容　自動車ガラス販売・施工
- 従　業　員　数　33名(男性:25名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営取り組みのきっかけ

時は令和となり『人』『物』『仕組み』が急速に変化していく中で、企業の在り方の根底を見つめ直す時期であると認識し、『健康宣言』をさせていただきました。
従業員の健康に会社が関与して取り組むことで従業員が健康に働け、会社の生産性が上がる、また会社のイメージアップに繋がることでリクルート効果も高まり会社の発展につながります。
今後も健康経営を指標に、全社員が一丸となって取り組んでいきます。

健康経営を進めていく上での具体的な取り組み内容

従業員の健診結果に会社が関心を持ち、関与し、二次検査の受診指導を実施しています。この取り組みにより受診率が向上しています。
協会けんぽの健康情報等を会社の掲示板に貼り、全従業員に周知しています。
屋内禁煙を行うと共に、始業前に全従業員でのラジオ体操を始め、明るく元気よく仕事を開始しています。

従業員の健康習慣に関する効果

全員で健康経営に取り組むことで、従業員の健康に関する意識が高まってきています。社員の会話に健康の話題が多くなり、社内のコミュニケーションが拡大し、生産性も上がってきています。
今後もマンネリ化しないよう、全社員が参加する新たな取り組みや社内表彰も企画し、従業員の健康習慣を高め、効果を高めていきます。

会社全体に対する効果

健康経営に取り組むことで、社内のコミュニケーションが高まっています。
「安全ガラス山口」の従業員で良かったと皆が思ってくれることで業績も向上しているように思います。
今後も健康経営を通じて従業員の健康習慣を高め、会社の更なる発展に取組みます。

今後の展望

仕事は社内・社外共に人と人とのふれあいであり、笑顔が大切です。日頃から「笑顔で大きな声で挨拶」を全社員に指導徹底していますが、健康経営をきっかけに全社員が心身共に健康を持続し、笑顔の挨拶を励行して、更に元気で活発な会社を目指していきます。

朝のラジオ体操風景

健康情報掲示

593

山口県
下関営業所

Voice Report 60th

琴崎産業株式会社

代表取締役社長
高井良久 氏

「全社員の幸せを追求し、世の信頼を得る」経営理念とともに！

- 代表取締役社長　高井良久 氏
- 本 社 所 在 地　山口県宇部市川上字上白石133-1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　80名(男性:73名・女性:7名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営で、業界の傾向を変えていく

従業員の高齢化や肥満度が高かったが、運送業会の傾向だからと片づけていました。
健康経営を近隣の企業も取り組んでいることを知り、当社も取り組むことになり、これではいけないと思いました。健康診断や従業員の健康管理は出来ていると思っていましたが、それだけでは出来てるとは言えないということに気付き、健康経営に取り組むことによって、業界の傾向を変えていこうと決意しました。

アンケートの継続で社員の健康に対する意識の変化を確認していく

社員へ健康習慣アンケートを実施し、フィードバックセミナーを行いました。
会社が健康経営に取り組むということは理解してくれましたが、社員への浸透はこれからです。
このアンケートを毎年続けていくことで、社員の健康に対する意識の変化を確認できます。
継続していくことで、少しづつ変化していくように導いていきます。

経営理念と重ね合わせてみて

経営理念は『輸送事業を通じて全社員の幸せを追求し、世の信頼を得て社会の発展に貢献すること』です。
それにはまず、社員の健康と業務中の安全対策を万全にすることで皆様の信頼を築けるように以下のことに取り組みました。
①無呼吸症候群の検査を追加
②有給休暇の取得計画を立てる
③喫煙率の低下を目指す

我が社の目指すところ

『安全・安心・環境』の３つを永遠の課題としており、弊社敷地内に御稲荷様を祀っています。常に感謝の気持ちを持って働いています。
当社で働く社員にも『安心・安全・環境』を提供していきます。
社員に感謝し、社員が健康で、長く当社で働けるよう、そして自身の健康にさらに興味を持って貰えるよう、健康経営に取り組んでいきます。

取り組み内容は出来ることから

①ウイルス対策
　・マスクの配布。手指の消毒の徹底。
　・除菌ティッシュの配布。
　・事務所への入室は2人づつ。
②朝のラジオ体操
③ウォーターサーバーの設置
　(自社製品:富士の湧水)
④自販機に特保のお茶などを採用

琴崎デリバリー株式会社

代表取締役社長
高井信明 氏

『お客様からの信頼』を第一に考えた時、社員の健康は重要！

- 代表取締役社長　高井信明 氏
- 本 社 所 在 地　山口県宇部市川上字上白石133-1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　47名(男性42名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

お客様からの信頼を得るために

お客様からの信頼を得ることを第一に考え、地域社会の生活、経済活動の向上に貢献すると共に省エネルギー化・省資源化に取り組んできました。
しかし信頼を得るためには、事故を起こさないなど、『安全・安心』を心掛けなければなりません。これには社員が健康でなければ実現が難しくなります。
そこで健康経営に取り組むことを決意しました。

健康への行動変容

職業柄、運転中のストレスから煙草の喫煙率が高く、なかなか禁煙が進まない状況が続きました。健康経営の取り組みを進める中で、まず『減煙』から取り組むことから開始しました。受動喫煙のチラシを渡したり、朝礼や会議での声掛けを行い、意識付けを図っています。慌てず、少しづつ着実に改善していきます。

今の現状を把握する事から開始

最初の取り掛かりとして、健康習慣アンケートを従業員に実施しました。アンケートを集計し、従業員の現状の意識を把握し、皆が何に対して意識が低いのか、何に興味があるのかなど分析を行いました。その中で、「出来ていたこと」「出来ていると思っていたこと」「出来ていないこと」をまずは把握することから出発し、改善すべき点をを探しました。

今後に向けて

『楽しく、笑顔で働く』をモットーに、ワークライフバランスを心掛け、有給休暇の取得など職場環境を更に向上させる予定です。
ちなみに今年新卒採用が出来たのは、健康経営の取り組みの結果の1つと喜んでいます。
笑顔で働くことができる会社を目指し、引き続き健康経営に取り組みます。

取り組み内容はコツコツと無理せずに

①健康経営に取り組むにあたり、担当者を選定し、その担当者を中心に健康経営活動を行いました。
②ウイルス対策
・マスクの配布。手指の消毒の徹底。
・除菌ティッシュの配布。
・パーテーションの設置。
③朝のラジオ体操
④自販機に特保のお茶などを採用
⑤建物内での禁煙を実施

認定証
琴崎デリバリー株式会社

595

山口県
下関営業所

Voice Report 60th

株式会社坂本鉄工所

代表取締役社長
坂本　均 氏

創業７５年　社員の健康が会社の未来をつくる！

- 代表取締役社長　坂本　均 氏
- 本 社 所 在 地　山口県宇部市大字妻崎開作511-4
- 主な事業内容　産業機械製作及び建設業
- 従　業　員　数　30名(男性25名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

安心して働くことができる環境作り

従業員の高齢化が進み、若い世代の育成がうまくできていないことを感じていたので、健康経営に取り組むことで改善したいと思いました。
会社全体を考えた時、従業員あっての会社ですので従業員の健康を第一に考えながら取り組みたいと考えました。
社員の健康維持・増進を推進し『安全で安心して働くことが出来る環境づくり』を最優先の課題として取り組みを開始しました。

従業員の変化

①ラジオ体操をすることにより、仕事前の体の活性化、安全に繋がっているという声もあり、効果を感じています。
②禁煙について朝礼時や回覧など、定期的に促すことにより、取り組みが徐々に浸透し、理解が進みました。
③健康診断の100％受診だけでなく、要精密検査、要治療の対象者に対しても、就業中に会社の一室で協会けんぽの保健指導を受診することにより、再受診率が向上しました。

健康で働き続ける為に必要な環境作り

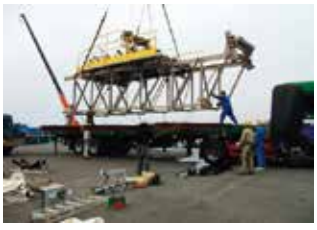
創業73年に先代が始めたこの会社を、2代目社長が引き継いで62年になります。健康で働いてこられたからこそだと思います。これから事業継承もしていく上で、会社の宝である社員が健康でなければ発展していけません。
社員の健康が会社の未来を作ります。まずは社内環境を整え、社員に協力して貰いながら、一緒に健康に働き続けることが出来る会社にしていこうと考えました。

今後の展望

禁煙を初め、朝のラジオ体操等、引き続き実施していきます。
今後は食生活の改善も含めての取り組みを促進します。
現在定年制度がありますが、継続雇用で働き続けて貰える間は元気に働いて貰いたいです。その為にも健康経営の取り組みを継続し、少しずつ出来ることを増やしていきたいと思っています。

まずは出来ることから取り組み開始

①朝のラジオ体操
②禁煙への取り組み
　社内(建物内)の全面禁煙
③健康診断の受診率１００％達成
　・再受診率も１００％を目標に取り組み
　・再受診対象者の社員へは協会けんぽの保健指導の受診を実施
④コロナ対策も早いタイミングで開始
　・アルコール消毒の設置
　・体温計の設置
　・アクリルパーテーションの設置



596

山口県
下関営業所

株式会社理化

代表取締役
石原　寛 氏

建設業として『安全第一』の観点から健康経営に取り組む！

■代表取締役　石原　寛 氏
■本社所在地　山口県宇部市大字妻崎開作1050
■主な事業内容　塗装工事　交通安全施設工事
■従業員数　47名(男性:41名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

最初の第一歩は健康宣言から

講習会に参加したことで、『健康経営』の重要性を認識し、建設業として、『安全第一』の観点から、従業員の健康管理も重要な経営課題である事から取り組みを決意しました。
まず、第一歩として令和元年に健康宣言を行いました。令和2年にはやまぐち健康経営企業として認定され、その後アクサ生命さんにサポートして貰い、健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定を獲得することができました。

社員全員参加で出来ること

①感染症対策は社をあげて取り組み実施
・毎日の体温チェック
・アルコール消毒
・大人数での会食会合への参加自粛
②健康習慣アンケートを継続して実施
③アクサ生命さんから提供いただいた、オンラインセミナーの情報や資料は随時回覧し、重要な資料は給料日の明細書と一緒に本人に手渡すなどを実施しました。

形式的な形で行っているイメージの払拭

『健康経営』は形式的に行っているのではないということを従業員に理解してもらう為に、まずは自分自身の現状を認識し、改善することから始めました。
その上で会社としても『従業員の健康が会社の大きな財産であり、サポート出来ることは支援していく』ことを従業員に向けて宣言し、各自が出来ることから改善を図って貰うことを始めました。
出来ることから取り組み、継続して実施する事が重要であると、確信しています。

健康経営に取り組んでみて

健康経営に本気で取り組んだことにより、『出来ている事』『出来ていると思っていた事』『全くできていなかった事』を見える化する事が出来ました。
休憩時間に血圧測定を行ったり、ストレッチ体操を行う従業員も増えてきてます。
有給休暇取得率も徐々に改善されており、従業員の『健康』に対する意識についても少なからず変化してきていることを実感しております。
従業員が働きやすい環境、この会社で働いてよかった！と実感できる職場環境の構築に、『健康経営』の取り組みは不可欠であると一層強く感じております。

今後の検討課題

建設工事現場が多岐に渡っており、社員全員が顔を合わせる機会が少ないので、ニュアンス等がうまく伝わらないと感じる事があります。その為会議・ミーティングの席を利用して『健康経営』に関する説明を行ったりと伝達方法の工夫についても検討を重ねております。
メンタルヘルス対策、健康診断の2次検査受診の促進等、今後の検討課題として、従業員の意見を聞きながら、一層効果的に取り組む予定です。

取組風景

労働安全衛生大会

597

山口県
徳山営業所

Voice Report 60th

株式会社九内

(右)代表取締役社長
九内庸志 氏
(左)取締役徳山営業部長
関元浩文 氏

社員こそ財産。１００年企業を目指す。

- 代表取締役社長　九内庸志 氏
- 本 社 所 在 地　山口県周南市橋本町1-70
- 主な事業内容　塗装工事業・交通安全施策工事
- 従　業　員　数　22名(男性:17名・女性:5名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

健康経営に取り組んだきっかけ

私(九内)自身が子供の頃喘息や扁桃腺炎で学校を休みがちで苦労したこともあり、健康こそ全ての成果のもとと考えています。
また、建設業という現場仕事の多い業種で従業員の平均年齢は年々高くなってきており、少しの体調不良が事故に繋がることを懸念していたこともあり取り組みを開始しました。
取り組みにあたっての課題は平均年齢高による病気のリスク、離職、健康経営のノウハウ不足でした。

健康経営を進めていく上での具体的な取り組み

まず、全社員をチーム分けしました。そして各チームごとに健康目標を立案・行動計画を作り、リーダーが毎週目標数値の確認・発表を行っています。また半年毎に各自の課題と対策を考え、必要に応じて人員の組替え(本人希望)、目標値や行動項目の変更、取り組み意識の継続等、自分に合った目標値で仲間と共有できるようにしています。
また、特定保健指導受診の強化(該当者の業務調整や勤務時間内での受診を認める等工夫)、協会けんぽのメルマガ登録で毎月社内回覧、歯科検診サービスや出張講習を検討しています。
〈目的・目標の例〉 *全体目標は重症化予防で休務率低下
①健康自己管理チーム(血圧高めチーム)→血圧管理　睡眠確保
②スレンダーチーム(筋肉質希望)→週間の歩数5万歩を目指す
③節煙チーム(喫煙者)　1日20本　→　13本へ節煙
④Mt8842チーム(外国人労働者)→3年以内の禁煙
⑤若返り隊チーム(女性従業員)→体温1℃上昇で
　新陳代謝向上

従業員の健康習慣に関する効果

全社員がチームに所属して週単位で検証しているので習慣化が図れていますし、半年に1回は社内大会で成果報告と表彰も行っており、年・半年・月・週・1日単位毎のタイミングでの意識付けPDCAサイクル化が出来ています。これにより働き方改革も進み、休まず元気に仕事が出来るようになってきていると感じています。
社訓の「元気で　明るく　仲良く」が実践できてきていて大変嬉しく思います。

会社全体に関する効果

＊今年度の各チーム毎の目標(定量)クリア！
　→次年度に向けて評価・立案のPDCA確立
＊前述のスレンダーチームにおいて、山口県提供の「やまぐち健幸アプリ」で1ヶ月平均歩数のチーム戦で初参加で10位入賞！
＊協会けんぽの各種サービスの希望アンケート結果では、1位が健康講座であり、従業員の健康への関心が高まってきています。

今後の展望

当社が先だって成功例を作り発信することで、少しでも山口県に健康経営が広まり、また建設業界発展の手助けとなればと思っています。体の健康だけでなく心の健康管理も重要だと考えます。皆が働きやすい職場環境を目指します。

朝礼時にラジオ体操を実施

創業87年目に事務所を新築移転

598

福岡県
東京第三FA支社

Voice Report 60th

株式会社バオラックス

代表取締役社長
岩崎智之 氏

自然体でつながれる人間性、社員も地域も幸せに

- 代表取締役社長　岩崎智之 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県福岡市
- 主な事業内容　介護事業
- 従　業　員　数　42名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2020・2021 2年連続認定

社員の健康を何よりも第一に考えて

高齢者の皆様へ昼・夜問わず介護サービスを提供しております。そのため、勤務状況が不規則になることもあり、社員の健康状態を、常に気にかけていました。
社員の健康状態は、パフォーマンスに影響し、サービスの質にも直結してしまいます。
社員一人一人が、楽しく健康に働けること。それが、介護というサービス業において重要だと考え、取り組んで参りました。

社員の持っている能力を最大限に活かして

走ることが好きな社員の呼びかけで、有志を募り、ランニング部を作りました。現在はコロナ禍ということもあり、休部中ですが、今年は活動を再開していきたいと考えています。
また、アクサ生命保険の健康習慣調査アンケートの結果から食生活の意識改善を行いました。⇒ベジファースト

社員が健康行動を取れるようになっただけでなく、その家族やご利用者様に波及効果がありました。

具体的な数値は把握しておりませんが、一人一人の意識や行動の変化を感じています。また、社員のご家族にも、良い影響が出ています。
今まで、体調不良者が多く出ているわけではありませんが、コロナ禍でも健康維持ができており、デイサービス事業も休業することなく、365日稼働し運営できております。デイサービスのご利用者様も、機能訓練として外出を毎日実施し、健康的に過ごされております。現在、インフルエンザ、新型コロナの罹患者もゼロとなっています。

介護従事者の将来のキャリアを見える化

アクサ生命保険の担当者から定期的に健康に関する情報をいただいており、様々なジャンルから考えるきっかけとなっております。弊社としましても、以前から社員の作る（描く）ライフプランを面談時に取り入れていました。会社の考え方と社員一人一人の考え方が連動させることが出来るので非常に役立っています。社員のぼんやりと見えていた目標が、ライフプラン面談を実施することで、将来のキャリアビジョンを双方が認識し、経済的に見通しが立ち、目標を明確化していくことができるようになりました。

今後の展望

会社で働いている社員やアルバイトスタッフから、外部に向けての発信を期待しております。介護事業の人材不足は深刻な状況が今後も続くことが想像されます。今、働いてくれている社員の働きやすい環境を作ることで、定着率の向上や離職率の低下を目指します。また、それぞれを数値化し、求職者の方々にもご理解いただけるのでは、と考えております。
そうすることで、同業種からも一目を置かれ、他業種からも弊社で働きたいと熱望される会社になっていきたい。そして、地域で暮らす方々にとって、自然体で愛される会社となっていきたいと考えています。

599

佐賀県
佐賀営業支社

Voice Report 60th

株式会社ケーブルワン

代表取締役社長
大野裕志 氏

「より働きやすい・働きがいのある企業」を自分たちで作り上げる！

- 代表取締役社長　大野裕志 氏
- 本 社 所 在 地　佐賀県武雄市武雄町昭和360
- 主な事業内容　情報通信業
- 従　業　員　数　45名(男性:24名・女性:21名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

社員の体と心の健康維持のため、健康経営に取り組む必要があると感じました！

以前より社員の長時間労働による健康への影響が懸念されていました。
社員の健康問題が、企業の業績向上・永続的発展、仕事のパフォーマンスにも大きく左右することから、抜本的な改善が必要と思っていたところにAXAの担当者より「健康経営」の話を聞き、すぐに動き出しました。
まずAXAの「健康習慣アンケート」を申し込み、そのアンケートの結果をもとに「フィードバックセミナー」を開催。AXAの講師の方より社員に対して「健康経営」の意識付けができました。

社員の意見を取り入れて「全員参加型」の取り組みでスタート！

★毎年の健康診断は実施しておりますが、二次健診に該当した社員の受診率が低かったため、二次健診の結果報告を義務化し、さらに経営陣より対象者一人一人に声を掛け、受診を促した結果、受診率100％を達成しました。
★AXAの「健康習慣アンケート」の結果、「朝食」を取らない社員が相当数いる事が判り、社員みんなでアイデアを出し合った結果、四季のイベントの時などにみんなで同じ昼食(お弁当)を取るようにしました。「同じ物」を「同じ時間」に「みんな」で食べることで社員同士のコミュニケーションもさらに活発になりました！みんな次のイベントを楽しみにしております！(右下の写真)
★アンケート結果で「運動不足」の社員も多かったことから、野球好きの社員さんが中心となって家族参加型の「ソフトボール練習会」を昨年12月に開催し、社員も小さなお子様もイキイキと楽しんだ会となり、別部署の人たちとのコミュニケーションも活発になり、ストレス発散となりました！今では参加人数も増えて、対外試合も検討しています！(下の写真)

体も心もリフレッシュ！
大人も子供もエンジョイ！

大切な社員とその家族と楽しみながら取り組む「健康づくり」を企業風土として根付かせる！

今回の健康経営の取り組事項は社員達の提案でした。
健康経営推進の担当者(総務部　山口氏)が熱心にアナウンスし全員で取り組む姿勢が出来ました。
社員自ら現状を把握し、健康管理・職場環境改善に着手したものです。長時間労働が多かった部署も残業が激減し、プライベートの時間も楽しめるようになったとみんな心身とも明るさが増えた気がします。このような取り組みを計画し、実践できる社員達を私は誇りに思っております。これからも色んなアイデアを出してくると思いますが、極力笑顔でOKサインを出していこうと思います。(大野裕志社長　談)

今後の展望

継続が力となってくる取り組みです。まだまだ課題もありますが、出来ることから実行に移していきたいと思います。
今も、そしてこれからも社員がベストコンディションで働ける体と心であることが大切と思います。次世代に向けて、社員の健康をいかにして守るかは会社の事業を継続するうえでとても重要と感じます。
「始めたことは続ける！」為にもAXAのアンケートやワンポイントアドバイスの配布も活用しながら取り組んで行きます！

イベントのランチ会では歳時に関係する
食材が入ったお弁当が楽しみです♪

600

長崎県
諫早営業所

Voice Report 60th

諫早商工会議所

会頭
黒田隆雄 氏

自ら実践して、「会員企業・地域経済の発展」のために！

■会　　頭　黒田隆雄 氏
■本社所在地　長崎県諫早市高城町5-10
■主な事業内容　総合経済団体
■従 業 員 数　19名(男性:11名・女性:8名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

アクサ生命の健康経営アドバイザーの勧めにより、健康的でかつ働きやすい職場の環境整備のため、諫早商工会議所自らが健康経営に取り組むことを決定致しました。
この取り組みを実践していくことで、会員企業への情報発信・ＰＲにつながり、地域経済の発展にも寄与できると考え、率先して取り組むことを決めました。

諫早商工会議所会員企業の発展のため『健康経営』を実施

会議所の重要な事業である「経営支援・経営力強化」が、健康経営の取り組みと重複する部分が多く大変重要であると考えています。
会員企業のこれからの発展のために『健康経営』という指標はますます重要になり、ニーズも高まっていくため、長崎県などの行政機関や協会けんぽと連携を図り地域総合経済団体として牽引役になり『健康経営』のＰＲを行っていきます。

健康経営の取り組み

・アクサ生命の「健康習慣アンケート」に全職員が回答し、会議所の現状と課題を把握しました。
・アンケート結果により「飲み物に関する健康関心が低い」ことが判明しました。
・諫早商工会館内にある自動販売機、事務所内にある職員専用の給茶機にカロリー表示を行い、カロリーを意識してもらうことで飲み物に関する関心層を増加させる事を目指しました。
・健康増進、生活習慣病予防対策の張り紙の添付、チラシの定期回覧を行いました。

職員の反応や効果

・職員の「健康への関心」が向上しました。
・「歩く」ことを優先するようになりエレベーターから階段、自動車から徒歩に意識が変わりました。
・会員事業所に対して率先して健康経営に取り組むことにより、会員事業所の見本となることができたのではないかと思います。
・健康経営への取り組みをＰＲすることで諫早商工会議所自身のイメージアップにつながりました。

諫早商工会議所の今後の展望

・地域総合経済団体として今後永続的に存在していくためには、現在在籍している職員や今後入所する職員に働きやすい環境整備を行う必要があります。
・職員一人一人が健康で幸せな人生を過ごしていかなくては『健康経営』は絵に描いた餅に終わります。
・今後さらにアクサ生命との連携を強化していき、地域から必要とされる存在を目指し、また地域経済が発展していくために健康経営に真剣に取り組んで行きたいと思います。

健康経営の取り組み
(左:エレベーター前の階段利用喚起　右:給茶機のカロリー表示)

601

長崎県
諫早営業所

Voice Report 60th

大村商工会議所

会頭
中村人久 氏

「健康で働きやすい社会」を目指して健康経営を推進します！

- 会　　頭　中村人久 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県大村市本町458-2
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従 業 員 数　14名(男性:8名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

会員企業の発展は、商工会議所の使命であり、地域の活力の源であります。その地域を支える企業において、健康で働きやすい環境を整えることが、更なる成長への礎になるものと考えております。
商工会議所自らが健康宣言し、健康経営を取り組むことで会員企業にとって有益な情報を提供ができ、ＰＲの場として活用してもらえればと思い、取り組むことに致しました。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな事柄からスタート

まずはアクサ生命から提供頂いた健康習慣アンケートを実施して現状の把握を行うことで、課題等の抽出をしました。これに基づいて取り組めそうな事柄からスタートしました。アクサ生命の健康経営アドバイザーに朝礼に参加頂き、健康習慣アンケートのフィードバックセミナーを行いました。また健康増進、生活習慣予防対策等、健康に関する情報を、こちらもアクサ生命が提供するワンポイントアドバイスを活用して周知することで健康に対する意識改革に努めました。

職員の反応や効果

健康増進について、様々な情報を提供することで、職場内の健康に対する意識が高まりました。特にエレベーターの利用をせず階段を率先して選択する等、個々人の取り組みが変わりつつあります。また、普段の会話の中から健康に関する情報交換を行い、心身ともに健やかに過ごせるよう雰囲気づくりが進んできています。

会議所自身の取組

感染症予防策として、インフルエンザの予防接種に対する補助や新型コロナウイルス感染症対策として、事務所内にアルコール消毒液や自動検温器、職員間の机に遮断用パネルの設置等を行い、感染症予防、拡大防止の措置を図っております。

今後の展望

少子高齢化による人口減少や人手不足、働き方改革への対応やＤＸの推進等、取り巻く環境は多種多様な世の中ですが、その中心となるべきものは“人”です。
唯一の地域総合経済団体である商工会議所が先頭に立ち、健康で働きやすい社会を実現するため、積極的に健康経営のＰＲを行い、会員企業の繁栄に繋げていけるように取り組んで参ります。

事務所内に設置した自動検温器とシールド等

602

長崎県
諫早営業所

島原商工会議所

会頭
満井敏隆 氏

「企業を育て地域を伸ばす商工会議所」を実現するために！

- 会　　頭　満井敏隆 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県島原市高島2-7217
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従 業 員 数　12名(男性:6名・女性:6名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

きっかけ

商工会議所の重要な事業である「経営支援の強化」や「事業承継」「人材育成」は、健康経営により解決していく部分もあるため、アクサ生命の健康経営アドバイザーの勧めにより、まずは、商工会議所自らの健康経営に努めることとした。
また、当所としても現在いる職員、さらにはこれからの職員が、健康で働き続けれるような環境を作るため、健康経営優良法人認定取得を目指すこととした。

実際の取り組み

・定期健康診断の結果をもとに協会けんぽから派遣された保健師による健康相談・指導を実施した。
・健康増進や生活習慣予防対策などの健康に関する情報提供（ワンポイントアドバイス）を月1度回覧した。
・館内設置の自動販売機には商品ごとのカロリー表示などの健康を意識しやすい環境づくりを行っている。
・感染症予防として、商工会館内にアルコール消毒液及び空気清浄機を設置している。

効果/成果/結果

職員全員に健康経営アンケートを行い、それぞれの健康課題を意識づけ、階段利用機会の増加など、改善に努めた。
職員個人個人の健康への意識が高まり、定期健康診断後に再検査の指摘があった職員の再検査受診率100%となった。

今後の健康経営の推進

職場での健康意識が高まったことで、今後の所内活動として職員同士の活発な意見交換や、外部講師による仕事の合間にできるような体操セミナーやメンタルヘルスセミナーなど様々なテーマでのセミナーも取り入れたい。
さらに、この活動を所内のものだけではなく、会員事業所の皆様へ、会報やホームページ等による情報発信やセミナーなどの健康経営の普及促進を行っていきたい。

今後の展望

今後とも、地域経済団体として、これまでの先人たちが築き上げてきたものを受け継ぎながら、「企業を育て地域を伸ばす商工会議所」として、中小企業の活力強化に尽力する。
そのためにも健康経営の視点を新たに取り入れ、時代の変化に応えた活動を展開していきたい。

事務所に掲示している
階段利用促進喚起の張り紙

会館内の自動販売機の
カロリー表示

603

長崎県
諫早営業所

Voice Report 60th

有限会社杉谷本舗

代表取締役社長
杉谷徳隆 氏

創業210年！真心と共に おいしさと幸せをお届けする

- 代表取締役社長　杉谷徳隆 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県諫早市松里町1574-1
- 主な事業内容　菓子製造業
- 従　業　員　数　64名(男性:20名・女性:44名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけは？

経営理念は、真心と共に おいしさと幸せをお届けするです。これは、お客様に対してだけではなく、従業員とそのご家族、そしてお取引先の皆様、地域の方々にも幸せになって欲しいという想いも込められています。そして、会社の財産である従業員には、元気に長く働いてほしいと考えています。
そのためにも従業員の健康は大切な要素であることから健康経営に取り組むことを決めました。

健康経営の具体的な取り組み

まずは、健康診断は検診車を手配しています。会社で検診できることから移動の負担もなく実施できています。また、ストレスチェックも毎年実施し、必要に応じて産業医との面談も行っています。その中で「ストレスを溜めない方法」のセミナーも開催しました。
そして、従業員に健康習慣アンケートを実施することで、客観的に自社の生活習慣の課題を把握できました。
それにより、朝礼時に健康に関する情報を発信したり、給料明細に「健康経営ワンポイントアドバイス」を同封しています。給料明細に同封したチラシは、従業員が行き来する場所の掲示板にも貼りだすことで、少しでも目に付くようにしています。
朝礼時に「スマホが与える睡眠への影響」の情報を話した際には、従業員から「なるべく寝る前にスマホを触らないようにしました」との反響もありました。
また、管理職や従業員向けのセミナーを開催し、健康経営への意識改革を行っています。テーマは健康面やマネーに関するものを開催し、体・心・お金の3つの側面から健康について考える教育の場として実施しています。
セミナーに参加した従業員からは「自分の生活習慣が意外と健康的でなかったことを知り、今できる事をしておかないと・・・と改めて考えるきっかけになりました」との声もありました。

Withコロナ時代だからこそ

新型コロナウイルスにより、感染防止策など徹底的に行っています。例えば、アルコール消毒液やパーテーションの設置はもちろん、シフト体制を再構築し従業員同士の感染リスクを軽減しています。
今年で創業210年となります。会社が未来永劫発展し続けるためには、従業員に長く元気に働き続けてもらうことが必要不可欠です。そのためにも、より一層健康経営に取り組み、【真心】のある居心地の良い職場を作ってまいります。

有限会社青井運送

代表取締役社長
田上明仁 氏

「従業員が安心して働ける会社」を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　田上明仁 氏
- 本 社 所 在 地　熊本県人吉市
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　65名

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

人手不足解消への鍵は「健康経営」である

社員の活力や生産性の向上を図るため、健康経営の取り組みを始めました。
また将来に向けて継続的な成長のため、優秀な人材の採用・育成が不可欠と考えています。
少子高齢化社会で人手不足と採用の難しい現代だからこそ、社員の健康を第一に考えて“健康経営”に取り組む意義があると考えています。

「重症化を未然に防ぐために」定期健診を徹底

健康診断の受診率100％は勿論、再診やがん検診の受診勧奨の為対象者に聞き取り調査を行っています。
再検査・精密検査の受診率向上の為、該当者リストを作成し、2か月に一度声をかけ、受信完了のチェックも行っています。

大切な従業員を「守る」　健康経営の取り組み

事業内メンタルヘルス推進担当者を決め、毎月の安全衛生会議を開催し従業員へ健康課題や社内相談窓口の設置、および医療機関の掲示による周知を行っています。健康増進の一環として、朝礼前のラジオ体操や会社独自の今年度目標として「歩け歩け大作戦」を行い、すぐに車の利用をするのではなく、少しでも歩く習慣を身に着ける様にしています。またコミュニケーションの促進に向け、会社主催による新年会を行っています。

毎月の安全衛生会議

新型コロナウイルスやストレス対策に万全を期す

事業場内にアルコール消毒液を設置し、全従業員へマスク配布しています。感染症予防に向けた講習を行い周知しています。残業が月80時間を超える社員には面談指導申出書を渡し、面談の希望を尋ねるとともに、超過しないよう指導しています。メンタルヘルス不調者、予備群に対する社内窓口を従業員に周知し、医療機関の相談窓口を事業場内に掲示しています。

今後の展望

昨年度健康経営優良法人認定を取得しました。今後も健康経営に取り組むことで、大切な社員とその家族の心と体の健康とともに会社も生産性を高め、成長していきたいと考えています。

朝礼前ラジオ体操

605

大分県
大分営業所

Voice Report 60th

大分サッシ株式会社

代表取締役会長
池辺　武 氏

「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」共通認識で働いています

- 代表取締役会長　池辺　武 氏
- 本 社 所 在 地　大分県大分市萩原4-10-20
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　7名(男性:5名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組もうと思ったきっかけ

わが社の会長は「健康経営」が推奨されるよりも以前、今から15年ほど前から自身の健康診断結果を記録し体調管理を続けています。長年健康に配慮してきた会長の提案で、7年前に事務所に血圧計を設置し、全員の歩数計を会社で買い揃えました。そこから社員全員が出社時に血圧を計測し、体重と前日の歩行数とを共有データに記録するという取り組みを始めました。当初、女性社員にとって体重までオープンにするのは少々抵抗がありました。しかしこの「記録する」ことがポイントで、それを通じて健康状態を皆で共有し日頃から健康に留意するようになりました。

健康経営に関する社則

1. 出社時の「啓発活動」に関する計測と入力
2. 健康診断・ＭＲＩ＆ＣＴ＆大腸検査の全員受診(会社負担)
3. インフルエンザの予防接種(会社負担)
4. 事務所内・敷地内の禁煙
5. マラソン・ボーリング大会・ゴルフコンペ等への積極参加(会社負担)
6. 健康セミナーへの積極参加
7. 健康に関する資料(パンフレット等)の回覧

会社の「社是」「経営理念」「社訓」

わが社の真理は、縁あって同じ釜の飯を食うことになった仲間との「絆」を常に心(魂)の中心に、日々精進してゆこうという想いであります。そのためには先ず「社員全員が健康であること」「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」を実践することです。会社設立時より社員全員が如何にして精神的・肉体的に成長できるかを共通認識にするか取り組んだ結果がわが社の「健康経営」であります。

今後の課題と展望

昨年新入社員が入社し、より働きやすい環境作りと繁忙期の残業時間の削減に少しずつ取り組んで参ります。今後の課題は「労働時間の適正化、ワークライフバランス、生活時間の確保」です。少人数体制の会社ですが、設立時より1年1年齢を重ねていく中で「社員全員が健康で、少しでも長く同じ職場で働いていける」会社経営が大切だと思っております。こころとからだの健康を社員全員が日頃から意識し、これからも会社と社員それぞれが向上していければと思っています。

外部への発信と協力、より良い会社作りのために

6年前に大分県の健康宣言企業として認定を受け、新聞にも掲載していただきました。その後、アクサ生命保険の「健康経営セミナー」の受講をきっかけに、社内で健康に関する研修会の実施や情報資料の配布等をしていただくようになりました。その中で「健康経営優良法人」のお話しをお聞きしました。会社独自の取り組みはしてきましたが、申請をするにあたり他の企業の様々な取り組みを知る事ができ、より良い会社環境作りに生かしております。

決算報告会での写真です

606

宮崎県
宮崎営業所

スパークジャパン株式会社

代表取締役社長
岡田憲明 氏

「Create Happiness! 」社員の物心両面の幸せを創造する

- 代表取締役社長　岡田憲明 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎県宮崎市柳丸町85
- 主な事業内容　情報通信業、ITコンサルティング
- 従　業　員　数　90名(男性:65名・女性:25名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

Voice Report 60th

幸せの創造のため、健康経営に取り組む

「Create Happiness! 」～幸せを創造する～という経営理念のもと、大切な社員の物心両面の幸せを増進するため、健康経営の取り組みを開始し、2021年度の認定を受けることができました。

今後も、社員だけでなく、取引先や社会にも幸せの循環をつくりだすことを目的に事業を推進してゆきます。

社員の発案によるスポーツイベントの開催・補助

社員の趣味などから生まれるアイディアを活かし、社員の親睦や、心身の健康増進のためのスポーツイベントの開催やスポーツサークル活動の補助を行っています。

社員有志が参加するほか、家族ぐるみの参加も多く、ふれあいの中、体だけでなく心の健康も育めるよい取り組みになっています。

社員発案によるスポーツイベント参加の様子

新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

新型コロナウイルスの感染防止と、持続的な経済活動・企業活動の両立を目指す、withコロナ時代における経営スタイル「新しい仕事様式」を定め、世の中の環境変化にすばやく対応するべく、努力しています。

【新型コロナウイルス対策 基本方針】
1. 社員の命を守る
2. 社員の家族の命を守る
3. 社員の生活を守る(事業を継続させる)

上記の基本方針に基づき、
■感染防止マニュアルの作成
■リモートワークの実施
■業務内のITツールの活用
■勤務時間中の予防接種の認可
など、社員全員の能力を活かし、「全社一丸」となって、明るい未来を創造する取り組みを続けています。

変革をもたらす、地域の先進企業として

DX(デジタルトランスフォーメーション)が広く知られる時代となり、ITはこれまで以上のスピードで世界を変革しています。当社も、AI(人工知能)・ビッグデータ・IoTなど様々なテクノロジーを駆使し地域の変革を牽引します。

また、本社所在地の宮崎は、優れた人材が健康に働くための
■暮らしやすい生活環境
■子育てに適した豊かな自然
■めぐまれた交通アクセス
■自然の恵みによる素晴らしい食材
などの強みを持つ地域です。私たちは事業を通じて幸せを創造し続け、宮崎がアジアのシリコンバレーと呼ばれる日を実現します。

607

鹿児島県
川薩営業所

Voice Report 60th

株式会社満留建設

代表取締役社長
満留智史 氏

人を愛し、街をつくり、郷土を守る

- 代表取締役社長　満留智史 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県いちき串木野市野元21809
- 主な事業内容　総合建設工事業
- 従　業　員　数　18名(男性:16名・女性:2名)

健康経営優良法人 2021認定
中小規模
健康経営優良法人
2021 認定

健康経営に取り組むきっかけ

「健康経営」という取り組みについて、高等学校訪問時に採用担当教員との会話がきっかけで知りました。人材確保が難しい中、従業員の健康確保・健康増進は不可欠です。「健康に長く勤めていただく」と同時に、トップから従業員まで一体となって、意識を変えることが必要だと感じ、取り組むことにしました。

取り組み事項

2018.4に協会けんぽへ健康企業宣言をし、様々な取り組みを始め、4年目を迎えました。
①月一回、健康朝礼の実施
②毎年4月に全従業員が健康目標を設定し、年度末に自己採点をする一年のPDCAサイクルへの取り組み
③通常の健康診断にプラス歯科検診の導入
④健康診断二次健診費用、会社負担
⑤診断結果に基づいての健康手当の支給
⑥敷地内禁煙対策(屋外喫煙所1ヶ所設置)
⑦禁煙者へ禁煙手当支給
⑧有給休暇取得促進日設定、年次有給休暇希望日調査・年間取得予定カレンダーの作成・掲示

具体的な内容・効果

①毎月、その季節に合った健康情報や流行の病気等の情報を提供する事によって、従業員の意識改革に取り組んでいます。
②目標達成に向け、行動への動機付けを引き出すこの取り組みを通し、会社も従業員の心身の悩み・健康状態を把握できます。
③「身体の健康は歯の健康から」歯科検診を導入したことにより従業員が積極的に治療に通い、導入した意義を感じています。

具体的な内容・効果

④二次健診該当者が必ず受診できるよう費用を会社負担としました。そこから治療や手術をし、復帰する従業員を目の当たりにし、二次健診の必要性を強く感じています。
⑤従業員が前向きに健康への意識を持てるよう、結果が良い従業員について、「健康手当」を導入しました。
⑥2020年4月から受動喫煙防止対策義務化に伴い、敷地内全面禁煙とし、屋外喫煙所を1ヶ所設けました。喫煙率を下げることは大きな目標ですが、健康経営を始めてから、禁煙達成者・禁煙を目標にする従業員がいることに取り組みの成果を感じています。
⑦喫煙者と禁煙者の差別化、禁煙を目標とする従業員の一助となるように導入しました。
⑧2019年4月から年次有給休暇5日取得義務化に伴い、有給休暇促進日の設定、希望休暇の調査を行っています。年間有給休暇取得予定カレンダーを作成し「見える化」することで、相互理解・協力し合い、スムーズに取得できる環境作りを目的としています。

今後の展望

創業から今年43年目を迎えました。事業継続には、先ずは従業員、その先には地域の方々があってこそです。建設業は地域の暮らしに欠かせません。従業員と一緒に地域に根付く企業、従業員が「健康に長く幸せに勤められる環境作り」を今後とも目指していきます。

年3回、ボランティア活動の一環として
地域の除草作業を行い、汗を流しています。

www.axa.co.jp

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020　東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777（代表）

www.axa.co.jp/

Form No.0X0528(1.0) AXA-A2-2107-0224/C0T 2021.08.01